

## 第3部 意匠制度120年史年表

## 凡 例

1. この年表は、我が国の意匠制度の変遷を、社会の動向及びデザイン関係の動きと対比させながら作成したものである。
2. 事項欄は工業所有権制度、意匠制度、社会・文化、デザインの変遷（国内）及びデザインの変遷（国外）の5項目とした。
3. 「工業所有権制度」欄は、我が国の特許法、実用新案法、商標法、特許庁及び関係団体の動きを中心に関連する条約及び判決等の事項を収めた。外国の工業所有権制度の動き及び関連する条約はその年の末尾に記載した。  
「意匠制度」欄は、我が国の意匠法、意匠課、意匠課関係団体の動き、意匠制度及び判決を中心に収めた。経済産業省、著作権関係及び外国意匠制度の動きは、その年の末尾に記載した。  
「社会・文化」欄は、政治、経済、社会、技術、法律、学術、事件、教育、映画、漫画及び雑誌等に関する事項を中心として収めた。技術に関する事項は、その年の末尾に記載した。  
「デザインの変遷（国内）」欄は、我が国のデザインの動きを中心に、「デザインの変遷（国外）」欄は、外国のデザインの動きを中心に、関連する建築、工芸、写真及び美術等の事項を収めた。デザインに関連する会社の設立、技術、図書雑誌、学校及びデザイン盗用問題はこの欄に収めた。「賞」は主催者により国内と国外に分離した。
4. 年月日の略記号は次のように表した。  
明治、大正、昭和、平成 → 明、大、昭、平  
○月○日 → ○.○  
明治○年○月 → 明○.○  
月及び日が明確でないものは「この年」にまとめて記載した。

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1868 明治元年	3月・菊御紋並禁裏御用等「ノ」文字濫用禁止ノ件(3.28太)	<p>1544年 ベネチヤ 知的所有権法</p> <p>1624年 英国 専売条例</p> <p>1641年 米国 マサチューセッツ植民地で製塩法に特許</p> <p>1709年 英国 著作権</p> <p>1711年 仏国 網織物の図案の不正使用禁止</p> <p>1787年 米国 合衆国憲法制定(発明者への専利権付与規定)</p> <p>1810年 オーストリア 特許法</p> <p>1839年 英国 意匠法制定</p> <p>1842年 米国 意匠法</p> <p>1876年 西独 意匠法</p>	<p>1月・鳥羽伏見の戦(戊辰戦争)</p> <p>●王政復古を外国公使に通告</p> <p>3月・五ヶ条の御誓文</p> <p>4月・江戸城開城</p> <p>5月・太政官以下七官を置き、政体書を発令</p> <p>7月・江戸を東京と改称</p> <p>9月・明治改元(一世一元の制)</p> <p>この年・排仏毀釈運動がおこる(神仏判然令が契機)</p> <p>●英, アルバット小型懐中検温器</p> <p>●ドイツの写真師アルベイトは写真製版法によるコロタイプ印刷を発明</p> <p>●木造様式の擬洋風建築が開港地、外人居留地に建つ</p>
1869 明治2	3月・公議所、「新規株式御許相成候様式度議」を提案(議案録第一)	8月・社寺菊御紋濫用禁止の件	<p>1月・関所撤廃</p> <p>2月・通商司を設置、貿易事務を所管</p> <p>5月・榎本武揚ら箱館で降伏、戊辰戦争終る</p> <p>6月・版籍奉還</p> <p>11月・スエズ運河開通</p> <p>●丸屋商社(後の丸善株)開業</p> <p>●渋沢栄一、商法会所設立</p> <p>12月・東京・横浜間電信開通</p> <p>●観音崎、野島崎燈台完成</p> <p>この年・家庭用洗濯機の原型が登場(アメリカ特許940005号、本体は円筒状でタブの底に4枚羽根の回転子をもつ、のちに電動式で広く家庭に普及する型の原型)</p> <p>●ジョン・ハイアット、イサイアー・ハイアット(米)、パークス(英)各々セルロイド発明</p>
1870 明治3	6月・大蔵・民部両省、褒賞例典草定し太政官へ稟上、発明に対する独占権付与規定設ける(6.5)		<p>3月・衆議院を開く</p> <p>9月・平民に苗字を許す</p> <p>10月・工部省を置く</p> <p>●英米の科学書・自転車輸入始まる</p> <p>●普仏戦争(〜71)伊統一。仏第三共和国制</p> <p>この年・スターノブ(英)、手刷印刷の機械化</p>
1871 明治4	4月・専売略規則(4.7太政官布告第175号)新発明をした者は明細書、図面等を添えて出願し、先願主義により発明の程度に応じて15年、10年、7年の保護期間を定めて免許状を与えるというものであり、わが国最初の発明特許法規として制定された。1844年のフランス特許法を範とした		<p>1月・わが国最初の日刊紙、「横浜毎日新聞」創刊(本木昌造の活字を使用)</p> <p>●郵便規則条令</p> <p>5月・新貨条令(最初の金本位制・十進法)</p> <p>7月・文部省を創設</p> <p>●廃藩置県</p> <p>●太政官に正院・左院・右院を新設</p> <p>●日清修好条規(最初の対等条約)</p> <p>10月・岩倉具視らを欧米に派遣(9.13帰国)</p> <p>●ドイツ医学の輸入が始まる</p> <p>●独統一</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>この年・井上 伝 没82才(天明8年生、久留米絨の祖)</p> <p>●築地ホテル(民営和洋風様式の初端)が完成、プリジンスと2代清水喜助設計</p> <p>●文明開化、外国との商売往来で国内に舶来品の模造時代を迎える</p> <p>●富国強兵の国策、近代産業の育成で外国人技術者招へいが盛ん</p> <p>●後の舎密局指導、東大教授の独人化学博士ワグネル来日(以後日本の美術工芸に理解を示し、この分野に新技術を導入)</p>	<p>この年・英でラスキンとモリスの美術工芸運動が展開中(1899年頃まで、当時俗悪な量産品の母体、機械と商業主義を排撃、形式的美を批判、中世ギルドの生産方式で大量により大衆のための良質な手加工品の普及を図る社会的倫理性をめざした造形活動)</p> <p>●パリ国立図書館書庫完成(ラブルース)</p>
<p>8月・本木昌造、長崎で活版伝習所開設(後に東京に移転、勤工寮活字局)</p> <p>●蘭学者本木昌造設計の長崎、浜の町「大橋」(俗称テツの橋、鉄製市街橋の初端)完成</p> <p>この年・中津川藤吉、我が国で最初の足踏式の織機を考案(手織りから力織機への過渡的織機)</p> <p>●川上冬崖、最初の洋画塾「聴香読画館」を開く(下谷御徒町)</p> <p>●京都府、「西陣物産引立会社」を設立</p> <p>●鈴木徳治郎他、人力車創案、完成</p>	
<p>この年・ワグネル、有田で酸化コバルトを利用した絵付や、石炭焼成など陶磁器の改良に力を尽す</p> <p>●英国から銅板機械輸入</p> <p>●大阪府に最初の民営煉瓦製造所設立(堺で円治利右衛門ら)</p> <p>●陶芸家宮川香山、横浜の南太田で真葛焼を始める</p> <p>●西村勝三、日本初の洋式製靴工場を開設(東京築地)</p> <p>●(英国人)ブラック、写真入りの雑誌「The Far East」を創刊(東京)</p> <p>●わが国最初の洋紙活版刷の新聞「横浜新聞」創刊</p> <p>●本木昌造、電胎法により活字を鋳造。「新町活版所」(後、新塾活版製造所と称す)を設立(長崎)。続いて長崎新塾出張大阪活版所を設立わが国最初の民間洋式活版業(大阪大手筋折屋町)</p> <p>●京都府舎密局設置(翌年開業、ガラスを製造)</p> <p>●大学南校に物産局仮設所設置(翌年文部省博物館となり、湯島大成殿を観覧所とする。博物館の初め)</p> <p>●東京府、深川工場設置し紡績、機織を伝習</p>	
<p>この年・英国人ウォートルス設計の造幣寮(大阪、煉瓦造、官営で外国人建築家最初の古典主義様式の本格的洋風建築)成る</p> <p>●米国人ブリッジンス設計の新橋停車場(木造石張擬洋風)完成</p> <p>●名古屋に七宝会社設立</p> <p>●油絵具輸入</p> <p>●ディッキンズ(英)、テュレ(仏)、来日(美術工芸品購入)</p> <p>●新聞広告初期。眼薬広告合戦の文案中「近来一種奇薬ヲ発明ス…」と当時の流行語を使う</p> <p>●「西画指南」前編刊(川上冬崖訳、文部省刊)</p> <p>●物産局、物産会を主催(東京九段、招魂社。この種の催しの始め)。京都で三井八郎衛門ら博覧会開催(本願寺)中国、西洋品も含むが骨董品が主体。成功裏に終る</p> <p>●三井八郎衛門ら京都府の協力を得て京都博覧会社設立。翌年より事業開始(府は達をもって「…所持スル名物奇物妙品差出サント思ウ類イハ…殊ニ更新ニ発明ノ物品ニシテ世ノ用ト人ノ便利ナルベキハ、兼テ御沙汰ノ旨ヲ以テ専売利得ノ免許ヲモ願ヒ遣スノミナラズ褒美ノ沙汰ニモ及ブベシ。適レ工夫ヲ廻ラン新発明ノ製造成シヌ持伝ノ物品モ持出シ共に智識ヲ開クベシ…」と出品を訴えている)</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟新聞、名古屋新聞創刊。その他地方新聞の創刊相次ぐ</li> <li>東京で軍服、洋服仕立の職人盛況、洋服の普及</li> <li>駕籠屋衰退</li> <li>洋食店出現</li> <li>エジソン(米)、印字電信機</li> </ul>
1872 明治5	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩倉欧米視察団、米国特許局訪問(2.25)</li> </ul> <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専売略規則、当分の間執行を停止(3.29太政官布告第105号)以後、新発明した者は工部省へ届出ることとした</li> </ul>		<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田畑永代売買の禁を解く</li> <li>陸・海軍の2省を置く</li> </ul> <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富岡製糸場を置く</li> </ul> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学制を制定</li> <li>後の資生堂、洋風薬局として銀座で開業(昭和2年、株式会社資生堂となる)</li> </ul> <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新橋、横浜間鉄道開通</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽暦採用(12月3日を6年元日とする)</li> </ul> <p>国立銀行条例公布</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京日々新聞、郵便報知新聞創刊</li> <li>官庁で椅子の使用始まる</li> <li>ベルリンにて、独・オーストリア・ロシア三帝会議</li> <li>フルトン(米)、リノリウム</li> </ul>
1873 明治6	<p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業所有権保護に関する最初の国際会議がウィーンで開かれる</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内務省において商標条例の制定作業はじまる</li> <li>小林重助、人力車の発明に対し、専売許可を与えられる旨建議</li> </ul>	<p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>著作権の無保護は文化阻害と福沢諭吉が偽版の取調を東京府に申請(5.29)</li> </ul>	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徴兵令布告</li> <li>抄紙会社(後の王子製紙)洪沢栄一の提唱により設立</li> </ul> <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地租改正条例公布</li> </ul> <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜にガス燈</li> </ul> <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>征韓論破れ、西郷隆盛等参議を辞職</li> <li>和算の代り洋算の教授始まる。巻煙草発売</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内務省創設(11.10)</li> </ul> <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郵便葉書発行</li> <li>ジャガード機輸入</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三帝同盟(独・奥・露)</li> <li>スミス(米)セレンウム電池</li> </ul>
1874 明治7	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西村勝郎(神奈川県平民)が太政官左院に対して専売免許制度確立を要望する「建白書」を提出</li> </ul> <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内務省勅業寮事務章程第3~4条、第10~11条、第20条に発明の褒賞、専売免許を定める</li> </ul> <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「西洋免許法一発明者之道杖」発行</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外務大臣、米国人ドイツレルの専売特許請求の件につき書簡を内務省勅業権頭あて送付(11.30)</li> </ul>	<p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京府、福沢諭吉の訴えにより、「西洋事情」を無断出版した大阪の書店河内屋清七他に売上金22両を賠償させる</li> </ul>	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>板垣退助ら民権議院設立の建白書を提出</li> </ul> <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民事控訴略則を定める(太布)(司法省裁判所への控訴の規定)(5.19)</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読売新聞創刊</li> <li>石油ランプが急速に普及。行燈おとろえる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>京橋・銀座・芝金杉橋間の街路に85基のガス灯点灯</li> <li>舎密局附属織物工場設置(京都)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クルックス(英)、放電管</li> </ul>
1875 明治8	<p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勅業寮事務章程第9条に「発明者へ褒賞の特典を与えその権利を保護する事」、第10条に「商売品の号標を保護する事」が規定される(9.24)</li> </ul> <p>出版条例改正(9.3太政官布告)、(管轄を内務省へ移管、著作権保護図書専売権出版後30年間その他規定詳細化、特別刑罰規定新設)</p>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英国で意匠法に基く商標省の権限を特許庁へ移管、工業意匠の複製権を工業所有権の一種とみなす(英国意匠法は1709年アン女王の著作権法に起源を有し、意匠法の最初は、1787年の麻布と綿布等に関する条例)</li> </ul>	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平民に苗字を称されることを布告</li> </ul> <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清水誠、マッチの製造開始</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>明治政府の富国強兵、殖産興業策により、発明が増える。臥雲辰致のガラ紡機、村田純、肥後信管は官許同様の保護を受ける</li> </ul> <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>樺太・千島交換条約</li> <li>東京(中央)気象台設置</li> </ul> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>度量衡取締条例制定</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回京都博覧会(3.10)(京都本願寺、知恩院、建仁寺。新古美術多数出品、出品点数計3万9400点美術工芸の発達に寄与。入場者数約4万、内外国人770人。以後ほぼ各年毎に開催)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>博物館主催で博覧会開催(湯島聖堂大成殿観覧場、古美術及び油絵等)</li> <li>博覧会事務局に附属磁器製造所設置(ウィン博の準備)</li> <li>東京開成学校に工芸学科新設</li> <li>川上冬崖等、軍兵学寮で石版印刷をはじめ「写真法範」を刊行</li> <li>西洋歯磨の広告「新聞雑誌」に掲載</li> <li>京都西陣より選ばれた佐倉常七、井上伊兵衛、吉田忠七は織物研究のため仏(リヨン)に留学</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業博覧会開催(米、サンフランシスコ)日本から東京府商工業者が連合して参考出品</li> </ul>
<p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウィーン万国博覧会に政府参加(目的①我諸産物品を海外へ知らせ、日本国を認識させる。②各国の事情調査と西欧産業技術を伝習する。これを機に③学芸進歩の機関の拡充と産品の量産や品質の向上に資する。)副総裁佐野常民、以下顧問ワグネル、調査員塩田真、技術伝習生、納富介次郎(陶磁)平山英三(工作図学)蘇種広(ガラス)等諸工芸家渡欧す。出品物は「まだ器機類の発明されたものはないが、工芸では精妙にすぐれたものが多い」として美術工芸品を主として選出、これが好評を博す。以後工芸の産業化振興(量産性、材料、意匠の研究)の気運ひろがる。(なお明治時代我が国の参加した海外の博覧会計39)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工部省工学寮工学校設立。造家学科設置(修了年限6年)</li> <li>ウォートルス設計の銀座煉瓦街一等煉瓦地域完成(市内改正整備の初め「煉瓦造り」への普及に寄与)</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウィーン万国博覧会(学芸工芸の進歩等をうたう。焦点は依然、機械館の展示品。ことに電動工作機械が注目)</li> <li>レミントン社(米)よりタイプライター発売</li> </ul>
<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先年の万博で渡欧の松尾儀助(茶商)他、起立商工社設立し、美術工芸品を製造し輸出する(明治中期には大工芸会社として名工を輩出するが明治24年に解散)</li> <li>有恒社、日本最初の洋紙を製造</li> <li>府立大阪博物館開設</li> <li>折山藤助、洋式靴を製造</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パリで印象派第1回展開催</li> </ul>
<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製陶会社、香蘭社創立(深川栄左衛門)(有田)</li> <li>硝子製造所設立(大阪)</li> <li>京都府織工場(後に織殿と改称)は全国に伝習生の募集を開始</li> <li>博覧会事務局を東京博物館と改称(後の上野公園の国立博物館)</li> <li>ピング(仏)来日美術品を収集(パリで販売)</li> <li>岸田吟香、新聞社を退社、楽善堂開店し眼薬(精錫水)販売、広告を効果</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「フィンランド工芸協会」(Suomen Taideteollisuusyhdistys)創立。家内工芸、手工芸品の洗練と、一般の趣味の向上につとめる</li> <li>「国際メートル協定」締結</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>福沢諭吉著「文明論之概略」</li> <li>11月・新島襄・同志社英学校設立(京都)</li> <li>この年・ビスケット製造開始(米津風月堂)</li> <li>マルクス(独), 石油自動車</li> </ul>
1876 明治9	<p>1月・工部省, 米国人テイツレルの専売特許請求の件を拒絶(1.15)</p> <p>5月・内務省に勸商局設置. 内務省勸商局において商標条例の立案作業始まる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商売品の号標の保護, 勸商局の所管となる(5.12)</li> </ul> <p>この年・太政大臣三条実美が商標条例制定の「御布告案」を作成. 施行に至らず</p>	<p>この年・内務省勸商局において, 意匠の保護を立法化するための「免許新形条例」の草案作成作業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独. 意匠法(意匠およびひな型の創作に関する法律)制定(1.11)</li> </ul>	<p>2月・日鮮修好条規(華華条約)成立</p> <p>3月・廢刀令</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官庁が日曜全体・土曜半休制を制定</li> </ul> <p>8月・札幌農学校創立</p> <p>9月・元老院に憲法起草を命ず</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開拓使麦酒醸造所設立(後の札幌麦酒醸)</li> </ul> <p>10月・熊本神風連の乱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軍艦清輝進水(国産初)</li> </ul> <p>この年・ベル(米)電話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロイ・スミートン(米), モノレール</li> </ul>
1877 明治10	<p>2月・舶来麦酒等へ貼付之銘紙置造禁止(内達)を達す(2.23)</p> <p>11月・独, 専売特許条例発布(11.9官報1009)</p> <p>この年・工部省, 専売免許条例案作成</p>		<p>1月・西南戦争起る</p> <p>4月・東京大学設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各省の諸寮を廃止, 局を新設</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア・トルコ戦争(~78)</li> </ul> <p>6月・万国郵便条例に加入</p> <p>9月・モース(米)大森貝塚を発見</p> <p>12月・西南戦争戦費補填のため予備紙幣2,700万円発行(インフレの進行)</p> <p>この年・コレラが全国的に流行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>亜鉛版印刷「団々珍聞」創刊</li> <li>電話機初輸入, 電話機商品化され登場</li> <li>有斐閣創業</li> <li>ヒューズ(英)炭素マイクロフォン</li> <li>グッドウィン(米)セルロイド写真フィルム</li> <li>トーマス・エジソン(米)蓄音器, (米国特許200521)</li> </ul>
1878 明治11	<p>9月・第2回パリ国際会議(9.5~17)パリ条約草案作成(9.18~19)</p> <p>12月・内務省勸商局廃止</p>		<p>3月・東京中央電信局開業式に初めて弧光燈点火</p> <p>5月・大久保利通暗殺</p> <p>6月・ベルリン会議</p> <p>12月・貯古齡糖(チョコレート)発売(米津風月堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイヤー(独)インジゴの合成</li> <li>スワン(英)白熱電燈(炭素線使用)</li> </ul>
1879 明治12	<p>1月・内務省勸商局の廃止(明11.12)により, 商業に関する行政の所管が大蔵省に移り, 「免許新形条例」草案作成作業は大蔵省商務局に引継がれる(1.9)</p>	<p>この年・「新發明専用免許条例案」(大蔵省商務局)の中で意匠の保護の項目を設ける</p>	<p>1月・万国電信条約加入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝日新聞創刊(大阪)</li> </ul> <p>4月・琉球藩を廃し, 沖縄県とする</p> <p>7月・前米大統領グラント来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>梶野甚之助, 木製自転車製造</li> <li>リティ(米)金銭登録機</li> <li>エジソン(米), 炭素線電球</li> <li>ジューメンズ(独), 最初の電車をベルリン貿易博覧会場で発表</li> </ul>
1880 明治13	<p>5月・「新發明専用免許条例」案が大蔵省より太政大臣にあて上申される</p>	<p>5月・「新形専用免許条例」案が大蔵省より太政大臣にあて上申される. 制定理由と全文23節で構成</p> <p>保護の対象…新規に發明(創作)した物品の形状, もしくはそこに各種の方法であらわしたものの</p> <p>権利期間…出願人の要求に応じて5年,</p>	<p>4月・集会条例を制定</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>的に活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江崎礼二, 乾板(輸入品)による写真撮影</li> </ul>	
<p>3月・備後屋広瀬治助「写し糊」考案(型友禪の基礎となる)</p> <p>この年・ロシア人グリーズニン(ペテルスブルグニコロース新聞特派員)文部大輔に芸術大学設置を建言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工部省工学家に工部美術学校を付設(校長大鳥圭介)画学, 彫刻学の2科を設置(イタリア人フォンターネージ, ラグーザ, カッペレッチェイが教授)</li> <li>彫刻学科生徒に官費就学制制定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>森村市左衛門, 森組を設立(陶磁器, 銅器等輸出)</li> <li>工部省, 品川硝子製造所設置(翌年始業)</li> <li>東京瓦斯局構内に白煉瓦製造所(西村勝三, 後の品川白煉瓦窯)設立</li> <li>ウォートルス設計(後ポアンビル(仏人)継承)の紙幣寮製造場(煉瓦造建築, 後に印刷局, 東京常盤橋)完成</li> <li>紙幣寮, ボラード(石版印刷技術家)を招へい</li> <li>秀英舎(後の大日本印刷)創立</li> <li>フィラデルフィア万博政府参加(美術工芸品好評. 渡米の納富次郎等出品物の量産化をねる. なお機械区の報告書の中で資料しゅう集にあたり特許法のない点の不備について言及)</li> </ul>	<p>この年・フィラデルフィア万国博(米国独立100年記念)開催. (米国の機械文明が評価され, 特に機能的生活用品, 特許家具, タイプライター, ミシン等が注目される)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボン・マルシェ百貨店(仏)完成(技術者エックエル, 建築家ボワロー, 鉄とガラスの最初の近代的百貨店)</li> </ul>
<p>1月・工学家付設の工学校を工部大学校(造家科他7学科で構成)と改称</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英人建築家コンドル招へい(第2次招へい外国人教授としてゴジック・ルネサンス・イスラム等本格的西洋歴史様式, 折衷様式を移植)</li> </ul> <p>8月・第1回国内勸業博覧会開催(内務省主催, 東京上野公園会場は鉱業冶金, 製造物, 美術, 機械, 農業, 園芸に区分. 出品者1万6172人, 出品点数8万4353授賞5,096人. 出品物審査制, 陶器, 漆器, 銅器進歩がある. 臥雲辰致の紡績機, 賞牌を授与される. これを機に模倣が七宝等に製法等の盛んになる悪結果を生む)</p> <p>この年・品川工作分局(工部省), 船燈用紅色ガラスを製造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加藤友太郎, 納富次郎等, 東京小石川に江戸川製陶所設立(欧風陶窯)を築く)</li> </ul>	
<p>10月・誇大広告掲載の新聞批判高まる(福沢諭吉, 広告批判の「膏粱論」民間雑誌に連載)</p> <p>この年・東京府勸工場開設(第1回国内勸業博の出品物展示し即売)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塩田真ら, 美術及び工芸振興を計って, 美術品評会を開始(翌年に竜池会結成. 会頭佐野常民, 機関紙「工芸叢談」刊行)</li> <li>フェノロサ来日(東京大学文学部教授, 政治学, 理財学, 哲学担当)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォンターネージ, 工部美術学校を辞職</li> <li>米津風月堂チョコレートの販売広告を新聞に掲載</li> <li>安井敬七郎, 筆記用インキを創製. 丸善で発売</li> </ul>	<p>5月・パリ万国博覧会開催. 日本は工芸美術品を多数出品</p>
<p>この年・工部大学造家学科第1回卒業(辰野金吾(英国留学)片山東熊, 曾祢達蔵, 佐竹七次郎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有田に陶器専門学校設立</li> <li>加賀九谷陶器会社設立</li> <li>満川惣助, 外商アーレンス商会依頼ワグネル等研究の七宝焼(牛込工場)を引継ぐ(後に無縁七宝を創作)</li> <li>西洋絵具国産開始</li> <li>フェノロサ国民芸術を提唱</li> <li>勸工会(後の東京彫工会)設立</li> </ul>	
<p>この年・第1回勸古美術会(内務省博物館主催, 上野)開催(古美術品を展覧, 第2回より竜池会が主催)</p>	<p>この年・メルボルン万国博覧会開催</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	6月・仏国政府の招請により国際会議開催(パリ), 条約と最終議定書の討議決定。英国及び米国の反対で批准書の交換は実現せず(日本不参加)	10年または15年とする 出願…願書に明細書および図面または見本を添付し, 欲する免許年限を書き, 年限に応じた所定の手数料を納める 免状付与(登録)…出願を審査し, 許可したものは明細書を公衆の閲覧に供し, 不許可のものは手数料の三分の二とともに願書を返す ほかに偽りの創作が証明された場合の無効処分, 不使用による停止(放棄とみなされる), 相続, 譲渡手続, 標記義務, 侵害に関する罰則などを規定している	7月・刑法・治罪法制定  8月・東京に千金丹売り多数現われる 11月・官営工場の払下げ始まる ●自転車普及し始める この年・岩谷松平, 日付き紙煙草を発売 ●民間商工業の商況活発 ●古社寺保存の内規を規定 ●ベル(英), テレビジョン
1881 明治14	4月・工務局, 商標条例・専売特許条例草案編纂  5月・高橋是清, 農商務省御用掛に転ずる(5.25) 10月・高橋是清, 「大日本帝国特許条例議按心得(全41款)」を工務局調査課長に提出	この年・商工業に関する事務が新設の農商務省の所管になり, 「新形専用免許条例」案の検討は太政大臣から農商務省に移るが施行に至らず	1月・東京に警視庁再置  4月・農商務省設置  5月・セメント製造会社(後の小野田セメント)設立 8月・日本鉄道設立許可(私鉄の始め)  10月・国会開設の勅諭 この年・富士山で初めて気象観測 ●バナマ運河起工 ●掛時計生産開始(後の精工舎) ●三省堂創業 ●ファウン(仏), 鉛蓄電池
1882 明治15	1月・井上外務卿と英, 独, 仏等15ヶ国代表との間の条約予備会議で列国委員は商標専売免許及び出版権免許の付与を提議		1月・軍人勅諭發布  3月・「時事新報」創刊(福沢諭吉等) ●伊藤博文等, 憲法取調へのため渡欧 4月・板垣退助, 岐阜で襲撃  ●井上馨, 条約改正交渉案を提示 5月・独, オーストリア, 伊三国同盟 10月・日本銀行開業 11月・板垣退助, 後藤象二郎等渡欧 この年・東京銀座にアーク灯 ●田中久重創設の工場, 芝浦に移転, 田中製作所と称す(現, 東芝) ●マイセル・デフレ(仏), 長距離送電 ●コッホ(独), 結核菌コレラ菌を発見
1883 明治16	3月・パリ工業所有権保護同盟条約締結(3.20 明17.7.7発効) 9月・外務省局議にて, 外国商標偽造使用問題検討(9.2) 12月・警視総監代理, 内務卿へ外国商標偽造者取締方(12.20)上申	この年・英国, 特許意匠商標条例制定	5月・官報発行条件を定め, 官省院庁の達・公告は官報登載を公式とする 7月・「官報」第1号を発行(7.2)  8月・伊藤博文等帰国  11月・鹿鳴館落成。(欧化主義の流行) ●天気予報業務を開始 この年・深川工作分局廃止(セメント工場を浅野総一郎に払下げる) ●紙幣整理によるデフレ傾向顕著 ●内務省全国人口を3,670万人と発表 ●大日本製薬設立
1884 明治17	6月・商標条例(6.7太政官布告第19号施行 10.1)専用年限登録の日より15年農商務省の登録簿に登録することにより権利発生。先願主義 ●商標登録願手続(6.7太政官布告第13号)出願手続, 商品種別の規定 ●農商務省工務局中に商標登録所設置 ●商標登録所長(初代)高橋是清(6.9)  7月・欧米各国商標絵図見本抄訳出版(森		5月・群馬事件  6月・清仏戦争起こる  ●大阪郵船開業 7月・華族令を制定  9月・加城山事件

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
●「国華余芳」創刊(大蔵省印刷局, 色石版の正倉院物等の図案集)  ●最初の美術雑誌「臥遊席珍」創刊(高橋由一) ●京都府立画学校開校(摂理田能村真人) ●佐田介石の国産品擁護, 外国品排撃の論(ランプ亡国の戒め)新聞に発表 ●広告仲介業専門店, 空気堂組創業開始	
3月・第2回内国勲業博覧会(上野)(内務省大蔵省共催, 出品数33万1166点, 受賞4,031人, 新旧製品が混在, 旭玉山七宝会, 西村総左衛門, 後藤省三郎, 加納夏雄等)  この年・有田工芸学校設立(この種実用学校の初端)  ●東京職工学校設立(翌年より蔵前で授業開始, 明治23年東京工業学校と改称) ●金欄手や西洋の絵具を用いた九谷焼, 我が国輸出陶磁器の代表品となる(代表的な作家 竹内吟秋, 九谷庄三, 松屋菊王郎, 松本佐平, 木崎万亀等)	
10月・第1回内国絵画共進会(上野)(農商務省主催)フェノロサ審査顧問となる。日本画の振興を目的とし, 洋画の出品を拒否  この年・フェノロサ, 電池会で日本画保護論の講演 ●工部美術学校, 彫刻科を廃止(ラグーサ帰国) ●コンドル設計の上野博物館完成(煉瓦造, ゴシック様式, のち大震災で大破) ●加藤友太郎, ワグネルの指導で洋式陶窯を築く(牛込新小川町)	この年・オランダ, アムステルダム植民地産物および一般輸出品万国博覧会
この年・工部美術学校, 財政難と洋風美術への圧迫で廃止となる(卒業生計35人)  ●コンドル設計の鹿鳴館(煉瓦造, 英国ルネサンス様式)完成  ●ワグネル等東大理学部で吾妻焼の研究に着手  ●写真用乾板を輸入 ●福沢諭吉, 「時事新報」社説に広告効用論を掲載 ●「雑氏美学」創刊(中江兆民訳)  ●この年輸出額の内工芸品約7%を占める	この年・「形態は機能に従う」の「シカゴ派」(米)活動期に入る(高層建築を構築。1893年頃迄) ●ボストン技術工芸万国博覧会開催  ●A.H.マクマードー自著「レンのシティ・チャーチ」(Wren's City Churches)の扉絵をデザイン(アール・ヌーヴォー様式の最初の例) ●電池会, パリで第1回日本美術縦覧会(計73点)
2月・フェノロサ等古美術展覧の鑑画会結成  6月・岡倉天心, フェノロサ等は古社寺を調査(法隆寺の夢殿を開扉)  ●弘報社(広告代理業の先駆)設立 7月・文部省に図画教育調査会を設置(調査員フェノロサ等普通教育に毛筆画採用を主張, 洋画派の小山正太郎辞任) この年・足利に染色講習所開設	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	體) (7.4)		<p>10月・秩父事件</p> <p>12月・京城事件(甲申の変)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太政官, 前田正名「興業意見」30巻を許可(在来諸産業の現状などの全国的調査に基づく殖産興業政策の方針案)(12.26)。これは、それまでの殖産興業が西欧の先進技術の移入に中心が置かれていたのに対して、農業をはじめとする在来の地場産業を優先させる考え方に立ったもので、高橋是清が参画</li> </ul> <p>この年・松方デフレ政策による不景気と凶作で農民生活深刻になる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝鮮海峡に海底電線敷設</li> <li>印刷局に初めて白熱電燈点灯</li> <li>上流婦人の中で洋装盛んとなる</li> <li>西川虎吉, リードオルガンの製造開始</li> <li>ウォーターマン(米), 万年筆</li> <li>イーストマン(米), 巻取写真フィルム</li> </ul>
1885 明治18	<p>1月・商標条例附則第5項追加(1.24太政官布告第4号)</p> <p>4月・農商務省工務局に専売特許所設置(各局処務規程第12条改正)(4.20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専売特許条例(4.18太政官布告第7号)新規で「有益な事物」の発明を対象, 存続期間最高15年, 先発明主義を採用, 不実施等による特許失効を規定, 侵害罪を規定</li> <li>専売特許所長高橋是清(4.20就任)</li> <li>専売特許手続(4.18太政官布達第5号)今日の施行規則に相当するもので願書及び明細書の形式等について定めている</li> <li>鶴聲社, 専売特許条例註釈を発行</li> </ul> <p>8月・初めて7件の特許許可</p> <p>11月・高橋是清欧米視察(11.16~明19.11.26)</p> <p>12月・工部省廃止, 工作関係事務を農商務省へ, 工部大学文部省に移管</p>		<p>4月・天津条約締結</p> <p>5月・日本銀行, 初めて兌換券発行</p> <p>10月・メートル条約に加入通告</p> <p>11月・大阪事件</p> <p>12月・太政官制を廃し, 内閣制度制定</p> <p>この年・紙幣整理による不況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近代的機械工業の進歩</li> <li>堀田瑞松, 錆止塗料及其塗法(特許第1号)</li> <li>高林謙三, 生茶葉蒸機(持2号~4号)</li> <li>磯崎眼亀, 錦苳織機(持23)</li> <li>村田経芳, 十八年式村田歩兵銃</li> <li>ハドフィールド(英), 珪素鋼</li> <li>スターリ(英), チェン付き自転車</li> <li>ペンツ(独), ガンリン自動車を発明</li> </ul>
1886 明治19	<p>2月・公文式を公布(勅)(法律・勅令・省令・閣令の形式・公布手続などを規定)(2.26)</p> <p>3月・農商務省専売特許局長高橋是清(3.6就任)</p> <p>4月・農商務省専売特許局次長高橋是清(4.10就任)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローマにおいて第1回パリ条約改正会議。(伊, ローマ)</li> </ul> <p>この年・専売特許目録第一号(発明専売特許明細書摘要第1~110号)を農商工報号外として発刊</p>	<p>この年・「専売特許条例中意匠発明追加併ニ免許料ノ項改定儀」閣議に提出, 高橋是清により本案が閣議に提出されるが上程されず。意匠条例制定までの間, 専売特許条例の中に「創始の意匠」を加える内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文学的および美術的著作物保護のためのベルヌ条約成立(スイス・独・仏・ベルギー・伊・英他計9カ国)</li> </ul>	<p>2月・各省官制公布</p> <p>3月・帝国大学令公布(東京大学を帝国大学に改組, 5つの分科大学よりなり, 工科大学に工部大学校を併合)</p> <p>4月・小・中・師範学校令公布</p> <p>5月・井上馨, 条約改正本交渉</p> <p>7月・東経135度の子午線時を標準時に制定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京電灯会社設立</li> </ul> <p>11月・国際赤十字条約加入公布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京のコーヒー店第1号日本橋小網町洗愁亭</li> <li>タムソン(米), 電気熔接法</li> <li>エルー(仏), ホール(米), 酸化アルミニウムの電解精練</li> </ul>
1887 明治20	<p>3月・米国特許局に模し洋式帖簿, 書類の包装用紙等を新製使用(3.1)</p> <p>4月・専売特許条例中改正(4.18勅令第8号6.1施行)印紙と特許料に関する規定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商標条例中改正(4.18勅令第9号6.1施行)</li> </ul> <p>5月・商標登録願手続中改正(5.5農商務省令第2号)</p>	<p>12月・高橋是清の農商務省提出(12.2)「意見書」中の1項「意匠保護ノ事」。意匠保護制度の模範は英国である。保護の区域(対象)を狭くしてはならない。手数料を安くすること, 事務手続を簡易にすること, 正しく創作したものを登録すること, 新規性について審査すること, 年限は5年を最高とし, 以下2年, 3年, 4年の4種類にする。意匠を応用した物品にはその記号を付すこと</p>	<p>1月・東京に電灯つく</p> <p>6月・ノット・田中館愛橘, 全国の地磁気の測定を開始</p> <p>7月・条約改正中止を各国全権委員に通告</p> <p>12月・保安条例公布</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>有栖川宮邸(コンドル設計)</li> <li>丸善カウ式ステログラフィックペンを輸入販売, 万年筆のはじめ</li> </ul>	
<p>12月・工部省廃止, 工作関係事務を農商務省へ, 工部大学文部省に移管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京大学に工芸学部を新設(工部大学との合併準備)</li> </ul> <p>この年・文部省, 図画取調掛を設置(図画教育調査の決議による。岡倉を掛主幹として東京美術学校設立の準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繭糸織物陶漆器共進会開催</li> <li>大日本織物協会設立(後に染織時報創刊)</li> <li>ニュールンベルグ万国金工博覧会(政府出品, 七宝, 鍍金好評)</li> <li>ロンドン万国発明品博覧会(政府出品, 村田銃出品)</li> <li>東京の鉄道馬車会社, 車内広告を開始</li> </ul>	<p>この年・ロンドン万国発明品博覧会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニュールンベルグ金工博覧会開催</li> </ul>
<p>4月・造家学会設立(明治30年建築学会と改称, 明治20年1月より機関紙「建築雑誌」創刊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独人建築家ベックマン来日各省庁設計(和様折衷様式)の上帰国(後不採用となる)</li> </ul> <p>9月・フェノロサ, 岡倉天心美術取調委員として渡欧</p> <p>11月・政府, 建築技師妻木頼黄等と職工を独に派遣(明治22年帰国)。この頃よりドイツ風建築が主流となり, 又, 折衷主義的傾向から純然たる様式模倣へと推移する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭玉山ら第1回彫刻競技会(翌年東京彫工会結成)</li> </ul> <p>この年・臨時建築局設置(諸官省の集中計画を構想)白木屋洋服部, 婦人用東コートを開案発売</p>	
<p>2月・電池会を日本美術協会と改組改称(翌年より農商務省主催の絵画共進会に代って日本美術展覧会を開催)</p> <p>3月・東京府工芸品共進会(上野)開催(洋画出品許さる)</p> <p>10月・文部省, 図画取調掛を東京美術学校と改称改編(明治22年開校)(告示)</p> <p>この年・石川県金沢工芸学校創設(校長納富介次郎)</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>専売特許手続中改正(5.5農商務省令第1号)</li> <li>12月・著作権例(著作者の版權保護条例)改正(脚本, 楽譜にも版權付与)(12.28)</li> <li>高橋是清, 農商務省に18項目からなる意見書を提出(12.2)</li> <li>特許局長高橋是清(12.28就任)</li> <li>スイス特許法</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>山葉寅楠, 風琴(オルガン)製造に成功</li> <li>トレンダー(英), ニッケル鋼</li> <li>エジソン(米), 平盤蓄音機</li> </ul> <p>この年・日本麦酒醸造株式会社設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本煉瓦製造会社設立</li> <li>金線サイダー発売</li> <li>鳥打帽子商家で使用</li> </ul>
1888 明治21	<p>12月・特許条例(12.20勅令第84号明22.2.1施行) 「新規有益ナル工術, 機械ヲ發明シ又ハ…有益ナル改良」を対象 審査主義, 先発明主義を採用 存続期間は5年, 10年, 15年とする 審判制度を設ける. 不実施による失効を規定 仏法, 合衆国法の影響がみられる</p> <p>●商標条例(12.20勅令第86号明22.2.1施行) 「自己の商品を表彰する為商標を使用せんと欲する者。」は商標の登録を受け専用できる旨を規定 審査主義を採用, 専用年限20年. 審判制度, 不使用取消について規定</p>	<p>1月・審査部第三部設置(意匠の審査及び登録に関すること)</p> <p>12月・意匠条例公布(明21.12.18)勅令第85号明22.2.1施行) 登録の対象…「工業上ノ物品ニ応用スヘキ形状模様若クハ色彩ニ係ル新規ノ意匠」(第一条前段) 登録の効力…「登録ヲ受ケ之ヲ専用スル」(第一条後段) 不登録事由…「風俗ヲ害スヘキモノ」(第二条). 出願前告知, 公用のもの(第二条) 出願…一意匠ごとに明細書及図面を添え農商務大臣に出願する. 但し願書, 明細書, 図面は特許局に差出す(第三条) 審査…特許局審査官が審査する(第四条) 登録…農商務大臣の認可を経て意匠原簿に登録し登録証を下付する(第四条) 保護期間…三年, 五年, 七年および十年の四種類で登録の日より起算する(第六条) 先願主義…(第八条) 職務上の創作…いわゆる職務発明の規定は特許条例とは異り, 意匠に於ては雇主に属すると規定した(第十条) 権利侵害に対する刑事罰…他人の登録意匠を知りながら同じ物を作って販売した者, 又は事情を知りながらその品物を受託販売した者は十五日以上六月以下の重禁錮又は十円以上百円以下の罰金</p> <p>●「意匠条令」公布時に(明21)提案された「理由書」には, 「凡ソ新ニ創意發明シタル事物ヲ其創意發明者ノ所有ト認めテ其權利ヲ保護スルニ最必要ノ事トス」(「公文類聚」第十二門, 民業門)と述べている</p>	<p>1月・時事通信社創立</p> <p>4月・市制・町村制公布</p> <p>●枢密院設置</p> <p>7月・東京朝日新聞創刊 11月・大隈重信, 条約改正の交渉開始 ●大阪毎日新聞創刊</p> <p>この年・帝国自転車製造所設立 ●麒麟ビール発売 ●アイスクリーム, アイスクャンディー発売(米津風月堂) ●資生堂初の国産練歯磨を発売 ●国家「君が代」の制定を各国に通告 ●田中正平, 純正調オルガン ●真崎照郷, 麵類製造機(特448) ●御法川直三郎, 繭の汽熱殺蛹器 ●ダンロップ(英), 空気入りゴムタイヤ ●サリバ(米), 高層建築法 ●ジョン・ジェ・ロード(米), ボールペン発明(特許392046)</p>
1889 明治22	<p>1月・特許条例施行細則(1.4農商務省令第1号明22.2.1施行)条例の規定が簡潔であったため法律事項に相当するものがここに規定されている. 出願手続, 出願無効, 審査, 審判手続等を規定</p> <p>●商標条例施行細則(1.4農商務省令第3号)</p> <p>10月・特許条例施行細則中改正(10.28農商務省令第9号)</p>	<p>1月・意匠条例施行細則(1.4農省務省令第2号). 出願手続. 22類の物品分類. 書式見本等からなる</p> <p>2月・意匠登録出願リストの官報掲載始まる(2.16)</p> <p>5月・意匠登録リストの官報掲載始まる(5.31)</p>	<p>2月・大日本帝国憲法発布</p> <p>7月・東海道線全通(神戸, 新橋間)</p> <p>9月・地租条例改正(地租代米納・地券廃止)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>八王子織物染色講習所開設</li> <li>京都織物会社設立(京都府織殿の払下げ)</li> <li>この頃より新聞に書籍広告増加</li> <li>博文館創業(処女出版で大広告のベストセラー「日本大家論集」著名人の論文無断掲載問題おこす)</li> </ul>	
<p>この年・宮内省に臨時全国宝物取調局設置(局長九鬼隆一)</p> <p>●宮内省工芸員制度設置(佐野常民日本美術家待遇の建議による)</p> <p>●辰野金吾設計の工科大学本館(煉瓦造, ゴシック様式)完成</p> <p>●東海道線天竜川, 橋梁完成(弦材に鋼材を初めて使用) ●新聞に写真網目版使用開始 ●読売新聞, 写真師吉原秀誰撮影の磐梯山噴火の現地写真を銅版写真にして掲載(新聞への写真掲載の始め) ●帝国大学, 工科大学造科学科に日本建築の講座を設置(木子清敬担当) ●ヘルマン・ムテジウス来日(4年間滞在)</p>	
<p>この年・東京美術学校開校(校長浜尾新), 普通科2年(絵画科, 造形科)専修科3年(絵画科, 彫刻科, 美術工芸科, 金工部及び漆工部), 「絵画は日本画, 造形は木彫を指す」)</p> <p>●宮内省, 図書寮付属博物館を帝国博物館と改称, 美術部を設置</p> <p>●「国華」誌創刊(岡倉天心等, 豪華な日本美術専門誌)</p>	<p>この年・パリ万国博覧会開催(鉄材構築を巧妙に応用したエッフェル塔と機械館は, その創造主工学技術者の営みのシンボル. 「奇怪」から「美」までの評価を生む)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>商標条例施行細則中改正(10.28農商務省令第10号)</li> </ul>	<b>この年</b> ・意匠登録第1号織物地登録	<b>12月</b> ・内閣官制公布・内閣制度の体制整のう  <b>この年</b> ・幻灯流行 <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪・神戸で貸自転車</li> <li>東京湾汽船会社設立</li> <li>日本最初の経済恐慌</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>パリで第2インターナショナル結成</li> <li>(資)山葉風琴製造所設立(後の株式会社山葉楽器製造)</li> <li>パリで国際度量衡会議第一回開催</li> <li>下瀬稚充, 下瀬火薬の発明</li> <li>グリーン(英), フィルムを用いる映画法</li> <li>オーチス(米), 電気エレベーター</li> </ul>
<b>1890</b> 明治23	<b>1月</b> ・農商務省特許局長(2代)奥田義人(1.22)  <b>4月</b> ・特許条例施行細則中改正(明23.4.8農商務省令第5号)  <b>8月</b> ・商標条例施行細則中改正(8.29農商務省令第9号) <ul style="list-style-type: none"> <li>特許公報全文掲載とする</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許条例施行細則(8.29農商務省令第10号)</li> </ul> <b>この年</b> ・特許局から農商務大臣, 陸奥宗光宛「特許局将来ノ方針ニ関スル意見ノ大要」提出	<b>3月</b> ・第3回内国勲業博覧会出品新規意匠について意匠登録願手数料・登録料は不要(3.24勅令第44号)  <b>8月</b> ・意匠条例施行細則改正(8.29公布農商務省令第8号) 「願書明細書図面等ニ不完全ノ廉アリト認メタルトキハ」を「願書明細書図面等ニ関シ訂正又ハ照介ヲ要スルトキハ」に変更	<b>2月</b> ・裁判所構成法(法律第6号)区・地方の2裁判所・控訴院・大審院・区裁判所に執達史を置く  <b>3月</b> ・ビスマルク(独), 皇帝と衝突して下野  <b>4月</b> ・民事訴訟法(法29明24.11施行)  <b>5月</b> ・府県制郡制を公布(地方自治制の確立)  <b>7月</b> ・第1回衆議院議員選挙  <b>9月</b> ・立憲自由党結成  <ul style="list-style-type: none"> <li>商業会議所条例公布</li> </ul> <b>10月</b> ・刑事訴訟法(法96.11.1施行)治罪法廃止 <b>11月</b> ・第1回帝国議会開く。第1次恐慌起り, 経済界不況 <b>12月</b> ・東京・横浜市内と市間電話開通 <ul style="list-style-type: none"> <li>破傷風血清療法の見見</li> </ul> <b>この年</b> ・浅草千束町に遊覧所「凌雲閣」(別称12階)開場。初めてエレベーターを設置(明24.5.警視庁は危険を理由に運転を禁止) <ul style="list-style-type: none"> <li>ロンドンで世界史上初の地下鉄開通</li> <li>マクロイド(英), 焼土機関。豊田佐吉, 豊田式木製人力織機(特1195)</li> </ul>
<b>1891</b> 明治24	<b>4月</b> ・マドリッド協定締結(虚偽の又は誤認を生じさせる原産地表示の防止に関する協定)(4.14)  <b>10月</b> ・東京控訴院, 特許条例は外国人の発明保護をしない旨判決(10.20)	<b>3月</b> ・登録意匠図面(登録第1~100号)を特許公報第31号付録として発行(3.31)  <b>8月</b> ・審査第一課設置(意匠及び商標の審査に関する事務)	<b>3月</b> ・度量衡法(3.24明26.1.1施行)基本単位は尺貫とし, その基礎はメートル原器, キログラム原器とする。(1尺=10/33m, 1貫=15/4kg) <ul style="list-style-type: none"> <li>立憲自由党, 自由党と改称</li> </ul> <b>5月</b> ・大津事件(ロシア皇太子襲撃さる) <ul style="list-style-type: none"> <li>水力電気事業起る(京都疏水で発電)</li> </ul> <b>9月</b> ・上野青森間鉄道開通 <ul style="list-style-type: none"> <li>露仏同盟</li> </ul> <b>10月</b> ・濃尾大地震 <b>この年</b> ・井村吉兵衛, 京都で, 両切紙巻煙草(サンライズ)を製造発売(岩谷の天狗煙草と所謂タバコ広告合戦が新聞, 雑誌, 看板, 楽隊広告などを媒体として展開さる) <ul style="list-style-type: none"> <li>輸入ハーモニカ販売</li> <li>リップマン(仏), 天然色写真法</li> <li>ジャドソン(米), ジップファスナー</li> </ul>
<b>1892</b> 明治25	<b>11月</b> ・特許条例施行細則(11.18農商務省令第17号12.1施行) 条例第1条の「新規有益」の解釈規定の役割を果す条文をおいた。他に補正, 審判請求書, 願書順に審査, 拒絶査定に理由付記, 再審査の為の不服理由書提出等を規定  <ul style="list-style-type: none"> <li>商標条例施行細則改正(11.18農商務省令第19号12.1施行)。手続規定の整備, 条約</li> </ul>	<b>11月</b> ・意匠条例施行細則改正(11.18農商務省令第18号12.1施行) 意匠条例施行後に生じた不備をととのえ, 詳細な手続規定とする。類似意匠に関する規定。「左ニ記載スルモノハ新規ノ意匠トナスコトヲ得ス一, 意匠条例第2条第2号ニ該当スルモノ又ハ之ニ類似スルモノニ, 公ニ頒ラレ又ハ公ニ用ヒラレスト雖モ已ニ他人ニ於テ登録ヲ出願シ其権利ヲ放棄シタル意匠ト同一若クハ之ニ類似スルモノ」審査は願書順に着手する旨の規定  <b>この年</b> ・特許公報第67号から登録意匠全文掲載となる(登録223号以降)	<b>2月</b> ・第二回総選挙(政府の選挙干渉激烈)  <b>6月</b> ・鉄道敷設法公布

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>明治美術会創立(小山正太郎, 浅井忠等。日本画運動に対抗の洋風美術擁護運動)</li> <li>品川硝子会社ビールびん製造(シートンス式窯)開始</li> <li>昇光社がセルロイドの生産開始</li> <li>写真新報, コロタイプによる印刷開始</li> <li>星野錫, ニューヨークで学んだアートタイプ(コロタイプの別名)印刷を我が国に紹介</li> <li>小川一真, コロタイプの製版印刷工場を開設(京橋区日吉町)</li> </ul>	
<b>4月</b> ・第3回内国勲業博覧会(美術工芸品と一般工芸品を分離して陳列)  <b>10月</b> ・帝室技芸員制度設置(宮内省工芸員制度改組改称)。高村光雲(彫刻)加納夏雄, 柴田是直(工芸)等任命  <b>この年</b> ・東京職工学校を東京工業学校と改称(校長手島精一)  <ul style="list-style-type: none"> <li>岡倉天心, 東京美術学校校長となる(職人, 仏師としての作家を, 奏任官の教師に抜擢。職人芸から芸術へ)</li> <li>日本漆工会設立(小川松民, 柴田是直等。明治33年2月日本漆工会誌を創刊)</li> <li>東京電燈会社, 電柱広告許可される</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞で輪転印刷機(仏製)初めて使用(東京朝日)</li> <li>万年社創立</li> <li>フェノロサ帰米</li> </ul>	<b>この年</b> ・この頃より, 後に命名されるアール・ヌーボー様式ベルギーで始動す(ガラス工芸家ギャレ, ラリック・陶工ドラエルシ。画家ホドラー, ムンク, ピアズレー, 画家, 建築家アンリ・ヴァン・デ・ヴェルデ, オクス, キマール等。モリスの影響を受けて自然主義的色彩を有し, 日本の浮世絵なども刺激, 歴史様式からの離脱を求めた流動曲線による新しい装飾様式)
<b>3月</b> ・コンドル設計のニコライ堂(駿河台)竣工  <b>この年</b> ・飯田高島屋錦紗の図案募集	<b>この年</b> ・雑誌「Architectural Record」創刊
<b>1月</b> ・明治美術会, 洋風美術指導の教場(後に明治美術学校, 講師浅井忠等)	<b>この年</b> ・女性ファッション雑誌「VOGUE」創刊
<b>11月</b> ・東京でワグネル没(独人)	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>の規定の不備を施行細則によって補充した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農商務省特許局長(3代)藤田四郎(11.17)</li> </ul>		<p>11月・北里柴三郎伝染病研究所設立</p> <p>12月・田中正造、議会で足尾銅山鉛毒問題を訴える</p> <p>この年・仏・ロシア間に軍事条約成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帝国通信社創立(新聞用達会社, 時事通信合併)</li> <li>屋井先蔵, 乾電池(特許は1893年, 特2086)</li> <li>御法川直三郎, 座繰式製糸機(特1459)</li> <li>クロスビウアン(英), 他ビスコース人絹</li> </ul>
1893 明治26	<p>3月・特許条例施行細則中改正(3.7農商務省令第2号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商標条例施行細則中改正(3.7農商務省令第4号)</li> </ul> <p>5月・農商務省特許局長, (4代)有賀長雄(5.15)</p> <p>11月・農商務省特許局長, (5代)柳谷謙太郎(11.20就任)</p>	<p>3月・意匠条例施行細則改正(3.7農商務省令第3号)査定書に査定をした審査官名記載を廃止</p> <p>4月・出版法, 版權法公布(4.14法律第16号)</p>	<p>2月・衆議院, 内閣弾劾上奏案を可決</p> <p>3月・弁護士法公布</p> <p>4月・集会・結社法公布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>確氷峠アプト式鉄道開通</li> </ul> <p>11月・三井, 田中製作所を獲得し, 芝浦製作所と改称</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精工社, 王子製紙設立</li> </ul> <p>この年・東北本線全通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>棚橋寅五郎, 沃度加里製造法(特2030)</li> <li>ディーゼル(独), ディーゼル機関</li> <li>デュワー(英), マホービン</li> <li>エジソン(米), 活動写真</li> </ul>
1894 明治27	<p>1月・特許条例施行細則中改正(1.31農商務省令第1号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商標条例施行細則中改正(1.31農商務省令第3号)</li> </ul> <p>7月・日英通商航海条約調印(この条約発効前にバリ同盟条約加入を義務づけられる)(7.16)</p>	<p>1月・意匠条例施行細則改正(1.31農商務省令第2号). 意匠登録証付属の明細書(図面)の訂正を認める</p>	<p>7月・日英通商航海条約調印</p> <p>8月・日清戦争始まる</p> <p>この年・山高帽子普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>汽車汽船の時刻表「汽車・汽船旅行案内」創刊</li> <li>政府, 実業教育費国庫補助法制定</li> <li>日本の生糸, 世界市場を制覇. 機械製糸生産量(2740t), 座繰製糸生産量(2090t), を上回る</li> <li>初の記念切手発売</li> <li>堀井元紀, 堀井新治郎, 騰写版(特2499)</li> <li>御木本幸吉, 真珠素質被着法(特2670)</li> <li>二宮忠八が足踏式飛行機試作</li> <li>クリツチュ, (チェコ), 輪転式写真凹版印刷機</li> <li>ゴルトシュミット(独), テルミット溶接法</li> </ul>
1895 明治28			<p>1月・京都に市街電車</p> <p>4月・下関条約調印</p> <p>12月・遼東半島を清国に還付</p> <p>この年・ブリキ製玩具ラッパ流行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>呉服屋商売大盛況(戦後の好景気)</li> <li>総合雑誌「太陽」(~昭和3年2月), 巖谷小波編集の「少年世界」創刊(~昭和8年1月607号)</li> <li>マルコーニ(伊), 無線電信法</li> <li>レントゲン(独), X線を発見</li> <li>ジレット(米), 安全カミソリ</li> </ul>
1896 明治29	<p>11月・特許条例施行細則中改正(11.4農商務省令第8号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商標条例施行細則中改正(11.4農商務省令第8号)</li> </ul>	<p>11月・意匠条例施行細則改正(11.4農商務省令第8号)</p> <p>第19条「登録ヲ許スヘシト認ムル意匠ト同一若クハ之ニ類似スル意匠ノ登録出願ニ対シ拒絶ノ査定ヲナシタルトキハ其拒絶ノ査定確定スルマテ一方ノ登録ノ査定ヲ中止スヘシ」を削除</p> <p>この年・ベルス条約第1回改正会議, バリで開催(バリ追加規定)</p>	<p>4月・第1回オリンピック大会(アテネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本勧業銀行法・農工銀行法公布</li> </ul> <p>7月・日清通商航海条約調印</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日清戦争後の好況の反動現わる</li> </ul> <p>9月・新橋, 神戸間急行列車初運転(平均時速34.5km)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>この年・陶器製標札発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大日本窯業協会設立</li> <li>第1回漆工競技会開催(日本漆工会)</li> </ul> <p>4月・明治美術会第5回展(上野). その際カラー, クールベ等印象派の作品を展示</p> <p>5月・米国シカゴ市コロンブス記念万国博開催. 政府参加(洋画家は作品の取扱いをめぐり作品出品拒否. 清川惣助, 無線七宝を出品. 日本は王朝風特別館(鳳凰殿)に一品主義的美術工芸品を出展, 各歴史時代に対応した貴族大名の生活様式を展示)</p> <p>7月・東京美術学校専修科第1回卒業(横山大観, 大村西崖, 六角紫水等11人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>黒田清輝, 久米桂一郎, 仏留学より帰国</li> </ul> <p>9月・陶芸家, 清風与市帝室技芸員となる</p> <p>この年・沢田善堂編「ハイカラ図案」</p>	<p>この年・シカゴ・コロンブス世界博覧会(米国の商業的古典様式が強くなり始める). シカゴ派次第に衰退</p>
<p>12月・コンドル, 曾祿達蔵設計の三菱第1号館(煉瓦造3階建, 丸ノ内)完成. ビル街の初期貸事務所建築の先駆</p> <p>この年・富山工芸学校開校(校長納富介次郎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都市染織学校設立</li> <li>造船技師若山絃吉設計の秀英舎工場(3階建, 我が国最初の鉄骨構造)竣工</li> <li>片山東熊ら設計の帝国奈良博物館(煉瓦造3階建)完成</li> <li>大阪時計懐中時計製造開始</li> <li>画家従軍, 戦争画流行する</li> <li>大阪砲兵工廠アルミニウムで尾錠, 水筒, 飯盒製作</li> <li>京都市美術学校, 京都市美術工芸学校と改称, 彫刻科・工芸科図案科を設置</li> </ul>	
<p>4月・第4回内国勲業博覧会, (京都で農商務省主催, 出品申込数5,141点, 合格891点. 全出品16万9098点. 美術および美術工芸も鑑査制度を設置, 合格作品のみ出展を許可. なお, 黒田清輝の「朝妝」陳列の可否で問題となる)</p> <p>この年・瀬戸町立陶器学校設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有田町立有田徒弟学校設立</li> <li>片山東熊, 足立鳩吉設計の帝国京都博物館完成</li> <li>エデン, ベックマン設計の司法省完成</li> <li>ポイント式活字発表</li> <li>博報堂創立</li> <li>鉄筋コンクリート工法, 日本に紹介される</li> </ul>	
<p>この年・東京美術学校に図案科設置(絵画科にも新たに西洋画科を設置, 黒田清輝, 久米桂一ら講師嘱託となる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪工業学校設立, 機械工芸, 化学工芸の2科を設置</li> <li>京都陶磁器試験場創設</li> <li>京都漆工会発足(会頭三井八郎)</li> <li>建築家伊藤平左衛門, 工芸家海野勝珉, 宮川香山, 清川惣助, 並河靖之, 鈴木長吉, 川之辺一朝, 池田泰真ら帝室技芸員となる</li> </ul>	<p>この年・ウィリアム・モリス没</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヴァン・デ・ヴェルデ, バリに陶工店を設計し「アール・ヌーボー」と名付ける</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>11月・米国輸入のキネストコープ初公開「活動写真」の語初めて使われる</p> <p>この年・ライオン歯磨発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本で初めて蝸管蓄音器輸入</li> <li>池貝工場で石油発動機製造開始</li> <li>博文館印刷所設立(現在の共同印刷)</li> <li>高田嘉助, 製塩釜(特2754)</li> <li>ギョームインバー(仏), 合金</li> <li>ググリエルモ・マルコーニ無線通信</li> <li>ヘンリーフォード最初の自動車製作</li> </ul>
1897 明治30	<p>9月・欧米各国特許制度取調を兼ねパリ条約ブラッセル会議(第3回改正会議)に我が国の代表として審判官・審査官を初めて派遣(明31.4.11帰朝)</p> <p>この年・国際工業所有権保護協会(AIPI)設立(本部スイス)</p>		<p>2月・八幡製鉄所設立</p> <p>3月・新貨幣法を公布(金本位制の確立)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The Japan Times創刊(東京, 支配人頭本元貞)</li> </ul> <p>6月・帝国大学を東京帝国大学と改称</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都帝国大学を設置</li> </ul> <p>7月・労働組合期成会を設立(日本最初の労働組合)</p> <p>12月・志賀潔赤痢菌を発見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>綿糸輸出高輸入高をしのぐ</li> </ul> <p>この年・「ハイカラ」が文明の代名詞となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この頃より労働争議ふえる</li> <li>アルミ製弁当箱, 元禄模様の着物流行</li> <li>茂木重次郎, 亜鉛華精製法(特2842)</li> <li>宮原二郎, 宮原式水管汽罐(特3014)</li> <li>K.Fブラウン(独), ブラウン管</li> </ul>
1898 明治31	<p>この年・特許局, 諸外国の特許法等を印刷発行する</p>	<p>11月・第13回帝国議会, 意匠法案審議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠審査課設置</li> </ul>	<p>1月・葉煙草専売制となる</p> <p>6月・万国郵便条約調印</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大隅内閣成立(最初の政党内閣)</li> <li>民法の公布</li> </ul> <p>12月・西郷隆盛銅像除幕式(上野公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京大阪間長距離電話開通</li> </ul> <p>この年・博文館「帝国百科全書」発刊(全200巻, 10年後に完結)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊田佐吉, 動力織機を完成, 特許を得る</li> <li>有坂成章, 三十一年式連射野砲</li> <li>テーラー(米)他, 高速度鋼</li> <li>キュリー夫人(仏)ラジウムの発見</li> </ul>
1899 明治32	<p>3月・特許法(3.2法律第36号7.1施行), パリ同盟条約加盟に伴う整備, 意匠法・商標法も同じ。「工業上ノ物品及方法…」を対象。存続期間15年。代理人規定。優先権規定を設ける。3年間不実施による特許権取消等を規定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商標法(3.2法律第38号7.1施行), 年限20年, 更新登録, 優先権規定を設ける</li> </ul> <p>6月・特許法施行細則(6.20農商務省令第13号7.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商標法施行細則(6.20農商務省令第15号7.1施行)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許代理業者登録規則(6.9勅令235号7.1施行)</li> </ul>	<p>3月・意匠法(3.2法律第37号7.1施行)</p> <p>登録の対象…「工業上ノ物品ニ応用スヘキ形状, 模様, 色彩又ハ其ノ結合ニ係ル新規ノ意匠」(第1条前段)</p> <p>不登録事由…「菊花御紋章ト同一若ハ類似ノ形状, 模様ヲ有スルモノ」(第2条), 「秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノ」(第2条)出願前公知公用「若ハ之ト類似スルモノ(類似意匠)但シ自己ノ登録意匠ト類似スルモノハ此ノ限ニアラス」(第2条)</p> <p>保護期間…「十年トシ…但シ類似意匠ノ専用年限ハ原意匠ノ有効年限ニ伴フ」(第3条)</p> <p>優先権主張…「同盟国ニ出願シタ者ガ四ヶ月以内ニ同一意匠ヲ出願シタトキハ, 最初ノ出願日ニナシタト同一ノ効力ヲモツ」(第10条)</p> <p>5月・意匠法施行細則(6.20農商務省令第14号7.1施行), 物品を指定する類別29類, 図面人公報が廃止され意匠登録の目録制採用</p> <p>6月・意匠法を台湾に施行(勅290 7.1施行)</p> <p>12月・著作権法公布(3.4法律第39号7.15施行), (版權を著作権に改め, 登録主義を廃止, 同時に文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約に加入。死後, 著作権30年継続)</p> <p>この年・万国工業所有権保護同盟条約加盟に伴い特許法, 意匠法, 商標法整備, 制定公布</p>	<p>2月・中学校令改正公布。尋常中学校は中学校と改称, 男子の高等普通教育機関となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実業学校令公布。中学程度の実業学校に関する最初の統一的な法令で中学制度と並列した実業学校制度確立, 実業学校教員養成規定制定</li> </ul> <p>3月・府県制, 郡制改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国籍法公布</li> </ul> <p>7月・治外法権の撤廃, 外国人内地雑居許可。台湾銀行設立</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>辰野金吾設計の日本銀行本店(地下1階地上3階, 煉瓦, 石造建築ルネサンス様式)完成</li> <li>ハルトウング設計の東京裁判所(ドイツ様式)完成</li> </ul>	
<p>この年・横浜陶画協会設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>造家学会を建築学会と改称(東京美術学校建築裝飾術講座担当 伊東忠太の提唱-「アーキテクチュールの本義を論じて其訳字を撰定し, 我が造家会の改名を望む」等を契機とする。無反省な西洋様式の流入に対する反省の姿勢が認められる)</li> <li>古社寺保存法公布(社寺の宝物, 建造物等を国宝に指定して告示)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡田三郎助, 仏留学(最初の文部省西洋画研究留学生)</li> <li>横浜の西洋家具指物職同盟会を結成</li> </ul>	<p>この年・セセッション運動独塊に起る(分離派仏印象派の影響を受けた反アカデミズム運動。簡潔な直線的表現を使い工芸ではラスキンの影響が大きい。工芸家ヨゼフ・ホフマン, 画家クリムト, 建築家オットーワグナー等)</p>
<p>この年・香川県工芸学校創設(校長納富介次郎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京帝国大学工科大学造家学科を建築学科と改称</li> <li>川島甚兵衛(染織)帝室技芸員となる</li> <li>岡倉天心, 橋本雅邦, 横山大観, 下村観山等東京美術学校を退職し, 日本美術院を創立</li> <li>村井兄弟商会, 命によりたばこに挿入の裸体画カード中止(タバコ広告合戦の一環の事態)</li> </ul>	<p>この年・ペーター・ペーレンス, ヘッセン大公, エルンスト・ルードウィッヒに招かれ, ダルムシュタットの芸術村を建設。ここに集った芸術家たちの活動を「ユーゲント・シュティール」と呼ぶ(分離派の影響を反映した作風)</p>
<p>この年・東京美術学校に塑造科新設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史画流行(読売新聞社, 東洋歴史画題を懸賞募集)</li> <li>妻木頼黄, 武田五一設計の日本勸業銀行完成</li> <li>妻木頼黄, 東京商業会議所完成</li> </ul>	<p>この年・仏, ガルニエ「工業都市計画」発表</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許法等を台湾に施行(勅2907.1施行)</li> <li>7月・不平等条約改正の前提として、万国工業所有権保護同盟条約に加盟(7.15発効)</li> <li>特許法商標法を台湾に施行(6.20公布7.1施行)</li> </ul>	(7.1施行) <ul style="list-style-type: none"> <li>特許局、特許発明分類表、特許意匠商標審決録発行</li> </ul>	8月・森永太郎、キャンデ・ケーキの製造開始(後、森永製菓) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本電気機設立</li> <li>普通選挙期或同盟会結成</li> </ul> この年・米、国務長官ヘイ、中国の門戸開放を提議 <ul style="list-style-type: none"> <li>仏、清国より広州湾租借</li> <li>ピヤホール開業</li> <li>日本最初の蓄音器専門店開店</li> <li>鞆銀貨入れなど袋物流行</li> </ul>
1900 明治33	12月・ブラッセルにおいてパリ条約改正	この年・スイス工業意匠及びびひな型に関する連邦令	3月・治安警察法公布 6月・農商務省、工業試験所設置(6.4) <ul style="list-style-type: none"> <li>義和団事件により日本出兵(北清事変)</li> <li>幸徳秋水、非戦論を発表</li> <li>加工のため輸入する物品の関税免除の法律公布(勅令で指定された、1年以内に再輸出する物品に限り輸入税免除)</li> <li>9月・伊藤博文、立憲政友会を組織</li> <li>11月・清国と列国間に講和条約成立</li> <li>第3次恐慌起る</li> </ul> この年・山田猪三郎、気球(特4164) <ul style="list-style-type: none"> <li>ホールセン(スウェーデン)、電気録音機</li> </ul>
1901 明治34		この年・「弁天小僧」河竹黙阿弥作、無断上演され著作権問題起る	2月・八幡製鉄所操業開始 9月・義和団事件講和議定書調印 12月・田中正造、足尾鉍毒事件で直訴 この年・山陽線全通 <ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリア連邦成立</li> <li>ノーベル賞の第1回授与</li> <li>岸敬二郎、発電機及電動機の磁心鉄心(特5807)</li> <li>大森房吉が地震計を作る</li> <li>H・ゼール・ブウス真空掃除機を発明</li> <li>ビカール(仏)、ガス溶接</li> <li>ブラウン(独)、鉍石検波器</li> </ul>
1902 明治35	この年・東京瓦斯会社、ガス炊飯用カマド(ガスコンロ)の専売特許を取得	この年・メキシコで開催の第2回パン・アメリカン同盟会議で著作権に関し、パン・アメリカン条約調印さる(メキシコ条約)	1月・第1回日英同盟締結 12月・国勢調査を十年毎に施行の件公布 この年・東北地方凶作 <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車流行</li> <li>寺島昇、荘織機(特5764)</li> <li>松村八次郎、石炭窯</li> <li>鈴木藤三郎、氷砂糖製造方法及装置(特6176)</li> <li>坂根清一、チリメン用絹糸紡機(特13135)</li> <li>木村駿吉、無線電信機(通信距離80マイル、明治38年の日本海海戦に活躍)</li> <li>木村栄緯度変化のZ項発見</li> <li>スタッフ、フィールド、ラジオ放送機</li> <li>タイタス(米)ストリップ連続圧延法</li> </ul>
1903 明治36	12月・特許局長、(6代)久米金弥(12.5)		4月・内村鑑三等、「万朝報」で日露戦争反対論を唱える 8月・東京市内電車開業 <ul style="list-style-type: none"> <li>台湾バナナ初入荷</li> </ul> 11月・幸徳秋水・堺利彦等、平民社を設立。「平民新聞」を創刊 この年・農商務省工局に中央度量衡器検定所官制公布 <ul style="list-style-type: none"> <li>浅草電気館開業(最初の映画常設館)</li> <li>白木屋改装(東京、木馬シーソーなど遊戯室設置)</li> <li>御法川直三郎、十二緒練製糸機</li> <li>三谷徹、蒸気滲透法(煮藪)</li> <li>コロン(独)、電送写真</li> <li>ライト兄弟、初めて複葉飛行機(16馬力)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
2月・「日本漆工会雑誌」創刊(昭和4年、「漆と工芸」と改題～昭和16年4月495号) 4月・パリ万国博覧会、政府参加(日本の出品人員462人、出品数4,242点、14人渡欧。新古美術品を出品) <ul style="list-style-type: none"> <li>帝国博物館編「日本美術史」仏文で刊行</li> <li>6月・シンガーマシン(米製品)、蒸気自動車(米製品)初めて輸入</li> <li>8月・日本金工協会設立(海野勝珉、香川勝広等)</li> </ul> この年・黒田清輝、美術制度調査のため渡仏 <ul style="list-style-type: none"> <li>東京、京都、奈良の帝国美術館を帝室博物館と改称</li> <li>凸版印刷合資会社創立</li> <li>英文タイプライター(米製品)、丸善が輸入</li> <li>公衆電話機設置始まる</li> <li>「工業意匠の沿革」農商務省商工局編</li> </ul>	4月・パリ万国博覧会開催(アールヌーボ様式が全盛。美術工芸と一般工芸は別々にとりあつかわれる) この年・ラスキン没
4月・私立女子美術学校(女子美術大学の前身、校長藤田文蔵)東京本郷に開校 この年・大阪高等工業学校設立(大阪工業学校改称) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本広告会社、電報通信社創立。1907年9月、両社は合併して株式会社日本電報通信社となる。(俳電通の前身)</li> <li>大日本薬業協会、第1回全国薬業品共進会開催</li> <li>日本図案会創立(会長大隅重信)</li> <li>岩谷対村井のタバコ広告戦激化する</li> <li>東京工業学校を東京高等工業学校と改称</li> <li>黒田貞次郎、カナ文字タイプライター製作</li> <li>東京高等工業学校に「工業図案科(建築科)」新設。普通商品に応用すべき工業図案を研究し普通実用品の美化をはかることが目的</li> </ul>	
10月・京都高等工芸学校創立(校長中沢岩太、教授浅井忠等。京都工芸繊維大学の前身) <ul style="list-style-type: none"> <li>横河民輔設計の三井銀行本店完成(事務所建築で鉄骨造の初期、駿河台)</li> </ul> この年・新型アサヒ号自転車発売さる <ul style="list-style-type: none"> <li>輸入扇風機、腕時計増える</li> <li>三色版実用化始まる(雑誌口絵の美人画)</li> </ul>	
7月・携帯型写真機、小西六本店発売 この年・有田工芸学校創立 <ul style="list-style-type: none"> <li>第5回国内勲業博覧会(農商務省主催、大阪天王寺今宮、出品人員13万416人、出品点数27万6719点、受賞3万6487点。明治期の最大の博覧会となる。出品者の選定を厳格に、出品物も海外需要品に限る。工業館が最大規模の建物。教育館、通運館、冷蔵庫が新設。本館にイルミネーション使用)</li> <li>東京帝国大学に鉄骨構造の講座設置(佐野利器)</li> <li>品川白煉瓦機設立</li> <li>島田硝子製造所、国産初の板ガラス(手吹き)製造</li> <li>石版刷り「キリンビール」のポスター、(洋酒のポスターを模した程度のもの)出る</li> <li>アール・ヌーボーの紹介(塚本靖)</li> <li>木ねじ・洋釘・ボルトの規格制定(工業製品規格統一)</li> </ul>	この年・ウイーン工房設立(ホフマン等、分離派の発展、構造の簡素化、用途への適合をめざし乍ら造形家の個性を尊重) <ul style="list-style-type: none"> <li>仏、サロン・ドートンヌ設立(セザンヌ、ルオー、マルケ等)フォービズム始まる</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			で飛行に成功(米国特許821393)
<b>1904</b> 明治37	5月・工業所有権保護協会(発明協会の前身)発足		2月・日露戦争始まる  3月・非常特別税法公布 4月・煙草専売法公布 6月・関西・九州金融混乱 ・素人写真が普及  ・203高地鬻流行  7月・最初の専売煙草、敷島、大和、チェリー等発売 この年・清、日露戦争に中立宣言 ・英仏協商 ・三越呉服店設立(三井呉服店改組。翌年デパートメントストア化を広告) ・国産印画紙発売(小西六写真工業の前身小桜社から) ・桂田富士郎等日本住吸血虫を発見 ・J.Aフレミング(英)2極真空管を開発 ・エジソン(米)、アルカリ電池 ・ルーベル(米)、オフセット印刷考案
<b>1905</b> 明治38	1月・特許法施行細則改正(1.4農商務省令第1号法律第2号7.1施行) ・商標法施行細則中改正(1.4農商務省令第3号3.1施行) 2月・実用新案法(2.15法律第21号7.1施行)工業上の物品の形状、構造及び組合せに関し実用ある新規の考案を対象。存続期間3年(3年延長可)先願主義、審査主義、審判制度を採用 3月・特許局長、(7代)磯部正春(3.16) 4月・実用新案法施行規則(4.29農商務省令第14号7.1施行) 7月・実用新案公報第1号(登録第1~41号)発行(7.27) 11月・月刊「工業所有権雑誌」創刊(11.3) ・特許局長、(8代)織田一(11.11)	1月・意匠法施行細則改正(1.4農商務省令第2号) ・願番願審査着手規定廃止	1月・三越呉服店、経営のデパートメント化を広告 ・旅順口陥落  2月・森本南陽堂、仁丹を発売    5月・日本海海戦 6月・米大統領ルーズヴェルト、講和を勧告  8月・日英同盟改定  9月・ポーツマス講和条約調印 ・日本海海戦に初めて無線電信を活用 この年・独、アインシュタインの相対性理論 ・露、血の日曜日事件 ・「婦人画報」創刊 ・南部麒次郎、38式小銃 ・久保田権四郎、鉄管鋳造法(久保田鉄工機の創始) ・コットレル(米)、電気集塵機 ・アイデ(ノルウェー)、空中窒素固定法 ・フレイミング(米)、2極真空管(米特許803684)
<b>1906</b> 明治39	3月・第1回発明展覧会 5月・工業所有権保護協会、第1回全国特許意匠実用新案品展覧会(大阪) 10月・特許弁理士令(10.25勅令第300号)	5月・日米著作権保護条約公布	3月・韓国統監府開庁(統監伊藤博文) ・鉄道国有法発布  6月・ロシアより南樺太受領 11月・南満州鉄道株式会社設立 この年・東京市電値上反対運動激化 ・戦艦薩摩進水(造艦技術の独立) ・水力発電、工場電化が発達 ・ナショナルキャッシュ・レジスター輸入販売さる ・この頃プラグマティズムについて紹介される(早稲田学報など) ・高峰譲吉、タカチアスターゼ(特16135)消化酵素の発明 ・ヴィルム(独)、ジュラルミン
<b>1907</b> 明治40	7月・特許局印刷工場発足  12月・特許局長、(9代)中松盛雄(12.25)	この年・ハンガリー工業的意匠及びびひな型法	2月・豊田式織機(機)設立  ・足尾銅山ストライキ  6月・日仏協約 7月・第1回日露協約成立 8月・英仏露三国協商成立  10月・日米蓄音器製造機設立(後の日本コロムビア) ・大阪に映画常設館「当楽座」開館 この年・第4次恐慌起り、株式暴落 ・慢性的不況へ ・婦人にリボン、学生にマンドリン、小学

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
11月・「日本の覚醒」創刊、(ニューヨークで)岡倉天心著  この年・意匠広告を懸賞募集(大阪朝日新聞) ・日本陶器会社石炭窯採用 ・妻木頼黄設計の横浜正金銀行完成 ・米国セントルイス万国博、政府参加(日本特設館は平安朝寝殿遺風とする。岡倉天心「Modern Problems in Painting」の講演) ・三越、白木屋、香取屋は店頭装飾に間口2間を超す大型のショー・ウインドーを設置 ・西室逸作、絞染用防染糊(特7755)	この年・セントルイス・ルイジアナ、購買記念万国博覧会開催
7月・「みづゑ」創刊  この年・「技芸の友」創刊(アールヌーボ様式紹介)  ・東京朝日新聞に連合広告全面広告現われる   ・竹久夢二投稿の挿絵掲載(中学世界) ・武田五一設計の福島邸竣工(セセッション様式を採用)  ・名古屋高等工業学校に建築科設置	この年・ドイツ表現派起る
この年・フォトグラビアによる印刷物出版(写真日報) ・パテー活動写真会創立(パテー商会前身)  ・図案家岸光景帝室技芸員となる ・東洋硝子製造会社、鉦泉びん(機械吹き)製造開始 ・原田碧設計の佐世保橋(鉄筋コンクリート橋の初め)完成 ・「茶の本」創刊(ニューヨークで)岡倉天心著	
3月・東京府勲業博覧会開催(上野、青木繁「わたつみのいろこの宮」出品)  この年・東京府立工芸学校創立  ・東京高等工業学校に建築科設置 ・美術統合会社設立(図案工芸の新運動、井手馬太郎) ・第1回文部省美術展覧会(通称文展、当初図案と建築の2部門が設置される予定であったが除外される) ・三越呉服店、壁面装飾用美人画ポスター制作(石版多色刷。この種ポスター流行の先駆となる) ・杉浦非水(東京美術学校図案科卒)三越の囁託となる ・この頃食品の広告盛んとなる	この年・ドイツ工作連盟(DWB)結成(機械の意義を承認、モリスの精神を継承、造形、工学、経営技術者の協力のもと機械製品の良質化をめざす。国家の助成と産業界の支持により発展。提唱者ムテジウス) ・H・ヴァン・デ・ヴェルデはヴァイマルに「工芸学校」を創設し、校長となる(1914年まで)

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>生にボルカダンス流行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●警視庁自動車取締規則を制定(エンジンの構造図面提出や時速を12.7kmとするなど)</li> <li>●ガソリン自動車第1号製作(東京自動車製作所技師による)</li> <li>●東京北海道間直通電話開通</li> <li>●フォルスト(米), 三極真空管</li> <li>●ペークランド(米), ペークライト</li> <li>●西川藤吉, 養殖真珠</li> <li>●宮崎賢一, 罐詰用罐材の製造法(特11737)</li> <li>●篠原(篠沢)勇作は漢字タイプライター(特13156号)(和文タイプライターの初め)</li> <li>●リュミエール(仏), 天然色写真</li> </ul>
1908 明治41	8月●韓国特許令, 商標令施行。(8.12勅令第196～198号8.16施行)	<p>11月●ベルヌ条約第2回改訂会議(独ベルリン)(11.13)文学的・美術的著作物保護に関するベルヌ改正条約(ベルリン)規定に調印(明43年批准公布, 応用美術の著作権で論議があり, 日・英・スイスが反対した結果各国の国内法に保護をゆだねることにした)</p> <p>この年●包装使用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●韓国意匠令施行</li> </ul>	<p>4月●ロシアと樺太境界画定書調印. 経済恐慌激化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回ブラジル移民</li> <li>●吉沢商店, 映画撮影所設立</li> </ul> <p>6月●岩谷商会, 二十世紀冷蔵庫</p> <p>この年●この頃実証的教育学理論盛んとなる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●明治屋「嗜好」, 資生堂「花椿」創刊</li> <li>●「婦人之友」, 「日本少年」, 「少女の友」 「アララギ」創刊</li> <li>●ツェッペリン飛行船が滞空12時間を記録</li> <li>●池田菊苗, 味の素(小麦粉からグルタミン酸ソーダ抽出に成功)</li> <li>●日高栄三郎, 漁網防腐法(特13646)</li> <li>●御木本幸吉, 真珠素質被着法の発明(13673)</li> <li>●棚橋寅五郎, 重クロム酸カリウムとナトリウムの製造法の発明(特11487)</li> <li>●ベルツァー(独), スフ</li> </ul>
1909 明治42	<p>4月●特許法改正法律(4.2法律第23号11.1施行)「新規ナル工業的発明」を対象存続期間15年(3年以上10年以下の延長可)職務発明, 分割出願, 抗告審判について規定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実用新案法(4.2法律第26号11.1施行勅令第292号)「…実用アル新規ノ考案」を対象, 存続期間3年(3年延長可)</li> <li>●商標法改正法律(4.2法律第25号11.1施行)「自己ノ…商品ナルコトヲ表彰スル為」, 連合商標制度, 不使用取消の規定を設けた</li> <li>10月●特許法施行細則改正(10.26農商務省令第42号11.1施行)</li> <li>●特許登録令公布(10.26勅令第294号11.1</li> </ul>	<p>4月●意匠法公布(4.2法律第24号11.1施行勅令第293号) 新規性の規定…旧法の不登録事由の規定を分割し, 新規性を独立して以下のように規定した(第3条)1. 出願前国内で公知公用, 又はそれに類似するもの 2. 出願前国内に頒布された刊行物に容易に実施できる程度に記載されたもの又はそれに類似するもの 意匠権の効力…登録意匠を「業トシテ」応用もしくは応用物の販売拡布した場合を侵害とみなし, 業としてでなく応用した場合は侵害ではないというように改めた(第8条) 実願からの変更出願…実用新案出願について最初の拒絶査定があった日から30日以内に, 意匠出願に変更できることを定めた(第7条) 権利の分割…意匠を応用すべき物品によって, 分割して移転することができる(第11条) 秘密意匠…意匠を秘密にしたい者は請求によって, 登録後3年以内に限り, その意匠を秘密にすることができる(第16条) 審判請求人…利害関係人及び審査官は審判請求できる(第20条, 第22条, 特許法準用) 再審査の請求…意匠条例時代施行細則中に規定していた再審査の請求を本法で規定した(第19条). 前審査に関与しなかった審査官が審査する</p> <p>10月●意匠ノ登録ニ関スル件公布(10.25勅令第295号11.1施行)特許登録令を準用する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●意匠ニ関スル審判, 抗告審判及出訴ニ関スル費用ノ件公布(10.25勅令第301号11.1施行)</li> <li>●意匠法施行細則公布(10.26農商務省令第42号11.1施行) 秘密意匠制度新設に伴う手続規定 図面を3通添付 指定物品の類別22類</li> <li>●意匠ノ登録ニ関スル件施行規則公布</li> </ul>	<p>10月●伊藤博文69才, ハルビン駅頭で暗殺される</p> <p>この年●東京市が米国ワシントン市に桜200本を送る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●逸見治郎, 竹製のヘンミ計算尺(竹を使用しているため狂いが少ない)(特22129)</li> <li>●山本竹次郎, 無結節組網機</li> <li>●浜田初次郎, 印刷機(浜田オフセット印刷)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>12月●木下杢太郎, 北原白秋, 石井柏亭等「パンの会」を結成(～1912年)</p> <p>この年●横川民輔設計の「有楽座」開場(全館椅子式等洋風)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●片山東熊, 高山幸次郎設計の表慶館完成</li> <li>●国産自動車完成, 遠乗会開催</li> <li>●ムーテル著, 木下杢太郎訳「19世紀仏国絵画史」訳刊</li> </ul>	<p>この年●仏, キュービズム起こる(ピカソ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ベテルスブルグ万国装飾技術および家具博覧会開催</li> <li>●T型フォード発売(近代大量生産方式の幕開け, 1913年コンベアーシステム導入, 1927年迄生産)</li> <li>●ツェッペリン飛行船が滞空12時間を記録</li> </ul>
<p>4月●バーナード・リーチ来日(以後陶芸界で活動. 精巧な洋風焼物に手工的東洋風な味をもたせ新鮮な感覚を与える)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回発明品博覧会(帝国発明協会, 上野, 入場者21万6960)</li> <li>5月●辰野, 葛西建築事務所設計の両国国技館完成(円形鉄骨造)</li> </ul> <p>この年●広告図案展覧会開催(大阪, 万年社. 初の欧米作品を展示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●京都市絵画専門学校創立(後の京都市立美術大学)</li> </ul>	<p>この年●仏, 未来派宣言発表(マリネッティ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ペーレンス, 「AEGタービン工場」完成</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用新案法施行規則中改正(10.26農商務省令第45号11.1施行)</li> <li>● 特許権ノ存続期間延長ニ関スル件公布</li> </ul> <p>● 軍事上秘密ヲ要スル発明特許ニ関スル件(10.25勅令299号11.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 商標法施行細則改正(10.26農商務省令第44号11.1施行)</li> <li>● 商標ニ関スル審判, 抗告審判及出訴ニ関スル費用ノ件(10.25勅令第301号111施行)</li> <li>● 商標の登録に関する件(10.25勅令第296号11.1施行)</li> <li>● 特許に関する審判及抗告審判出訴に関する費用の件(10.25勅令第301号11.1施行)</li> <li>● 特許法施行細則改正(10.26農商務省令第42号11.1施行)</li> <li>● 特許登録令施行規則(10.26農商務省令第46号11.1施行)</li> <li>● 実用新案の登録に関する件(10.25勅令第297号11.1施行)</li> <li>● 実用新案の登録に関する件施行規則(10.25農商務省令第49号11.1施行)</li> <li>● 実用新案に関する審判, 抗告審判及出訴に関する費用の件(10.26勅令第301号11.1施行)</li> <li>● 特許弁理士令公布(11.1施行)</li> </ul>	<p>(10.26農商務省令第47号11.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 意匠課長平山英三</li> </ul> <p>11月 ● 意匠課設置</p> <p>この年 ● 仏, 意匠法(意匠およびひな型の保護に関する法律)制定(なお, 仏国における意匠法は1711年のリヨンの絹織物の図案保護の命令に端を発したもの)</p>	<p>機の発明)(特17968)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ホーフマン(独), 合成ゴムイソフレン</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ゲネーセン(スウェーデン), ホーバークラフト</li> </ul>
1910 明治43	<p>1月 ● 工業所有権雑誌を1月号から「発明」と改題</p> <p>3月 ● 発明館完成(銀座), 工業所有権保護協会設置</p> <p>10月 ● (社)工業所有権保護協会を(社)帝国発明協会と改称</p>	<p>この年 ● 著作権法改正(ベルリン規定の成立を機とする)</p>	<p>5月 ● ハレー彗星出現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大逆事件, 幸徳秋水等逮捕</li> </ul> <p>8月 ● 韓国併合, 朝鮮と改称</p> <p>12月 ● 徳川好敏が最初の飛行に成功</p> <p>この年 ● 生産調査会官制公布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 魔法びん輸入される</li> <li>● 「白樺」創刊(新印象派, セザンヌ, ゴッホ, ロダン等を紹介)</li> <li>● クロード(仏), ネオンサイン</li> </ul>
1911 明治44	<p>6月 ● パリ同盟条約ワシントン改正条約成立(6.2)</p>	<p>この年 ● インド特許意匠法</p>	<p>2月 ● 普通選挙法案, 衆議院を通過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日米通商航海条約調印(関税自主権回復)</li> </ul> <p>5月 ● 中央本線全通</p> <p>7月 ● 普通選挙貴族院で否決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 広告物取締法制定公布(広告の取り締まりに関する最初の法律)</li> </ul> <p>12月 ● 東京市電従業員ゼネスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● レコード・蓄音器が普及</li> </ul> <p>この年 ● 中国に辛亥革命起る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アムンゼン, 南極探検</li> <li>● ライオン歯磨本舗, チューブ入り歯磨販売</li> <li>● イルミネーション広告等盛んとなる</li> <li>● 鈴木梅太郎, オリザニン(ビタミン発明)(特21314)</li> <li>● 藤山恒一, 炭化物より窒素化合物を製造する方法(特20730)</li> <li>● 野口英世, 梅毒スピロヘータ培養成功</li> <li>● モンナルッツ(独), ステンレス鋼</li> </ul>
1912 明治45 大正元年	<p>2月 ● 特許法施行細則中改正(2.14農商務省令第11号3.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用新案法施行規則中改正(2.14農商務省令第7号)</li> <li>● 商標法施行細則中改正(2.14農商務省令第5号3.1施行)</li> <li>● 商標の登録に関する件施行規則中改正(2.14農商務省令第6号3.1施行)</li> </ul>	<p>2月 ● 意匠法施行細則中改正(2.14農商務省令第4号3.1施行)実用新案から意匠への出願変更は最初の査定を受ける前にもみ認める, 変更出願日は遡及する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 意匠ノ登録ニ関スル件施行規則改正(2.14農商務省令第3号3.1施行)分割移転すべき部分の権利に対する登録証の下付</li> </ul>	<p>2月 ● 中華民国成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バルカン戦争起る(～1913)</li> <li>● 鉄道院, 独国より輸入の8800型, 8850型過熱式蒸気機関車の使用開始。(我が国最初の過熱式蒸気機関車)</li> </ul> <p>6月 ● 新橋, 下関間特急運転(25時間)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 北田九一設計の伊東屋文具店完成</li> <li>● 佐野利器設計の丸善完成(本格的な鉄骨, 鉄筋コンクリート造. 構造による新様式化への初端)(日本橋)</li> <li>● 清水組, 渋沢倉庫完成(鉄筋コンクリート造の初期)</li> </ul> <p>● この頃, 文芸誌, 美術誌で欧州芸術の新思潮の紹介が盛ん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤坂離宮完成(片山東熊設計)</li> </ul> <p>● 東京府立工芸学校創立</p>	
<p>5月 ● 日英博覧会開催(ロンドン, 安藤七宝等好評)</p> <p>7月 ● 京都の横田商会映画撮影所創設</p> <p>この年 ● 名古屋製陶所設立(飛井考太郎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上野倶楽部5階木造アパート完成(アパートの初め)</li> <li>● 鉄道駅にポスター(額面広告)の掲示はじまる</li> <li>● 写真家小川真, 帝室技芸員に任命</li> </ul>	<p>この年 ● 「芸術における精神的なものについて」創刊(カンディンスキー著)</p>
<p>7月 ● セルロイド量産開始(日本セルロイド人造絹糸㈱)</p> <p>この年 ● 三越呉服店, ポスターを公募(美人画ポスター橋口五葉人選)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伊藤吉太郎設計の白木屋完成(木造三階建和洋折衷新様式)</li> <li>● 横河民輔設計の帝国劇場(鉄骨化粧煉瓦貼, 立方体状の構成)完成</li> <li>● 大阪梅田駅に2銭銅化使用の自動式入場券発売窓口設置</li> </ul>	<p>この年 ● ウォルター・ドーイン・ティグ(米), タイポグラフィック事務所開設</p>
<p>この年 ● 農商務大臣, 「輸出振興の工芸意匠改善策」を諮問. 手島精一(東京高等工業学校校長), 平山英三(特許局意匠課長), 松岡寿(東京高等工業学校, 工業図案科長), 執行弘道(日本美術協会会長)等は, 農商務大臣牧野伸顕の諮問に答えて, 「工芸振興に関する建議書」を提出(①一般工芸行政の中核的機関の設置, ②工芸審議会の設置, ③工芸品・意匠展示会開催, ④図案の募集(試作・海外試験), ⑤意匠調査の海外, 駐在官の設置, ⑥工芸博物館の設立)を建築. 大正2年より, その具体策として農商務省図案及応用作品展覧会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「光風会」結成(中沢弘光, 杉浦非水等)</li> </ul> <p>● 日本赤十字本社(妻木頼黄設計)</p> <p>● ヒューザン会設立(高村光太郎, 万鉄五郎等)</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許登録令施行規則中改正(2.14農商務省令第2号3.1施行)</li> </ul>		<p>7月・明治天皇崩御。大正天皇踐許</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第五回オリンピックに初参加</li> <li>大阪通天閣竣工</li> <li>タクシー始まる</li> </ul> <p>12月・憲政擁護大会開催、第1次護憲運動始まる</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本活動写真(株)日活設立</li> <li>鳥潟右一、横山英太郎、北村政次郎、TYK式無線電信電話機(特22347)</li> <li>梶野明二郎、自動製麵装置(特23026)</li> <li>レーム(米)、MMA樹脂</li> <li>ブランベンベルガー(仏)、セロファン</li> </ul>
1913 大正2	<p>4月・パリ同盟条約ワシントン改正条約、附属議定書公布(4.11条約2号)</p> <p>6月・特許局長(10代)崎川才四郎(6.13)</p>		<p>2月・日比谷暴動、新聞社焼打ち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桂内閣総辞職</li> </ul> <p>6月・森永製菓、ミルクキャラメル発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生活と芸術」創刊(土岐実果)</li> </ul> <p>8月・岩波茂雄「岩波書店」を開業</p> <p>10月・中華民国を承認</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レコード会社の設立盛ん</li> <li>井口在屋、畠山清、みのくちポンプ(能率うず巻きポンプの発明)(特25361)</li> <li>西尾正衛門、亀の子たわし(特27983)</li> <li>白井喜一郎、製茶機(特23783)</li> <li>クーリッジ(米)、X線管球</li> <li>バートン(米)、石油クラッキング法</li> </ul>
1914 大正3		<ul style="list-style-type: none"> <li>意匠課長 三浦恵一</li> </ul>	<p>1月・シーメンス事件</p> <p>8月・ドイツに宣戦布告、第1次世界大戦に参加</p> <p>10月・日本軍、ドイツ領南洋諸島占領。大戦勃発により株価大暴落</p> <p>12月・東京・横浜間電車開通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>猪苗代第一発電所設立(長距離送電の始め)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土本学会創立</li> <li>オフセット印刷始まる。(尚山堂印刷所、東京)</li> <li>パナマ運河開通</li> <li>杉本京大、邦文タイプライター(文字盤とタイプバーの運動により多くの活字が選択できるようにした邦文タイプライターの発明)(特27877)</li> </ul>
1915 大正4	<p>8月・日本特許弁理士会創立(8.17)</p>	<p>2月・著作物保護修正(ベルヌ)条約追加議定書批准。(2.3)4.17発効</p>	<p>5月・中国、21カ条要求を受諾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊、三国同盟を破棄。オーストリアに宣戦</li> </ul> <p>12月・東京株式市場暴騰(大戦景気始まる)</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>偽作レコード盛ん</li> <li>(資)清水組設立(現清水建設)</li> <li>貿易収支出超となる</li> <li>近郊地域から都市への鉄道建設盛ん</li> <li>自動車登録台数1200台突破</li> <li>寺西福吉、リノリウム製造法(特30522)</li> <li>田中竜夫、整流子を有する電気機(特28067)</li> <li>タクマ式汽缶、田熊常吉(特28173)</li> <li>三共(資)、ベークライトの製造</li> </ul>
1916 大正5	<p>3月・実用新案法中改正(3.18法律第32号)</p>		<p>7月・第4回日露協約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生糸相場高騰・綿布輸出増大(紡績景気)</li> <li>チャップリンの喜劇映画、人気集める</li> </ul> <p>9月・工場法施行</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>汽船会社の設立盛ん</li> <li>「婦人公論」「面白倶楽部」創刊</li> <li>豊田佐吉、自動織機の発明(特29484)</li> <li>ワーレン(米)、電気時計</li> </ul>
1917 大正6	<p>2月・特許局長(11代)村上隆吉(2.3)</p>	<p>6月・意匠法施行細則中改正(6.9農商務省令第10号)</p> <p>登録査定があったときは、60日以内に意匠料を納付。意匠料納付時あるいは出願時に図面2通提出を規定</p>	<p>6月・日本の艦隊、地中海へ出動</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>2月・トンボ鉛筆発売</p> <p>9月・岡倉天心没52才</p> <p>10月・農商務省第1回図案及び応用作品展(農商務省主催)。輸出雑貨品の意匠改善のため農商務省、第1回図案及び応用作品展を主催(俗称農展、大正14年より商工展昭和14年迄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農商務省、商工局を設置(工務局と商務局を合併)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民美術協会創立(会頭黒田清輝、森嶋外等)</li> <li>三越家具図案懸賞募集</li> <li>初めて切手図案が公募され田沢昌言考案の「田沢型切手」発行</li> <li>「理学的事務管理法」訳刊(星野行則訳、テイラー著)。この頃より能率運動始まる</li> </ul>	<p>この年・スイス工作連盟(SWB)設立(DWBに範をとる)</p>
<p>3月・東京大正博覧会(上野公園、青山練兵場、出品点数16万293点、他官公庁研究所、学校、外国館等の出品2万6679点、入場者約750万、中村順平、分離派様式の建築を建てる。快進社、小型乗用車DAT1号を発表)</p> <p>9月・三越呉服店本館、横河工務所設計(鉄骨造、常設エスカレーター)完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京駅(鉄骨煉瓦造、ルネサンス様式)辰野金吾設計完成(電車運転開始)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京美術学校、図案科を工芸図案と建築装飾の2部門に分ける</li> <li>文部省、東京高等工業学校の工業図案科廃止を決定</li> <li>早稲田大学に広告研究会発足</li> <li>平凡社創立(下中弥三郎)</li> <li>「少年倶楽部」「ダイヤモンド」創刊</li> </ul>	<p>この年・英国工業美術研究所設立(農務省、文部省共同)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スウェーデンエ芸協会(SSF)設立。(地方工芸の産業化美化振興を進め、スウェーデンニッシュモダーンの育成に寄与)</li> <li>コルビュジェ、「ドミノ・システム」提唱</li> </ul>
<p>この年・かつてシカゴ派として活動の近代建築家フランク・ロイド・ライト来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本建築士会結成(辰野金吾等)</li> <li>野田俊彦「建築非芸術論」建築雑誌に発表(近代建築意識の萌芽、建築芸術の否定的肯定)</li> <li>東京美術学校、写真科設置</li> </ul>	<p>この年・英、「産業デザイン協会」(Design and Industries Association.DIA)設立。</p> <p>ドイツ工作連盟に範をとる。CoIDの先駆。「目的への適合をモットーとするデザイン向上運動を行い誤る応用美術概念を啓発)</p>
<p>8月・住宅誌創刊(住宅改良会)。アメリカ屋の主人橋口信助等は、大正4年頃から出現の中廊下型和洋混交住宅の普及と台所改善運動を始める</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝日新聞、広告写真を募集</li> <li>電車内、額面広告始める</li> <li>日本硝子工業㈱自動製びんを開始</li> </ul>	<p>この年・ダダイズム起る(スイスで、ハンス・アルプ等、一切の伝統、権威、思想、芸術形式を否定)</p>
<p>6月・安田禄造「本邦工芸の現在及将来」刊</p>	<p>この年・デ・ステイル(オランダ)結成(ドースブルグ、モンドリアン等、翌年機関紙発行昭和7年迄)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>6月・特許法施行細則中改正(6.9農商務省令第9号7.1施行)</p> <p>7月・工業所有権戦時法(7.21法律第21号)敵国人の出願に対し特許登録を停止</p>		<p>9月・金輸出禁止</p> <p>11月・石井・ランシング協定</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インフレ傾向強まる</li> <li>ドイツ無制限潜水艦戦の宣言</li> <li>露, 三月革命・十一月革命</li> <li>(財)理化学研究所設立(所長菊池大隆)</li> <li>三菱製鉄開業</li> <li>東洋製鉄開業</li> <li>「主婦の友」創刊(東京家政研究会)</li> <li>流行語「きょうは三越あすは帝劇」</li> <li>本多光太郎, 永久磁石鋼(コバルト40%, タングステン9%, 鉄, クロム組成から成る永久磁石の発明(K.S鋼)(特32234)</li> <li>バイオリン甲板削削機(特35381)</li> </ul>
1918 大正7	10月・特許局長(12代)鈴木英雄(10.29)	この年・意匠課長 中松真郷	<p>8月・シベリア出兵開始</p> <p>・米騒動起る</p> <p>9月・原敬の政友会内閣成立</p> <p>10月・森永ミルクチョコレート発売</p> <p>11月・第1次大戦終る(ドイツ降伏)。独, 十一月革命</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画調査会官制公布</li> <li>東京電気機, 研究所設置</li> <li>東京帝大, 付属航空研究所設置</li> <li>各会社研究所設置盛ん</li> <li>竹内寿太郎, 三和誘導電動機(モーター回転子を鋼板を基材として折り曲げて構成し, 起動トルクを大きくした籠形モーターの発明)(特32076)</li> </ul>
1919 大正8	<p>7月・特許局長(13代)中井勲作(7.9)</p> <p>12月・第1回帝国発明表彰(東京商工会議所)(12.13)</p> <p>この年・ソ連発明規則(発明者証)</p>		<p>1月・バリ講和会議(1.18)</p> <p>3月・朝鮮に独立運動起る(万歳事件)</p> <p>4月・都市計画法・市街地建築物法公布</p> <p>6月・ヴェルサイユ条約調印</p> <p>9月・シベリアからの徴兵を始める</p> <p>10月・雑誌「キネマ旬報」創刊</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京, 大阪間航空郵便開始</li> <li>労働争議頻発(これまでの最高)</li> <li>輸入超過に転ず(昭和初期まで)</li> <li>中国, 五・四運動</li> <li>独, ワイマール憲法</li> <li>第3回インターナショナル結成</li> <li>農商務省, 度量衡及工業品規格統一調査会設置(メートル法に統一する意見出る)</li> <li>安藤博, 多極真空管(多極にすることによって真空管の性能が向上)(特80948)</li> <li>ソ連, スヴォルキンによって, テレビジョンが試写される</li> <li>ボラック(オーストリア), 尿素樹脂</li> </ul>
1920 大正9	6月・特許局長(14代)宮内国太郎(6.24)	<p>・意匠課長 村山小次郎</p> <p>8月・著作権法改正公布(保護の対象, 演奏歌唱を加え, レコードも含める)(8.20法律第60号)</p>	<p>1月・国際連盟に正式加入(常任理事国となる)</p> <p>2月・欄日立製作所設立</p> <p>5月・上野公園で日本最初のメーデー</p> <p>10月・第1回国勢調査施行(内地人口約5596万, 外地人口約2102万)</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦後恐慌起る</li> <li>阪神梅田駅に白木屋梅田店(ターミナルデパート)開店</li> <li>辻本写真工芸社(東京大森)社主辻本秀五郎, グラビア印刷機の大量生産し成功</li> <li>島津源蔵, 易反応性鉛粉製造法(バッテリー用の極に使用する亜鉛化鉛粉の精製技術の発明。日本電池機(G・S)の基本発明)(特41728)</li> <li>山本忠興, 川原田政太郎O.Y.K誘導同期電動機(特39641)</li> <li>長谷善一, 燃糸機(特33245)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>8月・大倉集古館設立(私立美術館の先駆, 東洋美術品)</p> <p>この年・東京府立工芸学校, 印刷科新設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本照明学会創立</li> <li>毎日新聞社は商業美術の振興運動を提唱し, 作品の公募を行う</li> <li>「流線形」の語浸透</li> </ul>	
<p>1月・パイロット万年筆発売</p> <p>9月・海上ビルディング(曾称・中条設計)(鉄骨構造, 計算内田祥三)7階建, 日本初の米式の事務所建築完成</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本創作版画協会創立(山本鼎, 織田一磨等)</li> <li>「印刷雑誌」創刊(郡山幸男)</li> <li>松下電気器具製作所(大阪市)設立。松下幸之助は二灯用差し込みプラグ(大正8年実用新案登録第54028号)製造販売始める</li> <li>広告意匠展(京都)</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソ連で構成主義興る(タトリン, ガボ, ベグスナー等。抽象的構成の革命的造形運動。芸術の社会性を強調)。「ビュリズム」宣言(仏, オザンファン, ル・コルビュジェ。純理派。機械時代の新しい美学を標榜)</li> <li>ノルウェー工芸協会設立</li> </ul>
<p>3月・「木工と装飾」創刊</p> <p>10月・山本鼎, 日本農民美術研究所(長野県神川村)設立。農村の副業対策としての地方産業の意匠指導, 技術伝習を行う</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国立陶磁器試験所設置(京都市立のものを移管)</li> <li>樫業会創立(木栓恕等, 後の木材工芸学会)</li> <li>装飾美術家協会結成</li> <li>辰野金吾没</li> <li>帝国美術院設立(俗称文展は帝展となる。院長森鷗外)</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独, ワイマールでバウハウス設立(校長, 建築家グロピウス。DBWの理念の発展, 合目的な総合造形学校兼研究所)</li> <li>ジョセフ・サイネル「工業デザイン」という言葉を初めて使う</li> <li>スウェーデン工芸協会, イェーテボリ博に「よりよい生活用品」と工業製品に近代的形態と美的品質を要請する</li> </ul>
<p>2月・分離派建築会結成(石本喜久治, 堀口捨己, 浜岡(蔵田)周忠, 岡村(山口)文象等。「我々は起つ。過去建築園より分離し…」と宣言。移殖歴史様式(アカデミズム)に対峙)</p> <p>5月・日本農民美術展(三越)。日本農民美術研究所の生徒製作品展</p> <p>7月・分離派建築会第1回展開催(白木屋, 昭和3年迄)。この頃には, 鉄筋コンクリート造も一般化してきている</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>尖塔社結成(梨木正太郎, 装飾美術家団体)</li> <li>未来派美術協会設立(普門暁等)第1回展</li> <li>大阪広告協会結成(会長山岡順太郎)</li> <li>家具新製品陳列会(三越本店)。第1回家具装飾陳列会(高島屋心斎橋店)。以後, 両店では, 毎年家具の陳列会を開く</li> <li>雑誌「美術写真画報」創刊(博文館)</li> <li>早川式繰出鉛筆, 早川徳次(実用54357)</li> </ul>	<p>2月・パリで「ダダ宣言」</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「エスプリヌーボ」誌創刊(オザンファン, コルビュジェ)</li> <li>英国産業工芸協会創設</li> <li>ニューヨーク, ADC年鑑創刊</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1921 大正10	<p>4月・特許法改正法律(4.30法律第96号 大11.1.11施行 大10・勅令第459号) 「新規ナル工業的発明」を対象、先願主義を採用する 出願公告制度、異議申立制度、拒理由通知制度設ける 存続期間は公告より15年</p> <p>●実用新案法改正法律(4.30法律第97号 大11.1.11施行 大10勅令第459号) 「物品ニ関シ…実用アル新規ノ型ノ工業的考案」を対象。存続期間は登録より10年。出願公告制度を採用</p> <p>●商標法改正法律(4.30法律第99号 大11.1.11施行 大10勅令第459号) 商品の類似規定を改正。意匠権との抵触を調整。団体標章制度の新設。商標権の侵害罪を非親告罪とする。拒絶理由通知制度。出願公告制度を設ける</p> <p>●弁理士法(4.30法律第100号大11.1.11施行)</p> <p>12月●特許法施行規則公布(12.17農商務省令第33号大11.1.11施行) ●特許法施行令(12.15勅令第460号大11.1.11施行) ●特許登録令改正の件(12.15勅令第461号大11.1.11施行) ●実用新案法施行規則改正(12.17農商務省令第34号大11.1.11施行) ●軍事上秘密ヲ要スル実用新案並実用新案ニ関スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登録ニ関スル件公布(12.15勅令第462号大11.1.11施行) ●商標法施行規則(12.17農商務省令第36号大11.1.11施行) ●商標ニ関スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登録ニ関スル件(12.15勅令第464号大11.1.11施行) ●特許登録令施行規則改正(12.19農商務省令第39号大11.1.11施行) ●実用新案の登録に関する件(12.19農商務省令第40号大11.1.11施行) ●商標登録規則(12.19農商務省令第42号大11.1.11施行) ●弁理士法施行令(12.15勅令第466号)</p>	<p>4月●意匠法改正法律(4.30法律第98号 大11.1.11施行 大10.勅令第459号) 意匠の客体…「物品ニ関シ形状、模様若ハ色彩又ハ其ノ結合ニ係ル新規ノ意匠ノ工業的考案ヲ為シタル者ハ…」(第1条)となり、明治42年法までの「物品ニ応用スヘキ…」という考え方を改めた。意匠は物品にあらわされたものであって、物品と離れては存在しないという解釈である</p> <p>商標権との抵触…「意匠権カ其ノ出願ノ日前ノ出願ニ係ル実用新案権若ハ商標権ト抵触スル場合」(第8条)は許諾が必要であるという規定であるが、このうち商標権についてはここで新たにふれられた 強制実施許諾…(第13条)意匠権が他人の実用新案権、意匠権と抵触し、その許諾が無ければ実施できない場合、相手方がこれに応じなかつた時は、審判により相手方の許諾を強制することができる</p> <p>再審査制の廃止と拒絶理由通知制(特許法準用)…旧法の再審査制は廃止され、抗告審判制が設けられる一方、拒絶理由通知制が新設された。審査官除斥規定。職務創作に関する帰属規定</p> <p>12月●意匠ニ関スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登録ニ関スル件(12.15勅令第463号 大11.1.11施行) 特許法施行令、登録令を準用。意匠原簿の作成様式</p> <p>●意匠法施行規則(12.17農商務省令第35号大11.1.11施行) 意匠の名称及び登録請求の範囲記載 意匠を現わすべき物品を指定する類別24類 登録料は査定確定後30日以内に納付</p> <p>●意匠登録規則(12.19農商務省令第41号大11.1.11施行) 特許登録令施行規則を準用</p>	<p>1月●三菱電気機設立</p> <p>4月●度量衡法改正公布(メートル法を基本)(大13.7.1施行)</p> <p>7月●三菱、川崎造船所ストライキ、軍隊出動</p> <p>10月●中国共産党結成</p> <p>●日本石油、宝田石油を併合(石油業の独占化)</p> <p>11月●原敬66才、東京駅で暗殺</p> <p>●東京天文台設置</p> <p>12月●ワシントン会議、日英同盟廃棄</p> <p>この年●銀行取付騒ぎ起る</p> <p>●独、ナチス党結成</p> <p>●工業品規格統一調査会設置(会長農商務大臣)</p> <p>●自由学園創立(羽仁もと子)</p> <p>●三越呉服店、女店員事務服定める</p> <p>●朝日グラフ創刊</p> <p>●ダイレクト・メール(宛名広告)が登場 ●新田長二郎、木綿調帯(特40065)</p>
1922 大正11	<p>1月●特許局長官(15代)田中隆三(1.11)</p> <p>6月●特許局長官事務取扱(16代)宮内国太郎(6.14)</p> <p>11月●特許局長官(17代)中川友次郎(7.1)</p> <p>12月●特許登録令中改正(12.29勅令第517号)</p> <p>●特許登録令施行規則中改正(12.29農商務省令第29号 大12.1.1施行勅令第512号)</p> <p>●特許法施行規則中改正(12.29農商務省令第30号大12.1.1施行)</p> <p>●実用新案法施行規則中改正(12.29農商務省令第31号大12.1.1施行)</p> <p>●商標法施行規則中改正(12.29農商務省令第33号大12.1.1施行)</p> <p>この年●文書及帳簿保存年限の件(特許局通達9)</p>	<p>1月●意匠商標部に意匠課及商標課設置</p> <p>12月●意匠法施行規則中改正(12.29農商務省令第32号大12.1.1施行)、 準用規定の変更 ●意匠課長 土岐定應</p>	<p>2月●ワシントンで九カ国条約、海軍軍縮条約調印</p> <p>3月●未成年者飲酒禁止法</p> <p>4月●週刊アサヒ、サンデー毎日創刊</p> <p>6月●松竹少女歌劇団創設</p> <p>11月●山東運付協定調印。電力石油業で企業合併盛ん</p> <p>12月●ソヴィエト社会主義共和国連邦成立</p> <p>この年●伊、ムッソリーニ首相となる(ファシスト政権成立)</p> <p>●日本標準規格(JIS)施行</p> <p>●柏木幸助、体温計の製法(水銀柱の切れを</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>1月●大阪朝日新聞、わが国最初の輪転グラビア版の写真「朝日グラフィック」を、付録として頒布</p> <p>●雑誌「商店界」創刊</p> <p>8月●栄養菓子グリコ発売、「1粒300メートル」の宣伝登場</p> <p>この年●毎日新聞社等、海外作品の第1次大戦ポスター展。この頃ポスター熱盛ん。朝日新聞「大戦ポスター集」</p>	<p>6月●カンディンスキー、バウハウスに招へい</p> <p>この年●マルセル・ブロイアー、バウハウスの工房で木舞椅子を制作</p>
<p>3月●平和記念東京博覧会開催(東京府主催、上野公園、入場者1103万2574人 堀口捨己等、分離派様式の洋風文化小住宅(モデルハウス)展示 ●「カメラ」創刊</p> <p>6月●文化裁縫学院開院</p> <p>7月●ライト設計の帝国ホテル(煉瓦積を鉄筋コンクリートの仮枠として使用。空間の機能的処理に特徴。)完成 ●「映画之友」創刊</p> <p>この年●カルピス広告図案、ドイツで募集(オットーデュンケル作品1等入選。明快なポスターを公開。産業広告界に新風。現在も使用) ●東京高等工芸学校開校(工芸図案、木材工芸、金属工芸、精密機械、印刷工芸科設置、産業工芸技術者の育成を目的) ●赤玉ポットワイン広告「ヌード写真」を使い話題となる</p> <p>●アクション創立(神原泰、吉田謙吉、古川春江等)</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	特許登録原簿の永久保存		<ul style="list-style-type: none"> <li>防止する技術の発明(特44278)</li> <li>三浦順一, 二重螺旋繊維条電球(東芝の電球用二重コイルフィラメントの発明)(特50022)</li> <li>ミジリー(米), 4エチル鉛</li> </ul>
<b>1923</b> 大正12	<p>7月・特許局長官(18代)岡本英太郎(7.25)</p> <p>8月・特許局長官(19代)崎川才四郎(8.29)</p> <p>9月・特許局ニ於テ焼失シタル未完了ノ書類・物件ノ再提出(9.12農商務省告示226)(関東大震災による)</p> <p>10月・滅失特許等原簿回復規則(農商務省臨6〜9農商務省告示243 10.29施行)登録を受けた者は大正13年10月末日までに登録回復を申請する件(10.23)</p>	<p>10月・滅失したる意匠原簿の回復に関する件公布(10.23農商務省令臨第8号10.23施行)</p> <p>この年・意匠課長 岡本勝元</p>	<p>6月・日本共産党第1次選挙(堺利彦等)</p> <p>7月・日本航空機創立</p> <p>9月・関東大震災(マグニチュード7.9死者9万人, 全壊焼失46万戸)(9.1)</p> <p>12月・虎の門事件(難波大助摂政を狙撃)</p> <p>この年・富士電機製造機設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通信省放送用私設無線電話規則公布(原則的に私設放送を認める)</li> <li>米「タイム」創刊</li> <li>「文芸春秋」創刊</li> <li>リスラー(仏), 蛍光灯</li> <li>不破橋三, 内面艶消電球(特62921), 鯨井恒太郎, 理研アルマイト(アルマイトの封孔処理の発明)</li> <li>河野篤二, 北村晶子, 硬質紙器製造法(特44999)</li> </ul>
<b>1924</b> 大正13	<p>5月・原簿回復事務従事の臨時職員設置(5.27勅令131 5.27施行)</p> <p>この年・レバノン商業及び工業所有権保護に関する法律</p>	<p>この年・意匠課長 加藤正道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クウェート特許意匠工業的ひな型に関する法律</li> <li>イスラエル特許意匠法</li> </ul>	<p>1月・清浦内閣打倒の第2次護憲運動起る</p> <p>5月・米国排日移民法成立</p> <p>この年・東京帝大セツルメント開設(本所柳島)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セメント連合会設立</li> <li>千葉壬駁, 自動浸透煮繭機(実91561)</li> <li>松本末太郎, 正藍抜染法(特67654)</li> <li>豊田喜一郎, 杼換式自動織機(シャトルを自動的に交換する装置の発明)(特65156)</li> </ul>
<b>1925</b> 大正14	<p>4月・滅失特許原簿回復規則改正(4.30商工省令第4号)</p>	<p>11月・パリ条約ヘグ改正条約署名工業意匠及び雛形の国際寄託に関するヘグ協定締結(11.6)</p> <p>この年・コロンビア共和国工業所有権法</p>	<p>1月・日ソ基本条約(日ソ国交回復)</p> <p>2月・日本フォード自動車機設立(昭和15年販売停止)</p> <p>3月・東京放送局ラジオ放送開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農商務省廃止, 商工省設置</li> <li>治安維持法公布</li> <li>普通選挙法公布</li> <li>中国, 五・三〇事件(排日運動)</li> <li>ロカルノ欧州安全保障条約成立</li> <li>10月・染料製造奨励法公布。(10.15施行)奨励金交付による染料工業の保護策</li> <li>11月・地震研究所震災予防評議会設置</li> <li>初風・東風二機訪欧飛行</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この頃ラジオ普及する</li> <li>白木屋大阪支店に最初のネオンが点灯</li> <li>海老原敬吉, 大河内正敏, 理研ピストンリング(シリンダー内壁に均一な圧力を及ぼすピストンリングの発明)(特70144)</li> <li>石井茂吉, 森沢信夫, 写真植字機(レンズの交換により, 縮少拡大自由に印刷原版をつくる)(特72286)</li> </ul>
<b>1926</b> 大正15 昭和元年	この年・出願書類袋(通称包装)記載様式変更		<p>1月・東京, 横浜に初の自動交換局が設けられダイヤル化が始まる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本労働組合連合会成立</li> <li>4月・東京, 上野両駅でドイツ製入場券自動販売機の使用を開始</li> <li>7月・労働争議調停法, 治安警察法改正</li> <li>中国, 蒋介石, 北伐開始</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>内務省に都市計画局設置</li> <li>石橋徳次郎, ゴム底地下足袋(実80594)</li> <li>「日本の民家」刊行(今和次郎, 鈴木書店)</li> <li>木村工芸学会(樞業会改称)「新らしき家具と装飾の展覧会」(農商務省商品陳列館)開催。中流住宅への椅子式生活の普及を図る</li> </ul>	
<p>1月・「建築新潮」誌創刊</p> <p>2月・三菱合資会社地所設計の丸の内ビルディング(地上8階, 米国, フラー建築会社施工)完成</p> <p>この年・創宇社建築会結成(山口文象, 梅田穰等「新フォルムとコンポジション」を採求)第1回展(銀座十字屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内田祥三設計の東京帝国大学工学部新館完成(スチールサッシ使用)</li> <li>意識的構成主義(村山知義等, 神田文房堂)</li> <li>マヴォ(MAVO)結成(村山知義, 大浦周蔵等), 第1回展(浅草伝法院)</li> <li>フランス現代画家展(第10回2科, 京都, 大阪)</li> <li>米国式洋風アパート(御茶の水, 文化普及会)</li> <li>「商業美術講座」誌(アトリエ社)刊行開始</li> <li>この年の震災の復興活動を通じて近代的造形運動が活発化する</li> <li>ブリジストンの地下足袋発売</li> </ul>	<p>8月・第1回パウハウス展(ワイマール)開催</p> <p>この年・グローピウス, 「パウハウスの理念と組織」発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>T型フォード生産200万台。フォード, モデルチェンジによる製品廃品化の風潮をいましめ, 「我が社は消費者ができる限り長く使えるものを作るという以外何も考えていない」と発表</li> <li>英王立芸術院, パウハウスの影響で美術教育と産業界の結合をはかるため, 「産業デザイン賞」創設。建築装飾, 家具, 織物, 装本, 商業美術などの分野から作品を公募(1932年)</li> <li>トリエンナーレ展(La Triennale Internazionale delle Arti Decorative ed Industriali Moderne)(伊, ミラノ)の第1回展開催</li> </ul>
<p>2月・「アトリエ」誌創刊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「マヴォ」誌創刊</li> </ul> <p>4月・「帝都復興創案展」, 分離派, 創宇社が参加。中村順平大東京新都市計画人選</p> <p>5月・内務省, 関東大震災後の住宅不足救済のために同潤会設立</p> <p>この年・三科造型美術協会結成(アクション, 未来派, マヴォ等が合同)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「広告年鑑」刊(万年社)</li> <li>主婦の友ビル(W・M・ヴォーリス設計)</li> </ul>	<p>この年・大衆印刷誌「ゲブラウス・グラフィック」創刊(独)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大英帝国博覧会(ウェンブレイ)開催</li> <li>DIAやBIIAの成果を結集する初めての機会</li> <li>英王立芸術院はデザインの年次コンペ始める</li> <li>英産業連合(FBI)の産業美術委員会によりデザイナーの登録と雇用のための事務局開設</li> </ul>
<p>6月・「みづゑ」誌上にワイマールのパウハウス見聞記発表(仲田定之助)</p> <p>8月・「新建築」創刊(新建築社)</p> <p>9月・通信省経理局営繕課(山田守)設計(分離派建築)の東京中央電信局完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出組合法公布(9.1施行), 輸出振興および中小輸出業者の保護を目的</li> <li>11月・造型結成(三科解散, 神原泰等)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回商工省工芸展開催</li> <li>内田祥三, 岸田日出刀設計(ネオ・ゴシック風)東京帝国大安田講堂完成</li> <li>杉浦非水を中心に, 野村昇, 岸秀雄, 新井泉, 小池巖, 久保吉郎, 原万助, 須山浩等商業美術家グループ「七人社」を創立</li> </ul>	<p>4月・ワイマールのパウハウス, デッサウに移る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「国際現代装飾美術産業博覧会」(Exposition Internationale des Arts Decoratifs et Industriels Modernes)(仏, パリ)開催。戦後初の大規模な博覧会。「アール・デコ」のよび名はこの博覧会による。日本政府参加出品638点。ル・コルビュジェ, レスプリ・ヌーヴォー館を設計</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シュールレアリスム宣言(アンドレ・ブルドン)</li> <li>「ライカ・カメラ」ライブチヒのスプリング・フェアで発表</li> <li>「アート・パブリシティ」年鑑刊行。(英, スタジオ社。世界の商業美術の動向を我が国に伝達)</li> <li>「杖と石」刊(マンフォード著米国の建築と文明の研究)</li> <li>ベアド(英), テレビジョン実用化</li> </ul>
<p>3月・雑誌「広告界」(誠文堂新光社)発刊。商業美術と広告指導をスローガン</p> <p>4月・根津美術館開館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌「アサヒカメラ」創刊</li> </ul> <p>5月・岡田信一郎設計の東京府美術館開館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>備豊田自動織機製作所設立</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コマール・アート」誌刊。(英, スタジオ社。我が国の広告図案, 印刷図案家に影響, 商業図案, 商業美術への脱皮の契機)</li> <li>米, ゼネラル・モーターズ, デザイン部門設置</li> <li>ウォルター・ドウイン・ティーン, 工業デザイン事務所設立(米国で工業デザイナーの職能が社会的に認知され始める)</li> <li>L・ミース・ファン・デル・ローエ, カンティレバー構造の椅子(MR椅子)をデザイン</li> <li>アントニ・ガウディー没74才</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>8月・日本放送協会</p> <p>9月・日本航空、大阪、大連間の定期航空便を開始(初の海外定期飛行)</p> <p>11月・杉野芳子、ドレスメーカー女学院を開校</p> <p>12月・大正天皇崩御</p> <p>・労働争議頻発</p> <p>この年・保険金目当ての放火が東京で激増</p> <p>・独ソ友好中立条約</p> <p>・震災復興景気下降傾向をたどり始める、国産振興委員会設置</p> <p>・モガ(モダンガール)の断髪流行</p> <p>・土原豊吉、硝子製水銀整流器(特72910)</p> <p>・青木佐太郎、水銀整流器</p> <p>・舟橋金造、インキパッド(万年スタンプ台)の発明(シャチハタ(特73149))</p>
1927 昭和2	<p>4月・特許登録令施行規則中改正(4.26商工省令第4号)</p> <p>この年・スペイン工業所有権法</p>	<p>この年・意匠のバッチ審査方式開始(机上包袋立て使用開始)、赤帳(登録資料基本審査簿)と青帳(先願資料基本審査簿)を分離して審査に使用する</p>	<p>3月・金融恐慌を契機に銀行の集中進む</p> <p>・産児制限 不況で出生人口大幅減少</p> <p>4月・保井コノ理化学博士(初の女性博士)</p> <p>5月・第1次山東出兵</p> <p>・アメリカのリンドバーグ大西洋横断飛行に成功</p> <p>7月・ジュネーブ軍縮会議始まる</p> <p>・芥川龍之助自殺36才</p> <p>・岩波文庫刊行</p> <p>12月・東京地下鉄(上野、浅草間)開通</p> <p>この年・中国、蒋介石クーデター、南京に国民政府成立</p> <p>・佐久間栄吉、アスファルト、ルーフィング製造装置(長網式で紙を抄紙してルーフィングをつくる装置の発明)(特74477)</p> <p>・河合小市、ピアノの改良(ピアノの心臓部である音響板に関する発明によりピアノの量産化、国産化に成功)(特83644)</p> <p>・大橋嘉一、金属焼付漆</p>
1928 昭和3		<p>3月・工芸指導所官制(3.31)</p> <p>6月・工業的意匠の国際寄託のためのヘーグ協定発効(6.1)</p> <p>・ローマ国際著作権条約ベルヌ条約第3回改正会議に代表者出席、「工業に応用された美術的著作物にも条約により保護を与える件」が提案されるが、日本は輸出上の理由で保留</p>	<p>2月・最初の衆議院議員普通選挙</p> <p>6月・張作霖爆殺(満州某重大事件)</p> <p>7月・商工省、重要輸出品取締規制を公布</p> <p>11月・ラジオ体操の放送開始</p> <p>この年・東京、大阪間中継放送開始</p> <p>・パリで15ヵ国不戦条約</p> <p>・高柳健次郎ブラウン管方式によるテレビ公開実験に成功。テレビジョン(特77293)(特90593)、テレビジョンの基礎を確立</p> <p>・丹羽保次郎、小林正次、NE式写真電送装置(特84722)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>・日本新聞連合社設立</p> <p>7月・帝国工芸会設立(会長阪谷芳郎、国井喜太郎、畑正吉、津田信夫、宮下孝雄等)昭和18年大日本工芸会に吸収。産業的工芸にかかわる調査研究及び工業意匠権、工芸博物館、海外工芸展覧会などに関し、政府に建議を行う</p> <p>8月・同潤会設計の青山アパートメントハウス完成(向島の中ノ郷アパートと共に公営鉄筋近代集合住宅の初端)</p> <p>この年・帝国工芸会設立(会長谷芳郎官界産業界が、ドイツ工作連盟に刺激され結成、翌年機関紙発行。美術工芸(民芸も含む)産業工芸に関し幅広い提言と啓蒙)</p> <p>・第1回7人社ポスター展(創作ポスター展としては初めてのもの。三越、毎年9回迄)</p> <p>・商業美術家協会設立(かねてから商業美術を提唱の浜田増治等)、東京丸ビル丸菱デパートで第1回展</p> <p>・日本民芸協会設立(仏教哲学者柳宗悦、陶芸家浜田庄司等)</p> <p>・東郷青児、「サルタンバンク」発表</p> <p>・ドイツ現代美術展、フランス美術展(中央美術社主催)</p> <p>・雑誌「工芸時代」創刊(アトリエ社、短期間で終る)</p> <p>・雑誌「国際建築」(国際建築協会)発刊</p> <p>・明治神宮聖徳記念絵画館(佐野利器設計)</p> <p>・矢島周一著「図案文字大観」(武田五一校閲)出版。初めて「図案文字」の語使用</p>	<p>この年・国際連盟会館、国際設計競技会開催(応募計画案337点、1等賞9案評決。ル・コルビュジェとジャンヌレの示す近代建築派案が実質的に不採用となる)</p> <p>・T型フォード、生産中止に至る</p> <p>・「新しい建築」誌(ル・コルビュジェ)刊行</p> <p>・スウェーデンの現代装飾美術展(米国ニューヨーク・メトロポリタン美術館)開催。北欧のデザインを初めて米国で紹介</p>
<p>1月・木の芽舎結成(森谷延雄等、家具の新造形)</p> <p>3月・石本喜久治設計の朝日新聞社落成</p> <p>・復興局設計の永代橋成る</p> <p>5月・「帝国工芸」誌創刊(帝国工芸会機関誌、昭和13年戦時体制の移行に伴い休刊。「デザイン」誌創刊(日本インターナショナル協会)</p> <p>・「建具工芸」誌創刊(金竜堂)</p> <p>7月・日本インターナショナル建築会結成(大阪、上野伊三郎等計6名。クロビウスの国際建築宣言(バウハウスの図書第1号)等、社会的な建築思潮に呼応。昭和8年迄)</p> <p>・「アフィッシュ」誌創刊(七人社、文雅堂第4号迄)</p> <p>・あかりの工芸展(本橋丸善書店ギャラリー)デルタ図案研究所主催、照学会後援</p> <p>11月・東京工芸協会結成</p> <p>・日本最初の美術全集「世界美術全集」全54巻刊行開始</p> <p>この年・柳宗悦「雑器の美」出版</p> <p>・日本ビクター蓄音器株式会社(アメリカ・ビクターの全額出資)</p> <p>・松下電気器具製作所は電熱部門を設置、電気アイロン、ストーブなどの生産開始。月産1万台、続いて練物製の角型ランプを考案発売。この商品より「ナショナル」の商標を使用</p> <p>・「考現学」展 紀の国屋で開催(考古学に対し、今和次郎提唱、環境等の実体調査)</p> <p>・帝国美術院展に第4部、美術工芸部設置</p> <p>・この年より商工展、大阪に巡回(出品3,600点、人選742点、図案51点、金工150点、陶磁器90点、染色68点、木竹工574点、漆工211点、雑工芸77点)</p> <p>・商業美術家協会、第2回展を東京府上野美術館で開催</p>	<p>2月・グロピウス、バウハウスの校長を辞任</p> <p>6月・近代建築国際会議(CIAM)発足(前年の国際連盟会館競技設計事件が契機。スイスで近代建築の基礎となる宣言をする。会長J・L・ヤルト、副会長グロピウス、コルビュジェ)</p> <p>この年・モホリー・ナギ著「マテリアルから建築へ」(The New Vision)創刊</p> <p>・伊、デザインの総合誌「domus」創刊</p> <p>・プロイヤー・チェア(スチール・チェアー)</p>
<p>3月・全日本無産者芸術連盟(ナップ)結成</p> <p>5月・「現代商業美術全集」配本開始(全24巻、アルス社、杉浦非水、宮下孝雄、仲田定之助、浜田増治、渡辺素舟等)</p> <p>10月・商工省に工芸指導所設置(仙台)、所長国井喜太郎。工芸的手工業に最新の科学、技術の応用を図る)</p> <p>11月・第1回プロレタリア美術展</p> <p>この年・渡辺素舟、帝国工芸(2月号)で帝展四部と、商工展との目的の相異について言及。商工展は産業工芸に資するべきとして現状を批評</p> <p>・形而工房設立(建築家蔵田周忠を中心に、豊口克平、松本政雄等工業デザインの研究団体。約10年にわたり家具の試作、椅子の機能実験展示会、講習会などのデザイン活動を行う)</p> <p>・フランス美術展開催(府上野美術館)、フランス文化交流協会等主催、家具展示のモデルルームは総合展示法として注目</p> <p>・第1回三越設計家具展</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栖原豊太郎, 高速度活動写真装置(特78788)</li> <li>・ フレミング(英), ペニシリン</li> </ul>
1929 昭和4	<p>4月・特許法中改正(4.2法律第47号10.1施行勅令第289号)民事訴訟法の改正に伴う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用新案法中改正(4.2法律第48号10.1施行)</li> <li>・ 商標法中改正(4.2法律第50号10.1施行勅令第289号)</li> </ul> <p>9月・特許法施行令中改正(9.17勅令第290号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許法施行規則中改正(9.21商工省令第6号)</li> <li>・ 実用新案施行規則中改正(9.21商工省令第7号)</li> <li>・ 商標法施行規則中改正(9.21商工省令第9号)</li> </ul>	<p>4月・意匠法中改正(4.2法律第49号10.1施行勅令第289号). 準用規定の変更. 罰則規定の強化</p> <p>9月・意匠法施行規則中改正(9.21商工省令第8号)条文番号整理</p>	<p>4月・初のターミナルデパート阪急百貨店開店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サントリーウイスキー発売(寿屋初の国産ウイスキー)</li> <li>・ 東京, 福岡間旅客空輸開始</li> </ul> <p>8月・ドイツ飛行船ツェッペリン来日</p> <p>10月・犬養毅, 政友会総裁となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニューヨーク株式大暴落(世界経済恐慌起る)</li> <li>・ 日比谷公開堂開場</li> </ul> <p>11月・金輸出解禁令公布</p> <p>12月・東京市電ゼネスト</p> <p>この年・見切品, 格安品, 蔵払い等の名称で特売・廉売の日常化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業合理化政策本格化(商工審議会, 産業合理化に関する答申を決定)</li> <li>・ 「百貨店時代」誌創刊</li> <li>・ 自動車生産台数437台(米国533万7千台)</li> <li>・ 清水菊平, 二衝程ディーゼル機関(特83041)</li> <li>・ 大本寅次郎, 計算機の自動桁送り装置の発明(タイガー計算機)(特75942, 特91504)</li> <li>・ 増本量, 超不変鋼(特88152)</li> <li>・ ハリスン(米), 水晶発振時計</li> </ul>
1930 昭和5	7月・特許局長官(20代)中松真卿(7.2)	この年・意匠課長 中村幸八	<p>1月・金輸出解禁を実施. 恐慌深刻化</p> <p>4月・ロンドン海軍軍縮条約調印</p> <p>6月・国産愛用運動の開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工省外局として臨時産業管理局設置</li> </ul> <p>10月・東京, 神戸間つばめ号運転(平均時速67.5km)</p> <p>11月・浜口首相, 東京駅で狙撃される</p> <p>この年・ロングスカート流行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インドで第1回英印円卓会議</li> <li>・ 紙芝居「黄金バット」登場</li> <li>・ 昭和恐慌激化</li> <li>・ 臨時産業審議会設置(商工審議会改組)</li> <li>・ 全国の失業者約40万人, 昭和恐慌激化, 輸出著しく減退する</li> <li>・ 雑誌「産業合理化」創刊(日本商工会議所)</li> <li>・ 浅尾壮一郎, 鈴木元松, トーキー写真電送に使用される光電管の改良(特89965)</li> <li>・ 大川理作, 厚板紙製造法. 加藤与五郎, 武井武, OP磁石(特110821)(酸化金属粉末を焼結して磁性材料にするフェライトの発明, TDK(株)創立の基礎となる)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分離派建築会モデルルーム展示会</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雑誌「商業美術」(東京商業美術家協会)創刊</li> <li>・ 秀英社(後の大日本印刷), 本格的な原色グラビア印刷を始める</li> <li>・ 「左横書広告競技作品」の公募行われる. 読売新聞社主催</li> <li>・ 朝日新聞社, 第1回普通選挙のためのポスター公募. 後, このポスター集を刊行</li> </ul> <p>1月・ナップ結成に伴い, 日本プロレタリア美術家同盟(AR)結成</p> <p>3月・国宝保存法</p> <p>8月・雑誌「インターナショナル建築」(日本インターナショナル協会)創刊</p> <p>10月・帝国美術学校創設, 工芸図案科設置(現, 武蔵野美術大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小西本店国産初の写真フィルム「さくらフィルム」を発売</li> </ul> <p>この年・商工展, 図案の出品に賞金を設置(図案奨励のため1等500円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工芸指導所, 伝習事業開始(現場経験者の再教育, 昭和18年迄)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多田北鳥等, 商業美術家協会から別れて実用版画美術協会を結成</li> <li>・ 赤木朝治(復興局経理部長), 「工業に応用せられたる美術的著作物の保護に関する会議の説明報告」日本工業倶楽部で講演(帝国工芸7月号所載)</li> <li>・ 日本大学に専門部美術科設置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帝国工芸, 機械工芸特集号(6月号, 望遠鏡, カメラ, ミシン, タイプライター, 時計金銭登録器, 蓄音器等)</li> <li>・ 「芸術と機械」誌(板垣鷹穂, 岩波書店)創刊</li> <li>・ 「工芸指導」誌(工芸指導所)創刊</li> <li>・ 大阪府工業奨励館開館(旧府庁舎)府下中小工業の技術指導奨励目的</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝日新聞社「新時代の住宅設計図案」公募. 竹中工務店, 東京世田谷区成城の朝日住宅村に入賞した16作品を施工</li> </ul>	<p>11月・ニューヨーク近代美術館設立(写真, 映画, 舞台美術, 建築, デザインをも対象. 工業デザインの分野では, その現代的意義の確立に貢献)</p> <p>この年・レイモンド・ローウィ工業デザイン事務所開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バルセロナ・チェア(ミース・ファン・デル・ローエ)</li> </ul>
<p>1月・独立美術協会結成</p> <p>3月・「第1回朝日国際広告写真展」開催(朝日新聞社主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1等中山岩太「福助足袋」, 審査員浜田増治, 和田三造, 宮下孝確他</li> </ul> <p>11月・日本アンデパンダン展(上野自治会館)</p> <p>この年・商工省商務局に国産愛用委員会設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工省商務局貿易課が貿易局となる</li> <li>・ 貿易局, 海外市場調査委員派遣開始</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工省, 第1回工芸技術官会議を開催(全国各府県の工芸関係官相互の連携と工芸振興を図る)</li> <li>・ 石原憲治等, 新興建築家連盟を結成, 第1回大会を開くがその年の内に事実上解散</li> <li>・ この年, ソ連・ウクライナのハフコフ市劇場の国際設計競技に川喜田煉七郎入賞, 他の入賞者にグロピウス, ノルマン・ベル・ゲデス等の名前がみられる</li> <li>・ 「第1回広告祭」開催, 正路喜社主催(広告主78社の参加による大仮装行列)</li> <li>・ 日本郵船(株)の大洋航路に豪華客船, 秩父丸・龍田丸就航</li> <li>・ 桜井一忠・亀島中道(秩父丸), 島野三秋(龍田丸)等が室内装飾を担当</li> <li>・ 「印刷美術協会」結成(大阪)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「商業写真家協会」(金九重嶺等)結成(東京)</li> <li>・ 我が国初の電気洗濯機(東京電気)商標「Solar」を製作・販売. 昭和25年まで唯一の国産, かくはん式</li> <li>・ 我が国初の冷蔵庫(東京電気)製作, 販売, 冷蔵庫とよばれ, 圧縮機などが上に露出したタイプのもの</li> <li>・ 「新聞広告奨励会」発足. 電通創立30周年記念事業. その年の優秀な新聞広告を選定表彰</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回東北6県工芸品競技展</li> <li>・ 第1回愛媛県美術工芸展開催</li> <li>・ 第1回国際広告写真展開催(朝日新聞)</li> <li>・ 「モデルノジオ(考現学)」創刊(今和次郎, 吉田謙吉著, 春陽堂発行)</li> <li>・ 「優秀船の芸術社会的分析」(稲垣鷹穂著, 天人社)</li> <li>・ 「造園芸術」誌創刊(構成社書房)</li> </ul>	<p>この年・英国, デザイナー団体「産業美術家協会」(Society of Industrial Artists: SIA)結成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アート・センター・スクール設立(米)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スウェーデン工芸協会「住宅工芸デザイン展」開催(その無装飾主義と機能主義がスウェーデンモダンと呼ばれ国際的に評価される. 協会は法人となり, 毎年9月スカジナビア4ヵ国によるデザイン・フェスティバル「スカジナビア・デザイン・カヴァルケイド」開催)</li> <li>・ N・ベル・ゲッデス, 流線形機関車発表. 1928年に最初の流線形列車を発表するが実現せず, このころから, 米国で流線形流行</li> <li>・ グロピウスはアドラー自動車会社のために箱型自動車(アドラー・リムジン)をデザイン</li> <li>・ チャールズ・パーニー(英)流線形の自動車設計(流線形, リアエンジン形式の先駆をなす)</li> <li>・ A・アールト, ヴィープリ市立図書館のために曲木によるスタッキングスツールをデザイン(1935年脚の成形法で特許取得)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1931 昭和6		<p>6月 ●ローマ規定の成立を機とし「著作権法改正公布」(映画放送の保護及び新聞雑誌記事等の転載の手續について)</p> <p>この年 ●ブラーゲ、神田に事務所開設。欧州各国の著作権団体・出版社の権利代行業務を行う。ブラーゲ旋風おこる</p>	<p>4月 ●スペイン革命(共和国宣言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要産業統制法公布(産業合理化とカルテルによる統制助長)</li> </ul> <p>8月 ●初の国産トーキー映画上映。「マダムと女房」</p> <p>9月 ●柳条溝の満鉄爆破事件(満州事変起る) ●清水トンネル開通</p> <p>12月 ●金輸出再禁止。軍需工業好況</p> <p>この年 ●三島徳七、MK磁石鋼(アルミが入って強磁性体にした磁石鋼、ニッケル30%アルミニウム15%鉄の組成からなる永久磁石) ●真鍋武雄、コンクリート材料配合調整装置(特90005) ●ローランドヒル(英)ほか成型用MMA樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●カローザス(米)、合成ゴム</li> </ul>
1932 昭和7		<p>この年 ●意匠課長 西川 浩</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●意匠権の範囲の考察において、公知部分(差異点)の斟酌についての判決(昭和6年(ワ)2875号)</li> </ul>	<p>1月 ●上海事変起る</p> <p>2月 ●国際連盟のリットン調査団来日</p> <p>3月 ●満州国建国宣言</p> <p>4月 ●ダイヤル式公衆電話機設置</p> <p>5月 ●五・一五事件首相犬養毅78才、暗殺される</p> <p>7月 ●独、ナチス党、第一党となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第10回オリンピック(ロスアンゼルス開催)日本南部忠平他金7個</li> </ul> <p>8月 ●チャップリン来日</p> <p>9月 ●日満議定書調印。満州国を承認</p> <p>12月 ●東京白木屋デパート火災</p> <p>この年 ●国産リードマシン完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●増本量、山本達治、センダスト(高導磁率合金の発明、電話、電信用の磁性材料に利用される)(特120004)</li> <li>●野沢一郎、ダイヤモンドソラス(体育館、講堂等柱の無い建物の建築工法の発明)(特100681)</li> <li>●山岡孫吉、小型ディーゼル機関(ヤンマー機設立の基礎)(特104895)</li> <li>●ルスカ(独)他、陰極電子顕微鏡</li> </ul>
1933 昭和8	<p>7月 ●商標法施行規則中改正(7.15商工省令第6号7.15施行)</p> <p>11月 ●第1回特許局発明展(東京丸の内商工奨励館)</p> <p>この年 ●ポルトガル工業所有権法</p>	<p>3月 ●意匠法中改正(3.14法律第10号8.1施行勅令第199号)。意匠公報の発行を規定する。意匠公報が独立、カラー版で復活する</p> <p>7月 ●意匠公報の発行時期、定価(7.26商工省告示38 8.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「満州容器」の意匠権争い。仁丹本舗、大阪地裁に意匠実施権確認の仮処分を申請、意匠権獲得の安達氏が対抗</li> </ul> <p>8月 ●意匠公報第1号(登録第59703～第59782号)発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この頃より床上包装袋で使用開始</li> </ul>	<p>1月 ●独、ヒトラー内閣成立</p> <p>3月 ●日本、国際連盟より脱退</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●米、ニューディール政策</li> <li>●米、ルーズヴェルト大統領就任</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●独、国際連盟より脱退</li> </ul> <p>5月 ●京大滝川事件</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「非水創作図案集」出版</li> </ul> <p>1月 ●田村水泡のマンガ「のらくろ二等兵」少年倶楽部に連載開始</p> <p>2月 ●建築工芸研究所発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●バウハウス留学を終えて帰国した水谷武彦の協力を得て、銀座に川喜田煉七郎が建築工芸研究所を創立(我が国初めてのバウハウス教育の実践機関、後に新建築工芸学院と改称。バウハウス留学昭和8年帰国の山脇巖みち子夫妻も参加、昭和11年まで開校。卒業生に桑沢洋子、亀倉雄策等)</li> </ul> <p>3月 ●日本工芸リーグ展開催(全国の工芸団体の連合体、日本美術工芸会主催)</p> <p>8月 ●ダット自動車製造機小型4輪自動車を製作。昭和7年3月、ダットサンと命名</p> <p>9月 ●新図案家協会結成 ●日本版画協会結成</p> <p>12月 ●東京中央郵便局(吉田鉄郎設計)</p> <p>この年 ●毎日新聞社は商業美術運動を開始、広告図案等を懸賞募集し、毎日商業美術展として公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実用版画協会は立体ポスター展を開催</li> <li>●臨時産業合理局は珫瑯鉄器工業改善委員会、陶磁器工業改善委員会を設置</li> <li>●第2回工芸技術官会議で国井工芸指導所長、「吾国工芸の進むべき方向」として「工業品美化」の提唱</li> <li>●雑誌「工芸」創刊(日本工芸協会)</li> <li>●雑誌「形」創刊(建築研究社)</li> <li>●雑誌「建築工芸アイシーオール」創刊(建築工芸研究所)</li> <li>●ルネブルー(仏人)、三越の7階特別食堂、4階婦人サロン、地下鉄ホールなどを設計。我が国初の本格的なインテリアデザイン</li> <li>●「東京広告美術家協会」結成。(後の東京広告作家協会)昭和10年東京広告美術家倶楽部となる</li> <li>●東京婦人子供服製造卸商組合など、全国既製品規格と標準寸法表を協定</li> <li>●アップライト式の電気掃除機発表(東京電気製)</li> </ul>	<p>この年 ●英、ゴッレル・レポート発表。国策としてデザイン問題を検討</p> <p>10月 ●デッソウ市立バウハウス(校長ハンス・マイヤー)国粋社会主義者の勢力で閉鎖され私立となる</p> <p>この年 ●ニューヨーク近代美術館、近代建築国際展開催(国際様式一般化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ナチスの圧迫でドイツ工作連盟も閉鎖</li> <li>●ノーマン・ベル・ゲデス、流線型リアエンジン自動車発表</li> </ul>
<p>12月 ●朝香宮邸竣工(現、東京都庭園美術館)</p> <p>この年 ●商工省、工芸品輸出増進官民合同懇談会開催(丸ノ内工業倶楽部。次年度工芸振興具体策決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国工芸係員協議会開催(神奈川県々会議事堂。商工省諮問事項協議し答申、①輸出工芸改善の科学的研究施設の強化拡充、②意匠技術調査員海外派遣、③研究指導機関は連合し政府助成で試作展示会の開催等)</li> <li>●全国家具連合会「事務卓子及び椅子標準寸法」調査</li> <li>●上野松坂屋で新興ドイツ建築工芸展(日独文化協会。ドイツの合理的な部屋、台所、鋼製家具等展示)</li> <li>●新設計室内装備展(東京三越)</li> <li>●日本青年建築家連盟結成(JAF、「建築科学」を創刊、翌年建築科学研究所と改称)</li> <li>●木材日本工芸学会設立(京大、梶田助教授)</li> <li>●愛知県、岐阜県、高知県各工芸協会設立</li> <li>●試験研究指導機関、輸出向工芸品展示開催</li> <li>●国井喜太郎、欧米に派遣される(翌年工芸ニュースエ芸紀行の記事掲載)</li> <li>●毎日商業美術、産業美術振興運動と改称、範囲拡大</li> </ul> <p>●プロレタリア美術家同盟作家作品、帝展で全出品落選</p> <p>●この頃美術のファッション化、国粋主義の傾向が問題となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商工省、工芸工匠の工芸技術保護策を決定</li> <li>●構図社結成(森永製菓機所属の商業図案家等)</li> <li>●杉浦非水たばこ(響)のパッケージデザイン</li> <li>●工芸ニュース創刊</li> </ul>	
<p>5月 ●ベルリン工業大学教授、建築家ブルーノ・タウト、ソ連より帰国できず来日(ドイツ工作連盟にも在席。一時工芸指導所で指導、工芸の質の問題など講演。後に日本の造形の近代性に着目するとともに、工芸建築界に多くの示唆を与える。1936年まで滞在)</p> <p>8月 ●日本工房設立(写真家名取洋之助他)1年足らずで解散</p> <p>この年 ●商工省、輸出工芸振興費交付開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●貿易局、第1回商工省輸出工芸展開始(輸向産産工芸品振興を目的、従来の商務局商工展は昭和14年迄)</li> <li>●日本輸出工芸連合会創設(全国工芸団体の統一機関)</li> <li>●臨時産業合理局、「事務用卓子及び椅子単純化委員」設置(単純化すべき</li> </ul>	<p>この年 ●シカゴ進歩一世紀万国博開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スウェーデン室内建築家協会設立</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>日満華停戦協定調印</li> <li>6月・丹那トンネル開通(7804m)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪地下鉄開通</li> <li>ヨーヨー大流行</li> <li>市野瀬潜, 高田桂, サントニン抽出法(『みぶよもぎ』を原料としてサントニン(虫下し)を抽出する方法の発明)(特107704)</li> <li>カローザス(米)他, ネオブレン</li> <li>ファウセット(英), ポリエチレン</li> </ul>
1934 昭和9	<p>3月・商標法中改正法律(3.27法律第15号勅令第345号昭10.1.1施行)</p> <p>5月・ロンドンにおいてパリ条約第6回改正会議</p> <p>8月・特許局移転(8.24商工省告示53号). 東京市麴町区三年町1番地(8.27)</p> <p>10月・特許制度50周年記念行事開催(日比谷公会堂)</p> <p>「特許局五十年史」刊行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意匠課長 衣川毅夫</li> </ul> <p>5月・著作権法改正公布(設定出版権制度, 著作権年月日の登録制度, 著作権審査会設置等)</p> <p>12月・パリ同盟条約のヘーグ改正条約加入(昭10.1.1発効)</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際著作権条約改訂(ブラッセル会議)に関する三省協議会(内務, 外務, 司法)設置</li> </ul>	<p>3月・満州国帝政実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不正競争防止法公布(3.27昭10.11施行)</li> </ul> <p>初の国立公園指定(瀬戸内海, 雲仙霧島国立公園他)</p> <p>4月・帝国人絹疑獄事件発覚(帝人事件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>忠犬ハチ公の銅像(東京渋谷)</li> </ul> <p>9月・室戸台風(関西死者, 行方不明3千人)</p> <p>12月・丹那トンネル開通</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日米間無線電話開通</li> <li>独, ヒトラー総統に就任</li> <li>ソ連, 国際連盟に加入</li> <li>東北地方大さきん</li> <li>国産パーマネット機械第1号. パーマネット一般家庭婦人に普及</li> <li>国産ニュース映画製作開始</li> <li>箱木一郎, 曲面印刷法(被印刷体が曲面(瓶缶)の場合に効率よく印刷する方法の発明)(特80046)</li> <li>織本道三郎, 建築用木材接合金具の発明(特117774)</li> <li>イワノフ(ソ連), 立体映画</li> <li>キューリー夫妻人工放射能発見</li> </ul>
1935 昭和10	<p>3月・不正競争防止法第4条及商標法第2条ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定シタル国ノ紋章等ヲ縦覧ニ供スルノ件(3.1商工省告示第18号)</p>	<p>8月・実用新案は意匠登録法によること(満州国特許法)の記事, 帝国工業8月号</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内務省, 著作権審査会設置(改訂案審議. 翌年「我が国の貿易の現状に鑑み」反対の立場をとることになる)</li> </ul>	<p>2月・美濃部達吉の天皇機関説政治問題化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湯川秀樹が中間子理論を発表</li> </ul> <p>3月・満州への移民始まる</p> <p>12月・初の年賀郵便用切手発行</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独, ヴェルサイユ条約破棄, 再軍備宣言</li> <li>中国共産党抗日宣言(八・一宣言)</li> <li>平均寿命, 男44.8才・女46.5才</li> <li>日本アルミニウム㈱設立</li> <li>17年ぶりに貿易収支黒字となる</li> <li>このころ, 海外に日貨排斥運動が始まる</li> <li>大日本セルロイド(糊エリ樹脂を生産)</li> <li>カローガス(米)合成繊維ナイロン</li> <li>フロイマー(独)テープレコーダー</li> <li>本田菊太郎, 紡績用ハイドラフト装置(繊維延伸レザーバンドの発明)(特114590)</li> </ul>
1936 昭和11	<p>4月・特許局長官(21代)吉野信次(4.16)</p> <p>特許局長官(22代)竹内可吉(4.26)</p>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠課長 白井義三</li> <li>産業統制立法と意匠権実施の限界について</li> </ul>	<p>1月・ロンドン会議脱退を通告</p> <p>2月・二・二六事件</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>種類, 形式, 寸法の原案を検討)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松屋, 松坂屋等モデル・ルーム形式の新家具展</li> <li>パリの国際アルミニウム局, 軽金属家具デザイン・コンペで西川友武(工芸指導所技手)1等1席を得る</li> <li>「日本木材工業」誌刊(木材工芸学会, 京大農学部内)</li> <li>工芸指導所, 東京出張事務室を商工省内に開設</li> <li>京都市美術館開館</li> </ul>	
<p>4月・東京で3号型卓上電話機使用開始</p> <p>8月・同潤会江戸川アパート完成</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形而工房, 第1回標準家具展</li> <li>工芸指導所, タウト指導の量産製品の規範原型(椅子, ドア把手, 照明器具など)の発表</li> <li>山口文象建築作品展(日本歯科附属医院等新建築作品の他, 新しい傾向の金属椅子)</li> <li>臨時産業合理化局, アルミニウム製品単純化委員会設置</li> <li>大阪で第1回国際見本市開催</li> <li>日本輸出工芸連合会, 輸出工芸展の作品を選定し第1回日本パリ陳列会開催(グランパレ)</li> <li>政府助成金, 府県試作工芸奨励金交付等で各地方に工芸協会, 指導所, 伝習所が設立. 工芸展盛んとなる</li> <li>国際商業美術交歓展, 銀座松屋で開催(広告界誌創刊10周年記念, 全国の商業美術団体計15団体の合同展. 海外の広告デザイナー計43名の作品も紹介)</li> <li>現代日本民芸展開催(日本民芸協会)</li> <li>農村工芸, タウト指導(群馬県家内工業副業奨励会)</li> <li>日本プロレタリア美術同盟解散</li> <li>工芸ニュース10月号「所謂輸出向という考え方を改めよ」と国井喜太郎所長, 輸出志向製品の反省の弁</li> <li>この年, 日産, 小型自動車ダットサンの量産開始</li> <li>名取洋之助「日本工房」を再建. 日本文化の海外紹介誌「NIPPON」創刊. 土門拳, 藤本四八, 山名文夫, 河野鷹思, 亀倉雄策等が参加</li> <li>モリス誕生百年祭記念文献絵画展覧会. ウィリアム・モリスの生誕百年を記念(丸善書店・日本橋)</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニューヨーク近代美術館, 機械芸術展開催(米国のデザインを広く知らしめ, デザインの本質と性質を明確にした)</li> <li>英, ハーバード・リード「Art and Industry」著(ゴレール・レポートを批判する)</li> <li>マンフォード著「技術と文明」刊(米)</li> <li>アアルト, 合板曲木椅子(米)</li> <li>ドイツ工作連盟(DWB), 政情の変化により解散</li> <li>英国商務省「美術ならびに産業審議会」(Council for Art and Industry)設置. ゴレール報告の提案に基づくもの. 議長DIA 会長F. ビック. 後のCoIDの活動の素地となる</li> </ul>
<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この頃, 近代的な新鮮味をもった曲線「流線型」流行. 自動車や電気製品の広告も多くなる</li> <li>「工芸ニュース」は日用器具の新旧を対照的に紹介</li> <li>第1回大阪府産業工芸博覧会開催(大阪府立貿易館で大阪商工会議所, 大阪府工芸協会共催. 工業製品の美化運動の観点から一般工業品も展示)</li> <li>工芸指導所開所7周年記念展「テーマ 物を正しく見る眼」開催. 日用工芸品の新旧比較展示を行う. この頃, 工業製品の美化運動盛んとなる. 海外デザインの動向や日用器具の変遷, 進歩の事例など紹介</li> <li>渡辺素舟, 齊藤佳三, 浜田増治, 宮下孝雄が中心となり, 日本図案作家連盟(理事長和田三造)結成.(図案家相互の権益擁護を目的に応用美術著作権の保護に関する提案に賛成, あわせて意匠法保護領域の拡大を主張). ブリュッセルで開かれる国際著作権条約改訂会議「応用美術著作権の保護に関する提案」を前に, 国内で論争起こる</li> <li>第三回商工省輸出工芸展, 海外展示とニューヨークに変更</li> <li>日本国際見本市協会設立(六大都市商工会議所, 国際的通商機関として計画)</li> <li>日本万国博覧会計画発表(日本万国博覧会協会, 昭和15年を期し世界産業の発達, 東西文化の融合, 国際平和をテーマ)</li> <li>亡びゆく七宝の復興座談会(名古屋市, 教育部主催)</li> <li>実在工芸美術会設立(高村豊周等, 翌年第1回展公募, 1品制作, 複製目的の生産工芸両者を含む)</li> <li>東京広告美術家倶楽部設立(山名文夫等)</li> <li>多摩帝国美術学校設立(後の多摩美術大学)</li> <li>第1回ブルーノ・タウト作品展(丸善)</li> <li>徳川美術館開館</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パリで日本商業美術展(前年の国際美術交歓展の作品50点を展示)</li> <li>ニューヨーク近代美術館にフィルムライブラリー設置</li> </ul>
<p>10月・全日本商業美術連盟結成(東京, 大阪, 呉, 静岡より22団体が参加, 杉浦非水会長)</p> <p>11月・国会議事堂(新折衷様式ルネサンス風, 大蔵省営繕管財局設計)完成</p>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペプスナー著「ウィリアム・モリスからワルター・グロピウスに至る近代デザインの開拓者達」刊</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>7月・満州国との工業所有権相互保護協定(7.1 外務省告示46号)</p> <p>10月・特許局長官(23代)村瀬直義(10.7)</p> <p>12月・特許局長官(24代)石井銀弥(12.22)</p>	<p>ての判決(昭和10年(ワ)117号)</p> <p>●国際著作権条約改訂会議(ブリュッセル)開催。応用美術著作権の保護に関する提案がなされるが、日本は貿易上の理由により、改訂に反対の立場をとる(未決定に終る)</p>	<p>3月・メーデー禁止を通達</p> <p>8月・ベルリンオリンピック実況放送(マエハタガンバレ)</p> <p>11月・日独防共協定成立</p> <p>この年・伊、エチオピアを併合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スペインに内乱起る</li> <li>●重要産業統制法改正公布臨時産業合理局は組織を拡充し、商品標準化、工業品の規格統一事業は各各の課で行われる</li> <li>●反共防止全国輸出漆器懇談会発足</li> <li>●自動車製造事業法公布(自動車の国内生産推進のため、自動車製造事業を許可制とし保護助成を行う)</li> <li>●竹内五一、周波数通減装置(電話呼出信号用電源で電動発電機や電子管を用いないで簡単に電源を得る装置の発明)(特117530)</li> <li>●北原五郎、五十嵐勇、超超ジュラルミン</li> <li>●宗像英二、水酸化銅化原液とする紡糸方法の発明(ペンベルグ製造法で旭化成、宮崎工場で実施)(特123122)</li> <li>●ペイジ(米)、レーダー装置</li> <li>●理化学研究所、サイクロトロン完成</li> </ul>
1937 昭和12	<p>12月・商標法施行規則中改正(12.21商工省令第32号)</p>	<p>●意匠課長 斉藤吉臣</p> <p>●意匠課長 奥田誠一</p> <p>この年●政府、輸出品高級化を計り地方庁に工芸指導員配置</p>	<p>2月・文化勲章制定</p> <p>4月・朝日新聞社訪欧機神風号ロンドン着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スフ時代到来</li> </ul> <p>5月・臨時産業合理局廃止され商工省に統制局設置公布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商工省貿易局、外局として独立</li> </ul> <p>7月・蘆溝橋事件(日華事変起る)</p> <p>9月・軍需工業動員法施行</p> <p>10月・商工省、臨時輸出入許可規則公布(ぜい沢品の輸入禁止)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商工省、貿易政策樹立のため貿易業態調査</li> <li>●商工省「機械試験所」設置絹業試験所を廃止して、「繊維工業試験所」設置</li> </ul> <p>11月・日独伊防共協定成立</p> <p>12月・日本軍、南京を占領</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●伊、国際連盟より脱退</li> </ul> <p>この年●第2次国共合作成る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中ソ不可侵条約成る</li> <li>●人造絹糸の生産高、3億3,600万ポンド、米国を抜き世界第1位</li> <li>●藤田秀雄、船舶振動防止装置(特130712)(船用内燃機関の軸のもどり振動を防止する為の振動防止装置の発明)</li> <li>●太田広太郎、有機ガラス</li> <li>●大内二男、地下構築物構築法(竹中式潜函工法)地上において建築した建物を沈下させて地下部分を構成する(日活国政会館建設)</li> <li>●ランド(米)、ポラロイドカメラ</li> <li>●カールソン(米)、ゼログラフイー</li> </ul>
1938 昭和13	<p>1月・特許取用令(1.29勅令第52号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特許法施行規則中改正(1.29商工省令第2号)</li> <li>●特許登録令中改正(1.29勅令第53号)</li> </ul>	<p>3月・意匠法中改正(3.8法律第5号6.6施行令第400号)。弁理士以外の者が代理をした場合の罰則規定削除。準用規定の変更</p> <p>この年●意匠法における意匠の工業的考案(創作性)についての判決出る(昭和12年(ワ)2469号他)</p>	<p>3月・独、オーストリアを併合</p> <p>4月・国家総動員法(4.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要産業統制法を実施</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>この年●型而工房第2回標準家具展(「生活什器として最も合理的な家具を生産的な方法において考究」する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本工作文化連盟結成(DWB)に倣って建築家、工芸家によって設立、会長黒田清、他岸田日出刀、小池新二、堀口捨巳等。分離派に始まる新建築運動、戦前最後の会の誕生</li> <li>●装備研究所設立(大泉博一郎、インテリアを対象)</li> <li>●この頃、新材料の進出とともに、合理的生活意識が進んで、新しい造形計画をめざした動きがみられる</li> <li>●臨時産業局、事務用卓子及び椅子単純化委員会商品単純化事業「家具標準化綱領」成案</li> <li>●日本輸出工芸連合会、日本工芸品ニューヨーク陳列会</li> </ul> <p>●第1回実在工芸展開催(東京府美術館)</p> <p>●全国商業美術教育会設立</p> <p>●図案技術官協会設立</p> <p>●日本民芸館開館(館長柳宗悦)</p> <p>●雑誌「工作文化」誌創刊(日本文化連盟)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●雑誌「デセグノ」誌創刊(多摩帝国美術学校図案科会、新井泉等)</li> <li>●地方庁の工芸指導所や工芸技術伝習所の開設あいつぐ(商工省のよびかけにより伝統的工芸技術の保存、意匠図案や技術の指導を行う計画)</li> <li>●大阪市立美術館開館</li> <li>●D51型機関車完成</li> </ul>	<p>この年●パリ国際博覧会、「現代生活における芸術と技術」をテーマに開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●イリノイ工科大学デザイン学部設立</li> <li>●グロピウス、モホリー・ナギー、M・ブロイアー、米国移住。以後バウハウス関係のデザイナーなど次々渡米、米国のデザイン界に大きな役割をはたす</li> <li>●ニュー・バウハウス、シカゴに設立(校長モホリー・ナギー、昭和24年イリノイ工科大学に併合さる)</li> <li>●H・ドレフュスのデザインによる、ベル電話会社のプラスチック製の卓上電話器登場</li> <li>●米国包装容器会社(Container Corporation of America CCA)は、「タイム」「フォーチュン」「ビジネス・ウィーク」などの雑誌に連続広告の掲載を始める</li> <li>●ペンシルヴァニア鉄道S-1型、R.ローウィのデザインによる流線形の機関車</li> </ul>
<p>この年●工芸指導所、「木工品および金工品」から工芸全般に業務対象拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本輸出工芸連合会第1回日本工芸品シカゴ陳列会</li> <li>●パリ万国近代芸術工業博で坂倉準三設計の日本館、設計賞受賞</li> </ul> <p>●日本輸出工芸連合会、海外貿易幹旋所を各地に設置</p> <p>●東京帝室博物館(東洋様式)開館。渡辺仁設計</p> <p>●若狭邸(日本の伝統を生じた近代住宅建築)完成。堀口捨巳設計</p> <p>●1937年合同ポスター展(構図社、東京印刷美術)</p> <p>●国産愛用・廃品更生展(上野松坂屋)日本商工会議所主催、商工省後援</p> <p>●輸出入品等臨時措置法公布(戦時における貿易、物資統制の基本法)</p> <p>●プラスチック什器が登場</p>	<p>この年●米国、工業意匠協会(IDI)設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「アアルトオの建築と家具」刊(ニューヨーク近代美術館)</li> <li>●ゲオルグ(ハンガリー)、ポール・ベン</li> </ul>
<p>10月・第1回商工省代用品工業振興展開催(昭和15年迄)</p> <p>12月・二科九室会結成</p> <p>この年●臨時物質調整局官制公布(物質統制の中央機関)。「各種材料使用禁止または制限令」によって軍需資材を統制、代用品時代に入る(東京の青バス、</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>3月・特許法中改正(3.8法律第3号3.1施行勅令第521号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許法中改正(3.8法律第5号6.6施行勅令第400号)</li> <li>実用新案法中改正(3.8法律第5号6.6施行勅令第400号)</li> <li>商標法中改正(3.8法律第4号8.1施行)</li> </ul> <p>7月・パリ同盟条約ロンドン改正条約(7.27条約第5号外務省告示第63号8.1発効)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許法施行規則中改正(7.27商工省令第66号8.1施行)</li> <li>商標法施行規則中改正(7.27商工省令第67号)</li> </ul> <p>9月・商標法施行規則中改正(9.26商工省令第82号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法施行規則中改正(9.26商工省令第81号)</li> </ul>		<p>5月・メーデー永久禁止</p> <p>9月・ミュンヘン会談(独英仏伊4国)</p> <p>この年・中国、国民政府、重慶移転</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>零戦(零式艦上戦闘機完成)</li> <li>中小平和産業の軍事産業転換のため政府補助金交付</li> <li>渡辺寧、電話中継用増幅器(特132587)</li> <li>永井健三、五十嵐悌二、石川誠、交流バイアス磁気録音方式(SONY株の基礎となる発明。録音前に交流をかけてノイズを除き録音精度を向上させる)</li> <li>バイエル(独)、硬質ウレタンフォーム</li> <li>W.H.カローサス(米)、ナイロン発明</li> </ul>
1939 昭和14	8月・特許局長官(25代) 大貝晴彦(8.14)		<p>1月・地下鉄、新橋、渋谷間開通</p> <p>3月・軍事教練を大学の必須科目とす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NHK技術研究所は有線テレビジョンの実験放送を公開する</li> </ul> <p>5月・ノモンハン事件</p> <p>6月・国民精神総動員委員会、遊興営業の時間短縮、ネオン全廃等の生活刷新案を決定</p> <p>7月・国民徴用令を施行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米国、日米通商条約破棄を通告</li> <li>東京芝浦電気(現東芝)設立</li> </ul> <p>8月・日英会談決裂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニッポン号、世界一周飛行成功</li> </ul> <p>9月・第2次世界大戦始まる</p> <p>10月・価格等統制令公布(9月18日現在の水準に価格などを釘づけにする。9.18ストップ令)</p> <p>この年・独、チェコを併合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独ソ不可侵条約</li> <li>独、ポーランドに侵入し、英仏と開戦</li> <li>東京放送会館竣工(田村町)</li> <li>間宮精一、バックフォーカシングカメラ(フィルム面が移動して焦点を結ぶ方式を採用することによりスプリングカメラに距離針運動のピント合わせを可能にした。マミヤ6の発明)(実294734)</li> <li>矢島稔、尾沢敏男、矢沢将英、目黒清太郎、合成繊維カネビアン</li> <li>桜田一郎、ホリビニルアルコール(ビニロン)の発明(アセチレンの化学的利用、独の発明を実用化した)(特147958)</li> </ul>
1940 昭和15		この年・伊、意匠令	<p>3月・汪兆銘(精衛)の南京政府成立</p> <p>5月・英、チャーチル首相に就任</p> <p>9月・日・仏印軍事協定成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本軍北部仏印に進駐</li> <li>日独伊三国軍事同盟締結</li> </ul> <p>10月・大政翼賛会発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語表記のタバコ名を日本語に改称。新製品からバットを「金鶏」、チェリーを「桜」</li> </ul> <p>11月・大日本帝国国民服令公布</p> <p>この年・伊、英仏に宣戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独軍、パリ占領。仏降伏</li> <li>代用品愛用強調運動始まる。商工省内に「優良品選定協議会」設置。日本商工会議所を中心とする「代用品選定委員会」の審査により優秀代用品にマークを表示</li> <li>商工省奢侈品等製造販売制限規則を公布(工芸産業に打撃)</li> <li>岡沢鶴治、アルミニウム精錬の発明</li> <li>神原周、ポリアクリルニトリル合成繊維(ポリアクリルニトリルを65%以上の鉱</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>木炭車に改造7月)。代用品見本製作費政府助成金交付。この年、陶製鍋、竹製スプーン、鮫皮靴、鮭皮ハンドバッグ、電気パン焼器等発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業輸出品高級化のため、見本製作補助金交付</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京府立工業奨励館開設</li> <li>戦時特質活用協会設立</li> <li>工芸技術官協会設立</li> <li>杉田精二等型会設立第1回展</li> <li>工精会設立</li> <li>経緯工芸設立(辻光典、吉田大夫)</li> <li>電通、明日の広告博開催</li> <li>「防空知識普及ポスター展」全日本産業美術連盟主催</li> <li>代用品普及協会設立</li> <li>商工省の指導のもとに、「代用品工業協会」設立</li> <li>「国策代用品普及会」設立(販売業者による)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シュールレアリスム国際展(パリ)</li> <li>ブルーノ・タウト没(1880～1938)</li> </ul>
<p>4月・報道美術協会結成</p> <p>5月・陸軍美術協会結成</p> <p>5月・美術文化協会結成</p> <p>この年・これ迄の商工展と輸出工芸展は廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貿易局工芸品輸出振興展、貿易局輸出工芸図案展(1等2,000円)開始(加藤清澄、金子徳次郎等が受賞)</li> <li>商工省、鉄製不急品(広告等)を回収、優良代用品を選定</li> <li>戦時体制による機構改革(産業統制体制の整備)</li> <li>工芸指導所、商工化学局に移管。輸出工芸振興委員会設置。政府は輸出雑貨用原料を配給</li> <li>ライブテッチ見本市に日本の日用品を出品</li> <li>ブエノスアイレス日本商品陳列会(日本輸出工芸連合会)</li> <li>ニューヨーク万国博に日本館設置</li> <li>大阪生産意匠連盟設立</li> <li>代用品工業協会第1回優秀代用品見本市開催</li> <li>新興合成樹脂製品普及展開催</li> <li>第1回大阪工芸振興展開催</li> <li>国際報道工芸設立(日本工房改称)</li> <li>雑誌「民芸」創刊(日本民芸協会)</li> <li>雑誌「輸出工芸」創刊(日本輸出工芸連合会)</li> <li>雑誌「現代建築」創刊(日本工作文化連盟)</li> <li>雑誌「工芸と技術」創刊(新井泉ら)</li> </ul>	<p>この年・フォルクスワーゲン開発会社創設、フォルクスワーゲン開発</p>
<p>この年・輸出向工芸品の意匠改善のため貿易局、シャルロット・ベリアン(コルビュジェの門弟)招へい(来日後、日本の伝統を生じた、近代デザインの範を示す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工芸指導所、本所を東京(巣鴨)に移す</li> <li>代用品愛用強調運動開始</li> <li>工芸美術作家協会設立</li> <li>全国洋家具連盟設立</li> <li>報道技術研究会設立(今泉武治ら)</li> <li>商工業規格統一展開催</li> <li>東京府工業奨励館、戦時産業工芸展開催</li> <li>大阪市南方共栄圏展開催</li> <li>中南米展開催</li> <li>日本新聞広告史刊行(電通)</li> <li>この頃画家の従軍者多数</li> </ul>	<p>4月・根津美術館開館</p> <p>この年・英、豪華客船クウィーンエリザベス号完成(8万3673トン)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1941 昭和16	7月・特許法施行規則中改正(7.14商工省令第65号9.15施行) 10月・特許局長官(26代)鈴木英雄(10.21)	3月・著作権法改正(3.6法律第36号) 4月・審査第一部に意匠課設置	4月・日ソ中立条約締結 6月・独、ソ連と開戦 8月・米・英、大西洋憲章発表 9月・食糧の配給切符制始まる 10月・ゾルゲ事件 ・東条内閣成立 ・国民勤労報国会公布 12月・ハワイ真珠湾を奇襲(太平洋戦争始まる) ・独・伊、米国に宣戦 ・中国政府、日独伊に宣戦 この年・紙の「日本標準規格」全面实施。(昭6.2, 商工省告示により標準規格が規定されたが、普及実践に至らず。)(規格の一例書簡用紙はB5の一本建て書籍はA4.B5.A5.B6.A6.の5種、雑誌はA4.B5.A5.B6.の4種など) ・商工省特別技術班会議開催 ・戦時工芸対策懇談会議開催 ・貿易統制令公布 ・望月富防、電波による物体群探知方式(レーダーの先駆の発明)(特174790) ・ホイットル(英)、ジェット機 ・クローニング(独)、ジェルモード ・ディクソン(英)他、テリレン
1942 昭和17	1月・特許局長官(27代)中村幸八(1.19) この年・メキシコ合衆国工業所有権法	この年・意匠課長 勝本朝男	1月・科学技術に関する最高行政官庁として技術院、内閣外局として設立 ・マニラ占領 2月・食糧管理法(米穀供出配給統制制度完成) ・シンガポール占領 4月・米機、東京等を初空襲 ・翼賛選挙(第21回総選挙) 6月・ミッドウェー海戦 ・食糧の買出し、闇取引流行 ・関門海底トンネル開通 12月・シカゴ大学でウランの核分裂連鎖反応実験に成功 ・大脇健一、超高周波オシロ管(特162634) ・川崎宗造、オイルレスベアリング(特154334) この年・連合国、大西洋憲章実現を宣言 ・「欲しがりません勝つまでは」の標語流行
1943 昭和18	3月・特許発明等実施令(3.23勅令第159号) 10月・工業所有権戦時特例公布(10.31法律第109号12.10施行)。審査、審判の手続の簡素化、公報発行停止 ・技術院総裁(28代)井上匡四郎(11.1)	10月・工業所有権戦時特例(10.31法律第109号12.10施行)。意匠出願が禁止される	2月・ガダルカナル日本軍撤退 3月・野球用語の日本語化決定 5月・アッツ島日本軍全滅 7月・東京都制施行 9月・伊、無条件降伏 ・上野動物園で猛獣を毒殺 11月・カイロ宣言 ・商工省廃止され軍需省、農商省設置 12月・第1回学徒出陣 この年・内務省情報局、ジャズなど米英音楽約千種類の演奏禁止 ・工芸指導所、農商省生活物資局に移管。伝習事業を中止し、工芸技術を軍事的に活用させる ・工芸技術保存資格者制度設立 ・田中十三、独立気泡スポンジゴム ・ランスバーグ(米)、静電塗装法 ・谷村博蔵、小型真空管の排気方法の考案(ビーナツ管の考案)(実351082)

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
2月・国防文化協会結成 この年・第1回木漆金工関係技術改善研究会設立 ・日本輸出工芸連合会日本工芸シカゴ陳列会開催 ・太平洋報導展開催 ・商工省資源回収と代用品展開催 ・美術雑誌第一次統合(既刊全誌を廃刊して、8誌に統合、創刊) ・ベリアンの「伝統、選択、創造展」開催(高島屋) ・国家総動員法による「生活必需品統制令」公布(工芸産業衰退) ・岸記念体育館(丹下健三設計) ・瀧口修造、福沢一郎、シュルレアリストとして検挙	この年・ウイリーズ・ジープ生産開始 ・「オーガニック・ファニチャー・コンペ」ニューヨーク近代美術館主催。チャールズ・イームズとエーロ・サーリネンは成形合板と金属を組み合わせた椅子を共同製作して入選 ・ジークフリート・ギーディオン著「Space, Time and Architecture」(邦訳「空間・時間・建築」)刊行
5月・第1回芸術院賞(小磯良平、高村光太郎、川田順) 12月・第1回大東亜戦争美術展開催 この年・工芸指導所、商工省企業局に移管 ・文部省、大東亜教育兼学術兼技術連絡協議会設置 ・南方園衣食住研究助成金交付 ・広告税実施 ・日本輸出工芸連合会工芸展開催 ・日本工芸品サイゴン陳列会開催(日本輸出工芸連合会) ・宣伝技術家協会(会長光永真三、電通社長)設立(国家宣伝並びに産業広告の技術的研究と実践が目的) ・興亜造型文化連盟設立 ・日本漆器、家具各統制協会設立 ・全日本公道価格家具見本公開展開催 ・国立博物館南方文化展開催 ・構成技術大系創刊(川喜田著、学校美術協会発行) ・レオナルド・ダ・ヴィンチ展 ・大東亜生活工芸展 ・「FRONT」東方社(1941年陸軍参謀本部に直結した特殊団体として設立)創刊。海外、とくに東南アジア諸国向けの国家宣伝誌 ・貿易局工芸振興費廃止(貿易局輸出工芸展廃止)	
5月・(社)日本美術及び工芸統制協会創立。美術及び工芸技術保存資格者に対する絵具など資材の配給を行う ・「日本美術報国会」(会長横山大観)創立。大政翼賛会文化部、情報局、文部省の指導による主要美術団体を統合する組織 この年・「工芸ニュース」は「工芸指導」と改称	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1944 昭和19	12月・技術院総裁(29代)八木秀次(12.5)	5月・台湾特許法公布(意匠)(5.29)	6月・連合軍ノルマンディー上陸作戦  7月・サイパン島日本軍全滅 ・東条内閣総辞職 11月・サイパン基地の米空軍、日本本土爆撃始める。国家財政中の軍事費85%強に達する ・B29東京初空襲 ・橋本勇次、尿素樹脂接着剤 ・小田基礎、鉄を主成分とする黄色顔料の製造法の発明(特166146)
1945 昭和20	5月・技術院総裁(30代)多田礼吉(5.22)  9月・特許標準局長官(31代)佐藤基(9.5) ・特許法施行令中改正(9.5勅令第522号) 10月・特許法施行規則中改正(10.18商工省令第5号) 11月・工業所有権戦時法ニ依り取り消サレタル特許又ハ商標ノ登録ニ関スル件(11.5勅令第620号) この年・ブラジル連邦共和国工業所有権法	9月・商工省に特許標準局設置	2月・ヤルタ会談  4月・米軍沖縄本島に上陸開始 5月・独、無条件降伏 7月・米・英・ソ、ポツダム会談  8月・広島に原子爆弾投下  ・ソ連、日本に宣戦  ・長崎に原子爆弾投下 ・ポツダム宣言受諾 ・無条件降伏 ・太平洋戦争終る ・連合軍総司令部(GHQ)設置 ・政治犯釈放 10月・国際連合成立 ・中国国共の内戦始まる ・第1回宝くじ発売。1枚10円、1等10万円、副賞キャラコ2反 11月・日本社会党結成 ・財閥解体を指令 12月・日本共産党再建 ・婦人参政権実現 この年・(財)規格協会設立。工業標準化事業の宣伝普及を行う ・パーマネント復活 ・軍需省農商省廃止、農林省と商工省設置 ・商工省外局として貿易庁設置 ・工業指導所商工省に移管 ・田島栄、アルミニウム及びアルミニウム合金の迅速鏡面電解研磨法の発明(特171866) ・川原田政太郎、電磁時計(電圧の変化及び一時の停電の際も正確に指針する電気時計の発明)(特177454) ・オープンハイマー(米)、原子爆弾 ・ダニエル(仏)、テトラポット
1946 昭和21	1月・特許標準局長官(32代)奥田新三(1.25)  2月・発明相談所(特許局指導課)開設 7月・特許標準局長官(33代)久保敬二郎(7.10)  10月・工業所有権戦時特例を廃止するの件(10.31法律第50号11.15施行) 1月・米商標法(ランナム法)サービスマークの保護開始(世界初) ・シリアアラブ共和国商業及び工業所有権法	10月・工業所有権戦時特例廃止の件(10.31法律第50号11.15施行)意匠出願再開	1月・木村荘八、元旦の日経紙上に「文化省生れよ」発表  ・天皇人間宣言 ・公職追放令  2月・第1次農地改革を実施  ・新円発行  4月・日本最初の男女平等による総選挙  ・「サザエさん」(長谷川町子著)夕刊フクニチに連載始まる 5月・第1次吉田内閣成立 ・極東軍事裁判、東京法廷開く ・東京通信工業機設立(昭和33年ソニーと改称) ・食料メーデー  7月・輸出品検査制を強化

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
2月・内務省情報局、美術展覧会取扱要綱発表(一般公募展禁止)、美術団体続々と解散  3月・東京及び京都高等工芸学校は図案科を廃止、工業専門学校となる 9月・二科展、一水会、新制作派展中止 10月・二科会、旺玄会、構造社、日本彫刻家協会、新構造社解散  この年・工業指導所、航空木製部品製作技術等の講習会開催 ・伝統技術保存のため工芸文化財復元事業を実施 ・「工業指導」誌休刊  ・美術工芸展すべて中止	12月・英、デザイン振興のための組織「工業デザイン協議会」(Council of Industrial Design CoID)、スコットランド委員会とともに設立。英国の生産品のデザインの改善が目的。協議会は報告書を毎年議会に提出 ・ケベス著「視覚言語」刊 ・ヴァシリー・カンディンスキー(1866-1944)没 ・パーカー(オランダ)、テレビジョン受信器  ・ワイマー(米)、テレビジョン管
11月・二科会再興  ・行動美術協会結成 12月・「商工省輸出商品陳列所」(銀座松屋4階)開設 この年・工芸学会設立、「工芸学会誌」創刊  ・「建築雑誌」復刊(建築学会)  ・(財)工芸学会内に、意匠及意匠権研究委員会設置。「商品標準化委員会」特許標準局が中心となり商工省に設置。標準商品として検査に合格したものに「角標」を付け、品質保証の表示を行う	この年・米、工業デザイナーの職能団体「工業デザイナー協会」(Society of Industrial Designers SID)設立。(初代会長はW.D.ティーク。1955年ASIDと改称) ・インド産業美術研究所設立。機関誌「アートインダストリー」発行
3月・工業指導所、連合軍将校クラブ用家具什器の設計製作行う。連合軍指令部(GHQ)の指令で、政府は進駐軍家族住宅2万戸を建設することになり、工業指導所が家具の設計生産を指導。同じく機器製品(洗濯機・冷蔵庫等)の調達に関連各業界に指示され、技術とデザインについて啓発される 4月・早稲田大学、工芸美術研究所を設置 ・「規格と標準」創刊(特許局)  ・雑誌「建築文化」(彰国社)創刊  ・ウォーナー、GHQ顧問として来日。古美術保護公開政策に助言  6月・工芸ニュース(工業指導所編集)復刊。巻頭言で「最近進駐軍又は観光外人相手のスーベニアとして…工芸品の生産と販売を計画する者が雨後の筈の如く現われて来たが、これ又概して、往年の浜物以下の低劣品イカもの揃いで、到底日本工芸の真価を紹介するに足らない」と、粗悪品の洪水をいませている 7月・再開第1回全国貿易展示会(横浜商工奨励館)。1都2府30県参加  ・吉田謙吉舞台美術研究会展(銀座資生堂画廊) 8月・「アトリエ」復刊 9月・美術統制会(美術資材の需給を統制していた)解散  ・第1回工芸図案及応用作品展覧会(工芸学会主催)商工省貿易庁、特許標準局、商工省工業指導所後援 ・二科展、新制作派展、院展、一水会展復活	9月・CoID「ブリテン・キャン・メイク・イット」展入場者150万  この年・イームズ成形合板の椅子発表 ・ハーバート・パイヤーCCAのアートディレクターとなり、同社の後援するアスペンデザイン会議の責任者となる

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の全面的内戦始まる</li> <li>8月・商工省輸出商品陳列所(白木屋5階)を「日本貿易館」として再発足</li> <li>9月・第1回芸術祭賞(文部省芸術課長今日出海提唱)</li> <li>10月・戦後初の正倉院展(奈良博物館)</li> <li>第2次農地改革諸法公龍</li> <li>11月・日本国憲法公布</li> <li>中間子理論の発展と超多時間理論発展(朝永振一郎)</li> <li>三越ホール(三越劇場)開場</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天皇制論議盛ん</li> <li>宝くじ・三角くじ流行</li> <li>ロンドンで国連第1回総会</li> <li>蒋介石, 国府の首席となる</li> <li>工芸品輸出協議会(貿易庁)設立, 輸出工芸見本品は総て本協議会の審査を受けなければならない</li> <li>文学者の戦争責任論, 政治と文学論争起こる</li> <li>住宅よこせ大会</li> <li>ラザレンコ(ソ連), 放電加工法</li> <li>桑田勉, 菅原勇次郎, 活性白土(酸性白土より優秀な活性白土と硫酸礬土を製造する工程を発明)</li> </ul>
1947 昭和22	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月・特許法中改正(9.8法律第105号). 特許料の増額</li> <li>実用新案法中改正(9.8法律第105号)</li> <li>商標法中改正(9.8法律第105号)</li> <li>10月・商標法中改正(10.2法律第115号昭23.3.31施行). 農産種苗法の制定に伴う改正</li> <li>12月・特許法施行規則中改正(12.22商工省令第34号昭23.1.1施行)</li> <li>特許法中改正(12.22法律第223号昭23.1.1施行)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月・特許第一部に意匠商標課設置</li> <li>発明奨励委員会第6部会「輸出貿易の促進を図るため優秀意匠の奨励及び活用策如何」について答申</li> <li>(1)現行意匠法の改正を要望(2)民間団体に意匠権保護運動とそのための仕事を実施せしめる</li> <li>9月・意匠法中改正(9.8法律第105号)登録料, 罰金の増額</li> <li>意匠標準課長 斉藤一夫</li> <li>意匠標準課長 松原憲太郎</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フィリピン共和国発明特許, 意匠特許, 実用新案特許に関する法律</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・2・1スト決行宣言</li> <li>2月・参議院, 議院選挙法公布</li> <li>GHQより, 輸出品に(Made in Occupied Japan)の記号を記載するよう指令が出る</li> <li>3月・教育基本法, 学校教育法公布(6・3・3制規定)</li> <li>米大統領トルーマン(トルーマン・ドクトリン)宣言(トルコ, ギリシアへの援助を要請)</li> <li>4月・労働基準法公布</li> <li>衆参両院議員総選挙(社会党第一党)</li> <li>独占禁止法公布</li> <li>地方自治法公布</li> <li>5月・日本国憲法施行</li> <li>6月・片山哲社会党内閣成立</li> <li>米國務長官マーシャル, ヨーロッパ復興計画(マーシャル・プラン)を発表</li> <li>「総合文化」創刊</li> <li>8月・貿易再開</li> <li>最高裁判所発足</li> <li>パキスタン独立(8.14)</li> <li>インド独立(8.15)</li> <li>10月・国家公務員法公布</li> <li>第6回国勢調査総人口7810万1473人</li> <li>12月・内務省廃止</li> <li>改正民法公布「家」制度廃止</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「斜陽族」「アプレゲール」流行</li> <li>ミス(米), ダクタイル鋳鉄</li> <li>今川為一, 自転車のフレームをダイカストで成形する方法を発明(プリズトン自転車)(特188311)</li> </ul>
1948 昭和23	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月・特許法中改正(7.15法律第17号). 新憲法の施行に伴う整備. 秘密特許の廃止. 特許料の増額</li> <li>実用新案法中改正(7.15法律第172号). 実用新案関係費用及登録令公布</li> <li>商標法中改正(7.15法律第172号)</li> <li>特許法施行規則等中改正(7.15商工省令第23号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月・意匠法中改正(715法律第172号). 登録料の増額. 準用規定変更</li> <li>意匠法施行規則中改正(715商工省令第23号). 登録料納付に関する規定変更. 準用規定変更</li> <li>意匠ニ関スル審判其ノ他ノ手続ノ費用及登録ニ関スル件中改正(7.15政令第162号)</li> <li>1月・日本輸出工芸協会設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・帝銀事件</li> <li>3月・民主自由党結成</li> <li>5月・第一次中東戦争, イスラエル共和国成立</li> <li>6月・太宰治自殺</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>「みづゑ」復刊. 「三彩」創刊</li> <li>11月・戦後第1回工芸関係官会議(京都商工会議所)</li> <li>女流画家協会結成</li> <li>金沢美術工芸専門学校設置(校長森田亀之介後の金沢美術大学)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本雑誌広告協会」設立. (後に日本雑誌広告会と改称)</li> <li>日本デザイナー協会結成</li> <li>日本工芸協会設立</li> <li>日本規格協会設立</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月・泰西名画展(東京都美術館)読売新聞社主催</li> <li>4月・発明奨励委員会設置, 第6部門が意匠問題を扱う</li> <li>第二紀会結成</li> <li>5月・全国輸出工芸振興会議(日本貿易館)貿易庁主催</li> <li>本間美術館開館(山形県酒田市)</li> <li>国立博物館官制公布(帝室博物館, 美術研究所等を合併)</li> <li>6月・日本手工業染織技術連盟発足</li> <li>全国優良物産展(伊勢丹)日本商工会議所主催</li> <li>新日本建築家集団(NAU)結成</li> <li>10月・日本工芸協会社団法人となる</li> <li>西洋美術名作展, 東京博物館主催</li> <li>11月・工芸ニュース昭和23年5月号まで7回, ニューヨーク近代美術館コレクションを特集紹介</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本著作家組合美術著作権確立懇談会開催</li> <li>西山卯三著「これからの住い」相模書房</li> <li>浜口隆一著「ヒューマンイズムの建築」相模書房</li> <li>生産工芸研究所(所長山脇巖, 所員小杉二郎他)設立. 建築設計事務所と同様, 生産工芸品の設計を引き受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この年・カナダ・デザイン情報事務局設置</li> <li>オーストラリア工業デザイナー協会結成</li> <li>ニューバウハウス, イリノイ工科大デザイン学部となる</li> <li>ハッセルブラッド500Cカメラ発売</li> <li>スチュードバーカー社チャンピオン(米国最初のコンパクト・カー)</li> <li>M・ナギ著「ビジョン・イン・モーション」刊</li> <li>パリ近代美術館開館</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・雑誌「美術手帖」(美術出版社)創刊</li> <li>2月・広告電通賞制定</li> <li>3月・豊口克平・松本政雄著「新住宅と家具」技術資料刊行会</li> <li>4月・東京工芸総合展(松坂屋)東京都工芸協会主催, 伝統的工芸技術と科学に立脚した明朗な工芸品を育成し輸出振興を図るため第1部美術工芸品第2部産業工芸品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンドル展(ニューヨーク近代美術館)</li> <li>6月・プラノセル会議「デザイン」を著作権で認める</li> <li>この年・CoID, 「デザイン」誌創刊</li> <li>カナダ工業デザイン協議会設立</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許施行令等中改正(7.15政令162号)</li> <li>実用新案法施行規則中改正(7.15商工省令第23号)</li> <li>秘密特許, 実用新案の解除の件(GHQ覚書1902-1)(7.31)</li> <li>商標法施行令中改正(7.15政令第162号)</li> <li>商標法施行規則中改正(7.15商工省令第23号)</li> <li>8月・特許局長官(33代)久保敬二郎(8.1)</li> <li>12月・工業所有権戦時法中改正(12.2法律第219号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月・輸出商品意匠改善協議会(東京都)設立</li> <li>6月・ベルヌ条約ブラッセル改正条約調印(6.26)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和電工事件(昭和電工社長と商工省課長の贈賄容疑)</li> <li>7月・建設省発足</li> <li>8月・工業技術庁発足, 工芸指導所所管となる</li> <li>プロ野球初ナイター試合</li> <li>中小企業庁発足, 工芸班設置される</li> <li>大韓民国独立宣言</li> <li>9月・朝鮮民主主義人民共和国成立宣言</li> <li>10月・芦田内閣, 昭電疑獄で総辞職</li> <li>11月・極東軍事裁判判決</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビルマ共和国独立</li> <li>ガンジー, 暗殺される</li> <li>世界人権宣言発表</li> <li>リーゼントスタイル流行</li> <li>日米国際電話開通</li> <li>東京, 高輪に鉄筋コンクリート造り共同住宅建設(公的住宅の基礎)</li> <li>梅田勇雄, 館野正淳, 直井利雄, 内田秀雄, 「新式2号」醤油醸造法(キッコーマン(欄短期間に醸造する方法の発明)(特181616)</li> <li>小柴定雄, ジルコニウムを添加した切削用合金鋼の発明(安来鋼)(特175525)</li> <li>ゴールドマーク(米), L・Pレコード</li> <li>ショックレー(米), 接合型トランジスタ発明</li> <li>ジョン・バーデン(米)外1名, トランジスタ発明</li> </ul>
1949 昭和24	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月・経済安定政策(ドッジ・ライン)明示</li> <li>5月・特許法中改正(5.24法律第103号5.25施行)</li> <li>実用新案法中改正(5.24法律第103号)</li> <li>商標法中改正(5.24法律第103号5.25施行)</li> <li>特許局が特許庁に, 特許局長官が特許庁長官に名称変更(通商産業省設置法施行に伴う関係法令整理法による)</li> <li>特許庁長官(33代)久保敬二郎(5.25)</li> <li>商標法施行規則中改正(5.25通商産業省令第3号)</li> <li>特許施行令中改正(5.24政令第109号)</li> <li>特許施行規則中改正(5.25通商産業省令第3号)</li> <li>8月・通商産業省設置法(5.24法律第102号5.25施行)</li> <li>特許法中改正(8.16政令第309号9.1施行)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連合国人工業所有権戦後措置令公布(8.16施行9.1)。(工業所有権戦時法は廃止)。これにより, 連合国人の特許権が復活</li> <li>特許庁年報第1巻(昭和23年版)発行, 戦前の特許局概要, 特許, 実用新案, 意匠及び商標の趨勢, 特許局統計年表を整理一括</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月・意匠法中改正(5.24法律第103号5.25施行)。条文中「特許局」を「特許庁」に, 「特許局長官」を「特許庁長官」に変更</li> <li>意匠商標課長 松原憲太郎</li> <li>意匠商標課長 機長昌利</li> <li>12月・貿易管理令, 輸入貿易管理令公布。昭和25年GHQの示唆で同管理令を改正。意匠権等を侵害するおそれのあるものの輸出に関しては承認制を適用</li> <li>日本著作権協議会結成</li> <li>エジプトアラブ共和国特許・意匠及び工業的ひな型法</li> <li>英国, 意匠法改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・日本学術会議発足</li> <li>法隆寺金堂焼失</li> <li>4月・単一為替レート決定(1ドル=360円)</li> <li>北大西洋条約機構(NATO)調印</li> <li>5月・通商産業省発足。商工省廃止</li> <li>シャープ税制使節団来日(8月, 勸告)</li> <li>6月・工業標準化法(JIS)(6.1)昭和25年以後, 工業技術庁で日本工業規格(JIS)の制定作業すすめる。昭和29年国際標準化機構(ISO)に加入</li> <li>7月・下山事件</li> <li>三鷹事件</li> <li>8月・松川事件</li> <li>通商産業省, 貿易白書発表</li> <li>日本人技術者の海外渡航許可される</li> <li>10月・民間貿易実施許可(輸出12月1日, 輸入1月1日)</li> <li>中華人民共和国成立</li> <li>ドイツ民主共和国成立</li> <li>11月・工業技術庁編「わが国鉱工業技術の現状」(技術白書)発表</li> <li>湯川秀樹ノーベル賞受賞</li> <li>インドネシア共和国独立</li> <li>12月・お年玉付き年賀はがき発売</li> <li>戸山ハイツの建築(建設省)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>5月・工芸ニュース, チャールズ・イームズの椅子紹介。全国木製品展(松坂屋)商工省主催</li> <li>6月・日本輸出工芸展(東京都美術館)</li> <li>GHQデザインブランチ日本人スタッフ及び工芸指導所共編「デペンデン・ト・ハウス(連合軍家族用住宅集)」技術資料刊行会</li> <li>7月・アメリカに学ぶ生活造型展(三越)世界日報社主催</li> <li>9月・「美しい暮しの手帖」創刊</li> <li>12月・第2回玩具設計技術協会展(三越)</li> <li>横浜市, 輸出工芸指導所設立</li> <li>トリトンデザイン事務所(佐々木達三等)開設</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出品取締法制定公布。(輸出品に関する取締規則。各品種別に民間の検査協会や組合を相次いで設立。昭和28年の改正で第三者検査法を強化)</li> <li>国際建築家連合(UIA)誕生</li> <li>英国マンチェスター商工会議所, 日本の輸出織物意匠のうち外国意匠を侵害するものに対し善処方の要望をGHQに申入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MG社モデルTC発表</li> <li>サーリネンのウームチェア発表</li> <li>ボラロイドランドカメラ発表</li> <li>ハーマンミラー社の収納壁発売</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・工芸技術官懇話会(永楽クラブ)工業技術庁主催</li> <li>第1回産業意匠展(日本橋高島屋)特許庁, 発明協会, 日本工芸団体連合会共催。神戸, 広島に移動展。輸出貿易の促進を図るため, 優秀意匠の奨励活用方策として発明奨励委員会の答申に基くもの。商工大臣賞自動車図案(トヨタグループ)</li> <li>中小企業振興工芸展(東京三越)中小企業庁, 工芸指導所主催。工芸指導所20周年記念事業として試作品展示</li> <li>工芸指導所編「現代アメリカ工芸」(技術資料刊行会)</li> <li>法隆寺金堂の壁画焼失</li> <li>2月・美術史学会創立</li> <li>第1回読売アンデパンダン展</li> <li>4月・東京教育大学に構成員座開講</li> <li>工芸ニュース, 「白い陶器をめぐる」(柳宗理)掲載</li> <li>5月・東京芸術大学発足(東京美校, 東京音楽校の統合)</li> <li>工芸ニュースに小池新二が「新しいデザイン運動から工芸の語を追放すべし, デザインとは設計の意であって, 意匠のことではない」と書く</li> <li>雑誌「ドレス=メーカー」創刊</li> <li>6月・工芸ニュース, 柳宗理「デザインと技術」で単純の美を説く</li> <li>日本美術家連盟結成, 創立総会(美術著作権の確立, 生活擁護などをめざす)</li> <li>9月・全国漆器新作展(和光)日本漆工協会主催。海外向を意図したもの</li> <li>10月・古川徹也(富士電機)パイプ利用のデルタファン発表</li> <li>11月・第1回毎日美術賞展</li> <li>工芸ニュース, ヴィニール工芸品特集</li> <li>12月・プラスチック展覧会(三越)朝日新聞社主催</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイナー, ティナ・リーサ来日。昭和26年にかけてアメリカンスタイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CoID, 日本竹製品展</li> <li>この年・第1回国際家具見本市(ケルン)開始</li> <li>ハワード・ミラー社掛時計と泡形照明器具発売</li> <li>H・ウェグナー, ラウンド・チェア発表</li> <li>シコロスキーのヘリコプター, S-58発表</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洋裁学校激増(2000校, 生徒20万人)</li> <li>本田宗一郎, 小型ガソリンエンジン(自転車につけることが出来るアルミ製のエンジン発明)本田技研の基礎(特181197)</li> <li>バラード(米)他, カラーテレビ</li> </ul>
1950 昭和25	<p>5月・特許法施行規則中改正(5.22通商産業省令第41号)</p> <p>11月・工業所有権制度改正審議会設置。制度改正について審議をはじめ</p>	<p>4月・審査第一部に意匠課設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠課長 山本茂(4.24)</li> </ul> <p>5月・意匠課長 玉川喜代次(5.15)</p>	<p>1月・千円札発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上級公務員試験開始</li> </ul> <p>2月・中ソ友好同盟相互援助条約モスクワで調印</p> <p>4月・放射性同位元素初輸入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短期大学発足</li> </ul> <p>5月・農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律(JAS)施行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護法公布</li> </ul> <p>6月・参議院議員選挙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝鮮戦争勃発</li> </ul> <p>7月・総評結成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金閣寺全焼</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝鮮戦争による特需景気がおこる</li> </ul> <p>8月・警察予備隊設置</p> <p>9月・第2次シャープ税制勧告</p> <p>10月・アサヒカメラ復刊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政府, レッド・ページ正式発表</li> </ul> <p>11月・NHK東京テレビジョン実験局, 定期実験放送開始</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝鮮動乱特需の金へん糸へん景気</li> <li>前衛生け花(勅使河原蒼風, 小原豊雲)盛んとなり, モダンアート協会設立</li> <li>杉浦睦夫外1名, 胃カメラの基本特許(オリンパス)(特191516)</li> <li>鳳誠三郎, 放電加圧パルス性放電をくり返し発生させることによって金属等に精密加工を行なう(特196831)</li> <li>ウインフィールド(英)他, ポリエステル</li> <li>ペンリラサム(米), アクリロニトリル</li> </ul>
1951 昭和26	<p>3月・特許法中改正(3.6法律第9号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(3.6法律第10号)</li> <li>商標法中改正(3.6法律第12号)</li> </ul> <p>・特許施行令中改正(6.1政令第183号)</p>	<p>3月・意匠法中改正(3.6法律第11号)登録料, 罰金の増額</p> <p>1月・通産省が, 米国意匠権侵害の不正貿易商に初の戒告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出貿易管理令改正。仕向国の意匠権を侵害するおそれのある意匠について, 通商産業大臣がこれを指定し, 指定意匠を用いた商品の輸出には通商産業大臣の承認を要する「止め柄」制度発足。この年第1回告示を行い, 数回の追加によって, 織物, 陶磁器, ライター等73種目に及んだ</li> <li>工業所有権制度改正審議会設置。続出するデザイン盗用問題解決のため政府のり出す</li> </ul>	<p>1月・ダレス特使, 対日講和協議のため来日。マッカーサー, 日本再軍備の必要を説く</p> <p>3月・国産総天然色映画封切り。松竹「カルメン故郷に帰る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回アジア競技大会日本初参加(ニューデリー)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>イラン政府, 石油国有化宣言</li> </ul> <p>4月・国産初のLPレコード発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外市場調査会(後のJETRO)設立。貿易振興をはかるための機関。英国の「BETRO」をならったもの。日本商品の海外紹介や市場調査, 市場開拓などを行う</li> <li>日本, ユネスコ・国際労働機構(ILO)に加盟</li> <li>日本, ユネスコ加盟承認さる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民登録法</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>公営住宅法公布</li> </ul> <p>7月・朝鮮休戦会談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間航空復活</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ル全盛</li> <li>アメリカンスタイルの家電製品が出回り始める</li> <li>工業技術振興展覧会(工業新聞主催)工芸指導所輸出工芸意匠改善研究発表</li> <li>戸山ハイツ, 鉄筋アパート14棟建設(東京戸山原)建設省</li> <li>鈴木豊次郎著「工芸概論」</li> </ul>	
<p>1月・雑誌「芸術新潮」(新潮社)創刊</p> <p>2月・池田通産大臣, デザイン盗用問題に関し, 「本邦業者が関係している限りにおいて, 本邦業者の信用と名声を傷つける」と語る。(このころから, 日本商品に関するデザイン盗用問題, 我が国内・外で話題となる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「工芸ニュース」ヘンリー・ドレフュース作品特集</li> </ul> <p>3月・国鉄, 湘南型電車完成。東京, 沼津間で使用開始。長距離用電車の原型となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リコーフレックス発売。二眼レフの流行はじまる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本貿易博覧会(通称神戸博)(神戸)開催。インダストリアル・デザインの特設展示, 海外のデザイン資料や国内製品の新しいデザインなど展示</li> </ul> <p>5月・イサム・ノグチ来日。イサム・ノグチ作品展8月(日本橋三越)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本写真家協会(JPS)結成</li> </ul> <p>9月・新制作派協会に建築工芸部門新設</p> <p>10月・秋田県工業振興展(秋田県記念会館)秋田県主催</p> <p>11月・ウィンドウ・ディスプレイ・コンクール(三越)参加団体。二科, 美術文化, 二紀, 新制作派</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青森県新製品展(全国物産館)</li> <li>「工芸ニュース」にはじめてインダストリアル・デザインの用語登場。インダストリアル・デザインという名称が, 工芸, 産業工芸, 意匠の言葉にとってかわる</li> <li>工芸指導所, 東芝と提携, 欧米のインダストリアルデザインの研究</li> </ul>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニューヨーク近代美術館とシカゴ・マーチャングイズマート, グッドデザインの選定開始(1955年中止)</li> <li>オランダに工業デザイナーの団体(KIO)結成</li> <li>イームズ, ロッド製椅子発表</li> <li>オリベッティ社, レッテラ22発売</li> <li>エドガー・カウフマン「デザインとは何か12の定理」ニューヨーク近代美術館刊</li> <li>ドイツ工作連盟(DWB)再建</li> </ul>
<p>1月・愛知県設計家協会設立</p> <p>2月・レイモンド・ローウィ来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊藤憲治デザイン個展</li> </ul> <p>3月・第1回「デザインと技術」展(三越)工芸指導所主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マチス展(表慶館)</li> </ul> <p>4月・工芸指導所を「産業工芸試験所」と改める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉大学工学部に工業意匠科新設</li> <li>東京芸術大学美術学部に工芸計画科新設</li> <li>松下電器産業, 宣伝部に製品意匠課設置(課長真野善一), これを口火に企業でのデザイン部門設置があいつぐ</li> </ul> <p>6月・日本宣伝美術会(JAAC)結成</p> <p>7月・輸出意匠展示会(新宿三越)</p> <p>8月・ピカソ展(高島屋)</p>	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本のクラフト」展, 「グッドデザイン」展(ニューヨーク近代美術館)</li> <li>英国祭(ロンドン)</li> <li>第9回トリエンナーレ(伊)</li> <li>第1回アスペン国際デザイン会議(米), コロラド州アスペン, 以後アスペン国際デザイン会議(IDCA)として毎年開催</li> <li>国際デザイン会議(ロンドン, Royal College of Art), Cold主催。工業デザインに関する世界最初の会議, 議題「デザイン・ポリシー」欧米各国の企業幹部250名出席</li> <li>仏で「工業美学協会」(Institut d'Esthétique Industrielle)設立。(デザイナー, ジャック・ヴィエノの提案に基づく。インダストリアルデザインの研究, 振興のための機関誌「Esthétique Industrielle」を刊行)</li> <li>フランス工業美術協会設立</li> <li>西独ケルンで, 「工業デザイン協力会」(Arbeitskreis für Industrielle Formgebung)結成。経済省の「工業デザイン振興官」に対応する。工業界の活動のひとつでドイツ工業全国連合会が業界, 学界, 美術界, 一般消費者の代表を統合したもの</li> <li>西独ダルムシュタット「デザイン評議会」(Rat für Formgebung)設立。デザイン振興機関として連邦議会の決議により設置。当初は国立, のち財団法人となる。1952年10月発足</li> <li>8台の自動車展(ニューヨーク近代美術館)テールフィンとクロームの最盛期であったので機能的なジープ再評価</li> <li>サンパウロビエンナーレ開始</li> <li>フォトキナ(ケルン)開始</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>9月・サンフランシスコ講和会議(全権吉田茂)対日平和条約, 日米安全保障条約調印</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対米軍関係新特需契約始まる</li> <li>民間ラジオ放送はじまる</li> </ul> <p>12月・JIS展(制定30周年記念事業)(三越)日本規格協会, 日刊工業新聞社, 日本婦人新聞社主催</p> <p>この年・米国窯業界は, ノリタケ・チャイナの型が米国製陶器に類似し価格が極端に低廉であると指摘。関税引き上げの請願書を提出する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋からバチンコの大流行はじまる</li> <li>コールドパーマ流行</li> <li>ニセ物横行時代(シロゲン, 味の素)</li> <li>岡村俊彦外1名, 酸化鉄にMn-Znを入れた高磁性フェライトの発明(特229601)</li> <li>大杉鉄郎外2名, ポリビニールアルコール系合繊維(ビニロン)の動物質化法の発明(特212991)</li> <li>斉田治三郎, 非常用折畳運搬車の考案</li> </ul> <p>・オーストリア, スイス, 溶練方法(LD法)</p>
1952 昭和27	<p>3月・特許庁長官(34代)岡田秀男(3.21)</p> <p>4月・特許法中改正(4.28法律第101号)対日平和条約の発効に伴い, 外国人の特許及び特許権の享有に関する規定を相互主義の原則に基づいて緩和した</p> <p>6月・特許登録令中改正6.10政令第182号)</p> <p>8月・特許庁長官(35代)長村貞一(8.1)</p> <p>11月・特許法施行規則中改正(11.17通商産業省令第86号昭28.1.1施行)</p>	<p>1月・万国著作権条約成立</p> <p>8月・輸出入取引法公布8.5法律第299号)仕向国の工業所有権または著作権を侵害する貨物の輸出入取引を禁止し, 指定貨物の意匠に対しては, 通産大臣の輸出承認を義務付けた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カナダ意匠並びにユニオンラベル法</li> <li>オーストリア意匠法</li> </ul> <p>・チェコスロバキア商標並びに意匠及びひな型の保護に関する法律</p>	<p>1月・韓国, 季承晩ライン宣言</p> <p>4月・対日平和条約発効, 対日講和条約, 日米安全保障条約が発効し, 日本の主権が回復した, インフレ下の不況ムードが支配した</p> <p>5月・メーデー事件</p> <p>7月・第15回オリンピック大会(ヘルシンキ)に敗戦後初参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エジプトにクーデター起る</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>破壊活動防止法成立</li> <li>全国地域婦人団体連絡協議会(地婦連)結成</li> <li>住民登録実施</li> <li>東京国際空港(羽田)開港</li> </ul> <p>8月・国際通貨基金, 国際復興開発銀行加入</p> <p>10月・衆議院議員総選挙, 自由党過半数確保</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一回オーディオ・フェア</li> <li>東京の人口700万人突破</li> <li>スクーター流行</li> <li>ジュニクス(米), 熱可塑性ハロゲン化, ビニール重合体組成法</li> <li>柏原学, 無段変速機の発明(リングコーン方式)(実480716)</li> <li>内田鉄衛, コロナ加圧式石油ストーブの発明</li> <li>堀江友広, 研磨用ポリビニールホルマール製品の発明(特197284)</li> </ul> <p>・大本陽三, メリヤス擬革の発明(特205580)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>9月・第1回日宣美展(松屋)以降毎年開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新制作派と創造美術が合同, 新制作協会を結成(9.10)</li> </ul> <p>10月・全日本工芸美術家協会設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出包装展(三越)通産省, 東京都主催</li> </ul> <p>・第5回日本広告展(三越)</p> <p>・P・R・ポスター展(松坂屋)</p> <p>・第1回サン・パウロビエンナーレ国際美術展</p> <p>11月・英議員, 議会で日本の意匠盗用と低賃金を非難</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活工芸集団(日展工芸に対する在野工芸家たちの会)結成</li> </ul> <p>・神奈川県立近代美術館(坂倉準三設計)開館</p> <p>・北海道・東北中小企業振興展(仙台三越)主催中小企業庁, 仙台・札幌通産局, 東北6県</p> <p>12月・商業美術展(三越)毎日新聞社主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柳宗理, 東京通信工業社のテープレコーダーのデザインを行う</li> <li>ニコンス(日本光学)発売</li> <li>日本織物染織同業組合に意匠委員会を置き, 組合員から輸出品の意匠を届けさせて, 模倣意匠であるか否かの審査を開始(昭和30年, 日本繊維意匠センターへ発展)</li> <li>「第1回生活と工芸」(福岡市岩田屋百貨)開催。工芸指導所, 朝日新聞社の共催(福岡通産局, 九州各県後)以後毎年開催。九州地方のデザイン啓蒙事業</li> </ul> <p>この年・「モダン・リビング」の風潮高まる</p>	<p>・H・ドレフェウス, クライテリオン洗面台(クレイン社)発売</p>
<p>1月・小池新二, 大阪毎日紙上に「意匠ドロボウの横行」発表。毎日新聞社「新日本工業デザイン・コンペ」を募集すると発表。新人デザイナーの登竜門となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「美術批判」誌(美術出版社)創刊</li> </ul> <p>・科研にサイクロトン再建</p> <p>・ブリジストン美術館開館</p> <p>2月・剣持勇, 東京毎日紙上に「商品近代化と工業デザイン」発表</p> <p>・東京商業美術家協会(東商美)結成</p> <p>3月・毎日新聞社, 第1回「新日本工業デザイン・コンペ」入賞者発表, 第1席柳宗理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新日本工業デザイン展(三越)毎日新聞社主催</li> </ul> <p>4月・工芸指導所を工業技術院産業工芸試験所(IAI)と改称, 下丸子へ移る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>たばこピースの箱(D.レーモンド・ローウィ, デザイン料150万円)新装発売</li> <li>福井県工芸指導所設立</li> </ul> <p>5月・剣持勇, アスペンデザイン会議出席のため渡欧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回日本国際美術展(5.22~6.13)</li> <li>新日本工業デザイン展(梅田阪急)毎日新聞社主催</li> <li>レイモンド建築事務所工芸作品展(高島屋)</li> </ul> <p>・欧米商業美術展(三越)東京都, 共同通信社主催</p> <p>6月・東日本トレードフェア(横浜貿易館)神奈川県主催</p> <p>7月・工芸ニュース「デザイン盗用の波紋」を載せ, この2年間に染織品で40余件, 他に万年筆, ミシン, ライター, 陶磁器について各国から抗議が相次ぐと警告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝日広告賞(朝日新聞社)制定</li> </ul> <p>9月・ピースの箱(D.レーモンド・ローウィ)意匠登録となる(意匠登録第100573号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京アド・アートディレクターズクラブ(ADC)結成</li> </ul> <p>10月・日本インダストリアル・デザイナー協会(JIDA)設立(剣持勇, 柳宗理, 金子徳次郎等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都商業デザイン協会結成</li> </ul> <p>11月・エリック・ギル著「衣裳論」(創元社)</p> <p>12月・東京国立近代美術館(東京京橋)開館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都産業美術展</li> </ul> <p>この年・原動機付き自転車発表。本田技研工業のF型カブ。50c.c.補助エンジンをベタルをこいで始動させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マジックインキ発売</li> <li>テレビジョン受像機(意匠登録第99440号)</li> </ul>	<p>この年・ドムス誌(伊)丹下健三紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シャトル極東貿易博覧会開催</li> </ul> <p>・西ドイツ産業展(東独ベルリン)</p> <p>・西ドイツデザイン協議会設立</p> <p>・エジソン社小型録音機, ボルシェ356, ヤコブセンのネットの椅子発表される</p> <p>・ニュージーランドスケープ展(ケンブリッジ)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1953 昭和28	<p>3月・不正競争防止法改正(3.26法律第26号, 7.8施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原産地虚偽表示防止マドリッド協定加入のため</li> </ul> <p>11月・特許庁長官(36代)石原武夫(11.17)</p>		<p>1月・アイゼンハウアー米大統領に就任</p> <p>2月・NHKテレビ放送開始</p> <p>3月・ソ連スターリン没73才</p> <p>5月・英人ヒラリー、ネパールテンジン、エベレスト初登頂</p> <p>6月・英国王エリザベス2世の戴冠式行われる</p> <p>7月・朝鮮休戦協定調印</p> <p>8月・日本テレビ放送開始(民放テレビの初め)</p> <p>10月・東京に赤電話登場</p> <p>11月・日本自由党結成</p> <p>12月・奄美大島復帰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初のスーパーマーケット「紀ノ国屋」(東京青山)開店</li> </ul> <p>この年・街頭、店頭テレビ人気集める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭電化ブーム始まる</li> <li>蛍光灯普及始まる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>吉田忠雄、ファスナー用チェーンの間歇植付式高速度製造装置の発明(特220487)</li> <li>マクドナルド(米)、ボリアセタール</li> </ul>
1954 昭和29	<p>2月・特許登録令施行規則(2.1通商産業省令第2号)</p> <p>3月・4月18日を「発明の日」と定める(3.29)</p> <p>7月・特許庁長官(37代)上野幸七(7.2)</p>	<p>9月・玉川喜代次特許庁意匠課長、工芸ニュースのアンケートに答えて、産業界のデザイン模倣盗用を警告</p> <p>12月・意匠課長 高田忠(12.1)</p>	<p>2月・造船疑獄拡大</p> <p>3月・日米相互防衛援助協定(MSA)調印</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビキニ島の米水爆実験。第五福竜丸被災</li> </ul> <p>4月・ネール平和五原則声明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インドシナ休戦協定成立</li> </ul> <p>6月・警察法、防衛庁設置法、自衛隊法成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エカフェ加入</li> <li>東京国際見本市協会発足</li> </ul> <p>7月・経済白書「拡大発展への地固め」発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>50銭以下小銭廃止</li> </ul> <p>9月・洞爺丸事件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デフレ・企業合理化進行</li> <li>失業者71万人</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>東南アジア集団防衛条約</li> </ul> <p>10月・カッパックス刊行</p> <p>この年・電気洗濯機普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロレスブーム</li> <li>ドーナツ版発売</li> <li>ヘップバーンカット、ボーイッシュカット、ポニーテール</li> <li>風戸健二、芦沼寛一、伊藤一夫、伊藤二男、岡崎伊喜夫、関利正、電子顕微鏡(高電圧安定装置によって鮮明な電子顕微鏡画像が得られるようになった)特</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>1月・工芸ニュース「世界のインダストリアル・デザイン運動の50年」特集</p> <p>2月・JIDA、毎日新聞社のデザインコンペに対し、審査方法等の申し入れを行い、意匠権が応募デザイナーに所属するという慣例を開く</p> <p>3月・第1回生活工芸展(松坂屋)朝日新聞社主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2回生活工芸展(福岡岩田屋)産業工芸試験所、朝日新聞社主催</li> </ul> <p>4月・産業工芸試験所、座姿測定研究、プレハブ家具の研究に着手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界のポスター展(国立近代美術館)</li> </ul> <p>5月・ベリアン、再来日。工芸ニュース「日本のインダストリアルデザイン」特集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本アブストラクトアートクラブ(長谷川三郎、川口軌外、山口長男等)結成</li> <li>亀倉雄策グラフィックデザイン展(中央公論社画廊)</li> <li>雑誌「アイデア」(誠文堂新光社)創刊</li> <li>東京都内に赤色の委託公衆電話登場</li> </ul> <p>7月・レーモンド・ローウィ著「口紅から機関車まで」藤山愛一郎訳(学風書院刊)ベストセラーとなる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Aクラブ(木村恒久、田中一光、永井一正等)結成</li> <li>日本銅版画協会結成</li> </ul> <p>8月・日本デザイン学会設立(会長勝見勝)</p> <p>9月・日本デザイン学会デザイン用語委員会、デザインの定義について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本流行色協会設立</li> <li>20世紀の色彩展(白木屋)日本流行色協会主催</li> <li>第1回グラフィック集団展</li> <li>山名文夫個展</li> <li>KAK(金子至、秋山芳夫、河潤之助)設立</li> <li>日宣美公募展</li> </ul> <p>10月・国際デザインコミッティー(現、日本デザインコミッティー)設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全日本広告連盟(会長藤山愛一郎、全国各地の広告協会の連合体)設立</li> </ul> <p>11月・第2回「新日本工業デザインコンペ」第1席小杉二郎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杉浦非水図案生活50周年記念祝賀会</li> <li>東京でクリスチャン・ディオールのファッションショー開催</li> </ul> <p>12月・工芸ニュース「子供のためのデザイン」を特集し、カイ・ボイセン(デンマーク)の木製猿を紹介</p> <p>この年・ディオール流行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>皆川正、宮島久七、信貴徳三デザイン事務所開設</li> <li>F・カウフマン著「近代デザインとは何か」美術出版社</li> <li>ル・コルビュジェ著「モデュロール」美術出版社</li> <li>リリー著「人類と機械の歴史」岩波書店</li> <li>L・マンフォード著「技術と文明」鎌倉書房</li> <li>W・モリス著「民衆の芸術」岩波書店</li> <li>国産の外車、オースチンA40。日産自動車が発売。ほかにもルノー、ヒルマンも製造技術導入</li> </ul>	<p>2月・西独、ストットガルト市の「技術美と優良工業デザイン」展にJIDA参加</p> <p>この年・生活美術博覧会(仏パリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カナダ、グッドデザイン賞制定</li> <li>第3回アスペンデザイン会議開催。剣持勇出席</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>カナダ国際見本市へ日本出品</li> <li>カナダデザインセンター開設</li> <li>インダストリアルデザイナー国際会議(パリ)開催、将来ICSIDへ成長する母体となる</li> <li>JETRO、ニューヨークトレードセンター開設</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルイス・マンフォード、ハワード・マイヤー賞受賞</li> <li>CoID年報刊</li> <li>スイスの雑誌「Graphis」(グラフィック特集46号)に日本の商業美術を紹介。日本人デザイナー41人の作品116点掲載。8人のデザイナーに同誌の表紙デザインを依頼</li> <li>ドイツの雑誌「Gebrauchsgraphik」日本のデザインを紹介</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本貿易特許所」(米国ニューヨーク5番街)開設</li> <li>独ハンブルクに、日用品と住宅に関するデザイン・センター「ドイツ工芸館」設立。一部建築部門は政府の補助金により運営</li> <li>カナダオタワ市にデザイン・センター開設</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際的なデザインの年鑑「IDEA」創刊</li> <li>10台の自動車展(米、ニューヨーク近代美術館)</li> <li>アメリカン旅行社、シェルモールドによる旅行靴「トリティバ」開発</li> <li>フランスウィック社学童用家具発表</li> </ul>
<p>1月・「工芸ニュース」グッドデザインを特集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>N・ウイナー著「人間機械論」みすず書房</li> </ul> <p>2月・日本デザイン学会で著作権、意匠権の法的不備が議論される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>欧米生活工芸展(白木屋)</li> <li>海外市場調査会(後のJETRO)の依頼で柳宗悦、浜田庄司の蒐集品を展示</li> </ul> <p>3月・「工芸ニュース」パッケージデザイン特集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本伝統工芸展(三越)</li> <li>桑沢デザイン研究所開校</li> </ul> <p>4月・産業工芸試験所海外デザイン研究員制度発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都工芸繊維大学に意匠工芸科開設</li> <li>多摩美術大学、日本大学芸術学部にて工業デザインの講座開講</li> <li>第1回中部工業デザイン展(文天堂画廊)愛知県工業設計家協会主催</li> <li>新しき住生活展(高島屋)モダンリビングをテーマとする、デパートの自主企画展</li> <li>第1回日本国際見本市(大阪)以降東京と大阪で隔年に開催</li> <li>第1回全日本自動車ショー開催(東京)</li> </ul> <p>5月・ワルター・グロピウス夫妻来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>淡島雅吉ガラス個展(中央公論社画廊)</li> <li>第1回現代美術展(都美術館)</li> <li>ベニス映画祭で黒沢明「七人の侍」溝口健二「山椒太夫」銀獅子賞受賞</li> </ul> <p>6月・グロピウスとパウハウス展(東京国立近代美術館)</p>	<p>この年・インドデザイン会議開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CASABELLA誌(伊)復刊</li> <li>雑誌「INDUSTRIAL DESIGN」(米)創刊</li> <li>オランダ工業展(アムステルダム)CoID出品</li> <li>ブラッセル国際展へCoID出品</li> <li>パッケージデザイン展(コペンハーゲン)</li> <li>英国産業博覧会(ロンドン、バーミンガム)</li> <li>第10回ミラノトリエンナーレ展創立30年を記念して工業デザイン部門新設</li> <li>「光学機器展第1回日本カメラショー」米国ニューヨーク・トレードセンター</li> <li>「スカンディナヴィアのデザイン展」米国、カナダ各地(30余りの美術館)を巡回開催。(1957年以後スカンディナヴィア・デザインの語が一般化)</li> <li>「黄金のコンパス賞」創設イミラノのリナシェンテ百貨店、イタリア工業デザインのうち百貨店の販売製品を対象とする賞</li> <li>西独エッセンにデザイン・センター創設</li> <li>ジオ・ボンティの便器(スタンダード社)発売</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>GE社厨房センター発売</li> <li>バックミンスター・フラー幾何ドームの特許取得</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>212436).</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>井上深, 放電加工電源装置の発明, 放電加工機の国産1号機完成(ジャパックス)(特236179)</li> <li>ディーチュ(仏), トランジスタ時計</li> <li>ブーア(米), クロムメッキ技術</li> <li>東芝の真空管式計数型TAC東大へ納入. これを32個つなぎ, 電子計算機としてのひとつのシステムをつくる</li> </ul>
1955 昭和30	<p>4月・特許制度70周年記念行事開催「特許制度70年史」刊行(4. 18)</p> <p>11月・特許庁長官(38代)井上尚一(11. 25)</p> <p>この年・ベネズエラ共和国工業所有権令</p>	<p>この年・アルゼンチン工業的意匠並びにひな型の保護に関する法律</p>	<p>1月・シネラマ初公開</p> <p>2月・日本生産性本部発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>衆議院議員総選挙(民主党第一党)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>重要無形文化財初指定(浜田庄司, 松田権六他)</li> </ul> <p>4月・アジア・アフリカ(AA)会議開催</p> <p>6月・アルミー円貨発行</p> <p>7月・日本住宅公団設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四国巨頭会議(ジュネーブ)英米仏ソ</li> </ul> <p>8月・第1回原水爆禁止世界大会, 広島大会開催</p> <p>9月・ガット加入</p> <p>10月・社会党統一なる</p> <p>11月・自由民主党結成. 景気回復・神武景氣到来</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理研光学工業事務用複写機リコピー量産開始</li> </ul> <p>12月・石原慎太郎「太陽の季節」芥川賞受賞</p> <p>この年・家庭電化時代へ突入. 洗濯機, 冷蔵庫, 白黒TVを三種の神器と呼び, TV受信者10万人を突破する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソ連, マレンコフ首相辞任し, プルガーニン後任</li> <li>英, チャーチル首相辞任し, イーデン後任</li> <li>バンドン会議開く</li> <li>ワルシャワ条約調印</li> <li>消費生活ほぼ戦前のレベルに回復</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>7月・ADC第1回展</p> <p>8月・日宣美展(第1回一般公募展)</p> <p>10月・工芸ニュース, エルゴノミックスを紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小杉二郎工業デザイン製品展開催.(ブリジストンビル)工業デザインに関する初めての個展</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>モダンリビング展(高島屋)婦人画報社主催</li> </ul> <p>11月・初のSF映画「ゴジラ」封切</p> <p>この年・美術批評家連盟設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「カメラ毎日」創刊</li> <li>「国際標準化機構」(ISO)加入</li> <li>山脇敏著「バウハウスの人々」彰国社</li> <li>佐藤敬之助著「英字デザイン」丸善</li> <li>「デザイン大系」全8巻(ダヴィッド社)</li> <li>「デザイン教育講座」美術出版社</li> <li>個人デザイン事務所の開設がこの頃からあいつぐ</li> </ul>	
<p>1月・トヨベクトクラウン(48馬力)発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌「リビングデザイン」(美術出版社)創刊</li> <li>雑誌「インテリア」創刊</li> </ul> <p>2月・(財)日本繊維意匠センター設立. 輸出入取引法による意匠の保全登録, デザインコンクール, 講習会等の事業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌「デザイン・ジャーナル」「カラー・デザイン」を発行</li> <li>第3回「新日本工業デザインコンペ」1席無し, 2席に野口瑠璃, 野沢富佐子</li> <li>第1回毎日産業デザイン展(三越)市場より選定された約60点の商品を展示</li> <li>愛知県文化会館美術館開館</li> </ul> <p>3月・ブルクハルト著「空間・時間・建築」(丸善)</p> <p>4月・通商産業省, 国民車構想発表, 貿易振興費前年の約3倍となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外市場調査会(JETROの全身)デザイン留学生制度開始</li> <li>ル・コルビュジェ, レジェ, ペリアン三人展(白木屋)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本が誇る特許と意匠商標大展覧会(東京産業会館)</li> </ul> <p>5月・福島県インテリアデザイン協会設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回東京日本国際見本市(東京)</li> <li>第2回全日本自動車ショウ(東京 日比谷公園)</li> <li>欧米ポスター展(三越)東京都, 共同通信社主催</li> <li>全国民芸展(長野県松本市公会堂)</li> </ul> <p>6月・日英織物意匠会議, 織物の意匠盗用防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>剣持勇退官, デザイン事務所開設(昭31. 1)</li> <li>造形教育センター発足</li> <li>セミナー「アメリカのデザイン」産業工芸試験所, 在日アメリカ教育委員会主催</li> <li>国際観光ポスター展(高島屋)</li> <li>山口正城他著「デザイン小辞典」ダヴィット社</li> </ul> <p>7月・第1回毎日産業デザイン賞作品賞小杉二郎, 早川良雄, 功労賞国井喜太郎, 山名文夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都染織図案展</li> </ul> <p>8月・トランジスタラジオ国産第1号機ソニーTR55発売. 東京通信工業(ソニー)</p> <p>9月・コンラッド・ワックスマン(米, プレハブ構造専門家)来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全日本産業工芸展(東横)工芸学会, 日本経済新聞社主催</li> </ul> <p>10月・グラフィック55展(河野鷹思, 亀倉雄策, 原弘, 早川良雄, 伊藤憲治, 山城隆一, 大橋正)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統とグッドデザイン展(旭川市民会館)産業工芸試験所東北支所主催</li> </ul> <p>11月・グッドデザインコーナー(松屋)新設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ル・コルビュジェ来日</li> <li>工芸ニュース, 街のデザイン特集</li> </ul> <p>12月・ラッセル・ライト来日</p> <p>この年・電気釜第1号機, 東芝RC-6K, 10K発売(東芝, D. 岩田義治)(意匠登録第121606号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カイ・ボイセン(デンマーク)のデザインした猿, 熊, 兎, 馬等の木製玩具が, 米国人名, 日本人名で特許庁へ意匠登録出願され, 特許庁はこれを拒絶. 猿の木製玩具は, デンマークから米国へ1個6ドルで輸出されていたが, 日本の模倣品は先発メーカーが2ドルで輸出し, 競争メーカーが次々とあらわれて, 一番安いものは70セントとなった</li> </ul>	<p>この年・ニューヨーク近代美術館, 初期の目的を達したとして, グッドデザイン選定事業を中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仏のJ・ヴィエノが中心となり招集した会議(仏工業デザイン研究所主催)で, IDの国際機構の設立を決定する(参加国ベルギー, 米, 英, 仏)</li> <li>西独クルップ「工業デザイン・センター」(Sammlung Industrie Form)設立</li> <li>グッドデザイン展(スイス パーゼル)</li> <li>ポーテ・フランス展(仏 アンジェ)</li> <li>グッドデザイン・イン・アルミニウム展(カナダ)</li> <li>BCCデザイナー会議(ロンドン)英国色彩協会主催</li> <li>スウェーデン国際工芸展(ヘルシンキ)</li> <li>第5回アスペンデザイン会議へ清家清, 渡辺力, 伊藤敏一出席</li> <li>ウルム造形大学開校(校長マックス・ビル)</li> <li>太平洋国民博覧会(カナダ ヴァンクーバー)</li> <li>国際家具コンクール(伊, カンツォ)</li> <li>「インダストリアル・デザイン・イン・アメリカ」(SID編)米国工業デザイン協会(SID)創立10周年記念出版として刊行</li> <li>シトロエンDS-19, GEポータブルTV, BSAスーパーロケットオートハイ, ニュートン社ビルトインミキサー発売</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1956 昭和31	<p>4月・国際工業所有権保護協会(AIPPI)日本部会設立</p> <p>6月・防衛目的のためにする特許権・技術上の知識の交流を容易にするための米国との協定(条約12号外務省告示第58号)</p> <p>この年・静岡、栃木、山梨の各地に考案保護審議会発足</p>	<p>1月・万国著作権条約(1.28)の記号を付記4.28日本国について発効</p> <p>3月・通商産業省設置法改正(3.31法律第49号附則5.19施行)発明奨励審議書を意匠審議会とする</p> <p>5月・意匠奨励審議会令(5.18政令149号5.19施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許庁に意匠奨励審議会設置</li> </ul> <p>10月・意匠課資料係を設置(10.1)</p>	<p>2月・「週刊新潮」創刊</p> <p>3月・科学技術庁設置法(3.31)(初代長官 正力松太郎)</p> <p>4月・原子力3法成立</p> <p>5月・全国消費者団体連絡会(消団連)結成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主婦連会館完成</li> </ul> <p>7月・人口9000万を突破</p> <p>10月・日ソ共同宣言に調印、日ソ国交回復</p> <p>11月・東海道本線全線電化完成</p> <p>12月・日本、国連加盟</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「水俣病」工場排水との関係で問題化</li> <li>NHKカラーテレビ実験放送開始</li> </ul> <p>この年・エジプト、スエズ運河の国有化宣言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハンガリー暴動</li> <li>スエズ動乱</li> <li>高原景気といわれ、経済白書は「もはや戦後ではない」と報告</li> <li>太陽族誕生、慎太郎刈り</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>団地族、公団・分譲アパートの登場</li> <li>週刊誌ブーム</li> <li>三島松夫、極小型直流モーター(特243977)</li> <li>沢崎憲一、磁気録音方式の発明(ビデオ)(特252253)</li> <li>ナッタ(伊)外、ポリプロピレン</li> </ul>
1957 昭和32	<p>1月・特許法等施行規則改正(1.22通産省令第2号4.1施行)特許等願書・明細書・説明書・図面・雛形・見本等作成心得。(昭27通産省告示第185号)を廃止し、願書等様式・作成心得を規定する</p> <p>5月・電子工業振興臨時措置法公布</p> <p>6月・特許法施行規則による指定。(6.27通商産業省告示第248号)フィリピンと相互主義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニース協定締結(標章の登録の為の商品及びサービスの国際分類に関する協定)</li> </ul>	<p>1月・意匠法施行規則中改正(1.22通商産業省令第2号4.1施行)様式が第6まで定められ、願書様式、図面等作成要領の詳細が明示される。登録証等が縦書から横書になる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠奨励審議会委員15名、専門委員44名を発令する(1.28)</li> </ul> <p>2月・第1回意匠奨励審議会、グッド・デザイン選定制度の決定(2.22)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠奨励審議会にグッド・デザイン専門分科会、毛織物専門分科会を設置。(2.22)</li> </ul> <p>3月・特許庁意匠奨励審議会内に「デザイン専門分科会」を設立し、グッド・デザイン商品(Gマーク商品)の選定開始(10月、第1回の選定、キャノン・カメラ2種)</p> <p>5月・輸出検査法公布(昭33.2.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠奨励審議会令改正(10.25政307)委員15人から20人に。通産省内に「意匠奨励審議会」設置。発明意匠審議会の意匠関係を独立。発明奨励に関する事項は科学技術庁に移管</li> </ul>	<p>1月・南極観測隊、南極上陸に成功</p> <p>2月・岸内閣成立</p> <p>3月・チャタレー裁判最高裁判決</p> <p>10月・日本、国連安全保障理事会非常任理事国に選出される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>造船実績世界第一位</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際収支悪化(実質4億ドルの赤字)</li> <li>ガーナ独立(アフリカ)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソ連、人工衛星「スプートニク1号」打上げ成功</li> <li>11月・日本原子力発電設立</li> <li>12月・カラーテレビ実験局開局(NHK)</li> </ul> <p>この年・なべ底不況と云われる中で、10月5千円札、12月百円硬貨、化繊シャツ、折たたみ傘登場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FM放送開始</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャームスクール続出</li> <li>国民宿舎第1号開館</li> <li>標葉二郎、橋本啓三、ポリ塩化ビニール繊維の製造法(特219551)</li> <li>雨宮登三外2名、高純度パラキシレンの製</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>1月・オリエン1956年型オート三輪車(D.柳宗理)発売</p> <p>2月・第4回「新日本工業デザインコンペ」第1席柴田献一他7人のグループ(GKメンバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県工芸協会設立</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>最新工業意匠講座(東京商工会議所講堂)東商、JIDA主催</li> <li>「インダストリアルデザイン講座」全6巻配本開始(技報堂)</li> </ul> <p>3月・富士写真フイルム国産初の本格的電子計算機完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回秀作車内ポスター展、オリコミ主催</li> <li>ニューヨーク近代美術館、「日本のグラフィックデザイナー作品」展の国内展示</li> <li>石橋美術館開館(久留米)</li> </ul> <p>4月・グッドデザイン展(松屋)発明協会、国際デザイン協会共催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>銀座松屋に「グッド・デザイン・コーナー」開設(この種のものとして初めて)。陳列商品選定は、グッド・デザイン・コミッティー(昭33年創立)、松屋店幹部、売場担当者により月1回行われる</li> </ul> <p>5月・繊維デザイン・コンクール(日本繊維意匠センター主催)開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グロピウス会編「グロピウスと日本文化」(彰国社)</li> </ul> <p>6月・日本生産性本部、デザイン視察団をアメリカへ派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柳宗理工業デザイン展(松屋)</li> </ul> <p>7月・(財)日本陶磁器意匠センター設立。輸出入取引法による意匠の保全登録、デザインコンクール、商品高級化対策事業等を開始</p> <p>8月・W・E・ウッドソン著「人間工学」(コロナ社)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回シェル美術賞作品展</li> </ul> <p>9月・日本デザイナークラフトマン協会(JDCA)結成</p> <p>・カイ・フランク来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ギョーゼット来日</li> </ul> <p>11月・外国人デザイナー(アート・センター・スクール校長E・A・アダムス他)による工業デザイン講習会、産業工芸試験所主催。デザイン教育講演会(E・A・アダムスのデザインセンターの教育について)</p> <p>12月・第1回機械巡航見本市(東南アジア)出発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柳宗理のバタフライスツール(意匠登録第123839号)</li> </ul> <p>この年・「工芸協議会」設立。日本工芸美術家協会、日本工芸会、日本デザイナー・クラフトマン協会、国際工芸美術協会統合。海外進出のための国内体制確立。工芸界の諸問題の検討討議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本雑貨意匠センター」が設立</li> <li>現代のデザイン(勝見勝編)</li> <li>富士電機のデルタファン、柳宗理のバタフライスツール発売</li> </ul>	<p>この年・インダストリアルデザイン展(米、シラキウス大学デザインセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英にCoID、デザインセンター開設</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>イタリア工業デザイン協会設立</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業デザイン国際委員会(パリ)ICSID設立のため準備委員会</li> <li>オスローデザインセンター開設</li> <li>カナダ国民展(トロント)、JETRO参加</li> <li>ロンドンデザイン会議開催</li> <li>ネッキ社、ミレラ・ミシン(D・M・ニッツオーリ)発売</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンターマイヤー(米)、B・W・R(原子炉)</li> </ul> <p>・IBM、RAMACコンピュータ発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H・ヴァン・ドールン没</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国手工芸品展示センター設立</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本グッドデザイン展(サンフランシスコ)中小企業庁、JETRO主催。「シェルデザイン賞」が制定</li> <li>ワールド・トレード・フェア(米、ニューヨーク)59ヶ国参加、日本4500点出品、好評博す</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン・オブ・ザ・イヤー展(英、CoID、デザイン・センター)</li> </ul> <p>6月・国際工業デザイン団体協議会(ICSID)Royal Institute of British Architectsで開催のロンドン会議(日本他11ヶ国参加)発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン・フォー・ツデー展(サンフランシスコ、JETRO、トレードセンター)</li> <li>SIGNE d'OR工業デザイン協議会(ブラッセル)</li> </ul> <p>7月・第11回ミラノトリエンナーレ、日本正式参加。河井寛次郎はグランプリ獲得。ブラウン社、KM3調理機でトリエンナーレ金賞。ブラウン社のデザインポリシーを高く評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スウェーデンデザイナー団体、スウェーデン・インダストリアル・デザイナー協会(SID)設立</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>サンデーデスバッチ紙(英)、パリ国際自動車ショーに先立ち、プリンススカイラインを欧州車のイミテーションと報道</li> <li>日本の竹製品展(ニューヨークJETROトレードセンター)</li> <li>第44回国際自動車ショー(パリ、グラントパレス)、プリンス自動車出品</li> <li>米にインダストリアル・デザイン教育協会設立(IDEA)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>イームズのラウンジチェア(ハーマンミラー社)、サーリネンのステムチ</li> </ul>
<p>・トリエンナーレ展出品国内展(高島屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハーバード・リード著「インダストリアルデザイン」みすず書房</li> </ul> <p>4月・日本デザイン協議会(JDC)(JIDA、JDCA、JACC日本建築家協会(JAA)、JAAC等デザイン5団体の連絡常設機関)発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業庁、外国人デザイナー招へい開始</li> </ul> <p>5月・山梨県研磨宝飾品考案保護審議会発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福島県デザインセンター開設</li> <li>日本輸出家具協会設立</li> <li>A・B・キラルディ来日、主に電機メーカーのデザイン指導に当たる</li> </ul> <p>6月・日本室内設計家協会(現、インテリアデザイナー協会)設立</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>造法の発明。(テトロン原料を大量生産する方法) (特254185)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森田正曲, 無線中継装置における極短波電子管回路(特228534)</li> <li>江崎玲於奈, 黒瀬百合子, エザキダイオード(高速スイッチング性能を有するダイオード)</li> <li>音谷登平, 丸山益輝, 球場黒鉛鋼の製造法</li> </ul>
<b>1958</b> 昭和33	<p>8月・大阪通産局特許室開設</p> <p>10月・第7回パリ条約改正会議(リスボン)戦後最初の会議, 長官以下7名出席(10.6~31)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分類改正評議会設置. 分類改正の要綱決定(10.7)</li> <li>パリ条約リスボン改正条約・原産地虚偽表示防止・商標国際登録リスボン協定締結(10.31)</li> </ul> <p>12月・特許法施行規則中改正(12.22通商産業省令第137号 昭34.1.1施行)明細書等は計量法に則って記載</p>	<p>5月・通商産業省組織令改正(5.20政令第132号). 管理課事務の「意匠・商標に関する奨励」を削除, 「工業所有権研修所」設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通商産業省組織令改正(5.20政令第132号). 管理課事務の「意匠・商標に関する奨励」を削除, 「工業所有権研修所」設置</li> </ul> <p>9月・意匠奨励審議会令(9.11政令第259号)意匠奨励審議会通商産業省通商局デザイン課へ移管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仏, 新著作権法施行</li> </ul>	<p>3月・ソ連, フルシチョフ首相就任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関門国道トンネル開通</li> </ul> <p>4月・日本貿易振興会法(4.26)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪で国際見本市開催</li> </ul> <p>7月・「特殊法人日本貿易振興会」(JETRO)設立. 海外市場調査会解消</p> <p>8月・インスタントラーメン発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビクター初の国産ステレオレコード発売</li> </ul> <p>10月・日米安保条約の改正交渉始まる</p> <p>11月・新特急こだま号運転開始(最高時速110km)</p> <p>12月・尺貫法単位使用禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1万円札発行</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フラフープ, ロカビリー, サックドレス流行</li> <li>この年の年間広告費1,000億円突破</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘンリー・ドレイフェス来日</li> <li>第1回東京国際版画ビエンナーレ展(東京国立近代美術館)</li> <li>N・ベグスナー著「モダンデザインの展開」みすず書房</li> </ul> <p>7月・海外派遣デザイン留学生の帰国報告会(東京産業会館)JETRO主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近畿デザイナー協会設立</li> </ul> <p>8月・国際工業デザイン団体協議会(ICSID)設立に伴い, JIDA入会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジョージ・ネルソン来日</li> <li>日本雑貨輸出組合, 盗用意匠の輸出防止のため意匠協定検討</li> <li>(財)日本国際デザイン協会(大阪)設立</li> <li>GRインダストリアルデザイン研究所設立(代表者 栄久庵憲司)</li> </ul> <p>9月・日本雑貨意匠センター, 輸出入取引法5条に基づく意匠協定の登録(ロザリオ, 喫煙具)開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>藤山愛一郎外相訪英の際, パッケージのイミテーション問題で記者団の質問を受ける</li> <li>フレダ・ダイヤモンド来日</li> <li>熊本デザインセンター設立</li> <li>工芸ニュース, 第11回トリエンナーレ展紹介</li> </ul> <p>10月・オーストリア, ハンメル社より繊維デザイン盗用の抗議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回輸出雑貨陶磁器デザインコンクール開催</li> <li>日本国際デザイン協会設立</li> <li>ル・コルビュジェ著「伽藍が白かったとき」岩波書店</li> </ul> <p>11月・本年のデザイン盗用抗議件数18件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい屋外灯展示会(日比谷公園)照明学会主催</li> <li>電気こたつ, 電気スリッパ, 電気掛布団等現われる</li> <li>徳島県工芸指導所設立</li> </ul> <p>12月・JIDA, デザイン盗用問題に関し, 意匠奨励審議会へ要望書提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イームズ夫妻来日し, 「チャールズ・イームズ・フィルムショー」(東京国際文化会館)開催</li> <li>稲村耕雄著「小事典色いろは」光文社</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本テレビはカラーテレビの実験局を開設。(VHF)</li> <li>東京アートディレクターズクラブ(ADC)「年鑑広告美術」を刊行し, ADC賞を制定</li> <li>第1回東京国際版画ビエンナーレ展</li> <li>日立製作所家電事業部意匠研究所(現, デザイン研), 三菱電機意匠課等企業内にデザインの部課設置あいつぐ</li> <li>百貨店で外国商品の輸入展示即売会さかん. バリ展(三越, 高島屋), スウェーデン展(松坂屋), フィンランド展(白木屋), デンマーク展(大丸)等</li> <li>自動すずぎ装置付洗濯機発売.</li> <li>日本商品のデザイン盗用問題表面化. JIDAは, 意匠奨励審議会に善処方を要望</li> <li>日本陶磁器意匠センター, 輸出陶磁器デザイン・コンクール開始.</li> <li>日本雑貨意匠センター, 雑貨デザイン・コンクール開始</li> <li>雑誌「インダストリアル・デザイン」(技報堂)創刊</li> </ul>	<p>エア(ノル社)登場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フリジデア家電製品にキュービックスタイルを採用</li> </ul> <p>8月・オーストラリア工学デザイン協議会設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベルリン造形大学, ハノヴァ工科大学にI・Dの講座開講</li> <li>高島屋ニューヨーク店開店</li> <li>カナダ各地で「日本のグッド・デザイン展」開催. カナダの産業デザイン協議会(NIDC)より通産省に依頼</li> <li>中南米に巡航見本市船あたらす丸派遣</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>欧州共同市場発足</li> <li>タッパン社400型レンジ(D. ユージン・スミス)発売</li> <li>丹下健三, AIA汎太平洋賞受賞</li> <li>ブラッセル万国博覧会(ベルギー)開催. 日本館(D. 前川国男)金賞受賞</li> <li>ノーマン・ベル・ゲダス没</li> <li>オーストラリアデザイン協会(OIF)設立</li> </ul>
<p>1月・東京コピーライターズクラブ(TCC)結成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デンマークグッドデザイン展(大丸)</li> </ul> <p>3月・バックミンスター・フラー来日, 講演会(国際文化会館)国際デザイン協会主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>J・O・ライネッケ来日, デザイン講習会開催</li> <li>グッドデザインとGマーク展(松屋)日本商工会議所, 発明協会主催</li> <li>米国ベルハウエル社長C.H. パーシより経団連会長宛日本製8mm映写機の模倣につき警告書簡届く(いわゆる「パーシー書簡」). 機械デザインセンター設立のきっかけとなる</li> <li>軽乗用自動車(D. 佐々木達三)発表. 富士重工(株)(空冷2気筒2サイクルエンジン350cc, 16馬力)</li> </ul> <p>4月・小杉二郎, Gマーク反対の意見を発表(日刊工業新聞4月19日, 20日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業庁, フレダ・ダイヤモンド招へい</li> <li>色彩ゼミナール(産経会館)日本流行色協会主催</li> <li>小杉二郎工業デザイン展(東京産業会館)</li> <li>礫山美術館開館(今井兼次設計)</li> </ul> <p>5月・星野芳郎著「技術革新」岩波書店</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ受信契約数100万突破</li> <li>8mm映写機、ブームとなる</li> <li>渋田三郎、ブラウン管のパネル溶着法の大量生産可能(特245372)</li> <li>電気通信研究所で、大型パラメトロン電子計算機(MUSASINO-1)完成</li> </ul>
1959 昭和34	<p>4月・特許法中改正(4.11法律第115号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(4.11法律第115号)</li> <li>商標法中改正(4.11法律第115号)</li> </ul> <p>・特許法公布(4.13法律第121号昭35.4.1施行)法律の目的を明示、発明及び実施を定義。外国領布の刊行物記載の発明は特許が受けられない旨の規定。存続期間、公</p>	<p>1月・意匠奨励審議会「輸出品デザイン法」案討議</p> <p>4月・意匠法中改正(4.11法律第115号)登録料増額</p> <p>・意匠法公布(4.13法律第125号昭35.4.1施行)</p> <p>法律の目的…第1条で新たに明示した意匠の定義…第2条で新たに定義した登録要件…第3条において、外国での公知、外国において頒布された刊行物に記載された意匠を加えた。また第2項において創作性に関する規定を設けた</p> <p>新規性喪失の例外…第4条で権利を受けようとする者の意に反して、またはその者の行為に起因して新規性を失った意匠につき、その日から6か月以内に出願すれば第3条第1項第1号、第2号に該当しないという規定を設けた</p> <p>類別指定制の廃止と一意匠一出願…第7条、意匠条例以来の類別指定出願を廃止し、一意匠一出願を規定した。これにより意匠の類別はなくなり、物品の区分を示す意匠法施行規則別表第1が設けられた</p> <p>組物の意匠…慣習上組物として販売され、同時に使用される「組物」は一意匠として出願できるようにした(第8条)</p> <p>類似の類似…第10条第2項において類似意匠にのみ類似する意匠は登録しないと規定した</p> <p>出願変更…第12条で、独立の意匠登録出願を類似に、またその逆の場合の両方の出願変更を認める規定をした</p> <p>要旨変更の規定…第15条、第19条(特許法準用)</p> <p>存続期間…第21条において、「登録の日から15年」と規定した</p> <p>その他、補正却下の決定に対する審判(第47条)、専用実施権(第27条)、権利低触(第26条)、等の規定が改められ、分割移転制度、抗告審判制度が廃止された</p> <p>4月・輸出品デザイン法(4.6法律第106号10.1施行)</p>	<p>1月・メートル法実施</p> <p>3月・朝日ジャーナル誌創刊</p> <p>9月・八幡製鉄の大熔鉱炉火入れ</p> <p>10月・ソ連惑星間宇宙ステーション「ルーニク3号」月の裏側写真撮影</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>デザインを護る展示会(日本橋白木屋)通商産業省、特許庁主催。本物と模倣・盗用例を並べて展示。業界から反発のある一方、諸外国からは称賛。「ライフ」の東京出張所長は「デザインの盗用に関して、日本に対する国際感情は、必ずしもよくないが、MITIがその防止に強い政策をとることに踏み切ったことは国際感情を大いに柔らげるであろう」と語る</li> <li>日本広告写真家協会(APA)結成</li> <li>フィンランド・デンマーク展(日本橋白木屋)</li> </ul> <p>7月・日本流行色協会、社団法人となり月刊誌「流行色」の刊行開始</p> <p>8月・JETROにデザイン課設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出向生活工芸新作展(日本橋白木屋)剣持勇、富本憲吉等</li> </ul> <p>9月・渋谷東横百貨店にグッドデザインコーナー「東横エブリディ・デザイン」開設</p> <p>10月・新聞広告の(日本新聞協会)制定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌「JIDAニュース」創刊</li> <li>舞台美術家協会結成</li> </ul> <p>11月・JIDA、Gマーク商品選定制度に反対の態度を表明し、要望書「政府で行うグッドデザインの選定について」を提出。柳宗理、亀倉雄策、剣持勇、渡辺力等JIDA退会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カイ・フランク来日、講習会開催</li> <li>日本橋白木屋、グッドデザインコーナー(ゴールデン・デザインコーナー)開設</li> <li>ビジネス特急「こだま」東京・大阪間6時間50分で走る(リクライニング・シート採用のインテリア)</li> <li>ソニー、トランジスタラジオTR-610発売</li> <li>日本室内設計家協会発足(後の日本インテリアデザイナー協会)</li> </ul> <p>12月・東京タワー(D.内藤多伸)、香川県庁舎(D.丹下健三)、日本芸術院会館(D.吉田五十八)完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白山陶器G型醬油差し(D.森正洋)発売</li> <li>「意匠奨励審議会、中間答申「わが国デザインの問題点とその対策」発表</li> </ul> <p>この年・北村陽一、金属の表面処理法(クロム酸処理による鋼板「ハイトップ」は鮮明な印刷ができる為、缶詰用として需要を呼ぶ)(特269930)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デパートにグッドデザイン・コーナーを設置することが流行</li> <li>日本雑誌広告会、雑誌広告賞制定</li> </ul>	<p>4月・ストックフォルムにスウェーデンデザインセンター設立</p> <p>8月・第1回ICSID総会及び世界会議開催ストックホルム)、小池岩太郎出席</p> <p>11月・ボンマルシェ百貨店(ブラッセル)のID展へJIDA会員作品出品</p>
<p>1月・JETRO、ラッセル・ライト計画発表</p> <p>2月・日本生産性本部、第2回工業デザイン調査団派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIDA、日航ジェット旅客機のインテリア研究会開設</li> </ul> <p>・高田忠著「デザイン盗用」日本発明新聞社</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソニー、トランジスタラジオの模造品イタリアで横行</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>告から15年出願から20年をこえない旨を規定。出願公告後の仮保護を規定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用新案法公布(4.13法律第123号昭35.4.1施行)法律の目的を明示。保護の対象を「型」から「考案」に改める。考案を定義。存続期間、公告から10年、出願から15年をこえない旨を規定</li> <li>● 商標法(4.13法律第127号昭35.4.1施行)法律の目的を明示。商標の定義をした。色彩を商標の構成要素とした。一商標一出願の原則を採用。存続期間は登録の日から10年となる。防護標章制度の新設。団体標章制度の廃止。標章登録制度を廃止し、商標登録に統一</li> </ul> <p>6月●特許法施行規則改正(6.12通商産業省令第60号6.22施行)</p> <p>12月●特許登録令改正(12.26政令第383号昭35.1.1施行)</p>	<p>9月●意匠奨励審議会令改正(9.26政令第310号10.1施行)意匠奨励審議会をデザイン奨励審議会とする</p>	<p>11月●安保新条約反対集団請願デモ隊、国会構内に乱入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伊勢湾台風(東海地方大被害、死者5000人)</li> </ul> <p>● 経済企画庁、「国民生活白書—戦後国民生活の構造変化」で消費者革命を論じる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 仏、ドゴール大統領就任。キューバ革命成功</li> <li>● インド・中国国境紛争。中央条約機構(CENTO)成立</li> </ul> <p>この年●岩戸景気</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備投資盛ん</li> <li>● 週刊誌ブーム</li> <li>● 個人タクシー開始</li> <li>● 水俣病問題起る</li> <li>● カミナリ族横行</li> <li>● 百貨店で外国商品の輸入展示即売会さかん</li> <li>● ノイス(米)、プレーナ型I.C.</li> <li>● 磁気記憶装置(銅線にパーマロイ磁性薄膜を電着したワイヤーを横線に絶縁銅線として布状に織った記憶素子で記憶速度が早く素子の収容密度も極めて高い)(特472177)</li> <li>● 内田弘他、表面塗装用クロム処理鋼板(特308065)</li> </ul>
1960 昭和35	<p>2月●特許、実用新案、意匠の権利譲渡、実施許諾同意の旨の公示制度実施(公報に掲載)(2.1)</p> <p>3月●特許登録令(3.24政令第39号4.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用新案登録令施行規則(3.30通商産業省令第34号4.1施行)</li> <li>● 商標登録令(3.24政令第42号4.1施行)</li> <li>● 商標法施行令(3.8政令第19号4.1施行)</li> <li>● 商標登録令施行規則(3.30通商産業省令第36号4.1施行)</li> <li>● 特許登録令施行規則(3.30通商産業省令第33号4.1施行)</li> <li>● 特許法施行令(3.8政令第16号4.1施行)</li> <li>● 特許法施行規則(3.8通商産業省令第10号4.1施行)</li> <li>● 実用新案法施行令(3.8政令第17号4.1施行)</li> <li>● 実用新案登録令(3.24政令第40号4.1施行)</li> <li>● 実用新案法施行規則(3.8通商産業省令第11号4.1施行)</li> <li>● 商標法施行規則(3.8通商産業省令第13号</li> </ul>	<p>3月●意匠法施行規則(3.8通産省令第12号4.1施行)</p> <p>願書の様式、図面の様式、図面の代用等の手続規定の整備。別表第1(50区分)、別表第2(組物)の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 意匠登録令(3.24政令第41号4.1施行)</li> <li>● 意匠登録令施行規則(3.30通産省令第35号4.1施行)</li> <li>● 意匠法施行令(3.8政令第18号41施行)幅広包装(現行)使用開始</li> </ul> <p>10月●意匠課長山口茂(10.16)</p> <p>この年●ヘーグ同盟の外交会議開催され「意匠の国際寄託に関するヘーグ協定」の改正法を採択</p>	<p>1月●全学連羽田デモ事件。日米相互協力及安全保障条約調印</p> <p>2月●ソ連、ハボマイ・シコタン返還延期を通告</p> <p>5月●衆議院安保新条約を強行採決</p> <p>6月●たばこ「ハイライト」発売(初のロングサイズ)</p> <p>7月●池田内閣成立</p> <p>9月●カラーテレビ本放送開始</p> <p>10月●浅沼社会党委員長刺殺さる</p> <p>11月●ソニー㈱、江崎玲於奈等発明のエサキダイオードの特許取得</p> <p>12月●国民所得倍増計画</p> <p>この年●消費ブーム・レジャーブーム起る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ダッコちゃんブーム</li> <li>● 電気冷蔵庫普及</li> <li>● インスタント食品の流行</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>4月●ジャパン・デザイン・ハウス(JETRO, 八重洲口国際観光会館)開館し、輸出入優良デザインの選定、展示、デザイン情報の提供等の業務開始</p> <p>5月●ピリン・ファリーナ来日(伊、カーデザイナー)</p> <p>6月●日本手工芸品対米輸出推進計画(手事業, JETRO)開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊口克平デザイン事務所開設</li> <li>● 国立西洋美術館(D・ル・コルビュジェ)開館</li> <li>● ニュークラフトコーナー、銀座松屋6階に開設(JDCA参加)</li> <li>● YS-11のインテリアにQデザイナーズ参加</li> <li>● (財)日本輸出雑貨センター(現、生活用品振興センター)設立。輸出品デザイン法及び輸出入取引法によるデザイン保全登録、デザイン教室、コンクール等の事業を開始</li> <li>● 第5回毎日産業デザイン賞セコニックカメラの一連の作品(D. KAK)、寿屋のTVコマーシャル</li> <li>● 8月●現代生活デザイン展(西武百貨店)国際工芸協会主催</li> <li>● ダットサン・ブルーバード(日産自動車㈱)発売。「マイカー時代」の幕開け</li> <li>● 10月●(財)日本機械デザインセンター設立。輸出品デザイン法による保全登録、講習会、商品高級化対策事業等を開始</li> <li>● (財)世界デザイン会議日本運営会創立総会</li> <li>● H・ドレファエース著「百万人のデザイン」ダヴィット社</li> <li>● 雑誌「デザイン」美術出版社創刊</li> <li>● 11月●雑誌「グラフィックデザイン」勝見勝編集。芸美出版社発行。後ダイヤモンド社の発行となり講談社に引継</li> <li>● 12月●今日のクラフト展(クラフト・センター・ジャパン)</li> </ul> <p>この年●「JIDA年鑑」創刊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ボールペン発売</li> <li>● シルクセンター会館(横浜山下町)完成。シルク博物館、輸出品展示即売場、各地方物産幹旋所などがあり、市、県、政府および民間の協力により設立</li> </ul>	<p>この年●カウフマン工業デザイン賞(米)制定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ドイツ工業デザイナー協会(VDID)設立</li> <li>● ニューヨーク近代美術館、ブラウン社製品展示セッション設定</li> <li>● CoIDの年度ごとの優秀デザイン賞(Design of The Year)に特別賞として「エジンバラ公賞」制定</li> <li>● スペインに、デザイナー団体(Agrupacion de Diseno Industrial del FAD)設立</li> <li>● アルコア社(Aluminum Company of America)(米)は「アルコア・インダストリアルデザイン賞」制定。アルミニウムを利用している製品のデザイナーに与えられ、「インダストリアルデザイン」誌と「フォーチュン」誌に4ページの広告欄が与えられる</li> <li>● フランク・ロイド・ライト(Wright, Frank Lloyd)没(1867—)</li> <li>● アスペン・デザイン会議でライト・ミルズ、「デザイナーは商業主義の雇われ馬を脱して新時代のクラフトマンとなりうるか」と題して講演</li> <li>● 米、INDUSTRIAL DESIGN誌 made in Japan特集</li> <li>● シカゴ国際見本市</li> <li>● バリ国際ビエンナーレ創設「バリ近代美術館」</li> </ul>
<p>1月●全日本CM協議会(ACC)設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本デザインセンター設立</li> <li>● クラフトセンタージャパン(丸善)開設</li> </ul> <p>4月●日本デザイン学生連合会結成(—1968)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 五島美術館(吉田五十八設計)開館</li> <li>● ソニー(㈱)世界初のトランジスタ・テレビ(8インチ型)発売(64,800円)</li> </ul> <p>5月●世界デザイン会議(Wo De Co)(東京産経会館)日本で最初のデザインに関する国際会議(5.11~5.16)26ヶ国参加。なおJIDAは時尚早として、反対を表明し不参加。世界デザイン会議(Wo De Co)にちなみ、デザインイヤー協賛事業が全国各地で1年間にわたり展開する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本パッケージデザイン協会(JPDA)設立</li> <li>● 世界グラフィックデザイン展(三越等)</li> <li>● 第1回日本ニュークラフト展(松屋)JDCA主催</li> </ul> <p>7月●第6回毎日産業デザイン賞 ホンダC100型スーパーカブ、アサヒビールの一連の新聞広告(D.山城隆一)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑誌「コマーシャルフォト」(玄光社)創刊</li> </ul> <p>8月●大和ハウス、プレハブ住宅の試作を完成</p>	<p>2月●日本手工芸品対米輸出推進計画ニューヨーク展示会(JETROトレードセンター)3月、サンフランシスコでも開催</p> <p>9月●S・リンドベルグ「日本の模倣問題をめぐって」FORM誌へ発表</p> <p>10月●現代日本デザイン展(ミネアポリス・ウォーカー・アートセンター)</p> <p>この年●ブラウン社、トリエンナーレ金賞受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1回カーフマン賞をチャールズ・イームズ夫妻受賞</li> <li>● カンツウ市(伊)の家具デザインコンクールに森岡正、宮島春樹、土屋晃一人賞</li> <li>● モールトン、ミニサイクル発表</li> <li>● ゼロックス914型事務用複写機発売</li> <li>● カリフォルニア州博覧会、JETRO参加</li> <li>● ワルター・ドゥーイン・ティエグ没</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>4.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改正法適用の特許(登録)についての特許(登録)原簿をバインダー式原簿とする(商標4.1登録第551001号, 意匠11.10登録第200001号, 特許は第400001号, 実用新案第700001号以降)(4.1)</li> <li>特許と発明産業展(都立産業会館)偽造品と真正品資料展示(商標擁護協会)(4.13~22)</li> <li>特許庁長官(39代)上野幸七(4.28事務次官兼任)</li> </ul> <p>5月・特許庁長官(40代)徳永久次(5.13事務次官兼任)</p> <p>6月・特許庁長官(41代)斉藤正年(6.24)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>U2型機事件</li> <li>韓国暴動</li> <li>ポリウレタン発泡材発売</li> <li>ラーメン、コーヒー等インスタント食品現れる</li> <li>「三種の神器」冷蔵庫、洗濯機、掃除機の流行語が生まれる</li> <li>テレビ受像機の生産台数357万台、米国に次ぎ世界第2位</li> <li>中村素, 窒化物を含有する強靱鋼(IN鋼→溶鋼中に窒素を添加し, 次いで金属窒化物を生成する元素を添加し, 鋼中に窒化物を微細均一に分散析出させることにより, 鋼の機械的性質を著しく改善した)</li> </ul>
1961 昭和36	<p>6月・特許庁, ソ連の特許権設定認める(6.2)</p> <p>7月・特許庁長官(42代)伊藤繁樹(7.7)</p> <p>12月・総務部内に審査機械化研究室を設置し, その下に審査機械化連絡会議・同懇談会・事務機械化研究会を設置(庁議決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国, 特許法・実用新案法(12.31)</li> </ul> <p>この年・ニース協定発効</p>	<p>2月・デザイン奨励審議会の下に「デザイン政策小委員会」発足</p> <p>9月・デザイン奨励審議会, デザイン振興のあるべき姿と今後の施策について答申し, デザイン振興の中心的機関の設立を提言する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Gマーク商品選定制度をデザイン奨励審議会の分科会から通産省デザイン課へ移し, 直属の審査会を編成して選定を行う</li> <li>韓国意匠法(12.31)</li> </ul> <p>この年・ユーゴスラビア工業的意匠及びひな型に関する法律</p>	<p>1月・米国ケネディ大統領就任</p> <p>2月・「日本リサーチ・センター」を設立。(会長 山本為三郎 朝日ビール社長). 味の素等8社の共同出資. 消費者の心理分析, 需要予測, 市場分析を行う</p> <p>3月・重要文化財, 日光の薬師堂(鳴き竜)焼失</p> <p>4月・ソ連の有人宇宙船「ヴォストーク1号」地球一周飛行に成功</p> <p>6月・農業基本法成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホンコンシャツ(半袖Yシャツ)流行</li> <li>新着海外商品見本市(ジャパン・デザイン・ハウス)JETRO主催</li> </ul> <p>8月・東独が東西ベルリンの境界に壁を構築(ベルリンの壁)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松川やりなおし裁判全員無罪</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費者物価上昇</li> <li>「上を向いて歩こう」流行</li> </ul> <p>9月・(財)日本消費者協会発足</p> <p>11月・電気用品取締法公布</p> <p>12月・ファッションメーカーが化粧品, 家電, デパート等と協力して, 大規模な広告宣伝活動を行うコンビナート・キャンペーン始まる</p> <p>この年・メートル法採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シームレスストッキング流行</li> <li>佐藤文雄, 工作機械における吋或いはメートルネジ送り単一レバーによる切換機構(特274554)</li> <li>植村三良, 多重空隙磁気ヘッド(磁気スケール)(波長200<math>\mu</math>mの正弦波を記録した磁気スケールと特殊な空隙をもつ磁気ヘッドにより測長するものであり, デジタル表示, 数値制御に役立っている)(特49606)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>10月・(財)大阪デザインハウス設立. グッドデザイン商品の選定, デザイン相談, 資料蒐集, 「情報」誌の発刊等の事業を開始</p> <p>12月・ル・コルビュジェ展開催(大阪)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン手帖(通産省デザイン課編集, センター連絡協議会発行)創刊</li> </ul> <p>この年・大和文華館開館(奈良市 館長 矢代幸雄)(吉田五十八設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本機械デザイン・センターによる「機械デザイン・コンクール」開始(~1969年)</li> <li>第1回「新しい日本のグッド・デザイン展」(銀座松屋, 以後毎年開催)デザイン・コミッティー主催</li> <li>「ジャパン・デザイン・ハウス」設立. 日本貿易振興会(JETRO)の付属機関</li> <li>グッド・デザイン・コミッティー「グッド・デザイン賞」制定. グッド・デザイン・コーナーの商品より, 対象商品を選定</li> <li>「グラフィック・デザイン大系」(全5巻)原弘他編集(美術出版社)刊行(1961年完結)</li> <li>オリンピック準備委員会にデザイン委員会設置</li> <li>冷蔵庫, 洗濯機のキュービック化始まる</li> <li>天童木工のダイニングセット(D.水之江忠臣)発売</li> <li>京都国際文化会館(D.前川国男)</li> <li>EEカメラオリンパスオートアイ発売</li> </ul>	
<p>1月・キャノン, EEカメラキャノネット発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PR映画センター設立</li> <li>ル・コルビュジェ東京展(国立西洋美術館)</li> </ul> <p>2月・第1回機械デザインコンクール発表展(ジャパンデザインハウス)</p> <p>3月・亀倉雄策, 芸術選奨受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本デザイン学生連合第1回合同展(国立競技場)</li> <li>商標擁護協会, 本ものにとせもの展(京都)偽造品・真正品資料60点展示</li> </ul> <p>4月・天童木工, 成形合板による座卓子発売('64年Gマークに選定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京文化会館(D.前川国男)完成</li> <li>第1回天童木工家具デザインコンクール発表, 金賞山口文象</li> </ul> <p>6月・大阪デザインハウス賞'60年発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい暮しの工芸展「日本ニュー・クラフト'61」(松屋)JDCA主催</li> </ul> <p>7月・東京都の海外収集品展示(都立産業会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バウルソン著「生活とデザイン」美術出版社</li> </ul> <p>8月・川添登著「デザインとは何か」角川書店</p> <p>9月・日本デザインコミッティー, グッドデザイン展(松屋)を開き, '61グッドデザイン賞に新居猛の折りたたみ椅子を選ぶ</p> <p>10月・柳宗理, 読売紙上に産業工芸試験所試作の椅子がチャールズ・イームズの模倣デザインであると指摘</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回CMフェスティバル開催</li> </ul> <p>11月・九州クラフトデザイナー協会発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浜田庄司とバーナード・リーチ展(三越)</li> <li>V・バックカード著「浪費をつくり出す人々」ダイヤモンド社</li> <li>サントリー美術館開館</li> <li>プラスチック成型機展(後楽園競輪場)</li> <li>第10回毎日工業デザイン賞, 特選1席サンヨー14型パーソナルテレビ(青山宗一, 天島洋, 藤井一郎)</li> <li>山川ラタンより剣持勇デザインの藤丸椅子発売. 66年Gマークに選定</li> </ul>	<p>6月・第8回アスペンデザイン会議へ松村勝男出席</p> <p>9月・第2回ICSID総会(ヴェニス)へ小池岩太郎, 岩田義治, 柴久庵憲司, 八重樫守出席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イーロ・サーリン没</li> </ul> <p>10月・'61国際デザイン会議CoID主催</p> <p>この年・IBM革期的な電動タイプ「セレクトリックタイプライター」(D.エリオット・ノイス)発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コダック社, カラーセル写真機発売</li> <li>インドに「国立インド・デザイン協会」(NID)設立. デザイン振興のための機関</li> <li>「オランダ・デザインセンター」設立(蘭, アムステルダム)</li> <li>カナダに「ナショナル・デザイン協議会」(NDC)創設. デザイン振興のための組織</li> <li>ハンディクラフト・オブジャパン展(JETRO・ニューヨーク・トレード・センター)</li> <li>ICC総会(ジュネーブ)で大屋日本代表「日本におけるデザインの登録制度」を講演</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1962 昭和37	<p>5月・特許法中改正(5.16法律第140号10.1施行)行政事件訴訟法施行に伴う改正,不服申立と訴訟との関係規定</p> <p>● 実用新案法中改正(5.16法律第140号10.1施行)</p> <p>● 商標法中改正(5.16法律第140号10.1施行)</p> <p>7月・特許庁長官(43代)今井善衛(7.10)</p> <p>9月・特許法中改正(9.15法律第161号10.1施行)行政不服審査法施行, 訴願法の廃止に伴う改正</p> <p>● 特許法登録令中改正(9.29政令第391号10.1施行)</p> <p>● 実用新案法中改正(9.15法律第161号10.1施行)</p> <p>● 実用新案登録令中改正(9.29政令第391号10.1施行)</p> <p>● 行政不服審査法(9.15法律第100号10.1施行)</p> <p>● 商標法中改正(9.15法律第161号10.1施行)</p> <p>● 商標登録令中改正(9.29政令第391号10.1施行)</p> <p>10月・特許登録令施行規則中改正(10.1通商産業省令第113号)</p> <p>● 商標登録令施行規則中改正(10.1通商産業省令第113号)</p> <p>● 実用新案登録令施行規則中改正(10.1通商産業省令第113号)</p> <p>● 特許法施行規則中改正(10.1通商産業省令第113号)</p>	<p>5月・意匠法中改正(5.16法律第140号10.1施行)</p> <p>● 第60条の2(不服申立てと訴訟との関係)を追加</p> <p>9月・意匠法中改正(9.15法律第161号10.1施行)行政不服審査法の施行に伴う整理</p> <p>● 意匠登録令中改正(9.29政令第391号10.1施行)</p> <p>10月・意匠登録令施行規則中改正(10.1通産省令第113号)</p> <p>8月・英国, 意匠保護制度に対するジョンストン委員会の報告書出る</p> <p>この年・ポーランド人民共和国, 発明新案及び意匠の保護に関する法律</p>	<p>1月・ガリオア・エロア返済の日米協定調印</p> <p>● V・バックカード, C・E・ウォー(米, コンシューマーズユニオン会長)来日. 「消費者は王様」という言葉でコンシューマイズムが浸透</p> <p>2月・東京人口100万を超える</p> <p>● 米, 人間衛星船1号打上げ成功</p> <p>3月・テレビ受信契約台数1000万台突破</p> <p>● 女子学生亡国論大学の文学部で女子学生の比率増加</p> <p>5月・家庭用品品質表示法施行</p> <p>6月・北陸トンネル開通</p> <p>7月・タンカー日章丸進水(13万トン)</p> <p>8月・堀江謙一ヨットで太平洋横断</p> <p>● 戦後初の国産飛行機YS11初飛行の成功</p> <p>9月・原子力研究所国産一号炉に点火</p> <p>● ツイスト流行</p> <p>● ソ連, 衛星船ランデブーに成功</p> <p>● アルジェリア独立</p> <p>● 若戸大橋開通</p> <p>10月・230品目を貿易自由化(自由化率88%)</p> <p>● キューバ危機</p> <p>この年・エイラース(米), パイロット・トーン方式によるFMステレオ・送受信方式</p> <p>● 明石雅夫, 飛田正男, 高見沢秀雄, 高橋政雄, 酸化物磁性材料(特296196)</p> <p>● 渡辺寧, 西沢潤一, 不純物不均一半導体素子(特307631)</p> <p>● 細田喜六郎, ポリオレフィン発泡体の製造法(特524991)</p> <p>● 大規進他, 炭水素のオキソ塩化法の発明(オキシクロリネーション法による塩化ビニルの製造技術で国産技術による塩化ビニルモノマー製造法として注目された)(特471672)</p> <p>● 西岡邦夫外, 空気ばね(スミライド)(特434195)</p>
1963 昭和38	<p>6月・第25回AIPPI総会(東独ベルリン), 石坂泰三会長に選任</p> <p>7月・特許庁長官(44代)佐橋滋(7.23)</p> <p>12月・中華人民共和国, 発明奨励条例施行</p> <p>● 中華人民共和国, 商標管理条例制定</p>		<p>1月・鉄腕アトム放映開始, 初の長編アニメ</p> <p>● 見本市船さくら丸中近東巡航</p> <p>2月・日ソ貿易協定調印</p> <p>● 北九州市発足</p> <p>4月・東京国際見本市開催</p> <p>11月・米初のテレビ宇宙中継(ケネディ暗殺を受信)</p> <p>● ケネディ大統領暗殺. 米大統領にジョンソン就任</p> <p>● 新千円発行</p> <p>この年・火力発電量が水力を凌駕</p> <p>● プロパンガスの利用急増</p> <p>● 部分的核停条約調印(米英ソ)</p> <p>● 経済高度成長</p> <p>● 消費財の普及急速化し新三種の神器としてクーラー, カラーTV, 車の3Cが登場</p> <p>● 家電製品の普及率, 電気アイロン85%, テレビ66%, 洗濯機49%, 扇風機48%, 冷蔵庫30%, 掃除機21%, 電気釜49%(日本電気工業会)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>この年・バレスホテル(竹中工務店)</p> <p>2月・全日本広告協議会発足</p> <p>● H・ヴァン・ドールン著「工業デザイン・理論と実際」白揚社</p> <p>● 国産初の大型電子計算機「NEAC2206」(記憶容量1万語)発表. 日本電気株</p> <p>4月・デザイン振興協議会(JETRO, 日商, 4意匠センターによる連絡協議会)発足</p> <p>● 国産旅客機YS11完成(戦後最初)</p> <p>6月・巡航見本市専用船「さくら丸」日本産業巡航見本市協会)進水</p> <p>● 第1回小菅ファニチャー・デザイン・コンペ発表</p> <p>7月・'62インダストリアルデザイン年鑑(JIDA)</p> <p>8月・第1回海外工業デザイン視察団(JIDA主催)派遣</p> <p>10月・グッドデザイン展'62(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <p>11月・JIDA討論会「工業デザインのもつ社会1生の再認識」(JIDA10周年記念事業)</p> <p>● 第1回京都産業デザイン展(京都高島屋)</p> <p>12月・日本広告技術協議会(NAAC)結成</p> <p>この年・小型テレビ「パーソナルテレビ」発売あいつぐ</p> <p>● ベンてる社, サインペン発売</p> <p>● チャールズ・イームズ夫妻, モーゲンス・コッホM・B・シェリダン, ユキ・ヌミ等多数の外国人デザイナー来日</p> <p>● 東京大学都市工学科新設</p> <p>● 「第1回日本玩具国際見本市」開催(都市産業会館)(社)日本玩具国際見本市協会主催</p>	<p>2月・今日の日本陶器展(デンマークの工芸品常設展示場デン・パーマネントDENPERMANENTE)開催</p> <p>5月・シアトル21世紀博覧会「宇宙時代」へ日本参加</p> <p>● オランダ, 工業デザイン協議会とデザインセンター設立</p> <p>7月・韓国貿易振興公社(KOTRA)設立</p> <p>この年・ソニー, トランジスタラジオの模倣品スペイン, 伊, 英国等でまわる</p> <p>● ブラウン社, 黄金コンパス賞受賞</p> <p>● ソ連に「ソヴィエト連邦インダストリアルデザイン研究所」(VNIITE)創設</p> <p>● 「国際家具デザイン・コンペティション」英の新聞デーリー・ミラー社主催</p> <p>● 「第1回国際会議」開催(英ロンドンクリストファー・ジョーンズ, L・ブルース・アーチャー等のグループ主催. デザインの方法論に関する会議(設計方法の研究の国際的な活動として最初のもの)</p> <p>● グロビウス, 第2回カウフマン賞受賞</p> <p>● 第3回カウフマン国際デザイン賞オリベッティ社, 特別奨励賞フォルクスワーゲン</p>
<p>2月・パウハウス展</p> <p>● 大阪デザインハウスサークル発足</p> <p>● 第2回グッドデザインフェア(大阪高島屋)大阪デザインハウス主催</p> <p>3月・全国商業美術家連盟発足</p> <p>● 海外収集見本展(ジャバンデザインハウス)JETROが輸出向商品の参考として収集した競争品の見本展示</p> <p>● Gマーク商品展(ジャバンデザインハウス)5年間の選定品を集めたもの</p> <p>● 住いの照明展(ジャバンデザインハウス)</p> <p>4月・Gマーク商品の選定に一般公募方式を採用</p> <p>● 全国公設試験所研究機関で構成する工芸連合部会にデザイン分科会出来る</p> <p>5月・中小企業指導センター, デザイン講習会開始</p> <p>● ソール・バス来日</p> <p>● ガーデン・ファニチャー展(丸善クラフトセンタージャパン)</p> <p>● コピー年鑑(誠文堂新光社)</p> <p>● 警察庁, 国産標識を大幅に取り入れた新道路標識を実施. 新道路標識使用開始(栗津潔, 杉浦康平等による名神高速道路の標識デザイン)</p>	<p>この年・第3回ICSID総会, 小池岩太郎出席</p> <p>● バリ国際工業デザイン展(ルーブル館)日本より29社40点出品</p> <p>● インテリアデザイナーの国際的な連合組織, 「International Federation of Interior Designers」(IFI)創設</p> <p>● 日本工業展(中国(北京, 上海))</p> <p>● 国際グラフィックデザイン協議会(ICOGRADA)設立</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●経済成長とともに日本製品が海外で模倣されるまでになったが、質より量の発想によるデザインの商業主義に対して反省の声が出始める</li> <li>●自動販売機が本格的に進出のきざし</li> <li>●鈴木純、半導体装置の組立装置ほか(特416146)</li> <li>●井尻章、自動スクリーン捺染装置におけるスケージ(特406024)</li> <li>●徳山嶺、伴野正美他、半導体装置の表面処理法(LTPトランジスタ、シリコントランジスタを製造するにあたって、低温で表面安定化機能の優れた絶縁膜を形成する技術)(特468185)</li> </ul>
1964 昭和39	<p>1月 ●オランダ特許制度改正(出願早期公開・審査請求制度採用)(1.1)</p> <p>2月 ●特許法施行規則中改正(2.8通商産業省令第4～7号2.20施行)出願課整理簿等の磁気テープ化に伴う改正等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実用新案法施行規則中改正(2.8通商産業省令第5号2.20施行)</li> <li>●商標法施行規則中改正(2.8通商産業省令第7号2.20施行)</li> </ul> <p>7月 ●特許法中改正(7.4法律第148号昭40.1.1施行政令第323号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特許原簿の磁気テープ等による調整</li> <li>●実用新案法中改正(7.4法律第148号昭40.1.1施行)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商標法中改正(7.4法律第148号昭40.1.1施行)</li> </ul> <p>7月 ●ドイツ民主共和国(東独)、7.10パリ条約ロンドン改正条約に加入(日本は不承認、ただし権利享有は特許法25条1項1号で認める)</p> <p>10月 ●特許庁長官(45代)倉八正(10.23)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特許登録令中改正(10.1政令第324号昭40.1.1施行)</li> <li>●特許登録令施行規則中改正(10.24通商産業省令第101号昭40.1.1)</li> <li>●商標登録令中改正(10.1政令第324号昭40.1.1施行)</li> <li>●商標登録令施行規則中改正(10.24通商産業省令第104号昭40.1.1施行)</li> <li>●実用新案登録令中改正(10.1政令第324号昭40.1.1施行)</li> <li>●実用新案登録令施行規則中改正(10.24通商産業省令第102号昭40.1.1施行)</li> <li>●電子計算機設置、一般事務の機械化稼働昭和39年1月以降の出願から実施(番号通知、処分記録、差出書類の記録、公告決定等の自動起案等の出願業務)</li> </ul>	<p>2月 ●意匠法施行規則中改正(2.8通産省令第6号2.20施行)意匠に係る物品、住所、氏名等にフリガナを付記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●意匠原簿の磁気テープ等による調整</li> </ul> <p>8月 ●デザイン奨励審議会中間答申「総合的デザイン振興機関の設立について」発表</p> <p>10月 ●意匠登録令中改正(10.1政令第324号昭40.1.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●意匠登録令施行規則中改正(10.24通産省令第103号昭40.1.1施行)</li> <li>●出願書類袋(通称布袋)を改良(窓開き、カード添付、出願年識別用縮模様付け)</li> </ul>	<p>4月 ●IMF8条国に移行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本、OECDに正式加盟</li> <li>●通商産業省、消費経済課設置</li> </ul> <p>5月 ●印度ネール首相没75才</p> <p>8月 ●名神高速道路全通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●富士山頂レーダー完成</li> <li>●トンキン湾事件</li> </ul> <p>9月 ●羽田・浜松町間モノレール開通(東京モノレール(株)によるわが国初の営業用モノレール)</p> <p>10月 ●東海道新幹線開業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第18回オリンピック東京大会</li> <li>11月 ●佐藤内閣成立</li> <li>●佐世保に原子力潜水艦入港</li> <li>●企業倒産戦後最高4,212件</li> </ul> <p>この年 ●仏、中国承認。中国、核実験に成功</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●海外旅行の自由化始まる</li> <li>●鉛害、騒音等の公害問題起る</li> <li>●各家庭に家電製品いきわたる。各社新製品のアイデア探しに苦慮。新製品は電気歯ブラシ、電気カツオブシ削り機、電気ネギ切り機、ヘア・ドライヤーなど50数点</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>6月 ●カイ・フランク来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●'63デンマークインテリア展(松屋)</li> </ul> <p>7月 ●第9回毎日産業デザイン賞 剣持勇デザイン研究所、亀倉雄策のオリンピックポスター3部作、特別賞季刊グラフィックデザイン誌におけるエディターシップ(勝負勝負)</p> <p>8月 ●欧州クラフトデザイン視察団派遣</p> <p>9月 ●日本人間工学研究会発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回全国野外彫刻コンクール展(宇部市野外彫刻美術館)</li> <li>●日本ディスプレイデザイン協会設立</li> <li>●第2回欧米工業デザイン視察団(JIDA)派遣</li> </ul> <p>10月 ●'63日本輸出デザイン展(高島屋)通商産業省、東京都、デザイン振興協議会主催</p> <p>11月 ●第80回工経連講座「グッドデザインとは何か」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ニッポングッドデザインショー'63(愛知県産業貿易会館)</li> </ul> <p>12月 ●公開研究会「人間工学の海外における研究概要」JIDA主催</p> <p>この年 ●各種デザイン学校の設立あいつぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●京都クラフト・センター開設。京都の各種伝統産業を統一的に紹介</li> <li>●世界初のハーフサイズ一眼レフカメラ「オリンパス・ペンF」発売</li> <li>●東京オリンピック組織委員会は昭和37年日宣美展で若手デザイナー3名が提案の日の丸旗の使用を決定</li> <li>●「バウハウスの精神と生活を示す展覧会」(東京草月会館)開催。(ドイツ連邦共和国外務省主催、東京ドイツ文化研究所後援、ローマン・タレメンスが構成)</li> <li>●「全国商業美術家連盟」結成(全国各地の商業美術家団体の共同体、加盟団体数17、会員数328名で発足。昭和39年読売新聞社との共催で、第1回全商美展「日本伝統パッケージ展」開催〔日本橋、白木屋〕)</li> <li>●「国立近代美術館京都分館」開館(昭42.6月、京都国立近代美術館となる)</li> <li>●経済成長とともに日本製品が海外で模倣されるまでになったが、デザインの商業主義に対して反省の声が出始める</li> </ul>	<p>2月 ●日本工業デザイン展(ジャパン・デザインハウス)</p> <p>3月 ●第1回日本デザイン学生会議(京都会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●海を渡る照明器具展(ジャパン・デザインハウス)</li> <li>●JDCA会員作品展「ニュークラフト'60」(技報堂)</li> </ul> <p>4月 ●中小企業庁、中小企業輸出向優秀商品発掘販路開拓事業を拡充し、外国人デザイナー等招へい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●Gマーク商品総集版「グッドデザイン総集」発刊 通産省デザイン課編集実業公報社発行</li> </ul> <p>5月 ●松屋にデザインギャラリー開設(日本デザインコミッティー運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●フィンランドデザイン展(白木屋)朝日新聞社主催</li> </ul> <p>6月 ●第3回欧米工業デザイン視察団(JIDA)派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本ジュエリーデザイナー協会設立</li> </ul> <p>7月 ●第10回毎日産業デザイン賞、量産家具におけるデザインの確立(天童木工)、オリンピック東京大会におけるデザインポリシーの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統パッケージ展東商美主催</li> </ul> <p>8月 ●イサムノグチの「あかり」展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回パッケージデザイン展(三越)JPDA主催</li> <li>●長岡現代美術館開館(昭和57年以降休館)</li> </ul> <p>9月 ●'64日本輸出デザイン展「現代のデザイン」(高島屋)通商産業省、東京都、他主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●工作機械部品のデザイン展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> </ul>
	<p>この年 ●手計画内示会(ニューヨーク、ハンブルグ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ニューヨーク世界博覧会、JETRO参加、日本館、前川国男設計</li> <li>●ムスタング(フォード)発売</li> <li>●工業デザイン教育セミナー(ブルージュ)UNESCO、ICSID主催</li> <li>●ミュンヘン国際手工業見本市特別展、「形態と品質」へJDCA会員参加</li> <li>●第1回世界クラフト会議(WCC)ブロンピア大学で開催</li> <li>●インダストリアルデザインの教育に関するセミナー(ベルギー、ブルージュ)開催。ICSID教育専門委員会の計画でUNESCOからの資金援助を受け開催。トーマス・マルドナードは「インダストリアルデザイン」の定義を起草</li> <li>●剣持勇の藤椅子、ニューヨーク近代美術館のコレクションとなる</li> <li>●ライフ誌、インダストリアルデザインを特集、国際市場へ進出した日本商品のデザインに関心を示す</li> <li>●カーフマン国際デザイン賞、研究奨励金8千ドルをGKグループ受く</li> <li>●ハーマンミラー社アクション・オフィスシステム発表、デビッド・ローランドデザインのスタッキングチェア発表</li> <li>●スイス、ローザンヌでEXPO'64開催</li> <li>●カリフォルニア大学で日本工業デザイン展</li> <li>●ベルギーにデザインセンター創設</li> <li>●スウェーデンのマルメにデザインセンター(Form Design Center)創設</li> <li>●チェコスロバキアに「チェコスロバキア・インダストリアルデザイン協議会」(Rada Výtvarné Kultury Výrody)設立</li> <li>●20世紀タイボマダス展の第1回公募展 国際タイボグラフィック・アーツ・センター(ICTA)主催</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>伊藤昌寿, シクロアルカノソキシム塩酸塩の光化学的製造法(光合成によるナイロンの製造法)(特422541)</li> <li>高尾尚, 太田敏行, アルマイト電着加工法(特517521)</li> <li>桜木建民他, プタジエン重合防止法(合成ゴムの量産が可能となった)(特539119)</li> </ul>
1965 昭和40	<p>4月・特許制度80周年記念行事開催</p> <p>5月・特許法等改正, バリ条約リスボン改正条約マドリッド協定加入に伴う改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許法中改正(5.24法律第81号8.21施行)</li> <li>実用新案法中改正(5.24法律第81号8.21施行)</li> <li>商標法中改正(5.24法律第81号8.21施行)</li> </ul> <p>7月・日本特許協会, 著作権制度審議会会長に応用美術作品中, 図案・ひな形等産業利用を目的とするものは著作権の対象とせず意匠・商標法により保護すべき旨の要望書提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許法施行規則中改正(7.19通商産業省令第88号8.21施行)</li> <li>特許登録令中改正(7.19政令第255号8.21施行)</li> <li>特許登録令施行規則中改正(7.19通商産業省令第89号8.21施行)</li> <li>実用新案法施行規則中改正(7.19通商産業省令第88号8.21施行)</li> <li>商標法施行規則中改正(7.19通商産業省令第88号8.21施行)</li> <li>商標登録令中改正(7.19政令第255号8.21施行)</li> </ul> <p>8月・パリ条約リスボン改正条約(8.3条約9号外務省告示第160号8.21発効)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原産地虚偽・誤認表示防止マドリッド協定リスボン改正協定(8.3条約第10号外務省告示第161号8.21発効)</li> </ul> <p>9月・特許法施行規則中改正(9.16通商産業省令第95号)</p> <p>この年・発明協会, 月報はつめい発行</p>	<p>2月・通商局を「通商局」と「貿易振興局」に分割しデザイン課を貿易振興局に置く. デザイン課の主催する「デザイン開発指導連絡協議会(ブロック別デザイン会議)」発足</p> <p>3月・通産省デザイン課は消費者を対象としたデザイン啓蒙事業として, デザイン教室の開催, 主婦を対象とした展示会での解説, 団地での主婦のデザインの会など企画・実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン保護機関連合会が創立される(会長井上尚 4センターと全国各地意匠考案保護機関40数団体による組織体)</li> </ul> <p>8月・意匠課長 松坂健一(8.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内外国刊行物記載資料を一意匠ごとの写真カードに加工する標準化整備開始(特許庁意匠課)</li> </ul> <p>11月・ソビエト連邦, 工業的意匠に関する法律</p>	<p>2月・米, ベトナム北爆(～1968)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仏, 初の人工衛星に成功</li> </ul> <p>3月・明治村開村(愛知県大山市)</p> <p>5月・IL087号条約国会承認</p> <p>6月・日韓基本条約調印</p> <p>9月・三菱重工長崎造船所20万重量トンドック完成. タンカー東京丸(15万t)進水</p> <p>10月・完成乗用車の輸入自由化実施</p> <p>12月・朝永振一郎ノーベル賞を受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業構造審議会, 耐久消費財のアフターサービスの義務付けを答申</li> <li>自動車工業会, 乗用車需要分析調査報告①オーナードライバーの主流がサラリーマンとなる②レジャー用比率が急速に増加③中古車需要層が形成されつつある④普及率勤労世帯17.5%</li> </ul> <p>この年・不況慢性化し, 産業界再編問題活発化する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不況下にもかかわらず電化ブームはおとろえず, 家電製品の普及率はテレビ84%, 洗濯機31%, 扇風機58%, 電気こたつ57%, 冷蔵庫51%, 掃除機31%(日本電気工業会)</li> <li>日本航空パッケージ・ツアー「ジャルパック」発売</li> <li>経済企画庁に国民生活局新設</li> <li>山本勝郎, 低温液化ガス輸送船(特531028)</li> <li>低温液体の貯蔵及び輸送槽(特281984)(低温液化ガスのタンクの構造を剛構造の外槽と耐圧伸縮性の熱絶縁壁を内槽に使用することにより優れたLPGタンカーを建造した)</li> <li>伊東豪夫, 柔構造建物における壁状構造(震が関ビルに活用する)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>CM年鑑(三彩社)発刊</li> </ul> <p>10月・第18回東京オリンピック開催, 勝見勝デザインディレクターとなりオリンピック組織委員会中にデザイン室を設け, デザインポリシーの確立に努める. 大会施設, 広報などオリンピックに関するデザイン活動, 街頭のゴミ容器, サイン・デザインなど公共施設のデザインさかん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪デザインハウス財団法人となる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>'64日本インダストリアルデザイン年鑑(JIDA)</li> </ul> <p>11月・英国デザインセンター賞'64(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <p>12月・日本人間工学研究会, 正式に日本人間工学会として発足(昭40年1月より, 学会機関紙「人間工学」一季刊を発刊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国産第1号の電子式卓上計算機登場(シャープ)</li> </ul> <p>この年・外国家具の国内進出めざましく, 松屋にデンマークインテリアコーナー伊勢丹はハーマンミラー社, 西武はノル社と特約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京イラストレーターズクラブ結成</li> <li>浪華(現大阪)芸術大学設立</li> <li>代々木総合体育館(東京渋谷)丹下健三設計</li> <li>「日本パッケージデザイン協会'64JPDA展」(日本橋三越)JPDA初の公募展</li> <li>「第1回ディスプレイ・デザイン展」(日本橋高島屋)日本ディスプレイデザイン協会主催, 公募作品と会員作品を展示</li> <li>JETRO, ニューヨークヘデザイン調査員派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノルウェーデザインセンター設立</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>JETRO, ハンブルグトレードセンターヘデザイン担当調査員派遣</li> </ul> <p>6月・日本のデザインや商標, 欧米で盗用急増. 東南アジアを中心に意匠, 商標の盗用目立つ. 昭39年度中の被模倣103件と前年度の2倍となり, その6割が機械類</p> <p>この年・ベル社, 人間工学上の成果によるトリムライン電話機を発表しニューヨーク近代美術館永久展示品となる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベルギーにデザイナー団体「ベルギーデザイナー協会」(Unie der Designers van België UDB)設立</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>オーストリア・デザイン協会のもとにオーストリア・デザインセンター開設(ウィーン, リヒテンシュタイン宮内)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイルランド政府「Kilkenny DesignWorkshops KDW」創設. デザイン開発およびサービスを行う</li> <li>「インダストリアルデザイン・ビエンナーレ」(Bienale Industrijskega Oblikovanja BIO)の第1回展開催(以後国内展と国際展を交互に開催)</li> <li>「アメリカ・インダストリアルデザイナー協会」(Industrial Designers Society of America IDSA)設立. デザイナー団体(IDI, ASID), デザイン教育に携わる者の団体(IDEA)を併合して, 新たに設立</li> <li>ル・コルビュジェ没</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4回ICSID総会(ウィーン)</li> <li>第2回デザイナー教育セミナー(ウルム)へ小池新二, 吉岡道隆出席</li> </ul>
<p>1月・雑誌「SD」(鹿島出版会)創刊</p> <p>2月・サインデザイナー協会発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近代世界美術全集11「近代建築とデザイン」社会思想社</li> <li>小池新二著「デザイン」保育社</li> </ul> <p>5月・ジャパン・ファニチャーセンター開設</p> <p>8月・'65輸出デザイン展「公共へのデザイン」(高島屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リビング, ダイニングを中心としたインテリアデザイン展(ジャパン・デザインハウス)</li> <li>関西デザイナー団体協議会(25団体参加)結成</li> <li>アルミニウム家具展(三越)</li> </ul> <p>9月・第1回日本インダストリアルデザイン会議(JIDA全国大会)開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローゼンタール高島屋ヘスタジオ開設</li> <li>亀倉雄策著「世界のトレードマークとシンボル」河出書房新社</li> </ul> <p>10月・トリエンナーレイタリア展(伊勢丹)</p> <p>11月・関西デザイン会議'65(大阪科学技術センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代イタリアデザイン展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>グラフィックデザイン「ペルソナ」展(松屋)</li> <li>勝見勝著「現代デザイン入門」鹿島出版会</li> <li>フランス政府1985年グループ著「1985年・変わる人間・変わる社会」竹内書店</li> </ul>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1966 昭和41	<p>4月・特許庁長官(46代)川出千速(4.25)</p> <p>6月・特許法中改正(6.30法律第98号7.1施行)</p> <p>●特許法施行規則中改正(6.30通商産業省令第73号7.1施行)</p> <p>7月・特許法中改正(7.1法律第111号12.31施行)</p>	<p>1月・特許庁は、登録査定、拒絶査定等の自動起案(電算機打出し)開始</p> <p>3月・「意匠商標盗用防止対策会議」通産省に設置。デザイン、商標に対する諸外国の模倣阻止貿易の拡大促進が目的。関係行政機関、学識経験者、専門委員で構成</p> <p>4月・通産省貿易振興局、検査課とデザイン課を「検査デザイン課」に統合</p> <p>6月・日本手工業品対米輸出推進事業を「日本優秀デザイン商品輸出推進事業」と改める</p> <p>7月・対外意匠商標模倣防止対策会議が設置され第1回調査団派遣が決まる</p> <p>●アイルランド特許及び意匠法</p> <p>●西独、新著作権法施行</p> <p>●ベネルックス三国でベネルックス、デザイン条約締結</p> <p>10月・日本デザイン保護機関連合会設立。(昭40.3設立の「全国デザイン保護機関連合会」は発展的に解消)(10.3)</p>	<p>1月・古都保存法公布(1.13 4.15施行)</p> <p>●第1回赤字国債発行</p> <p>2月・全日空機羽田沖に墜落</p> <p>3月・人口1億人突破</p> <p>●カナダ航空機羽田防潮堤に激突</p> <p>●BOAC機富士山上空で空中分散</p> <p>●カラーテレビ放送の全国中継網完成</p> <p>5月・中国文化大革命始まる</p> <p>6月・ビートルズ来日</p> <p>11月・家具の品質表示実施</p> <p>12月・学童用家具のJIS制定</p> <p>この年</p> <p>●仏、NATOから正式離脱</p> <p>●本格的な大衆車時代に入りマイカー元年といわれる</p> <p>●大学紛争起る</p> <p>●エレキブーム</p> <p>●福島修、合成皮革ならびにシート物質およびそれらの製造方法(クラリーノ)(特484090)</p>
1967 昭和42	<p>1月・国際工業開発機構(UNIDO)発足(1.1)</p> <p>2月・BIRPIが特許協力条約(PCT)草案作成</p> <p>6月・特許登録令中改正(6.30政令第162号8.1施行)</p>	<p>3月・日本デザイン保護機関連合会、社団法人の許可</p> <p>7月・著作権法改正(7.27法律第87号)</p> <p>●意匠法施行規則中改正(7.21通産省令第91号8.20施行)。意匠に係る物品の説明を追加。図面に出願番号等書誌事項の記入欄追加。作図法の規定の修正を追加。施行規則(物品の区分)を大幅変更</p>	<p>3月・スカルノ大統領失脚。</p> <p>4月・東京都に革新系知事誕生</p> <p>●日本近代文学館開館</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ソニー(㈱)家庭用VTR(ビデオ・コーダー2000 本体198,000円、カメラ88,000円、モニター・テレビ60,000円)を発売(以後、松下電器、赤井電機、東芝電気各社も発売)</li> <li>●「ニュー・クラフト展」日本デザイナー・クラフトマン協会主催(毎年開催)「ニュークラフト賞」創設</li> <li>●電気冷蔵庫の扉に模様付け製品が登場。家具調音響製品に日本、飛鳥、嵯峨などの日本名をつけたもの流行</li> <li>●杉浦非水没(1876~)</li> </ul> <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●工業デザインと材料協会設立(デザイナーと材料メーカー相互の理解を深め、デザイナーの材料選択と管理の便を目的とする。)</li> <li>●秋岡芳夫、小杉二郎、金子至らは「工業デザインと材料協会」設立(会長野口達弥)</li> </ul> <p>●造誌(きづき書店)創刊</p> <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回大阪デザイン振興月間主催大阪府他10団体</li> </ul> <p>●第1回日本自転車コンクール発表</p> <p>●ブラッセルデザインセンター選定品展示会(ジャパンデザインハウスとブラッセルD・Cとの交換展)</p> <p>●世界前衛映画祭</p> <p>●J・ケベッシュ著「造形と科学の新しい風土」美術出版社</p> <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境と工業を結ぶ会(雑誌「造」の編集者と執筆者が中心となり結成)</li> </ul> <p>●㈱ニック、岩田屋と西日本鉄道の共同出資でインテリア、家具等のデザイン設計販売会社設立</p> <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●デザイン課の改組につき、デザイナー3団体より要望書提出</li> <li>●EXPO'70のシンボルマーク決まる</li> <li>●東京造形大学、愛知県芸術大学開校</li> </ul> <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回クラフトセンタージャパン賞発表</li> </ul> <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●デザインの著作権について、デザイナー団体から著作権制度審議会へ再度要望書提出</li> </ul> <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●山種美術館開館</li> </ul> <p>●郵政省が公募した「第9回国際ガン会議」記念切手特選作品にデザイン盗用問題発生</p> <p>●ノル社の日本支社である国際インテリアから和製ノル家具発売される</p> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本デザイン団体協議会(JIDA、JID、JDCA)結成</li> <li>●ユニバシアード組織委員会公募の東京大会ポスター1位作品にデザイン盗用問題発生</li> <li>●'66日本インダストリアルデザイン年鑑(JIDA)</li> </ul> <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ジャパンデザインハウス、赤坂の共同通信ビルへ移転し、特別展「産業とデザイン活動」開催</li> <li>●第1回JIDAデザイン会議(京都国際会館)開催</li> <li>●第1回インテリアショー(松屋)</li> <li>●'66日本輸出デザイン展(高島屋)でGマーク商品の展示はじめる</li> <li>●ブラウン社デザインポリシー巡回展</li> <li>●山正鑄造㈱、すきやき鍋(デザイン芳武茂介)Gマーク選定</li> <li>●W・ドーウィン・ティエグ著「デザイン宣言」美術出版社</li> <li>●勝見勝監修「現代デザイン理論のエッセンス」ベリかん社</li> </ul> <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出光美術館開館</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グッドデザイン展'66「デザイン・オン・ザ・テーブル」(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>●ニッポングッドデザインショー'66(愛知県産業貿易館)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大学にデザイン科の設置あいつぐ</li> <li>●EXPO'70のために、会場計画顧問丹下健三、テーマ館顧問岡本太郎、デザイン顧問勝見勝、小池岩太郎、田中千代、真野善一、浜口隆一を決める</li> <li>●集積回路の企業化開始</li> <li>●テープレコーダのカートリッジ化、ステレオのソリッド化とモジュラー化が進み普及しはじめる</li> <li>●季刊「デザイン批評」創刊</li> <li>●年鑑「イラストレーション」創刊</li> </ul>	<p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●タイプフェース・デザインの国際コンペ開催。米国の写真植字機械と文字板のメーカー、ヴィジュアルグラフィックス・コーポレーション主催</li> <li>●第1回ユーロドムス展(伊)開催。各国より89社が参加、以後、2年ごとに開催</li> </ul> <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●韓国デザインセンター(KDC)設立</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●CoIDデザイン賞に資本財部門新設、電子計算機、旋盤など7点が選定</li> <li>●ニューヨーク近代美術館コレクションに柳宗理のバタフライスツール、村井麗子デザインのスツール(天童木工)入る</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回国際ポスター・ビエンナーレ会議および「国際ポスター展」開催(ワルシャワ)以後、継続して開催</li> <li>●「デザインセンター賞」(Design Centre Awards)(英国CoIDによる)第10回を最後に廃止</li> <li>●日本グッドデザイン展(ブラッセルデザインセンター)</li> <li>●ビリン・ファリーナ没</li> </ul>
<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本ディスプレイ・デザイン協会年度賞制定。('66年度)金賞、第13回東京モーター・ショーの会場計画</li> </ul> <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●通商産業省第1回海外意匠商標調査東南アジアに派遣。わが国の商品に対する模倣の実態調査と、相手国政府関係機関や業界団体などとの意見交換を行う</li> <li>●武蔵野美術大学に、基礎デザイン学科(造形学部)新設</li> </ul>	<p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第5回ICSID総会及び世界会議、小池新二出席</li> <li>●工業デザイン教育セミナー「発展途上の工業デザイン教育」(シラキウス)ICSID、シラキウス大学主催</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ニュージーランド・インダストリアルデザインCouncil設立</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>7月・特許庁長官(47代)山本重信(7.18)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ストックホルム知的所有権会議, 世界知的所有権機関(WIPO)設立条約締結</li> </ul> <p>8月・特許庁長官(48代)荒玉義人(8.1)</p> <p>9月・特許登録令施行規則中改正(9.25通商産業省令第131号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公知資料のカード化(IBMサイズ)開始</li> <li>著作権法改正(7.27法律第87号)</li> </ul> <p>11月・意匠課長 内田誠史(11.1)</p> <p>この年・ベルヌ条約ストックホルム改正規定</p>	<p>6月・ケネディラウンド(関税一括引下げ交渉)に調印</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗用車の普及1千万台突破(世界第5位)</li> <li>中東戦争</li> </ul> <p>7月・資本自由化による産業の国際化始る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ共同体発足(EC)</li> <li>米国, デトロイトで史上最大の黒人暴動</li> </ul> <p>8月・昭和41年度国民総生産世界第3位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公害対策基本法公布</li> </ul> <p>10月・吉田茂没89才</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>武器のプラント輸出始まる</li> </ul> <p>この年・カラーテレビ10万円台となり前年度1.7%の普及率を5%と爆発的に増大(テレビ受信契約数2000万突破, 普及率83.1%)その他の家電製品の普及率, 電気アイロン85%, 洗濯機69%, 扇風機65% 電気こたつ62%, 冷蔵庫62%, 電気釜56%, 掃除機40%, ステレオ20%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震自動消化装置の法定化</li> <li>イタイタイ病などの公害問題多発</li> <li>日本, アメリカ官民合同の自動車会談開催. 米側は, 資本, エンジンの輸入自由化を強調.</li> <li>吉田進, 大越明男, 電子銃3ビーム方式の電子銃を有する陰極線管(単電子銃3ビームによるトリニオン方式によるカラーTVの完成)(特636886他)</li> </ul>
1968 昭和43	<p>7月・特許庁「明日を開く特許」発刊(初の特許白書)</p>	<p>3月・商標出願速報発刊(日本デザイン保護機関連合会)(3.29)</p> <p>10月・工業デザインの国際分類を定めるための外交会議(ロカルノ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英国, 意匠著作権法施行</li> </ul>	<p>1月・米原子力空母佐世保入港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アラブ石油輸出国機構(OAPEC)結成</li> </ul> <p>2月・成田国際空港反対デモ激化</p> <p>3月・日中覚書貿易協定</p> <p>4月・小笠原返還協定(6月実現)</p> <p>5月・消費者保護基本法成立</p> <p>6月・技術導入の自由化実施貿易自由化(昭39), 資本自由化(昭42)に次ぐ自由化措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気汚染防止法公布</li> <li>文化庁設置(長官今日出海)</li> <li>騒音規制法公布</li> </ul> <p>7月・郵便番号制実施</p> <p>8月・ソ連, チェコに侵入</p> <p>10月・川端康成ノーベル文学賞受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本武道館で明治百年記念式典</li> </ul> <p>12月・GNPアメリカについて自由世界第2位</p> <p>この年・欧州で初の日本自動車組立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日大, 東大等で学園紛争激化</li> <li>ヒッピー, フーテンが話題</li> <li>ミニスカート大流行</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>図形認識装置(郵便番号読取機として開発されたもので, 書状面の所定の赤枠内のアラビア数字を認識区分する装置)(特485816)</li> </ul> <p>4月・Gマーク商品の選定にあたり, 「Gマーク商品品質検査基準」を設け, 安全, 衛生性, 機能性, 耐久性について品質検査開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グラフィックアートUSA展(東京国立近代美術館)</li> </ul> <p>・稲村耕雄没(色彩学者)</p> <p>5月・東洋工業(株)ロータリーエンジン搭載の乗用車コスモスポーツ発売</p> <p>6月・第3回工業デザイン調査団(日本生産性本部)初めて欧州へ派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジョ・ボンティ来日</li> </ul> <p>7月・マグネトロン特許切れにより家電各社電子レンジの生産開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外の家具展(ジャバンデザインハウス)</li> <li>ピントーリ作品展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> </ul> <p>8月・クラフトセンタージャパン, 京都丸善ビルへ新設</p> <p>・石川弘著「工業デザイン計画」美術出版社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>D・バイ著「デザインとはどういうものか」美術出版社</li> </ul> <p>9月・ジャパンファニチャー登録センター開設</p> <p>・'67日本輸出デザイン展(東京, 大阪, 名古屋)</p> <p>・つぎ手と道具展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <p>9月・自動車のデザイン展(ジャパン・デザインハウス)開催. 自動車デザインの全貌を一般に紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIDA'67デザイン会議「インダストリアルデザインの有効性について」(東京文化会館)</li> <li>北海道立美術館開館</li> </ul> <p>10月・ルーマニア展(ジャバンデザインハウス)</p> <p>11月・優秀デザイン商品内示会(ジャバンデザインハウス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>衛生設備のデザイン展(ジャバンデザインハウス)</li> <li>北日本デザイン展(仙台三越)東北, 北海道工芸協会主催</li> <li>ドイツデザイン展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> </ul> <p>12月・クラフトセンタージャパン, 札幌丸善ビルへ新設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帝国ホテル取りこわし開始</li> <li>'67毎日産業デザイン賞 渡辺力, 伊藤隆道, 特別賞日本デザインコミッティー</li> <li>ドミニカ展(ジャバンデザインハウス)</li> <li>ローブワーク展(松屋)日本デザインコミッティー</li> </ul> <p>この年・「ヤマギワ国際照明器具コンペ」山際電気(株), 始まる.(第5回より「東京国際照明デザインコンペ」と改題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新宿西口広場(坂倉準三設計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デンマーク・デザインセンター設立(コペンハーゲン)</li> </ul> <p>この年・「ブラウン賞」創立. ブラウン社(西独)ドイツ工業局工業デザイン協議会(Gestaltkreis)の協同による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミラノ・アートディレクターズ・クラブ創立. ミラノ・アートディレクターズ・クラブ年鑑の第1巻を刊行(ニューヨークの「ADC年鑑」, 日本の「広告美術年鑑」に次ぐもの)</li> <li>「CoIDデザイン賞」(CoID Design Awards)(英国CoIDによる)新発足</li> </ul> <p>・カナダ建国百年を記念するモントリオール万国博「人間とその環境」へJETRO参加, 日本館設計芦原義信</p> <p>5月・第14回ミラノトリエンナーレ展, 5月30日の開会式当日デモ隊進入により中断し6月24日に再開</p> <p>この年・香港インダストリアル・デザイン・カウンシル(HKIDC)設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2回国際ポスター展ポーランド(ワルシャワ)1府亀倉雄策EXPO'70ポスター2席永井一正, 田中一光入選</li> <li>蘭インテリアデザイナー団体BNT.(Beroepsvereniging van Nederlandse Interieurarchitekten)設立</li> <li>西独「国際デザインセンター・ベルリン」(Internationales Design ZentrumBerlin e.V IDZ)設立(1970年4月17日に公益法人として正式発足)</li> <li>スイスにデザイナー団体「Verband Schweizer Industrial Designers」設立</li> <li>INTERDESIGN2000「西暦2000年の住いと仕事場のための家具デザイン・コンテスト」, (ICSID後援のもとに西独の家具メーカーChristian Holzäpfel社主催の国際デザインコンペ)結果発表</li> <li>ウルム造形大学閉鎖</li> <li>第2回ユーロドムス展(伊トリノ)日本から25社2200点参加</li> <li>第1回ユーロデザイン展(仏ナンシー)仏産業界海外貿易センター後援</li> </ul>
<p>1月・内外の家庭用品展(ジャバンデザインハウス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本のポスター百年展(銀座松屋)</li> </ul> <p>2月・米国サムソナイト社との技術提携によってエースラゲージ社, ユースアタッシュケース80703発売, '69Gマークに選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なるほど展(京王デパート)婦人発明家協会主催.(京王デパートに会員の新製品コーナー常設)</li> <li>照明器具デザイン展(ジャバンデザインハウス)</li> </ul> <p>3月・日本デザイン学生連合会解散</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回クラフトセンター展われわれの提案(丸善画廊)</li> <li>インテリア京都展(松屋)京都市, 松屋主催</li> <li>ジョージ・ナカシマ展(小田急ハルク)</li> </ul> <p>4月・国立九州芸術工科大学開校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>震ヶ岡ビル竣工(初の超高層ビル147m)</li> <li>ヤマギワ国際照明器具コンペ'68発表1席川上信二</li> <li>ガラス器具展(ジャバンデザインハウス)</li> </ul> <p>5月・第1回京都デザイン会議「現代デザインと京都」(京都会館)京都デザイン協議会主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>'68日本インダストリアルデザイン年鑑(JIDA)</li> </ul> <p>6月・光学機器展(ジャバンデザインハウス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外収集見本(玩具を中心とする)展(ジャバンデザインハウス)</li> </ul> <p>7月・トランスポーターションのデザイン展(ジャバンデザインハウス)</p> <p>8月・クラフトの道具展(松屋)</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>明治百年ブーム</li> <li>心臓移植の適否をめくり論争</li> <li>ベトナム和平会談</li> <li>核拡散防止条約調印開始</li> <li>春日袈裟治, 佐藤正逸, 館野守久, 熱軟化性物質繊維の製造法および装置(硝子を原料として短繊維のグラスウールを大量に生産する発明で, これによって得られる製品は繊維同士の間隙に空気が大量に存在するので, 断熱性や吸音性に優れた性能を発揮する)(特533479, 特531979)</li> </ul>
1969 昭和44	<p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許庁, 広域機械検索システムの研究開発開始</li> <li>特許庁, 審査資料の機械検索, 新規システム3テーマを加え20テーマの機械検索システム研究・開発・実験</li> </ul>	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン奨励審議会, 「総合的デザイン振興機関の設立について」決議し通商産業大臣へ要望書を提出</li> </ul> <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>著作権法改正(12.8法律第82号)</li> </ul>	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東大紛争, 安田講堂で騒乱</li> </ul> <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仏, ドゴール大統領退陣</li> </ul> <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東名高速道路全通</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>いざなぎ景気</li> </ul> <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ASPAC(アジア太平洋閣僚会議)(伊豆)開催</li> <li>原子力船むつ進水</li> <li>自動車メーカー欠陥車種公表, 欠陥車問題が電気カミソリ, 懐中電灯, 冷蔵庫, ガス湯沸器などへ波及</li> <li>仏, ポンピドー, 大統領選に当選</li> <li>通商産業省, 住宅産業室設置 通商産業省「新通産政策の基本的方向」発表, 財物中心の生産第一主義, 輸出貿易重点主義から国民生活の質的充実へ大きく転換</li> <li>米宇宙船アポロ11月号月面着陸成功</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費者協会, カラーテレビの商品テスト発表</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐藤首相訪米, 日米共同声明(沖縄1972年返還)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米国大統領ニクソン就任</li> <li>学園紛争慢性化</li> <li>コンピューター, シンクタンク等の情報産業注目される</li> <li>輸出商品の花形トランジスタラジオに代わり, 卓上計算機となる. 世界市場の80%近くを占める</li> <li>ラルフネーダー著「どんなスピードでも自動車は危険だ」ダイヤモンド社</li> <li>テレビ受像機生産台数1269万台世界第一位</li> <li>水平思考ブーム</li> <li>青少年にシンナー遊び流行</li> <li>世界で初めて新半導体のGND(負性抵抗発先ダイオード)を開発</li> <li>磁気テープ転写方式(ビデオテープのマスターテープから複写装置で接触転写法を採用しているが記録波長の短い領域に</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>数学のフォルム展(松屋)日本デザインコミッテーター主催, 東京教育大学協力</li> <li>9月</li> <li>デザイン奨励審議会懇話会が開かれ, 「日本産業デザイン振興会設立準備委員会」を設ける</li> <li>第6回日本輸出デザイン展(東京, 大阪, 名古屋)</li> <li>生活環境のデザイン展(ジャパンデザインハウス)</li> <li>歩道橋計画案(柳工業デザイン研究所)展(松屋)日本デザインコミッテーター主催</li> <li>’68グッドデザイン展デザイン・フォア・リビング(松屋)</li> <li>10月</li> <li>優商品内示会(ジャパンデザインハウス)</li> <li>アールヌーボー展(西武)毎日新聞社主催</li> <li>11月</li> <li>第1回「インテリア・デザイン会議’68」開催(東京朝日講堂). テーマ「変貌する市民生活と住いの秩序」日本室内設計家協会(JID)創立10周年記念</li> <li>12月</li> <li>スクーターの生産中止</li> <li>スポーツとデザイン展(ジャパンデザインハウス)</li> <li>「日本のインテリアデザインI」(敬文堂)</li> <li>カセット式テープレコーダーの発売あい次ぐ(1966年, フィリップス社のカセット式テープ・レコーダー特許無償公開. 後, 我が国でもカセット式製品本格生産)</li> <li>第1回ディスプレイデザイン会議テーマ「デザイナーと商業性」</li> <li>第1回ブラウン賞’68年度賞2点発表「設備ユニット・システム」梅田正徳受賞</li> <li>日本万国博ストリートファニチャーのデザイン担当をGKインダストリアルデザイン研究所, 剣持勇デザイン研究所, トータルデザイン研究所と決める</li> <li>ほくさん, 設置式バスユニット「バスオール」発売</li> <li>デザインにコンピューターを導入することが流行</li> </ul>	
<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工芸ニュース, コンピュータとデザイン特集</li> </ul> <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4回海外意匠商標調査団派遣</li> <li>カラープランニングセンター発足</li> <li>クロストークインターメディア(国立競技場)</li> <li>近代デザインの展望展(京都国立近代美術館)</li> </ul> <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIDA社団法人となる</li> <li>世界のグッドデザイン展(大阪府立貿易館)</li> <li>工芸ニュース, 身体障害者とデザイン特集</li> </ul> <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エレクトロマジカ’69国際サイテックアート展(ソニービル)日本エレクトリック・アートアソシエーション, ソニー企画主催</li> <li>「日本産業デザイン振興会」(JIDPO)創立(会長 足立正). 昭和36年9月奨励審議会の答申をうけて設立, 戦前の帝国工芸会に次ぐものでGマーク商品選定等, 従来, 政府実施のデザイン振興事業の一部を行う総合的なデザイン振興機関. 発起人は約100団体, 業界団体, デザイン団体, 公共団体等</li> <li>東京国立近代美術館, 北の丸公園に新館落成</li> <li>フランスベッドデザインコンペ(創立20周年記念)金賞 水野聡</li> <li>ノルウェーデザイン展(松屋)日本デザインコミッテーター主催</li> <li>日本イラストレーター会議結成</li> <li>「デザインの先覚者国井喜太郎」(国井喜太郎先生顕彰会)</li> <li>現代デザイン事典(美術出版社)</li> </ul> <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業工芸試験所を「製品科学研究所」と改組し再出発</li> </ul> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日宣美審査会, 粉砕共闘のデザイン学生により実力阻止</li> <li>現代イタリア・インテリア家具展(上野 東京家具サロン)東京家具流通センター主催</li> <li>塚田敢没55才(千葉大学教授 日本デザイン学会理事)</li> </ul> <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本インテリアデザイン協会(JID), 社団法人となる</li> <li>英国フェア’69(日本武道館)英国政府, 朝日新聞社主催</li> </ul>	<p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワルター・グロビウス没</li> </ul> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミス・ファン・デル・ローエ没</li> <li>第6回ICSID総会(ロンドン)’73年の第8回総会を日本で開催する日本提案を正式承認</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ABITARE誌主催の子供のためのデザインコンクールで日本人が2点入選</li> <li>インドに「インダストリアル・デザイン・センター」(IDC)創設</li> <li>西独連邦グッドデザイン賞創設</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>おける特性が優れているので高密度の複写が可能である) (特580113)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 杵木幹雄, 池上吉蔵, 杉一郎, 金山正明, 大淵一雄, 定松茂, E. P. Mシステムほか(写真羅書き法) (特557555)</li> </ul>
1970 昭和45	<p>4月 ● WIPO設立条約発効(4. 26)</p> <p>5月 ● 特許法中改正(5. 22法律第91号昭46. 1. 1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特許協力条約(PCT) 外交会議, 特許協力条約(PCT) 調印(ワシントン)(5. 25~6. 19)</li> <li>● 特許法中改正(5. 22法律第91号昭46. 6. 1施行). 出願の早期公開制度, 出願審査請求制度, 審査前置制度, 先願範囲の拡大, 補正時期の制限</li> </ul> <p>5月 ● 実用新案法中改正(5. 22法律第91号昭46. 1. 1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 商標法中改正(5. 22法律第91号昭46. 1. 1施行)</li> </ul> <p>7月 ● 特許庁長官(49代) 佐々木学(7. 1)</p> <p>10月 ● 特許法施行規則中改正(10. 17通商産業省令第101号昭46. 1. 1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用新案法施行規則中改正(10. 17通商産業省令第101号昭46. 1. 1施行)</li> <li>● 商標法施行規則中改正(10. 17通商産業省令第101号昭46. 1. 1施行)</li> </ul> <p>12月 ● 特許法施行規則中改正(12. 12通商産業省令第112号昭46. 1. 1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用新案法施行規則中改正(12. 12通商産業省令第112号昭46. 1. 1施行)</li> <li>● 商標法施行規則中改正(12. 12通商産業省令第112号昭46. 1. 1施行)</li> </ul>	<p>5月 ● 意匠法中改正(5. 22法律第91号昭46. 1. 1施行). 第10条の2(意匠登録出願の分割)を追加, 第60条の3(手続の補正)を追加, 登録料, 出願料等の増額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 著作権法改正(5. 6法律第48号) 著作権保護死後50年に</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● デンマーク意匠法改正(5. 27)</li> <li>● ノルウェー意匠法改正(5. 29)</li> </ul> <p>6月 ● スウェーデン意匠法改正(6. 29)</p> <p>10月 ● 意匠法施行規則中改正(10. 17通産省令第101号昭46. 1. 1施行). 願書の様式及び記載要領等の変更, タイプ印書が義務づけられる</p> <p>12月 ● 意匠法施行規則中改正公布(12. 12通産省令第112号昭46. 1. 1施行). 準用規定の変更</p>	<p>1月 ● 海洋科学技術開発推進会議, 海洋開発計画発表</p> <p>2月 ● 核拡散防止条約参加調印</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国産人工衛星でおおすみ打上げ成功(世界で4番目の実施国)</li> <li>● 東大ラムダ打上げ</li> </ul> <p>3月 ● 日本万国博覧会EXPO' 70「人類の進歩と調和」大阪で開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤軍派による「よど号」ハイジャック</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新日鉄発足</li> </ul> <p>4月 ● 国際未来学会(京都国際会館)開催</p> <p>6月 ● 日米安保条約, 自動延長期間に入る</p> <p>7月 ● 日本消費者連盟「不良商品一覽表」三一書房</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本の呼称をニッポンと閣議決定</li> </ul> <p>8月 ● 歩行者天国(銀座, 新宿, 池袋, 浅草)実施</p> <p>9月 ● 地婦連, カラーテレビの二重価格の実態を発表し, 不買運動起す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 科学技術庁, 21世紀までの技術予測調査実施</li> </ul> <p>10月 ● 特殊法人国民生活センター創立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本人口1億人を突破(1億372万60人)</li> </ul> <p>11月 ● 三島事件(楯の会会長三島由紀夫自殺)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国民生活審議会「消費生活に関する情報の提供および知識の普及に関する答申」提出</li> </ul> <p>12月 ● 日本製テレビ輸出, 米財務省ダンピングと認定</p> <p>この年 ● 中国, 人工衛星打上成功</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中東停戦実現(3ヵ月)</li> <li>● 西独, ソ連条約(国交回復, 現状承認)</li> <li>● カナダ, 中国を承認</li> <li>● NHK, TV音声多重実験</li> <li>● 国鉄の大型広告キャンペーン「ディスカバー・ジャパン」始まる</li> <li>● 経済企画庁は' 69年度GNP世界第2位, 国民所得世界第16位と発表したが, ' 65年以來の高度成長も公害問題等で沈滞の兆を見せ, 転換期を迎えた.' 70年度経済白書は, 高度成長政策から国民生活の福祉向上を第一とする考え方を強く打ち出す</li> </ul> <p>技術 ● 手塚国利, ゴミブロック形成装置(特675825)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ' 69世界のグッドデザイン展「グローバル・アイ」(松屋). 日本デザインコミッティー主催</li> <li>● ' 69日本輸出デザイン展(東京, 大阪, 名古屋)</li> <li>● 坂倉準三没(建築家)</li> </ul> <p>11月 ● 粟辻博個展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 松村勝男個展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>● 鎌和田務著「家具の歴史・西洋」近藤出版社</li> </ul> <p>12月 ● 第15回毎日産業デザイン賞伊勢丹ID研究室「百貨店における商品デザインの組織的研究」</p> <p>この年 ● 万国博覧会統一シンボルマーク決定. 万国博覧会国際事務局1970年, 日本万国博覧会を機に, 世界共通の万国博統一シンボルマーク制定を決定, 国際的に募集(東京教育大学生, 松島正矩のデザインを正式採用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通商産業省発表の昭和43年度デザイン等模倣の現状によると, わが国の業者による模倣件数18件, 被模倣件数は122件</li> <li>● 彫刻の森美術館開館(箱根)</li> </ul>	<p>5月 ● 韓国デザイン・包装センター(KDPC)設立</p> <p>この年 ● 第3回国際ポスタービエンナーレ(ワルシャワ)に永井一正が審査員で参加. 土方弘克, 栗津潔, 田中一光, 長友啓典, 長谷川栄一, 西部富夫が入賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ニューヨーク五番街で車追放実施</li> <li>● オランダで日本デー開催</li> <li>● 第7回ICSID総会(スペイン・イビサ島)</li> <li>● インターナショナルデザインセンター(西ベルリン)開設</li> </ul>
<p>1月 ● FD, 中小企業デザイン機構発足3年目を迎え常設事務所開設</p> <p>2月 ● 欠陥電子レンジ事件発生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オカムラデザインコンペ' 70発表</li> <li>● 自動車各社CAD(コンピューター・エイデッド・デザイン)システム導入</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● シャープ(液晶とLSIを使用した)電卓発売</li> </ul> <p>3月 ● 竹編組展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <p>4月 ● 機械デザインコンクール(日本機械デザインセンター)中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい照明器具展(山際電気本社)</li> </ul> <p>5月 ● ヨーロッパのグッドデザイン展(ジャパニデザインハウス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ペン・シャーン展(東京国立近代美術館)</li> </ul> <p>6月 ● 日宣美, 解散声明発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アートクロック展(三越)シチズン主催</li> </ul> <p>9月 ● ' 70日本輸出デザイン展(日本産業デザイン館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グッドデザイン展「トップオフィス' 70」(松屋)</li> <li>● 日本産業デザイン振興会の展示施設として「日本産業デザイン館」開館</li> </ul> <p>10月 ● 第1回東京国際グッドリビングショー(晴海見本市会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アクリルの世界展 日本デザインコミッティー主催</li> <li>● 兵庫県立近代美術館開館</li> </ul> <p>12月 ● 日本住宅設備システム協会設立</p> <p>この年 ● キッチン・ユニット, ウインドファン, 電子ジャー, 4チャンネルステレオ, 電子水晶時計等新発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ストリートファニチュア(SF)研究会」発足. 万博会場用ストリート・ファニチュアのデザインに携わったデザイナーやメーカーが中心となる</li> <li>● 「パイロットハウス技術考案コンペ」建設省, 通産省, 日本建築センター共催</li> <li>● 使い捨てガスライター売れる</li> </ul>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・諫山幸男、微細中空ガラス球状体の製造法の発明(九州工業技術試験所)(わが国に多量に賦存する火山噴出物の一種であるシラスをある加熱条件で焼成することによって微細中空ガラス球(シスパルー)を製造する)</li> </ul>
<b>1971</b> 昭和46	<p>3月・特許庁、公害関連出願の優先審査始める(出願後2年以内を目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際特許分類(IPC)に関するストラスプール協定締結(3.24)</li> </ul> <p>4月・特許法中改正(4.6法律第42号7.1施行)民事訴訟費用等に関する法律施行に伴う改正</p> <p>6月・(財)日本特許情報センター(JAPATIC)発足(6.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特許庁長官(50代)井土武久(6.15)</li> <li>・実用新案法中改正(6.1法律第96号)</li> <li>・特許法中改正(6.1法律第96号)許可・認可等整理法実施に伴う改正</li> <li>・特許法施行規則中改正(6.1通商産業省令第56号)</li> </ul> <p>9月・沖縄の居住者が行う工業所有権に関する手続等の特例令。(政令第295号廃止昭47.4.20政令第111号 昭47.5.15施行)</p> <p>11月・特許庁「とっきょ」(月刊)発刊(11.25)</p> <p>12月・沖縄復帰に伴う特別措置法による特許法、実用新案法、意匠法、商標法特例(12.31法律第129号 昭47.5.15施行)</p>	<p>1月・意匠課長 砂川昭男(1.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習機の意匠権争いに判決、意匠の利用に解釈を示す(大阪地裁45(ワ)507)</li> <li>・新著作権法施行、美術の著作物に美術工芸品を含む旨明記</li> </ul> <p>3月・フィンランド登録意匠法改正</p> <p>4月・工業デザインの国際分類を定めるためのロカルノ協定発効(4.27)</p> <p>6月・意匠法中改正(6.1・法律第96号)第33条(通常実施権の設定の裁定)の変更。「特許庁長官の許可を受けて」を削除</p> <p>7月・ベルヌ条約、万国著作権条約パリで改正</p> <p>9月・写真著作権裁判(パロディー裁判)写真家白川義員、デザイナー、マッドアマンを写真著作権侵害で提訴</p>	<p>1月・ラルフ・ネーダー(米国の公害追放運動の闘士)来日</p> <p>2月・国産人工衛星たいたん打上げ成功</p> <p>3月・対米繊維輸出自主規制宣言発表</p> <p>6月・京王プラザ竣工(47階・170m)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄返還協定調印</li> </ul> <p>7月・環境庁発足(7.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国初の超音速ジェット練習機XT-2試作1号機、初飛行</li> <li>・全日空旅客機と自衛隊機が衝突、岩手県雫石(162人死亡)</li> </ul> <p>8月・米国のドル防衛策(ドルショック)、円為替を暫定的変動相場制に移行</p> <p>9月・科学衛星しんせい打上げ成功</p> <p>10月・中国の国連復帰決定</p> <p>12月・為替相場基準レート、1ドル=308円となる。対中国貿易促進の動き活発となる</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バングラデシュ独立</li> <li>・英、EC加盟に決定</li> <li>・南北朝鮮赤十字会談</li> <li>・西宮豊(日立)カラー複写機の発明(湿式エレクトロファックス法を用いた多色重畳機構方式によるカラー複写機で重畳時の色ずれを防止する点に特徴を持っている)</li> </ul>
<b>1972</b> 昭和47	<p>5月・沖縄総合事務局規程(5.15総理府令第36号)商工課(工業所有権の指導、意匠、商標奨励)</p> <p>6月・特許庁長官(51代)三宅幸夫(6.30)</p>	<p>5月・意匠審査長1を新設(産業機械)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意匠課に分類係を設置</li> <li>・意匠審査定員50名を越す</li> <li>・審査長 水野尚(5.1)</li> </ul> <p>8月・「意匠物品分類表」(発明協会刊)発行</p> <p>12月・特許庁意匠課、タイプフェース保護問題</p>	<p>1月・電卓のパーソナル化進む</p> <p>2月・沖縄海洋博覧会協会発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太平洋戦争生き残り元日本兵横井庄一グアム島より帰国</li> <li>・第11回冬季オリンピック大会、札幌開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連合赤軍浅間山荘事件</li> </ul> <p>3月・山陽新幹線岡山まで開通</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>1月・石井賞創作タイプフェースコンテスト第1回公募実施(写真主催)</p> <p>2月・ハーバード・バイヤー来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バウハウス50年展(東京国立近代美術館)独国外使館、東京国立近代美術館主催</li> <li>・美濃焼タイルとノベリティー展(8本産業デザイン館)</li> </ul> <p>3月・大阪デザインハウスを「大阪デザインセンター」と改称</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活とガラス器展(日本産業デザイン館)</li> <li>・アブストラクターによる自由な空間展(ソニービル)</li> </ul> <p>4月・日本産業デザイン振興会、ICSIDに加盟し、「産業デザイン」「産業デザイン情報」の発刊、海外優秀デザイン商品の収集、研究員海外派遣、フランクフルトメッセへの参加等の新事業を開始し、優事業をJETROから引きつぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県産業デザイン振興会設立</li> </ul> <p>6月・伊坂芳太郎遺作展(渋谷西武)</p> <p>6月・豊口克平、貿易記念日(28日)に総理大臣賞受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剣持勇没59才(インテリアデザイナー)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気、新日本電気は「㈱日本電気デザインセンター」設立</li> <li>・デザイン関係の専門ギャラリー東京日本橋プラザ・ディック閉館</li> <li>・トーネット展(小田急ハルク)</li> <li>・雑誌 Design&amp;Industry(D&amp;I)創刊(トレード・タイムズ社)機械デザインセンターの機関誌「D&amp;I」を母体に発展させたもの</li> </ul> <p>7月・デザイン奨励審議会「70年代のデザイン振興政策は如何にあるべきか」諮問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインイヤー懇話会設立</li> <li>・日刊工業新聞社の創立25周年を記念して「機械工業デザイン賞」創設、第1回受賞作品発表</li> </ul> <p>8月・日本の椅子100展(日本産業デザイン館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・'71日本輸出デザイン展(東京、大阪、名古屋、広島、北九州)</li> </ul> <p>9月・ICSID日本協議会、昭和48年を産業デザインの啓蒙運動の年にする方針を提起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・'71グッドデザイン展「私の座」(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>・グラフィックデザインの壮挙・亀倉雄策展(松屋)</li> <li>・空間への光の提案展(日生会館)岩崎電気主催</li> <li>・長大作、松村勝男、水之江忠臣ファニチャーコレクション展(東京プラザディック)</li> </ul> <p>10月・大阪デザインセンター、デザイン研究所開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマギワ国際照明コンペ入賞作品展(松屋)</li> <li>・オリベッティのコンセプトアンドフォルム展(プリンスホテル前庭)伊大使館、オリベッティ社主</li> <li>・今日のクラフト展(丸善画廊)クラフトセンタージャパン主催</li> </ul> <p>11月・「アジアデザインシンポジウム」へ8ヶ国参加。APO主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「D&amp;I」誌、Gマークとデザイン行政をレポートしデザイナー等のアンケートをのせる</li> </ul>	<p>3月・デザイン・ウイズアウト・デザイナー展(西独ミュンヘン)</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回ICSID総会(バルセロナ)栄久庵憲司、理事に選出され、東京総会正式承認される</li> <li>・フランスデザイン展(パリ)</li> <li>・「インターデザイン'71」開催(ソ連、ミンクス市)ICSID主催。国際的なデザイン・セミナー、VNIITE協力、現在活躍中の中堅層デザイナーの研究が目的。以後毎年世界各国で開催。</li> <li>・ICOGRADAの機関誌「icographic」創刊</li> <li>・メキシコにデザイン振興のための機関「Centro de Diseno del Instituto Mexicanode Comercio Exterior」創設(1976年閉鎖)</li> <li>・韓国に「韓国デザイン・パッケージングセンター」が創設</li> <li>・アルネ・ヤコブセン没</li> <li>・三洋電機製トランジスタラジオの模倣品、中近東に出まわる。</li> </ul>
<p>1月・私たちの仕事展(松屋)デザインギャラリー100回記念展、日本デザインコミッティー主催</p> <p>2月・デザイン・フロム・ヨーロッパ展(日本産業デザイン館)日本産業デザイン振興会主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スウェーデン・デザイン展(スウェーデンセンター)</li> <li>・W・ブラウン・フェルトベーク著「インダストリアルデザイン」彰国社</li> </ul> <p>3月・デザインイヤー計画の概要、デザイン奨励審議会へ報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川紀章のカプセルマンション(銀座)オープン</li> </ul>	<p>3月・ライブチッヒ国際見本市技術コンテスト金賞を日本商品5個とる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーゴスラビア、ベオグラード市にデザイン・センター創設</li> <li>・チェコスロバキアに「Institu Promysloveho Designu IPD」創設</li> <li>・アイルランドに「アイルランド・デザイナー協会」(Society of Designers in Ireland SDI)設立</li> </ul> <p>4月・英国CoID名称をDC(the Design Council)と変更。エンジニアリング協会(Council of Engineering Institute)と共同して、エンジニアリングデザインの分野までその活動をひろげるべきであるという1971年の貿易産業局の諮問による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「トランスポ'72」(ダレス国際空港)。(米国政府主催)航空機から自動車</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
		に関する検討会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>高松塚古墳(奈良県)から極彩色壁画を発見</li> <li>4月・川端康成ガス自殺</li> <li>5月・沖縄祖国復帰実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>米、ニクソン大統領訪中SALT調印(米ソ)</li> </ul> </li> <li>6月・超音速飛行機コンコルド来日 <ul style="list-style-type: none"> <li>最高裁、日照権、通風権を認める判決</li> </ul> </li> <li>7月・国民生活センター会館落成 <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国、北朝鮮両政府、南北平和統一に関する共同声明発表</li> </ul> </li> <li>9月・田中首相訪中、日中共同声明発表(日中国交回復) <ul style="list-style-type: none"> <li>国鉄リニアモーターカー実施車走行成功</li> </ul> </li> <li>10月・本田技研、低公害エンジン開発CVCC <ul style="list-style-type: none"> <li>台風10号で欠陥プレハブ住宅続出</li> </ul> </li> <li>12月・国土総合開発推進本部発足 <ul style="list-style-type: none"> <li>外務省機密漏洩事件を機に知る権利・報道の自由論争盛ん</li> </ul> </li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東西両独関係正常化基本条約に調印</li> <li>国勢の実態を地図で示す「ナショナル・アトラス」第1号完成。国土地理院より発表</li> <li>ボディシャツ、Tシャツ、Gパン、若者のファッションとして定着</li> <li>田中角栄「日本列島改造論」土地ブームおこる</li> <li>田口幸近、能勢伸治、辻村英昭、松本一弥、高密度ポリエチレンの塩素化方法(特657339)</li> </ul>
1973 昭和48	<p>4月・特許法中改正(4.12法律第10号)国民の祝日に関する法律(昭23法律178号)に規定する休日</p> <p>5月・東独との国交樹立に伴いバリエーション同盟国として承認する(5.15)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商標登録条約(TRT)締結</li> </ul> <p>6月・技監新設。大谷幸太郎就任(6.29)</p> <p>7月・特許庁長官(52代)斉藤英雄(7.25)</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文書及帳簿保存年限の件(大正11通達9)改正、特許等登録原簿保存年限永久保存から20年、事務処理システム開発室出願照会即時化実施</li> </ul>	<p>3月・通商産業省住宅産業課内に「インテリア産業振興対策委員会」設置</p> <p>4月・特許庁意匠課 意匠問題検討懇談会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許庁意匠課、タイプフェース保護に関する第2回検討会開催</li> <li>意匠課長 水野尚(4.16)</li> <li>審査長 川添不美雄(4.16)</li> </ul> <p>5月・TRT・タイプフェース保護とその国際寄託協定外交会議(ウィーン)TRT・タイプフェース保護国際寄託協定・図形商標国際分類制定文書附属規則審議採択、日本代表出席(審査第1部長土屋道敏 意匠審判長砂川昭男他)調印を見送る</p> <p>9月・日本デザイン保護機関連合会、会報「FDP」発行。</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠権の無い彩色素焼人形「赤とんぼ」(博多人形)に著作権を認める判決出る(昭和47年(3)第53号、昭和48年2月7日)</li> <li>オートバイの意匠権侵害事件に対し、7億6千万余円の損害賠償を認める判決出る(昭和43年(9)第11385号判決、昭和48年5月25日)</li> </ul>	<p>1月・ベトナム和平協定調印</p> <p>2月・円の変動相場制移行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民生活審議会「サービスに関する消費者保護について」答申出す</li> </ul> <p>3月・水俣病裁判、患者側勝訴</p> <p>8月・金大中事件</p> <p>10月・江崎玲於奈ノーベル賞を受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1次オイルショック</li> <li>第四次中東戦争</li> </ul> <p>11月・製品安全協会発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関門橋開通</li> </ul> <p>12月・森永ミルク中毒事件、被害者、会社、厚生省の三者了解成立</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石油危機で、狂乱物価、物不足のパニック</li> <li>土佐雅直、井上功、西海宏、半導体装置(特706129)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本工業製品設計展覧会(香港)国内展 日本産業デザイン振興会主催</li> <li>海外のプラスチック商品展(大阪デザインセンター)</li> <li>児童の家庭環境展(大阪デザインセンター)</li> <li>4月・日本産業デザイン振興会、消費者デザインセミナー(年間12回)とデザインマネージメントセミナー(東京、大阪)開始</li> <li>天童木工の椅子(意匠登録第263700号)全国発明表彰受賞</li> <li>'72クラフトシンポジウム(京都会場)京都市京都クラフト協議会主催</li> <li>4月・季刊誌「ED」(Environment Design)(近代家具社)創刊</li> <li>5月・グラスワーク'72展(松屋)</li> <li>6月・世界インダストリアルデザイン会議事務局(JIDA事務局内)発足</li> <li>海外の偽商標品出まわる</li> <li>電気機器に花柄パターン流行</li> <li>タイガー電動ボット発売</li> <li>JIDA編「日本のインダストリアルデザイン」</li> <li>8月・デザイン奨励審議会、中間答申「'70年代のデザイン振興政策のあり方発表、昭和48年をデザインイヤーと定め、デザイン啓発の国民運動の展開を提唱</li> <li>グラフィックイメージ'72展(東京セントラル美術館)</li> <li>佐藤敬之輔著「日本のタイポグラフィ」紀伊国書店</li> <li>カシオ計算機、小型電卓(カシオ・ミニ)発売(6ケタ表示、1万2,800円)</li> <li>9月・ニューヨークで集めたグッドデザイン展(日本産業デザイン館)</li> <li>森正洋展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>日本の伝統とデザイン展(日本産業デザイン館)</li> <li>オールホンダアイデアコンテスト(浜松市バルバル遊園地)</li> <li>10月・Gマーク商品の片手なべの苦情、国民生活センター相談部へ持ちこまれる</li> <li>コンピューターアート展(電波ビル)コンピューターアートセンター主催</li> <li>11月・家具の歴史館開館(晴海JFCビル内)1979年より家具の博物館と改称</li> <li>バラエティー6、食事のための空間のさまざま展(日本産業デザイン館)</li> <li>栃本県立近代美術館開館</li> <li>12月・デザインイヤー運営会設立(会長 永井重雄)</li> <li>ディスプレイデザイン「示す」展(日本産業デザイン館)</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カルダン、デオール、サンローラン等の舶来ブランド商品急増</li> </ul>	<p>までを各国が出品</p> <p>10月・第1回ヘミスフェア・デザイン会議開催。(メキシコシティ)西半球のデザイナーが参加。「変革の影響、資源の利用と保存、デザインとコミュニティ開発」</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>'71ノルウェーデザイン賞発表、クリスターミシン工業、シアーズローバックス社の優秀商品賞受ける</li> <li>伊、ミラノ市でインダストリアルデザインの国際会議と展示会開催</li> <li>インドに「インド工業デザイナー協会」(Society of Industrial Designers of India)設立</li> <li>パキスタンに「パキスタン・デザインセンター」設立。1975年、パキスタン・デザイン・インスティテュートと改称</li> <li>スウェーデンにErgonomila boriatoriet AB-ERGOLAB開設。生産デザイン、消費者エルゴノミックスの研究を行う</li> <li>香港で日本工業製品設計展覧会開催</li> </ul> <p>1月・マリメッコ(フィンランドのファブリックメーカー)展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルイス・カーン、その発想と造形展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>すばらしい紙の世界'75-29人の作家展(松屋)</li> </ul> <p>2月・アメリカのコミュニケーション・グラフィックス展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工芸ニュース、デザインとコンピューター特集</li> </ul> <p>3月・奈良県立美術館開館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>倉俣史郎の造形展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> </ul> <p>4月・モノプロの食器展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オリンパスのテーブルコーダ(意匠登録第308617)全国発明表彰受賞</li> </ul> <p>5月・コトブキストリートファニチャー・ショー(科学技術館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハウ・トゥ・リビング展(伊勢丹)</li> <li>オリベッティスモ展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>剣持勇展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> </ul> <p>6月・ストリートファニチャーパネルディスカッション(大阪マチャンダイズマート)日本デザイン団体協議会主催</p> <p>4月・第1回アメリカ連邦デザイン会議「デザインの必要性」ワシントンの各省合同会館、外務省会議場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人間工学と標準に関するシンポ」(英、ラフポロ工大)国際人間工学会主催英国標準局後援</li> </ul> <p>8月・フィリピンに「デザインセンター・フィリピン」(Design Center Philippines DCP)創設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第15回ミラノトリエンナーレ展、ID部門はフィルム上映形式、日本人建築家グループ金賞受賞</li> </ul> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バルセロナ・デザインセンター(BCD)創設(スペイン)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
<b>1974</b> 昭和49	7月・特許庁顧問設置	<p>1月・ドイツ民主共和国意匠法(1.17)</p> <p>4月・日ソ著作権センター開設</p> <p>5月・伝統的工芸品産業の振興に関する法律(5.25法律第57号)。一定の要件を備えた伝統的工芸品に対して、通産大臣が指定を行なう</p> <p>6月・文学・美術的著作権保護ベルヌ条約ブラッセル改正条約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠審査基準室、工業技術院製品科学研究所デザイン課と意匠自動識別システム開発計画を共同研究</li> </ul> <p>7月・審査第一部に意匠審査基準室を設置(7.16)</p> <p>10月・日本デザイン保護機関連合会に「デザイン保全促進センター」が設立され、レファレンス提供、保全資料サービス等の事業開始</p>	<p>1月・日本赤軍が外国でハイジャック</p> <p>2月・日本赤軍クウェート日本大使館を襲撃</p> <p>3月・小野田寛郎元日本兵フィリピンバンギ島で救出</p> <p>5月・日中航空協定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本消費者連盟結成</li> </ul> <p>6月・欠陥車問題発生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国土庁発足</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーターゲート事件</li> </ul> <p>7月・工業技術院、サンシャイン計画を開始</p> <p>8月・朴大統領狙撃事件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニクソン米大統領辞任(8.8)</li> </ul> <p>9月・多摩川決壊の被害広がる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日中定期空路開く</li> </ul> <p>10月・長島茂雄引退</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐藤栄作ノーベル平和賞</li> </ul> <p>12月・田中内閣総辞職、三木内閣成立</p> <p>この年・通商産業省、「消費生活用品の事故報告システム」発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筑波大学設置</li> <li>狂乱物価、GNP戦後初のマイナス成長、使い捨て時代終わり省エネ省資源、節約ムード高まる</li> <li>高校進学率90%突破</li> <li>自然食品ブーム</li> <li>ユリ・ゲラーの超能力話題になる</li> <li>菅谷汎外、磁気テープ転写方式(特580113)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>全国工芸教育協議会設立</li> </ul> <p>7月・レッドマンデザイン講演会 デザインの未来展望 大阪デザインセンター主催</p> <p>8月・村松貞次郎著「大工道具の歴史」岩波書店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>'73デザインイヤーGマーク展(日本産業デザイン館)</li> </ul> <p>9月・在伊日本デザイナー展(松屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインフォーラム'73'73クラフト展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>世界サイクルデザインコンペ発表、日本産業デザイン振興会、日本自転車振興会主催</li> <li>小野二郎著「ウィリアム・モリス」中央公論社</li> <li>第8回ICSID総会(東京 京王プラザホテル)、第8回世界インダストリアルデザイン会議「ICSID'73KYOTO」(京都国際会館)開催。ICSIDとICOGRADAは、この年7項目にわたる協力関係を明らかにした。テーマ「人の心と物の世界」</li> </ul> <p>10月・消費者デザインセミナー(日本産業デザイン振興会)全国で16ヶ所で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>'73デザインイヤー「日本人の生活とデザイン」展(東京、札幌、仙台、名古屋、高松、大阪、北九州、)デザインイヤー運営会、日本グッドデザイン協議会主催</li> <li>ブラウン社、デザインポリシー講演会(日経ホール)日本機械デザインセンター主催</li> <li>'73国際陶磁器デザインコンペティション(日本陶磁器意匠センター、JIDPO主催)</li> <li>コンピューターアート展(ソニービル)</li> <li>デザインイヤー記念たばこ発売</li> <li>今和次郎没</li> <li>テキスタイルスクールを開校(川島織物、創業130年記念事業として)</li> <li>「川島織物展」開催(丸の内工業倶楽部)川島織物創業130年記念、明治、大正、昭和に至る同社の代表作品を展示</li> </ul> <p>11月・環境と工業を結ぶ会(DNIAS)解散</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東芝意匠部創立20周年デザイン展(東芝ビル)</li> <li>林刃物、事務録アレックス(D.ユニデザイン事務所)発売。安物市場であった小型洋鋏を高品質化し市場開拓に成功。(1974年度Gマーク選定)</li> </ul> <p>12月・プリジストンサイクルスポーツ車ロードマンR5発売。(1975年度Gマーク選定)サイクリングブーム起る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この年をデザインイヤーと定め、デザイン・イヤー運営会を中核として、全国的にデザインイヤー事業を展開した(昭和48年4月～昭和49年3月)</li> </ul> <p>この年・セイコー(服部時計店)デジタル腕時計(クォーツ式、高級品)発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字表示に液晶を使った世界最初の電卓発表、シャープ製</li> <li>日本タイポグラフィ協会「季刊タイポグラフィ」創刊(柏書房発行)。これにより機関誌「L&amp;T」は発展的解消</li> <li>季刊「デザイン」創刊</li> </ul>	<p>2月・「日本産業デザイン展」(英国ロンドンデザインセンター)開催</p> <p>3月・New Japanese Photography展(ニューヨーク近代美術館、～5月中旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインセンターの国際会議(ベルリン)JIDPOの出席</li> </ul> <p>10月・ICOGRADA国際会議(デュッセルドルフ)</p> <p>この年・「ノルウェー産業デザイン協議会」(NCID)創設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シンガポールに「インダストリアルデザイン・センター」設立</li> <li>スペインにデザインセンター発足</li> </ul>
<p>1月・米産業デザイン視察団(日本機械デザインセンター)派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>'73デザインフェア「くらしとデザイン、見直そう日本の道具」(大阪高島屋)大阪市、大阪デザインセンター主催</li> <li>素木のモノ展(クラフトセンタージャパン)</li> </ul> <p>2月・バランス島の模倣品出る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県デザイン振興会議発足</li> </ul> <p>国井喜太郎賞創設(財)工芸財団、国立工芸指導所初代所長、国井喜太郎を記念。第1回国井喜太郎賞、池田三四郎、生駒弘、乾三郎、森正洋、芳武茂介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「くらしとクラフトー木」展(日本産業デザイン館)</li> </ul> <p>3月・日本デザイン学会、日本学術会議へ正式登録認定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日曜大工用品等を集めたD・I・Y(Do It Yourself)の店増える</li> <li>ヨーロッパのグッドデザイン展(日本産業デザイン館)</li> <li>小池岩太郎著「デザインの話、日々の中で」美術出版社</li> <li>工芸ニュース、デザインイヤー特集</li> <li>群馬県立近代美術館開館(磯崎新設計)</li> </ul> <p>4月・大工道具展(町田郷土資料館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Gマーク商品選定後の商品の品質維持を確保するため「試買テスト」開始</li> <li>モナリザ展(東京国立博物館)入場者150万人</li> <li>海外デザイナー(LDC中心)研修(JIDPO)開始</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>科学者レオナルド・ダ・ヴィンチ展(国立科学博物館)</li> <li>天童木工展(東京プリンスホテル)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIDPO、「生活とデザイン」年4回発刊</li> </ul> <p>5月・伝統的工芸品産業振興法施行</p> <p>6月・腕時計のエレクトロニクス化、ファッション化進む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長狂平没(元工芸ニュースの編集長)</li> </ul>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			号他9件 <ul style="list-style-type: none"> <li>小林文夫外改質ポリアミドの製造法(特635402号他)</li> </ul>
<b>1975</b> 昭和50	<p>3月・世界知的所有権機関設立条約(3.6条約第1号外務省告示第38号4.20適用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パリ条約ストックホルム改正条約(3.6条約第2号外務省告示第39号10.1発効4.24適用)</li> </ul> <p>4月・特許制度90周年記念行事開催</p> <p>6月・実用新案法中改正(6.25法律第46号昭51.1.1施行, 但, 登録料及び手数料の改正規定は即日施行, パリ条約関係は10.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商標法中改正(6.25法律第46号昭51.1.1施行, 但, 登録料手数料は即日施行, 第19条第2項の改正規定, 同条に1項を加える改正規定, 第20条の次に1条を加える改正規定並びに第21条第1項, 第49条第68条第3項及び第70条第1項の改正規定並びに附則第2項の規定は, 昭53.6.25施行)</li> <li>登録商標の使用義務の強化, 不使用の更新拒絶</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許法中改正(6.25法律第46号, 特許料及び手数料の改正規定は即日施行パリ条約に關係した改正規定は10.1施行その他は昭51.1.1施行)</li> <li>物質特許制度, 多項制の採用</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許法施行規則中改正(6.25通商産業省令56号)</li> </ul> <p>9月・実用新案法施行規則中改正(9.23通商産業省令第83号昭51.1.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案登録令(9.23政令第275号昭51.1.1施行)</li> <li>特許等登録令中改正(9.23政令第275号昭51.1.1施行, 但, パリ条約関係10.1施行)</li> <li>特許法施行規則中改正(9.23通商産業省令第82号, パリ条約関係した改正規定は10.1施行その他は昭51.1.1施行)</li> <li>特許登録令施行規則中改正(9.23通商産業省令第86号昭51.1.1施行, 但, パリ条約関係10.1施行)</li> <li>商標法施行規則中改正(9.23通商産業省令第85号昭51.1.1施行)</li> <li>商標登録令中改正(9.23政令第275号昭51.1.1施行)</li> <li>商標登録令施行規則(9.23通商産業省令第86号昭51.1.1施行, 但, パリ条約関係は昭50.10.1施行)</li> </ul> <p>12月・特許庁「進展する工業所有権制度」(実業之日本社)を編さん</p>	<p>3月・文学的・美術的著作物保護ベルヌ条約パリ改正条約(3.6条約第4号外務省告示第41号・4.24発効)</p> <p>6月・意匠法中改正(6.25法律第46号登録料及び手数料の改正規定は即日施行, その他は昭51.1.1施行). 通常実施権, 専用実施権の裁定, 許諾等に関する規定の変更, 登録料, 出願料等の増額</p> <p>7月・意匠課長 川添不美雅(7.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>審査長 池田清美(7.1)</li> </ul> <p>9月・意匠登録令中改正(9.23政令第275号昭51.1.1施行)</p> <p>この年・日本デザイン保護機関連合会, 引例意匠の複写提供業務開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的工芸品産業振興協会設立</li> <li>ヘーグ同盟専門家委員会(スイス, ジュネーブ)</li> <li>ヘーグ同盟外交会議(ジュネーブ)ヘーグ協定のプロトコール採択</li> <li>ベネルックス統一意匠法施行(オランダ, ベルギー, ルクセンブルグ)</li> </ul>	<p>1月・不況でソニーも一時帰休</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本海側大雪, 38年豪雪に迫る</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線東京, 博多間直通試運転開始</li> </ul> <p>2月・関東, 東海地方大雪</p> <p>3月・山陽新幹線岡山博多間開通</p> <p>4月・ベトナム戦争終結</p> <p>5月・エリザベス英国女王夫妻来日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレハブ住宅をよくする会発足</li> </ul> <p>6月・佐藤元首相没</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スエズ運河再開</li> </ul> <p>7月・通商産業省, 消費者相談室設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄海洋博開催</li> </ul> <p>9月・清成忠男著「地域の変革と中小企業」(日本経済評論社)</p> <p>10月・天皇アメリカ訪問</p> <p>11月・第1回先進国首脳会議開催(仏パリ)</p> <p>この年・電話加入者3,000万人突破</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実働コンピュータ3万台突破</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ステレオ, テープレコーダ, とともに普及率50%を超える</li> <li>核家族化, 手作り指向, 本物志向</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防法改正. 避難誘導灯(非常ロサイン)が大型化. (1辺1m以上縦横比1:1~1:1.5)環境デザインとして不評</li> </ul> <p>7月・工芸ニュース休刊, 終刊号でICSID'73KYOTO特集</p> <p>9月・東南アジア製安値家具の輸入増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通商産業省「インテリア産業の現状」発表</li> <li>豊口協著「I・Dの世界」鹿島出版</li> <li>木村恒久, 大量消費時代のデザインのシンボル化を万博, ディスカバー・ジャパン等を軸に批判</li> <li>世界インダストリアルデザイン会議記録「人の心と物の世界」(鳳山社)</li> </ul> <p>10月・千葉県立美術館開館(大高正人設計)</p> <p>11月・第1回社会福祉機具展(都立産業会館)全国社会福祉協議会主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミセス・アメリカの世界展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>OECD編「イノベーション」(通商産業調査会)</li> <li>カシオ計算機, 初の液晶デジタル時計発売</li> </ul> <p>12月・通商産業省, 伝統的工芸品第1回指定発表</p> <p>この年・「JIDA提案展」JIDA, JIDPO共催. テーマ 高密度社会へのデザインの役割. 昭50年「デザイン・プロポジション展」と改題, 毎年開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アジア・タイポグラフィ専門家会議「TYPO ASIA'74」開催.(東京赤坂プリンスホテル)</li> <li>JIDPO, 国際協力事業団委託事業として海外デザイナー研修事業を開始</li> <li>SGマーク, BLマーク制定</li> <li>家具調こたつ試験発表されるが, 不調(昭和50年家具調オールシーズン型こたつ急伸)</li> <li>家電製品, 薄型, 軽量コンパクト化へ</li> <li>ラジカセ主流に</li> </ul>	<p>5月・アメリカID教育展(モスクワ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「環境家具展」チューリヒ工芸美術館主催. チューリヒ市の広場に設置し実際に使用する</li> </ul> <p>10月・ICSID ILO及びCWOIH(世界障害者関係諸機関協議会)に非政府組織として参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第9回ICSID世界会議(モスクワ)</li> <li>オーストラリアデザインフォーラム(シドニー)</li> </ul> <p>この年・発展途上国を対象にした「輸出振興のためのデザイン・セミナー」(ジュネーヴの国際貿易センター)UNCTAD, GATT主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICSIDの世界会議「ICSID'75モスクワ」(モスクワ)</li> <li>米国にインテリアデザイナーの団体「American Society of Interior Designers ASID」設立.(AID, NSIDを併合したもの)</li> <li>印象派誕生100周年展各国で開催</li> <li>国際インテリアデザイナー連盟(IFDI)年次会議(ロンドン)</li> </ul>
<p>2月・「デザインハンドブック」(大阪デザインセンター)</p> <p>4月・日本産業デザイン振興会に「地方産業デザイン開発センター」創設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(財)日本産業デザイン振興会(JIDPO)地方産業デザイン開発推進事業開始</li> <li>JIDPO, 「産業デザイン」を「デザイン・エイジ」と「産業デザイン情報」を「デザイン・ニュース」と改題</li> <li>通商産業省「インテリア産業のビジョン」発表</li> <li>パタパタ展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> </ul> <p>5月・日本事務機械工業会, 「日本事務機械工業会規格・事務機械に関する絵文字表示」発表</p> <p>8月・トレチャコフ・プーシキン美術館展(伊勢丹)</p> <p>9月・国吉康雄展(ブリジストン美術館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都美術館新装開館</li> <li>西武美術館開館</li> </ul> <p>10月・柳宗理のストリートファニチャー展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アール・ヌーボー, アール・デコ展(新宿・伊勢丹)</li> <li>豊口克平とデザイン界の半世紀展(新宿・小田急ハルク)</li> </ul> <p>11月・第1回東京展 東京都美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勝見勝紫綬褒章</li> <li>JIDAデザイン会議'75東京「DESIGN FOR NEED」(経団連会館)</li> <li>デザインプロポジション展「高密度社会へのデザインの役割」(日本産業デザイン館)JIDA, JIDPO主催</li> </ul> <p>この年・協同組合大阪デザインオフィスユニオン設立. 大阪府下のデザイン会社</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>平林喜明, カメラにおける撮影レンズを通過した光による測光装置(特580055)</li> <li>森外, 郵便切手の自動検出装置(特599391号他)</li> </ul>
1976 昭和51	<p>1月・特許庁長官(53代)片山石郎(1.20)</p> <p>5月・IPC協定, 第77回国会本会議で可決承認</p> <p>6月・特許技監 城下武文就任(6.15)</p> <p>8月・国際特許分類に関するストラスブール協定(IPC協定)批准(8.25条約第15号外務省告示第184号昭52.8.18発効)</p> <p>この年・メキシコ特許法, 商標法改正</p>	<p>4月・産業構造審議会, 生活用品部会「50年代の生活用品産業のビジョン」発表</p> <p>5月・仏, タイプフェース保護協定批准</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン奨励審議会開催(会長司忠)</li> </ul> <p>6月・発明協会「公開技報」発行(月1回)</p> <p>10月・意匠審査長1を増設(民生機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠分類審査官を新設</li> <li>審査長 斉藤瞭二(10.1)</li> </ul> <p>この年・ヘーグ協定'75プロトコールをスリナム批准</p>	<p>1月・周恩来中国首相没78才</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仏・英, 協同開発の超音速輸送機(SST)「コンコルド」が定期便に就航</li> </ul> <p>2月・ロッキード事件問題化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新自由クラブ結成</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>国産初の実用衛星うめ打上げ, 宇宙開発事業団</li> </ul> <p>5月・西村肇著「裁かれる自動車」中央公論社</p> <p>6月・デンマーク産業シンポジウム(経団連会館)デンマーク大使館主催</p> <p>9月・大丸, 商品のデメリット表示実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毛沢東中国共産党主席没82才</li> </ul> <p>10月・中国華国鋒首相党主席に就任</p> <p>12月・福田首相就任</p> <p>この年・アルミ業界の再編進む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電卓・時計・ラジオなどを相互に組み合わせた複合商品登場</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>91社が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本サインデザイン協会(SDA), 日本タイポグラフィ協会(JIA)日本広告技術協議会(NAAC)の会員団体となる</li> <li>第20回毎日産業デザイン賞 森正洋の「白山陶器における新しい食器群」, 横尾忠則の「1971-74年展・千年王国への旅」</li> <li>エアコン薄型化競争初まる</li> <li>NHKカラー受信約200万突破</li> <li>(財)日本産業デザイン振興会(JIDPO)海外向け英文機関誌「DESIGN REVIEW JAPAN」発刊</li> <li>日本機械デザインセンター, Gマーク協力選定業務(機器部門)を日本産業デザイン振興会に移管</li> </ul>	
<p>1月・第1回伝統工芸品展(池袋西武)(財)伝統的工芸品産業振興協会主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツリアリズム展東京国立近代美術館</li> </ul> <p>岡田良男, カッターナイフの発明(特405718(ほか))</p> <p>高梨隆雄外, ビデオテーププレーヤー(意匠338700号)</p> <p>2月・神奈川県デザイン協会発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外デザイン振興対策会議(日本貿易会会議室)通商産業省主催</li> <li>'76デザインフェアOSAKA(大丸)大阪市, 大阪デザインセンター主催</li> </ul> <p>栄久庵憲司著「台所道具の歴史」柴田書店</p> <p>3月・芳武茂介芸術選奨受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>KBSレーザリアムセンター(京都)開館</li> <li>ジャパンショップ'76(東京国際貿易センター)日本経済新聞社, 店舗システム協会主催</li> <li>産業調査No.75-9「欧州のデザイン会社」JETRO</li> <li>磯崎史郎他著「消費者運動資料」ダイヤモンド社</li> </ul> <p>熊本県立美術館開館(前川国男設計)</p> <p>4月・豊口克平, 勲三等瑞宝章受章日本インダストリアルデザイナー協会理事長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>真野善一, 藍綬褒賞受賞 松下電器産業(株)意匠センター所長, 日本インダストリアルデザイナー協会理事</li> <li>石川県デザイン振興会発足</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマギワ電気, コブラジュニア(D.黒川雅之)発売, '77年Gマーク選定</li> <li>日立ラジファンパネル発売, '77年Gマーク選定, 部門賞受賞</li> <li>日本金属, パネルヒーター, (意匠登録第401097号)全国発明表彰受賞</li> </ul> <p>標準産業分類, (875デザイン業)の項を新設行政管理庁の統計審議会は, 4月16日改正案を答申</p> <p>5月・日本デザイナークラフトマン協会(JDCA)社団法人となり「日本クラフトデザイン協会(JCDA)」と改称. 理事長会田雄亮「私人としての活動に加え公人としてのデザイナーの役割が加わった」と述べる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>'75日本インテリアデザイナー協会賞 喜多俊一, 黒川雅之, 笠井篤</li> <li>J・ダブリン著「製品開発とデザイン」丸善</li> </ul> <p>7月・オリンパス光学, マイクロカセットコーダ(パールコーダSD)発売, '77年Gマーク選定, 部門賞受賞</p> <p>8月・昭和50年度デザイン開発実施指導事業報告書(JIDPO), 海外デザイン振興対策会議(JETRO会議室)通商産業省主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小さな家具展(都立産業会館)JIDPO主催. 地方産業デザイン開発推進事業の最初の成果を静岡地区の木工産業を対象に発表</li> <li>N・ベヴスナー著「モダンデザインの源泉」美術出版社</li> </ul> <p>9月・東南アジアデザイナー研修JIDPO, 協力JIDA主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイナー組織, 東京デザイナーズスペース発足, (東京 渋谷 青山)(昭52年より機関誌「THE SPACE」発刊)</li> <li>デザインフォーラム'76(松屋)日本デザインコミッティー主催, 金賞秋山泰計</li> <li>秋山泰計のおびからくり展(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>家庭用電動工具展(日本産業デザイン館)</li> <li>東郷青児美術館開館</li> <li>東京都美術館新装開館(前川国男設計)</li> </ul> <p>10月・第17回トレードフェア(横浜産業貿易館ホール)で静岡の小家具(地方産業デザイン開発実施品)内閣総理大臣賞受賞, 日本デザイン学会, 文献部会「デザイン50冊の本」発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トータルインテリアショー(永福町住宅総合展示場)プレハブ建築協会, 住宅産業情報サービス主催</li> <li>原弘のブックデザイン展(松屋)</li> </ul> <p>11月・東急ハンズ藤沢店オープン(神奈川県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都市伝産会館開館</li> <li>デザインプロポジション'76~'77(日本産業デザイン館)JIDPO, JIDA主催</li> <li>ソニー, FM/AMセパレートタイプコンパクトラジオICF-7500発売, '77</li> </ul>	<p>4月・IFI(インテリアデザイナー連盟)ロンドン会議開催 白石勝彦日本インテリアデザイナー協会理事長オブザーバーとして出席.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第9回ICSID総(ブラッセル)栄久庵JIDA理事長, 会長選出</li> </ul> <p>第6回陶磁器ガラスコンペ(スペイン)国際特別賞ハウスウェア部門に佐藤藤康(佐々木硝子)受賞</p> <p>シンポジウムDesign for Need(英国ロンドン)Design Council Royal College of Arts等主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東独政府バウハウスの校舎(W・グロビウス設計)の完全修復を閣議決定</li> </ul> <p>5月・ハビタット・フォーラム'76国連人間居住会議(カナダ バンクーバー)</p> <p>6月・タクシエプロジェクト展(ニューヨーク近代美術館)都市におけるタクシエ改善のための基金不足とスペース不足から展示活動を中止し, マスプロ製品のコレクションを主活動とする</p> <p>10月・第1回国際デザインフォーラム(シドニー)</p> <p>この年・スミソニアン研究所のデザイン美術館として, クーパー・ヒューイット美術館開館(米, ニューヨーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインワークショプ'76(香港)香港インダストリアル協議会主催</li> <li>バルセロナデザインセンター開館(スペイン)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>キルケニーショプ(ダブリン)開館</li> <li>英国デザイナー団体SIAD英王室よりRoya Charter獲得</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「バウハウス50年祭」開催バウハウスのデッサウ移転再開50周年記念</li> <li>南米コロンビアにデザイナー団体(Asociacion Colombiana de Diseñadores ACD)設立</li> <li>「ICSIDコーリン・キング・グランプリ」制定 インダストリアルデザイン分野の貢献に対し贈られる</li> <li>「ICSIDフィリップス賞」制定ICSIDフィリップス賞は開発途上国のデザインを対象</li> <li>第1回オーストラリア国際デザイン・フォーラム開催(シドニー)</li> <li>アルヴァー・アールト没</li> <li>英国D・C, '76デザインカウンスル賞に排水トラップ, 消火器, 自動操舵装置9点を選ぶ</li> <li>インターデザイン'76(北アイルランド, ウルスター大学)</li> </ul> <p>デザインセミナー「子供と環境」(フィンランド)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1977 昭和52	<p>6月・特許庁長官(54代)熊谷善二(6.21)</p> <p>10月・欧州特許条約(EPC)発効(欧州第1特許条約)(10.7)。ヨーロッパ16カ国の合同による特許機関「欧州特許機構」(EPO)が発足</p> <p>11月・「日中商標保護協定」国会承認</p> <p>この年・英国特許法改正</p>	<p>9月・オランダ地裁、タイプフェースに著作権を認める</p> <p>10月・審査長 豊福正弘、池田和美(10.1)</p> <p>●米国の意匠保護制度調査のため審査官を派遣(意匠課審査官 畠豊彦)</p> <p>12月・意匠法施行規則中改正(12.27通産省令第73号 昭53.1.1施行)。別表第1(物品区分)の部分変更</p> <p>●意匠分類改正に着手、分類改正委員会意匠部会発足</p> <p>●意匠審査長1を増設(生活用品)。意匠課に基準係を設置</p> <p>●韓国デザイン及び包装振興法制定(12.31)</p> <p>この年・日本デザイン保護機関連合会、意匠レファレンス(周辺資料)を提供、公知意匠の公開、意匠公知資料写真カード作成</p>	<p>1月・米国39代大統領にカーター就任</p> <p>●中西猛、ホトタイマ式X線装置の発明(特576462)</p> <p>●小田沖彬はか、不銹鋼の電解研磨法の発明(特440853号)</p> <p>2月・国産初の静止衛星きく2号打上げ成功</p> <p>3月・米、ソ200カイリ漁業専管水域設定</p> <p>4月・アメリカ消費者製品安全委員会(CPSC)国際会議(東京)</p> <p>5月・領海法、漁業水域暫定措置法公布(7.1施行)</p> <p>9月・王貞治(巨人軍)756本のホームラン世界記録樹立</p> <p>●日航機ハイジャック事件</p> <p>10月・タイで無血クーデター</p> <p>11月・円高傾向(1ドル240円割れ)、我が国の経済環境一変、企業倒産件数1万8471件、負債総額2兆9781億円を記録</p> <p>12月・チャールズ・チャップリン没88才</p> <p>この年・平均寿命、男72.69歳、女77.95歳で両者共世界1位</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>年Gマーク商品に選定されGマーク制度20周年記念通産産業大臣賞受賞</p> <p>●横山大観記念館開</p> <p>●昭和51年度日本優秀デザイン商品開発指導製品発表展(日本産業デザイン館)</p> <p>12月・イタリアデザイン展(イタリア文化会館)</p> <p>この年・山本文夫著「体験的デザイン史」東京ダヴィット社</p> <p>●SDA(サイン・デザイン協会)賞発足10周年</p> <p>●通産産業省、建設省により、55計画(住宅供給システム開発プロジェクト)発足。昭和55年度までに良質で低価格(100㎡で500万円台)の住宅供給をめざす</p> <p>●第23回デザイン学会大会(東京芸術大学)パウハウス50周年を記念して山脇巖氏記念講演</p> <p>●第9回日本パッケージデザイン展「日本のパッケージ、その再発のために」(新宿京王)</p>	<p>2月・国立ポンピドゥ芸術文化センター(パリ)開館、インダストリアルクリエーションセンター(CCI)同センター内へ移転</p> <p>4月・ICSID、UNIDO協力覚書に調印 開発途上国におけるデザイン振興など、両者の協力体制が正式に発足</p> <p>●ICSID20周年記念</p> <p>●第7回ICOGRADA総会(スイス)</p> <p>●LDCのデザイン振興を目的とするICSIDフィリップ賞サニタリーユニット(スイス)、鶏卵ふ化器(メキシコ)授賞</p> <p>●インド国立アメダバード大学、デザイン研究所開設</p> <p>5月・フォーチュン誌5月号世界のグッドデザイン商品25点発表。日本製品2点(ソニーカセットテープレコーダーTC-56、シャープポケット電卓8019)</p> <p>●エリオット・ノイス没</p> <p>●西独グッドデザイン賞グーテフォルム'76/'77、テーマ「自動車の運転席—移動する空間」トラック、バスの部はすべてメルセデス・ベンツ受賞</p> <p>9月・第10回ICSID会議、総会、開催(アイルランド、キルケニー)</p> <p>10月・ナショナルプレミアムショー(シカゴ)に日本のグッドデザイン商品展示</p> <p>●タイ国、インダストリアル・デザイン協会(IDST)設立</p>
<p>1月・第1回毎日デザイン賞(毎日産業デザイン賞を改称し対象を広げる)三宅一生</p> <p>●個人もちの小さな家具展(地方産業デザイン開発推進事業の開発品、丸善画廊)クラフトセンタージャパン、静岡県輸出雑貨共同組合主催</p> <p>●日本人の食器フェア(松屋)</p> <p>●エドワード・デボノ編「発明とアイデアの歴史」講談社</p> <p>2月・三宅一生活ファッションショー「一枚の布」(西武美術館)</p> <p>●産業考古学会設立</p> <p>●販路を拓くデザイン展(愛知県デザインセンター)愛知県主催</p> <p>●S・ギューディオン著「機械化の文化史」鹿島出版会</p> <p>●第1回神奈川デザインフェスティバル(会長 和田国男)テーマ現代社会の新しいデザインの機能</p> <p>3月・第3回京都デザイン会議(京都会館)</p> <p>●長野'77デザイン会議(長野県勤労者福祉センターホール)長野県デザイン協議会主催</p> <p>●日立製作所、MOS-LSI(金属酸化膜・大量集積回路)が内蔵された全自動洗濯機を発表。このころから、マイクロコンピュータ内蔵の機器(テレビ、ルームエアコン、タイマー、ミシンなど)が続々登場</p> <p>●ヤマハ50CCバイクパッソル、'77年Gマーク選定</p> <p>4月・佐々木達三、勲四等旭日小綬章叙勲 武蔵野美術大学教授、JIDA理事長</p> <p>●桑沢洋子没</p> <p>●日本デザインコミッティー監修「デザインの軌跡」商店建築社</p> <p>5月・'76日本インテリアデザイナー協会賞、川上元美、長大作、永原浄</p> <p>6月・Art Today'77(西武美術館)</p> <p>7月・ミニバイク展(日本産業デザイン会館)</p> <p>●「マルセル・デュシャン大回顧展」(東京国立近代美術館)米より返還の戦争画公開</p> <p>8月・北海道立近代美術館開館(札幌市)</p> <p>●韓国・現代美術の断面展(セントラル美術館)</p> <p>●第1回NAAC展(日本広告技術協議会主催)開催(東京セントラル美術館)</p> <p>9月・ダイニングキッチンフェア(梅田阪急)大阪デザインセンター主催</p> <p>10月・Gマーク商品選定制度の20周年を記念して「デザイン振興月間」と定め、記念式典を開き、デザイン関係機関団体の協力を得てデザインキャンペーンを展開制度貢献者(井上尚一、高城元、高田忠、亀倉雄策、JIDPO他11団体)を通産産業大臣表彰。Gマーク選定商品ロングライフ賞(選定後15年以上製造されている商品)共立農機散粉機、保谷硝子灰皿NB-20、山田平安堂漆器6点、島津製作所直示天びん、白山陶器醤油さし他6点。Gマーク通産産業大臣賞ソニーラジオICF-7500、中小企業庁長官賞三喜製作所ペーパーカッター、貿易局長賞オリンパス光学テープレコーダー、リコーカメラXR-1、日立ラジファンパネル、岡村製作所ベンチ、プラス鉛筆削り器、白山陶器調味料入れキュービック、ドムスウィルトンカーペット、20周年記念Gマーク展(東京、神戸、大阪、名古屋、金沢、大分、広島)。「通産ジャーナル」誌デザインを特集。デザイン各誌、Gマーク20周年記念特集号を発売(「流行色」「カラーデザイン」「デザインニュース」「デザインエイジ」「消費者デザインニュース」「包装業界」等)。</p> <p>●海外デザイナー研修、JIDPO、JID主催。東南アジア、中近東のデザイナーを対象、インダストリアルデザインのグループトレーニングを実施</p> <p>●'77トータルインテリアショー、住宅情報サービス、板橋日本住宅物流センター主催</p> <p>●京都デザイン展(京都勲業館)京都デザイン協議会主催</p> <p>●石川県デザイン展(金沢MROホール)石川県デザイン協議会主催</p> <p>●山梨県、ミレーの作品「種まく人」他購入(昭53.11月山梨県立美術館開館)</p> <p>●国立国際美術館開館</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
<b>1978</b> 昭和53	<p>1月・特許協力条約(PCT)発効(1.24)</p> <p>2月・日中商標保護協定(2.13条約第2号外務省告示第51号3.1発効)</p> <p>4月・発録事務の機械処理開始。紙登録原簿から機械登録原簿へ(特許910001, 実用1230001意匠485001, 商標1335001から)</p> <p>・特許庁, 国際テレックス運用開始(4.5)</p> <p>・特許法中改正(4.26法律第30号附則10.1施行)。特許協力条約加盟に伴う変更</p> <p>・実用新案法中改正(4.26法律第30号附則10.1施行)</p> <p>・特許法中改正(4.24法律第27号手数料は即日施行。特許料の改正規定は5.1施行)</p> <p>・実用新案法中改正(4.24法律第27号手数料は即日施行。登録料の改正は5.1施行)</p> <p>・商標法中改正(4.24法律第27号手数料は即日施行。登録料の改正は5.1施行)</p> <p>・特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律(4.26法律第30号10.1施行)</p> <p>7月・商標法中改正(7.10法律第89号附則12.28施行)</p> <p>11月・中華人民共和国, 発明奨励条約公布</p> <p>12月・中国から初めての工業所有権制度研究代表団来日</p>	<p>3月・分類改正委員会に意匠部会設置(3.22)</p> <p>・第1回分類改正委員会意匠部会(3.23)</p> <p>・意匠法施行規則中改正(3.31通産省令第14号4.1施行)。登録事務機械化に伴う変更。願書添付図面が3通に。登録料金納付書に副本一通添付</p> <p>・意匠登録令施行規則中改正(3.31通産省令第15号4.1施行)</p> <p>4月・意匠法中改正(4.24法律第27号手数料の改定規定は即日施行。登録料の改正規定は5.1施行)。登録料, 出願料等の増額</p> <p>・意匠法中改正(4.26法律第30号附則10.1施行)。第13条の2(特許協力条約に基づく国際出願に係る出願の変更の特例)を追加</p> <p>・意匠課長 斉藤瞭二(4.1)</p> <p>・審査長 杉本文一(4.1)</p> <p>5月・ロカルノ同盟専門委員会第2回会議にオブザーバーとして特許庁審査官宮滝恒雄出席(ジュネーブ)(5.22)</p> <p>・日本新聞協会新聞の著作権についての見解。記事の大半は著作権の対象</p> <p>10月・意匠公報に中分類まで掲載することを決定</p>	<p>1月・伊豆大島近海地震(M7)</p> <p>・永吉昭夫外, 合成樹脂製変生状成型品の製造法(特727585)</p> <p>・長尾吉彦他, ガス温風暖房機(意426502号)</p> <p>・花森安治没(1911~)</p> <p>2月・米映画「未知との遭遇」封切。SF映画ブームおこる</p> <p>3月・超SLI技術研究組合共同研, 1ミクロン幅の線での高性能電子ビーム描画装置開発に成功と発表</p> <p>・「地名を守る会」設立(東京)</p> <p>・サンシャイン60設立(池袋)226m</p> <p>4月・'77年度の4輪自動車生産台数は877万7279台で過去最高(日本自動車工業会発表)</p> <p>・手弁当で集まる第1回町並みゼミ(愛知県足助町ほか)</p> <p>・郵政省, 文字図形の電話利用情報ネットワーク・システム開発を公表, 電話で聞く自宅のテレビに回答図示</p> <p>5月・新東京国際空港(成田)開港</p> <p>・欧米の収集家から集めた浮世絵を展示即売, 海外流出の浮世絵円高で逆輸入</p> <p>・初の国連軍縮特別総会開幕(ニューヨーク)</p> <p>6月・非同盟85ヵ国作成の見解総会で配布, 核大国を批判</p> <p>・宮城県地震(M7.5)</p> <p>・国際無線通信諮問委員会総会(京都)で, 無線の公文書からグリニッジ標準時を追放, 世界協定時(UTC)採用の勧告を承認</p> <p>7月・軍縮宣言, 行動計画など4最終文書を採択</p> <p>・農林水産省発足(農林省改称)</p> <p>・立教大学法学部, 1979年から22歳以上の高校卒の社会人を, 一般受験とは別枠で入学させると発表(定員25人以内)</p> <p>・両国花火大会復活</p> <p>・日本人の平均寿命男72.69歳, 女77.95歳, スウェーデンを抜き世界最長寿国に</p> <p>・鳥取県の梶山古墳で中国地方初の彩色壁画を確認</p> <p>8月・日中平和友好条約調印</p> <p>・日本ヒーブ(HEIB Home Economist in Buisiness)</p> <p>・SFアニメ映画「さらば宇宙船艦ヤマト・愛の戦士たち」公開</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>11月・(財)日本輸出雑貨センター, 「生活用品振興センター」と改称</p> <p>・第3回日本インダストリアルデザイン会議。JIDA主催</p> <p>・第4回デザインポジション'77-78展(東京, 日本産業デザイン館)JIDPO, JIDA主催。テーマ「デザイナーからの提案」</p> <p>・森正洋と白山陶器展(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <p>・「工芸ニュース総集編」(財工芸財団, 工芸ニュース編集室)昭和51年7月休刊となった, 工芸ニュースの中から抜粋, 全10巻に編さん。中心は1950年代1960年代の記事</p> <p>・国立近代美術館工芸館(谷口吉郎設計)</p> <p>・国立民族学博物館開館(大阪, 館長梅棹忠男)</p> <p>12月・豊口克平, 日経誌に「工業デザインの軌跡」発表。デザイン博物館の必要性を説く</p> <p>この年・雑誌「ポバイ」創刊。マガジンハウス, カタログマガジンの初め</p>	<p>4月・第1回世界写真会議(ギリシャ, アテネ)イギリスのロイヤル・フォトジュニック・アソシエーション主催。「日本の写真家が世界に与えた影響」</p> <p>「ヘルムート・ニュートンのファッションブルな世界」等について議論</p> <p>・日本の児童図書展, (パリ)現代日本の絵本を紹介</p> <p>6月・第6回ポスター・ビエンナーレ金賞の中村誠のための招待展(ワルシャワ・ポスター美術館)</p> <p>8月・世界グラフィック団体協議会(ICOGRADA)総会, (アメリカ, シカゴ)デザインの盗作と使い捨て時代に対する「デザインの価値評価」を社会的に確立する必要がある, と強調する論議が多かった。日本からは, パネリストとして栄久庵憲司, オブザーバーとして深野匡が出席。なお, 日宣美の解散以来加盟団体のない日本の再加盟強く要請さる</p> <p>・チャールズ・イームズ没</p> <p>9月・第4回連邦デザイン会議, (米国ワシントン)この会議開催に先だち, カーター大統領は, 「優れたデザインは政府の効率を上げるという我々の信条を実現させ, また連邦諸機関と市民との溝をせばめます…」との書簡を発表</p> <p>10月・日本の時空間一問展(パリ, ルーヴル装飾美術館)建築家の磯崎新, 作曲家武満徹が中心となり「日本のスペース・タイム」をテーマに日本独自の美意識を紹介</p> <p>・UIA(国際建築家協会連盟)世界大会(メキシコ)丹下健三, 栄久庵憲司, 基調講演を行う。UIA学生コンペに丹下健三賞設定, 菊竹清訓ペレー賞受賞</p> <p>12月・P・カルダン訪中, 中国が西欧ファッションの受入を希望と述べる</p>
<p>1月・浜田庄司没, 83才(陶芸家)</p> <p>3月・グローバルアイ'78「ニューデザインパワー」(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <p>・戸井十月著「旗とポスター」(晶文社)</p> <p>・エンリケ・カサネリエス著「アントニオ・カウディ」(相模書房)</p> <p>・「ウィリアム・モリスとその仲間たち」(岩崎美術社)</p> <p>・「デザイン誌」柳宗理待集</p> <p>4月・サンシャイン60開館(東京池袋, 東京拘置所跡地)三菱地所設計, 日本最高の60階建</p> <p>・佐藤潤四郎勲四等章受章(ガラス工芸作家)元日本クラフトデザイン協会理事</p> <p>・山口勇次郎 藍綬褒章 山口デザイン事務所代表</p> <p>・生活用品振興センター, サンシャイン60へ移転</p> <p>・阿倍公正著「デザイン思考」(美術出版社)</p> <p>5月・山口文象没76才(日本近代建築のパイオニアのひとり), 強固な啓蒙思想を持ち, 実践を行う</p> <p>・'77日本インテリアデザイナー協会賞 故水之江忠臣, 垂水建三, 西邨正賞</p> <p>・JID国際インテリアデザイナー団体連合(IFJ)加盟</p> <p>・第2回国際交通シンポジウム(東京プリンスホテル)朝日新聞主催</p> <p>・ココマス委員会編「オリベッティのコーポレートコミュニケーション」(産業能率短期大学)</p> <p>6月・日本デザイン団体協議会訪中友好観団訪中</p> <p>・日産自動車の海外向け純正部品に偽物出る</p> <p>・清家清, 小池岩太郎著「工業デザイン」共立出版</p> <p>・日本新工芸家連盟発足。現代工芸美術家協会退会者を中心</p> <p>・斎藤義重展(東京国立近代美術館)抽象表現主義の旗手 国際舞台で活躍の画家</p> <p>7月・大宇宙博(船の科学館)宇宙科学博覧会協会主催</p> <p>・水之江忠臣, その魂の結実(松屋)日本デザインコミッティー主催</p> <p>・向井周太郎他著「デザインの原点-ブラウン社における造形の思想とその背景」(日本能率協会)</p> <p>8月・いすのかたち-デザインからアートへ展(大阪国立国際美術館)デザインの企画としての第1回展</p> <p>・日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)結成大会開催, グラフィック・デザイナーの全国職能組織として発足。日本宣伝美術会(日宣美)の解散以来初めて結成, 職能団体としての組織化に力点を置く。会長亀倉雄策</p>	<p>この年・ボローニャ国際児童図書展グラフィック大賞, 「安野光雅の画集」安野光雅</p> <p>・第7回ワルシャワ・ポスター・ビエンナーレ金賞, 深山重樹</p> <p>・第8回ブルノ・ビエンナーレ広告金賞, 佐藤雄治 同ポスト金賞, 深山重樹</p> <p>・韓国展示センター(KOEX)設立, (韓国)</p> <p>・デザイン関係の国際組織による総合組織設立のための第1回会合開催(パリボンビドゥーセンター)。ICSID, ICOGRADA, IFI, UIA, WCC, 等団体が組織の設立について基本的に合意。暫定的な名称を「国際デザイン団体連絡協議会」とし, 連絡事務局をパリCCI内におくことなどを決定</p> <p>・フランクフルトメッセ(西独)にGマーク商品等日本のグッドデザイン展示。見本市終了後ハンブルグ, ウィーンのJETROトレードセンターへ巡回</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p><b>9月</b>・超LSI技術研究組合共同研、超LSI用投影焼き付け装置開発と発表、高性能電子ビーム描画装置(3月に開発)とあわせ超LSI実用化に道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電電公社「光ファイバーケーブル伝送方式」の伝送実験(20km)に成功と発表</li> <li>東京八重州にブックセンター開店(100万冊の本を揃えた大規模書店)</li> <li>京都市の市電全廃(最終運転)</li> <li>埼玉県教育委員会、稲荷山古墳出土の鉄剣に刻まれた文字(115個)解読と発表</li> <li>郵政省、NHKと民放6社にテレビ音声多重放送の予備免許を交付</li> </ul> <p>・日本テレビ放送開始</p> <p><b>11月</b>・山本丘人文化勲章受章</p> <p><b>12月</b>・米中国交正常化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大平首相就任</li> </ul> <p><b>この年</b>・'77年の日本人出国者数(83%が観光)は315万人外国人入国者数は98万人(ともに前年比10%増)で史上最高(入国管理局の統計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本商品の優秀性が評価され、苦境の輸出依存型軽工業品業界に米国からの商談復活</li> </ul>
<b>1979</b> 昭和54	<p><b>1月</b>・特許技監 松家健一(1.16)</p> <p><b>4月</b>・審判書記事務機械化プロジェクトチームを審判部書記課に設置(4.17昭54.5.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発明協会・JAPATIC、漢字端末機による特許情報オンラインシステム(PATOLIS)サービス開始</li> </ul> <p><b>5月</b>・発明協会創立75周年記念式典(5.5)</p>	<p><b>2月</b>・「意匠制度90年の歩み」特許庁意匠課編纂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほるぶ出版と日本近代文学館が、リーダーダイジェスト社の夏目漱石初版復刻本の販売差し止めを東京地裁に申請(リーダーダイジェスト社版、文学館版の写真複製との理由)8月31日和解</li> </ul> <p><b>3月</b>・タイ王国特許法制定(3.16、9.12発効)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長谷川啓之 日大助教授がジャバンタイムズ社「経済英語辞典」の発売停止を求める仮処分を東京地裁に申請(ジャバンタイムズ社が長谷川氏の辞書の内容を盗用との理由。)7月3日絶版、和解</li> </ul>	<p><b>1月</b>・国公立大学入試の共通一次学力試験初めて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イラン革命による第2次石油危機</li> </ul> <p><b>3月</b>・米国スリーマイル島原子力発電所で放射能もれ事故</p> <p><b>4月</b>・全国歴史的風土保存連盟総会(鎌倉)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャスパー・ジョーンズ回顧展(ポップ・アート作家)</li> </ul> <p><b>9月</b>・海外デザイナー研修(日本産業デザイン振興会、JIDPO、日本パッケージデザイン協会JPDA主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICSLD京都賞設立(京都信用金庫後援)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>GK編「図説台所道具の歴史」柴田書店</li> <li>カルマ社編「文字」河出書房新社</li> </ul> <p><b>9月</b>・第8回世界クラフト会議(WCC)京都国際大会。テーマ工業化社会におけるクラフトマンアジア地方では初めての開催。日本クラフトコンベン京都発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>'78日本のガラス展(第1回)(小田急デパート)日本ガラス工芸協会主催。テーマ ガラスのすべてアートからデザインまで</li> <li>日本のあかり展(ヤマギワ東京本店)ヤマギワ創業55年記念</li> <li>空間の美-美は生きている展(栃木県立美術館)</li> <li>日本デザイン学会が創立25周年記念(神奈川、東海大学)</li> </ul> <p><b>10月</b>・国際写真展(東京・新宿小田急グランドギャラリー)日本広告写真家協会主催。初の国際公募展。テーマ「生きる」応募、22ヵ国5000点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本テキスタイルデザイナー協会第1回公募展(日本産業デザイン館)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパのポスター展その原流から近代まで(東京国立近代美術館)</li> <li>スカンジナビアの工芸品(東京国立近代美術館工芸館)</li> <li>'78国際コンピューターアート展(ソニービル)日本情報処理開発協会主催</li> <li>大森忠行著「デザインと伝統」伝統と現代社</li> <li>製品科学研究所創立50周年</li> <li>日本インダストリアルデザイナー協会「デザイナーのための職業規範」を翻訳、出版</li> </ul> <p><b>11月</b>・デザイン会議'78広島(広島市)日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)主催。テーマ「コミュニティーを見るデザインの目」、広島県知事、宮沢弘とデザイナー、柴久庵憲司が基調対談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日展創立70周年</li> <li>日本インテリアデザイナー協会20周年、「日本のインテリアⅢ」発行</li> <li>'78トータルインテリアショー(池袋サンシャインシティ文化会館)インテリア産業協会他主催</li> <li>永井一正のトレードマーク(松屋)日本デザインコミッティー主催</li> <li>皆川正藍綬褒章 日本インダストリアルデザイナー協会理事長</li> </ul> <p><b>12月</b>・中国現代絵画展「日中平和友好条約締結記念」(山種美術館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アベドン写真集「ザ・ファッション1974~1977」集英社刊行</li> <li>「JIDA DESIGN PROPOSITION'78~'70」(日本産業デザイン館)日本インダストリアルデザイナー協会JIDPO主催</li> <li>文化庁がルーベンス・セザンヌの作品購入決定、総額2億5千万円、ドル減らしのための名画購入</li> </ul> <p><b>この年</b>・「大阪産業デザイン・コンテスト」が始まる。大阪府、市、商工会議所など6団体の共催。第1回テーマ「明日に生かすデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公私立美術館の開設、ブームとなる。(11月ひろしま美術館、山梨県立美術館など)</li> <li>現存する明治時代の郵便局の1つ、京都中京郵便局、郵政大臣官房建築部により内部のみ改築、外壁を保存再生。(昭和54年度建築学会賞を受賞)</li> <li>熊本地方裁判所 赤レンガの小さい旧庁舎を新庁舎が抱き込むかたちで保存</li> <li>木島安史のメロン氏邸(東京)古い洋間の改築に際し、地下に埋め込み保存。(異色な保存法として注目)</li> <li>ノーブランド商品ダイエーより発売</li> <li>エルメス、グッチ等外国有名ブランド商品の偽物出まわる</li> <li>電卓の薄型、小型化、機能の複合化がすすむ</li> <li>電子式翻訳機登場</li> <li>ディオール社が偽物の業者を意匠権侵害で提訴</li> </ul>	<p><b>1月</b>・発展途上国におけるデザイン振興会議(インド国立デザイン研究所)ICSID、UNIDO主催。デザイン振興活動の現状報告とともに多様な制約の中でのIDの役割、ICSID、UNIDOの協力体制などについて討議</p> <p><b>2月</b>・谷口吉郎没74才(建築家)。代表作「東宮御所」・「帝国劇場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>池辺陽設58才(建築家)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>(社)日本インテリアデザイナー協会20周年記念展。(東京新宿京王百貨店)「インテリア80-デザインの役割」</li> </ul> <p><b>1月</b>・今日の日本のポスター展(スイス・チューリッヒ工芸美術館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の文化、社会、経済、政治、日本人の生活などを総合的に紹介する「ジャパン・トゥデイ」(ワシントン、ニューヨーク、シカゴ、デンバー、ロサンゼルス(5都市)ジャパン・ソサエティ、メリディアンハウス・インターナショナル、スミソニアン・インスティテューション主催。全米芸術基金、全米文化基金、国際交流基金、松下電器産業後援</li> </ul> <p><b>3月</b>・台湾インダストリアル・デザイン振興センター(IDPC)設立</p> <p><b>4月</b>・日本のポスター展(ワシントン、メリディアン・ハウス・インターナショナル)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p><b>6月</b>・特許庁長官(55代)川原能雄(6. 15)</p> <p><b>7月</b>・特許法施行規則中改正(7. 16通商産業省令第55号)</p> <p><b>10月</b>・植物品種保護国際条約に署名(10. 18)</p> <p><b>12月</b>・特許登録令等改正(12. 21政令第299号). 特許原簿への登録事項に国際出願固有理由の特許無効審判確定審決を加える</p> <p>・特許登録令等施行規則改正(12. 21通商産業省令第116号)</p> <p>この年・弁理士制度80周年</p>	<p><b>7月</b>・タイブ・フェイス著作権訴訟(昭和48年に起訴, 東京地方裁判所「デザイン書体は美の表現のみを目的とする純粋美術とは異なり, 情報伝達を目的とするもので著作物とは認め難い」と判断)</p> <p><b>12月</b>・意匠登録令中改正(12. 21政令第299号附則)</p>	<p><b>5月</b>・英国, 首相にサッチャー就任. 先進国初の女性首相</p> <p>・本州四国連絡橋尾道, 今治ルートの大三島橋が開通</p> <p><b>6月</b>・ココムが東芝の中国向けIC(集積回路)のプラント輸出に初の特認</p> <p>・第5回主要先進国首脳会議(東京サミット)開催</p> <p><b>7月</b>・東名高速道路焼津市日本坂トンネル内で事故(死者7人, 車173台炎上)</p> <p>・東芝, 米国に特許事務所を開設</p> <p><b>11月</b>・第1回国際女子マラソン開催</p> <p><b>12月</b>・ソ連, アフガニスタン侵攻</p> <p>・国鉄, 宮崎浮上式実験センターでリニアモーターカー時速504km達成</p> <p>この年・インベーダーゲーム流行</p> <p>・音声多重TV放送</p> <p>・デジタル式腕時計の普及めざましく, 生産量では男性時計の60%</p> <p>・日立製作所ミニコンピューターHITAC10型を発表, 以後ミニコンピューターが普及</p> <p>・富士通が日本語処理可能な新中型コンピューター(『F』モデル4機種)発表</p>
<b>1980</b> 昭和55	<p><b>2月</b>・特許庁, 公報組版に電算写植システム導入</p> <p><b>6月</b>・特許第100万号特許証交付(昭55. 6. 5)</p> <p><b>7月</b>・特許手続上の微生物の寄託の国際的承認に関するブタベスト条約(7. 5条約第2号外務省告示第242号8. 19発効)</p> <p><b>8月</b>・TRT発効(ソ連の加入による)(8. 7)</p> <p><b>9月</b>・特許庁長官(56代)島田春樹(9. 2)</p> <p>・特許法施行規則改正(9. 17通商産業省令第33号10. 1施行)</p> <p><b>11月</b>・(社)日本食品特許センター設立(食品特許協会の法人化)</p>	<p><b>3月</b>・山岳写真家白川義員とグラフィックデザイナー, マッド・アマノの写真著作権裁判「パロディ写真, 勝手な改変は著作権侵害」と最高裁差し戻判決. 「パロディ手法としての合成写真(フォトモンタージュ)は, 他人の著作物を利用する正当性をもち, 著作権の侵害とはならぬ」と判決した2審判決破棄</p> <p><b>4月</b>・審査長野口勇(4. 1)</p> <p>・意匠課資料係を資料第1係と資料第2係に分割(4. 1)</p> <p><b>10月</b>・カップラーメン事件, 最高裁判決, 「カップヌードル」の表示は文字. 日清の意匠権認めず</p>	<p><b>2月</b>・奈良, 佐紀盾列古墳群で最大規模の方墳発見</p> <p><b>6月</b>・大平首相急死</p> <p><b>7月</b>・鈴木内閣成立</p> <p>・第22回オリンピック大会(モスクワ)日本, 米国, 西独, 中国等不参加</p> <p>・昭和54年「簡易生命表」で, 平均寿命は男73. 46年で世界一, 女78. 89年で2位</p> <p><b>9月</b>・イラン・イラク戦争はっ発</p> <p>・電電公社超高純度光ファイバー開発成功と発表(1kmあたり0. 5デシベル以下)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p><b>3月</b>・第1回地場産業振興展「山形の物産と工芸展」(都立産業会館大手町館)(財)生活用品振興センター, 山形県主催</p> <p><b>4月</b>・岡山市立オリエント美術館開館</p> <p>・遊びの博物館展</p> <p><b>5月</b>・第1回ICSIDアジア地域会議(東京貿易センタービル)</p> <p>・板橋区立美術館開館. 村田政真設計(都内初の区立美術館)</p> <p><b>6月</b>・子供のアトリエ(東京西武美術館)パリ・ボンビドーセンターが国際児童年にちなむ催しとして企画したシリーズの一環が日本にも招来, 視覚と触覚という人間体験の根本問題にふれ, 盲人グループの来訪が相次いだ</p> <p><b>9月</b>・佐藤敏之輔没67才(タイボグラフィデザイナー)</p> <p>・「暮らしを創る'79クラフト展」(第20回東京銀座松屋). 日本クラフト賞木全本氏受賞, 「蠟燭立て」</p> <p>・(財)伝統工芸品産業振興協会の工芸センター, 東京青山に開設. 同協会のシンボル・マークは, 亀倉雄策のデザイン</p> <p>・日本のポスター展「江戸から現代まで」国内展(東京ラフォーレ原宿). バリのポスター美術館の要請で国際交流基金が企画. 昭和55年ロンドンビクトリアアンドアルバート美術館で開催のジャパニスタイル展に並行して, バリその他海外を巡回展示</p> <p><b>10月</b>・山口県立美術館開館(鬼頭梓設計)</p> <p><b>11月</b>・福岡市美術館開館(前川国男設計). 昭和53年10月にミロの名画を2億8860万円で購入し, 話題となる</p> <p><b>12月</b>・原美術館開館(東京での現代美術館)</p> <p>・車イスシンボルマークの意匠登録で福祉団体が反発(意匠登録第398433号)</p> <p>・オリンバス超小型録音機のデザイン盗用業者, 仮処分</p> <p>・デザイン, 商標の盗用, 自動車部品等で被害270件, 加害72件.</p> <p>・デザイン団体協議会にJAGDA加盟.</p> <p>・日本タイボグラフィ協会創立15周年を記念し, 「香港・日本デザイン展」開催</p> <p>・ミサワホームグループ「ハウス55計画」による住宅販売</p> <p>・世界初の1. 6mmの超薄型カード電卓, 開発製品化. シャープ(株)</p> <p>・桑沢デザイン研究所, 創立25周年記念事業「桑沢デザインセミナー」公開講座第1回テーマは「モダンデザインはどこへいくーバウハウスは何をしたか」以後毎年開催</p> <p>・黒の商品流行</p>	<p>・日本の時空間一問展(クーパー・ヒューイット美術館)</p> <p>・ジャカルタ日本文化センター開所</p> <p><b>5月</b>・バーナード・リー没92才(英, 陶芸家)</p> <p>・日本包装芸術展(メルボルン)四季行構成. オーストラリアとニュージーランドの20数市を巡廻</p> <p><b>6月</b>・'79年アスぺイン国際デザイン会議開催. (米国コロラド州Aspen)テーマ「日本および日本人」この種の国際会議としては初めて公用語として英語の外に日本語を採用</p> <p>・第8回世界グラフィックデザイン団体協議会. (仏国ボンビドーセンター)21カ国の代表参加, 新しく7カ国の加盟を承認, 新会長にピーター・ニーボン(英)を選任. 日本から, JAGDAの坂根進, オプザーバーとして出席. 日本の再加盟について話しあう. 同時開催セミナー, テーマ「社会を映す鏡としてのデザイン」</p> <p><b>8月</b>・第1回ヘンリームーア大賞展</p> <p><b>9月</b>・第2回ICSIDコーリン・キング賞. (昭和52年ICSID設立20周年記念設立)柴久庵憲司授賞(IDの活動を通してIDの今日の社会における役割と認識を国際的に拡大するとともに, アジアと欧米の文化をつなげた功労による)</p> <p><b>10月</b>・ICSID総会(メキシコ). 第11回総会をかねてICSID国際会議, メキシコ市で開催. 36ヵ国, 54団体, 1912人の参加を記録. 第1回ICSID京都賞, イングストリアルデザインの地域社会への功績が対象. 本賞該当なし. 等外賞ベルギー王立財団の「高齢者用住宅設備のプランニングとデザイン」日本, D産業デザイン研究所の「南港ポートタウン・アメニティ計画」米Wolfgang Preiser哲学博士の「居住空間・住居に關した考察並びにデザイン」</p> <p>・「設計'79展」(香港シティホール). 香港デザイナー協会(HKDA)と日本タイボグラフィ協会(JTA)共催. (3日間の入場者1万4000人)</p> <p><b>11月</b>・第1回インドのデザイン賞がSIDIから香港インダストリアル・デザイン・カウンシル(HKIDC)に授与</p> <p>この年・フランス国鉄(SNCF)パリーリオン間(TGV)高速列車運転</p>
<p><b>1月</b>・山名文夫没82才(グラフィックデザイナー)</p> <p>・Design80第1回ヨーロッパ専門見本市</p> <p>・太田記念美術館開館(浮世絵美術館)東京・原宿</p> <p>・(財)クラフトセンタージャパン20周年記念展(丸善東京本社)</p> <p>・ニューヨークADC展</p> <p>・日本文化デザイン会議発足(発起人梅原猛)</p> <p><b>2月</b>・GKインダストリアルデザイン研究所展</p>	<p><b>3月</b>・JAPAN STYLE展(ロンドン, ビクトリア・アンド・アルバート美術館)現代日本を的確に表わす展示という同美術館の要望により, 日本人のモノとかわかる意識, 文化背景を分類し紹介</p> <p><b>6月</b>・Packaging Graphics in Japan展(ニューヨーク, マスターイーグルギャラリー)日本パッケージデザイン協会(JPDA)主催. 創立20周年記念事業</p> <p>・ワルシャワ第8回国際ポスタービエンナーレ中村誠を含む8人の審査員による審査. 粟津潔, 石岡瑛子, 村瀬省三ら7人入選</p> <p><b>8月</b>・マリノ・マリーニ没79才</p> <p><b>9月</b>・「デザイン週間-1」(ジャカルタ)インドネシア輸出振興庁(NAFED)主催</p> <p><b>10月</b>・IDフィルム・フェスティバル(ハンガリー)商工会議所主催)インダストリアルデザインの分野では初めての国際IDフィルム・フェスティバル</p> <p>この年・World Design Sources Directory完成. 仏CCI(Centre de Creation Industrielle)編集. Pergamon Press出版デザイン機関とデザイン関係文献をまとめた出版物で日本のJIDPO, JIDA, JID, JAGDA, 大阪デザインセンター等15機関世界37ヶ国250機関, および170誌を越えるデザイン関係誌を掲載</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>12月・米国特許庁、遺伝子組み替えの基礎技術に初めての特許を認める</p>		<p>10月・東大寺大仏殿大修理完了</p> <p>11月・東京国立近代美術館の襲撃事件。画家山下要(31才)は、鉄パイプで「梅原龍三郎コーナー」作品38点を破損、逮捕</p> <p>12月・第1回日中閣僚会議北京</p> <p>この年・半導体(IC)の日米貿易、日本側出超に転ずる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•NHK技研より文字多重試験放送開始</li> <li>•校内暴力事件多発</li> <li>•ルービック・キューブ爆発の人気</li> <li>•自動車生産台数1104万2884台に達し、世界第1位となる</li> </ul>
1981 昭和56	<p>1月・特許法施行規則中改正(1.30通商産業省令第7号1.31施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•実用新案法施行規則中改正(1.30通商産業省令第7号1.31施行)ブダベスト条約に伴う改正</li> </ul> <p>4月・商標法施行規則中改正(4.30通商産業省令第23号附則5.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•特許技監 岩田弘(4.1)</li> </ul>	<p>4月・意匠法施行規則中改正(4.30通商産業省令第23号附則5.1施行)。特許法施行規則の一部を改正する。省令附則3条による改正</p> <p>5月・意匠法中改正(5.19法律第45号6.1施行)</p> <p>9月・分類改正委員会意匠部会意匠分類一覧表了承(9.10)</p> <p>10月・大手レコードメーカー13社貸しレコード</p>	<p>1月・外国為替相場1ドル200円台を突破</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•米国大統領にレーガン就任</li> </ul> <p>3月・神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81)開催(3.20~9.15)</p> <p>4月・「地名を通して地方の時代を考える全国</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>•第20回世界のグッドデザイン展「ゆたかな生活用具」(大阪阪急百貨店)大阪府立貿易館、JETRO大阪本部主催</li> <li>•照明展(東京銀座ミキモトホール)ジャンルを超えたデザイナー24人が参加。日本デザインコミッテイ主催</li> <li>•ポーランド現代版画・ポスター展(神奈川県立近代美術館)ポーランドのグラフィック・アートを紹介</li> </ul> <p>3月・クラフトマンハウス1周年記念展</p> <p>4月・浪漫衣裳展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•大阪府立現代美術センター開館</li> <li>•日本記号学会発足(会長川本茂雄早大教授、哲学)</li> <li>•第10回JIDA研究発表会日本インダストリアルデザイナー協会主催。講師、稲次敏郎(東京芸術大学)「狭さの美学(その2)」, 山口昌伴(GK研・道具学研究所)「勝手道具自動化への系譜」, 豊口協(豊ロデザイン研究所)「秋田杉のデザイン開発」, 日野永一(京都教育大学)「人物明治デザイン史」, 向井周太郎(武蔵野美術大学)「デザイン記号論への1つのアプローチ」, 小林洋(東洋製缶, デザイン課)「近代日本デザインの系譜」, 前田興男(日産自動車, 造形部)「ニューフェアレディZのデザインと空気力学」, 多田愛美(D・産業デザイン研究所)「南港ポートタウンAMENITYプランの解説と実施面での問題点」</li> </ul> <p>5月・図師嘉彦没75才(戦後の日本建築界の民主化運動を推し進めた新日本建築家集団(NAV)の、創設者のひとり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•プリジストン美術館, ピカソの「腕を組んですわる軽わざ師」を約6億9000万円で落札</li> </ul> <p>6月・「包ー日本の美意識を探る講演と映画の会」開催(東京朝日講堂)日本グラフィックデザイナー協会主催。柳宗理, 岡秀行講演。映画「包tsumsum」上映</p> <p>7月・第1回日本文化デザイン会議開催(横浜)議長 黒川紀章 テーマ「共生の時代へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•宮本三郎記念美術館開館(石川県小松市)洋画家</li> </ul> <p>8月・永井一正の世界展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•アールヌーボー展(東京三越美術館)</li> </ul> <p>11月・グロビウス展(東京ドイツ文化センター)ドイツ文化センターとグロビウス委員会(丹下健三委員長)主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•丹下健三文化勲章受章(建築家)</li> <li>•THE椅子展</li> </ul> <p>12月・長谷川潔没(在仏62年銅版画の巨匠, フランス芸術院会員, 文化勲章, オードル・ザール・エ・レットル賞受賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•吉阪隆正没63才(建築家)</li> <li>•土方定一没(鎌倉近代美術館館長)</li> <li>•第3回NAAC展(東京セントラル美術館)日本広告技術協議会(NAAC)主催。今回よりビエンナーレ形式。グランプリ賞ポスター十河雅典</li> </ul> <p>この年・日本産業デザイン振興会(JIDPO)国際交流センター設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•亀倉雄策 春の紫綬褒章受章(日本の代表的なグラフィックデザイナー)</li> <li>•第30回の芸術選奨文部大臣新人賞美術の部に田中一光が選出</li> <li>•避難誘導シンボルデザイン発表(日本消防設備安全センター主催, 消防庁, (社)照明学会協賛)非常口サイン・ピクトグラム化は、諸外国ではISOに提案されているものもある。日本でも消防法改正による非常口サインの義務化を期に、シンボル化が求められていた。入選 小谷松敏文</li> <li>•第10回機械工業デザイン賞, 通商産業大臣賞 日本語ワードプロセッサー(WD-300)シャープ(株)。オートマチックウェハブロービングマシン(A-PM-3000A)㈱東京精密</li> <li>•Gマーク商品選定, 通商産業省貿易局長名から通商産業大臣名選定となる。「グッドデザイン大賞」「同部門別大賞」「ロングライフ特別賞」を制定。大賞松下電器産業フルオートマチックプレーヤー「SL-10」</li> <li>•大原美術館(岡山県倉敷市)創立50周年</li> <li>•大沢商会設計コンペティション 株式会社大沢商会インテリア用品部発足10周年記念。テーマ「提案して下さいー1980年の住まい方」住宅部門1位柴富田哲一インテリア部門1位2位該当者なし</li> <li>•山の上ホテル(東京 神田駿河台)阿井和男により以前の面影を残し改修増築</li> <li>•遠藤新設計のライト風デザインの住宅が藤沢市辻堂で見つかる。藤沢市で保存活用</li> <li>•三州足助屋敷(愛知県東加茂郡足助町)浦辺鎮太郎設計復現</li> <li>•ハツケ岳美術館(長野県諏訪郡原村)開館。清水多喜示(彫刻家)の個人美術館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ICOGRADAラティノアメリカ80会議(メキシコ グアダハラハラ)ラテンアメリカ最初の国際グラフィックデザイン会議</li> <li>•IF賞(Diegute Industrie form)日本の欄ヤマギクの照明器具システム, 計21点選定。同社のIF賞受賞は12年連続</li> <li>•第10回シュル・デザイン賞。消費財部門 家庭用溶接ガスセット, 公共財部門 公共用アンプ。エンジニア部門 金鉱用水圧支柱</li> <li>•インターデザインセミナー・トビリシ(ソ連トビリシ)テーマ「都市環境のためのデザイン」ソ連唯一のインダストリアルデザインに關した組織であるVNIITEがインターデザインセミナーを開催。ICSID(インダストリアル), ICOGRADA(グラフィック), IFI(インテリア), WCC(クラブト), UIA(建築)等, 分野が異なるデザインの9組織が協力参加</li> </ul> <p>5月・ハーブ・ルバーリン没(米, グラフィック・デザイナー, タイポグラフィカルな作品で著名)</p> <p>6月・佐藤忠良展(パリ ロダン美術館)彫刻家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•カンヌ国際広告映画祭で, サントリーのテレビCM「雨と犬」が第1カテゴリー(酒類)で金賞を獲得</li> </ul> <p>7月・「日本の古典芸能・12人のデザイナーによる競作展」日本デザインコミ</p>
<p>2月・小杉二郎没(デザイナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•ルービックキューブの類似品卸売業者に販売禁止処分決定</li> </ul> <p>国際デザイン講演会(日本デザイン団体協議会主催)講師スット・イラン(国際グラフィックデザイン団体協議会元会長)等</p> <p>3月・田宮督夫とTAMIYA展(静岡のプラモデルメーカーTAMIYAのバックージデ</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>●特許法施行規則中改正(4.30通商産業省令第23号5.1施行)。微生物の試料の分譲</p> <p>●実用新案法施行規則中改正(4.30通商産業省令第23号附則5.1施行)</p> <p>5月●工業技術院微生物工業技術研究所が行うブダベスト条約に基づく微生物寄託規定(5.1通商産業省令第177号, 178号5.1施行)</p> <p>●商標法中改正(5.19法律第45号6.1施行)</p> <p>●各種手数料等の改正に関する法律21条による改正(5.1法律第45号6.1施行)</p> <p>●特許法等手数料令改正(政令176号6.1施行)特許出願料等の値上げ(5.22)</p> <p>●特許法施行規則中改正(5.22通商産業省令第28号6.1施行)</p> <p>9月●特許法施行規則中改正(9.28通商産業省令第58号10.1施行)</p> <p>●PCT国際出願願書様式等改正(9.28)</p> <p>●世界的所有権機構会議「オリンピックシンボル保護条約」採択</p>	<p>店4店を「著作権侵害」で提訴</p> <p>●米連邦控訴審, ソニー株のビデオ機器に対し家庭用ビデオでも録画は著作権侵害との判断</p>	<p>シンポジウム」神奈川県川崎市</p> <p>5月●日米乗用車対米輸出自主規制で合意</p> <p>6月●横浜開港資料館開館</p> <p>7月●科学雑誌「ニュートン」発刊</p> <p>8月●宇宙開発事業団気象静止衛星「ひまわり号」打ち上げ</p> <p>●「第1回ヨーロッパ歌舞伎会議」(ウィーン)</p> <p>9月●湯川秀樹没74才。日本人として初のノーベル賞受賞者(中間子理論による)</p> <p>10月●福井謙一, ノーベル賞受賞</p> <p>11月●沖縄で新種「ヤンバルクイナ」発見</p> <p>●米のスペースシャトル「コロムビア」打ち上げ。14日予定を早め帰郷。史上初の再使用宇宙船</p> <p>12月●南極観測船「しらせ」進水式</p> <p>この年●ロボット市場急成長</p> <p>●写真雑誌創刊あい次ぐ。キャバ(学研 月刊), 写真時代(白夜書房 隔月刊), 写真装置(写真装置舎 不定期刊), フォーカス(新潮社 週刊)</p>
1982 昭和57	<p>6月●特許庁長官(57代)若杉和夫(6.11)</p> <p>8月●植物新品種保護国際条約ジュネーブ改正条約批准(8.6条約第11号外務省告示第301号9.3発効)</p> <p>●特許法施行規則中改正(8.11通商産業省令第42号9.1施行)</p>	<p>4月●審査長 磯野清夫(4.1)</p> <p>8月●意匠課長 池田和美(8.1)</p> <p>11月●意匠法施行規則中改正(11.17通商産業省令第73号昭58.1.1施行)別表第1物品の区分改正</p>	<p>2月●ホテルニュージャパン火災</p> <p>●日航機羽田沖墜落</p> <p>3月●アニメ映画「ガンダムⅢ」封切り, 中, 高校生徹夜騒ぎの人気</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>デザイナー田宮督夫の紹介展)</p> <p>5月●小池新二没 79才(九州芸術工科大学初代学長, ジャパンデザインハウス初代館長)バウハウス等新しい造形活動を我が国に紹介。著作, 評論「汎美計画」, 「世界の現代建築」, 「デザイン」等</p> <p>●「現代アメリカ・デザインの展望」日本デザイン団体協議会主催。講師 クランブル美術大学教授マイケル・マッコイ夫妻</p> <p>6月●美ヶ原美術館開館(長野県)</p> <p>●静岡市立芹沢銈介美術館開館</p> <p>7月●富山県立近代美術館開館(富山市)日本総合建築事務所設計</p> <p>●佐藤康蔵没 74才(工業デザイン界の指導的デザイナー。東京芸大, 千葉大などのデザイン教育面でも活躍)</p> <p>●日本光学工業が液晶に代わる電子文字表示板の実用開発</p> <p>8月●日本パッケージデザイン協会, 社団法人となる</p> <p>●高輪美術館開館(梶井沢)菊竹清訓設計</p> <p>●「近世風俗画と浮世絵の特別展示」東京出光美術館</p> <p>9月●AXIS(アクシス)ビル開店(東京 六本木)。インテリア・リビング, 照明用品などの売り場のほか, 東京デザイナーズスペース, 各種画廊, 貸しスタジオが入居。「今日の産業社会におけるデザインの有用性, 重要性についての運動母体」を標榜。デザイン誌「AXIS」発刊</p> <p>●エトーレ・ソットサス・Jr展AXISオープニングイベントとして開催。エトーレ・ソットサス・Jr公開対談(東京 国際文化会館)</p> <p>●東京斉写案, 細判展(東京 リッカー美術館)</p> <p>●日本玩具資料館開館(東京 台東区)</p> <p>●「江戸期の紋様」(東京・日本民芸館)</p> <p>●バルコ・パースリー(PARCO・PART3)開店(東京 渋谷)。家具, インテリア, リビング, アウトドア用品などデザイン商品のテナント入居</p> <p>●ボストンから里帰りの「近世日本屏風絵名作展」(東京 他)</p> <p>●三代にわたる豊国の作品(東京 太田記念美術館)</p> <p>●日光輪王寺舞楽装束展(東京 サントリー美術館)</p> <p>10月●渋谷区立松涛美術館開館(東京 渋谷)</p> <p>●第1回日本生活学会公開シンポジウム(東京 日本プレスセンターホール)。テーマ 生活のデザイナー-日常性からの発想</p> <p>●「江戸のよそおい」(埼玉県立美術館)</p> <p>11月●「JCD'81シンポジウム」(社)日本店舗設計家協会創立20周年記念(日本プレスセンターホール)テーマ「URBAN TOMORROW」次の産業化社会へ向う都市とその商環境像</p> <p>●宮城県美術館開館(仙台市)前川国男設計</p> <p>●(財)国際デザイン交流協会(JAPAN DESIGN FOUNDATION)大阪設立。通商産業省によるデザイン振興機関</p> <p>この年●東京を美しくする会発足(代表亀倉雄策)</p> <p>●都バスの色彩計画を機に「公共の色彩を考える会」発足</p> <p>●横浜の元英国領事館「横浜開港資料館」として保存決定。浦辺鎮太郎により改修保存</p> <p>●昭和56年度グッドデザイン大賞「オリンパスXA-2」</p> <p>●Gマーク, 企業の意識度調査によると重視度は経営者91%, 広告, 販売部門89%, デザイン, 設計, 開発部門86%</p> <p>●第7回東京国際グッドリビングショーの通商産業省コーナーにGマーク商品を出品</p> <p>●「九州・岐阜グラフィックデザイン交換展」九州16人, 岐阜46人のデザイナーによる交換展</p> <p>●柳宗理, 紫綬褒章受章(工業デザイナー)</p> <p>●「ナビオ阪急」第15回SDA賞グランプリ 阪急不動産(株)竹中工務店大阪本店設計部他設計)</p>	<p>ッティ主催。カリフォルニア大学(ロスアンゼルス)の招きにより, 日本の古典芸能伝承者等の渡米を機に, 同大学の依頼で日本の12人のデザイナーがポスターを制作(亀倉雄策, 田中一光, 永井一正, 横尾忠則等)</p> <p>●マルセル・ブロイヤー(Marcel Breuer)没 79才(ハンガリー, デザイナー・建築家)</p> <p>●第3回ICSID・アジア地方会議。ソウル市韓国デザイン・パッケージセンター(KDPC)</p> <p>8月●「Design'81」(ヘルシンキ フィンランドシアホール)。インダストリアル, グラフィック, インテリアの3分野初の合同国際会議</p> <p>10月●「JAPAN DAY」オランダ・アムステルダム・レイ国際会議場。東京アートディレクターズクラブ(ADC), 日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA), 日本タイポグラフィ協会(JTA), 日本広告技術協議会(NAAC), 東京デザイナーズスペース(TDS)の五団体協力, 日本の広告やグラフィックの領域を紹介</p> <p>●江戸大美術展(ロンドン王立美術館)入場者約52万人</p> <p>この年●ICSID理事会(アーマダバード)。初めて発展途上国で開催</p> <p>3月●建築家「安藤忠雄作品展」スペインマドリッド</p> <p>9月●ニューグラス展(米 ユーニング・ガラス美術館)</p> <p>この年●第1回国際カラーデザインコンペ西独, シュトゥットガルトのFarb-DesignInternational ev主催, シュトゥットガルト・デザインセンター後援。カラーデザインの啓蒙。1等Detroit Receiving Hospital(建物内外のデザイン)D.William Kessler and Associates社, Zeidler Partnership社, Giffels Associates社</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
		<p>12月 ●東京地裁、テレビゲーム著作権訴訟で電算機のパターンは著作物に当たると初判断</p>	<p>●桂離宮初の全面解体修理落成式</p> <p>4月 ●500円硬貨発行</p> <p>5月 ●英軍フォークランド島上陸作戦</p> <p>6月 ●東北新幹線開業(大宮、盛岡間)</p> <p>7月 ●公衆電気通信法改正(7.9 10.23施行)原則認可制から原則自由へ変更</p> <p>8月 ●IBMスパイ事件発覚、米連邦捜査局が日立製作所、三菱電機関係者を逮捕</p> <p>●三越事件、東京日本橋の三越本店で開催の古代ペルシア秘宝展展示品は大半がニセ物と判明</p> <p>9月 ●国鉄のリニア・モーターカーが世界初の有人浮上走行に成功(九州日向市)</p> <p>11月 ●上越新幹線開業(大宮、新潟間)</p> <p>●中曽根内閣成立</p> <p>●中央自動車道全線開通</p> <p>この年 ●軽薄短小ブーム</p> <p>●カンヌ国際広告映画祭で松下電器産業のCM「光のメニュー」がグランプリを獲得</p> <p>●CDプレイヤー発売開始</p>
1983 昭和58	<p>4月 ●特許技監 斎田信明(4.1)</p> <p>12月 ●特許法改正(12.2法律第78号昭59.7.1施行)</p>	<p>1月 ●意匠分類一覧表特許庁公報特別公示号で公示(1.17)</p> <p>2月 ●「写真著作権裁判」写真家白川義員とデザイナー、マッド・アマノの係争の高裁差し戻し審の判決。アマノに50万円の損害賠償の支払いと謝罪広告の掲載を命じる</p> <p>4月 ●意匠分類一覧表(発明協会)発行(4.12)</p> <p>●審査長 宮滝恒雄(4.1)</p> <p>11月 ●文化庁が貸しレコードや貸しパソコンソフト、コピー業者規制の著作権法改正案を作成、著作権審議会に報告</p> <p>12月 ●商業用レコード貸与著作権権利暫定措置法公布(貸レコード規制)</p>	<p>3月 ●中国自動車道全通</p> <p>4月 ●東京ディズニーランド開園</p> <p>5月 ●日本海中部地震</p> <p>7月 ●官報創刊100年、発行号数2万9960号</p> <p>8月 ●「テルミ」隔月刊創刊。手で見える学習点字絵本雑誌</p> <p>●日立製作所と日立マクセル、1枚で書類4万ページまで記録可能な世界最大容量光ディスク開発</p> <p>9月 ●ソ連空軍機大韓航空機を撃墜</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>●避難口誘導灯標識施行。2月1日以降着工の防火対象物に対し適用</p> <p>3月 ●日本光学「ニコンFM2」発売世界最初の4000分の1秒つきのマニュアル機</p> <p>●横浜の近代建築展(横浜開港資料館)日本で最初に鉄筋コンクリートを使用した遠藤弥生を中心として展示</p> <p>4月 ●マリオ・ベリニー(Mario Bellini)講演会「マリオベリニーの世界 ヒューマンなイタリア・デザイン」(大阪府文化情報センター)</p> <p>●新高輪プリンスホテル落成(村野藤吾設計)</p> <p>5月 ●第1回国際デザインコンペティション募集開始(財)国際デザイン交流協会 テーマ「集」</p> <p>●シンポジウム「グラフィックデザインとコンピュータ時代」(赤坂草月ホール)JAGDA主催</p> <p>●現代日本のポスター展(富山県立近代美術館)</p> <p>●世界のポスター10人展(高島屋)テーマ「緑と人・地球を守ろう」永井一正、田中一光等</p> <p>6月 ●第10回(社)日本パッケージ協会展(東京、大阪、名古屋)テーマ パッケージ進化論「きのう・きょう・あす」通産大臣賞 病院用くすりのパッケージ 唐沢みよ他</p> <p>●日本民芸館新館落成(山下和正建築研究所設計)</p> <p>7月 ●世界現代ガラス展(北海道立近代美術館)日本初の国際コンペティション15ヶ国、69作家出品</p> <p>8月 ●20世紀末美術展(板橋区立美術館)現代の社会現象をあらわすイラスト、写真、絵画、製品、および雑誌、コピーなどを展示</p> <p>9月 ●日本タイポグラフィ展(Axisギャラリー)日本タイポグラフィ協会主催「現代日本のタイポグラフィ選抜作品」「伝統的な日本のタイポグラフィ作品」「日本タイポグラフィ協会会員作品」の3部門、約250点を展示</p> <p>10月 ●「国際デザインセミナー'82」(東京霞ヶ関ビル)(財)国際デザイン交流協会主催。昭和58年秋大阪で開催される第1回国際デザインコンペティションの一環、講師、柴久庵憲司「デザイン・新しい挑戦」及びロバートブレイク「クリエイティブな企業経営/ハーマン・ミラー社&amp;フィリップス社」</p> <p>●「アートセンターカレッヂ・オブ・デザイン展」カルフォルニアのアートセンター(4年制大学)の学生による日本初の作品展</p> <p>●20世紀の写真・ニューヨーク近代美術館コレクション展(東京池袋 西武美術館)</p> <p>●ハワイ・グラフィックデザイナーズ協会展</p> <p>●JIDA創立30周年式典(大阪コクサイホテル)</p> <p>●「日本のインダストリアルデザイン'50年代と80年代展(Axisギャラリー)JIDA&amp;JIDPO主催 1950年代と1980年代の代表的な製品約60点を比較展示。日本のインダストリアルデザインの原点と状況を探る</p> <p>11月 ●「コンピューターグラフィックス'82」開催。(東京池袋サンシャイン60)(財)製品輸入促進協会</p> <p>●「第3回日本文化デザイン会議」(金沢市)。テーマ「あそびの再発見」国際文化デザイン大賞 イサム・イグチ(「明かり」の提唱により日本のちようちんを世界に普及させるなど幅広い領域で活躍)</p> <p>12月 ●地方公立美術館連絡協議会発足</p> <p>●西武美術館、高輪美術館、大原美術館と公立の富山県立近代美術館の「4館協定」(現代美術を主体に収集する4美術館が、共同企画、所蔵品の相互貸し出し、学芸員の交流などを条件に協定)発足</p> <p>この年 ●キャノン完全自動化カメラ(スナッピー50)発売</p> <p>●「デザイン・プロセス=オリベッティ」オリベッティ社(伊)の、創業以来のデザインワーク展、各地の大学を巡回</p> <p>●地方公立美術館の開館あい次ぎ170館台となる。1月MOA美術館(竹中工務店設計)、11月埼玉県立近代美術館(黒川紀章設計)、11月岐阜県立美術館(大阪市立東洋陶磁美術館、神戸市立博物館、その他北海道立旭川美術館、笠岡市立竹筒美術館、三重県立美術館等</p>	<p>●第1回VDID賞西独、インダストリアルデザイナー協会主催。(Venbard Deutschen Industrie Designerが設けた賞で、第1回テーマを「身障者のためのデザイン」として実施)</p> <p>4月 ●日本タイポグラフィ展(ニューヨークITCセンター)</p> <p>●日本美術における写真の流れ展(米国クリーブランド美術館)</p> <p>6月 ●「日本芸術祭」開幕(スイス ジュネーブ)古典から現代物まで幅広く日本文化を紹介</p> <p>●現代日本美術展(ジュネーブ)</p> <p>10月 ●サントリー美術館所蔵品による「秋草流水」展(ニューヨークジャパン・ハウス・ギャラリー)</p> <p>この年 ●UTBS社(ユナイテッド・テクノロジーズ・ビルディング・システムズ)建設のシティプレース竣工(インテリジェントビルの初め)</p> <p>●「バレンシア国際コンペ'83」(スペイン バレンシア)グランプリ 森正</p>
<p>1月 ●ベストデザイン100海外編展(東京銀座松屋)日本デザインコミッティ主催(デザインギャラリー展300回記念)各分野から現代デザイン界に影響を与えた作品100点を選定展示。モルトン自転車、ボルシェ356、ハッセルブラッド500C、オリベッティレッチェ22、レゴ、ブラウン調理器KM3、マットソン・ラウンジチェア、ヘニングセン・ペーパーランプ、100円ビックガスタイター等</p> <p>●山下寿郎没94才(霞ヶ関ビルの設計者)</p> <p>●「現代美術における写真—1970年代を中心にして」(国立近代美術館)10年ぶりの写真展示</p> <p>2月 ●赤坂プリンスホテル新館落成(丹下健三設計)</p> <p>3月 ●黒田辰秋展(国立近代美術館工芸館)木工芸の人間国宝</p> <p>●コンピューターグラフィックス展(東京伊勢丹美術館)</p> <p>4月 ●建築史学会設立</p>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>10月・東京都内で日本最古の写真発見(黒船の従軍写真師E・ブラウン・ジュニア、安政元年(1854年)横浜で浦賀奉行所の与力、田中光儀を撮影。ダグレオタイプによる銀板写真)</p> <p>・三宅島大噴火</p> <p>・ロッキード事件丸紅ルート判決公判で田中元首相に有罪判決</p> <p>・カメラメーカーのヤシカ、京セラ(本社、京都市)に吸収合併</p> <p>11月・レーガン米大統領来日</p> <p>この年・「少年マガジン」(講談社)「少年サンデー」(小学館)創刊25周年記念号出版</p> <p>・埋蔵文化財の発掘届け出件数1万4540件、大半が開発による破壊を前提に行う事前の緊急調査(1万4403件)である</p> <p>・フィルムの感度表示、7月以後の生産製品から従来のASA、DINの表記からISOに統一</p> <p>・貿易摩擦、輸出自主規制開始</p> <p>・NHKテレビ小説「おしん」ブーム(おしんは忍耐の代名詞)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>・清春白樺美術館開館(山梨)</p> <p>5月・シンポジウム「環境のグラフィックスー街並の美学」(東京赤坂草月ホール)日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)主催。日本の都市環境における街並、景観についてグラフィックデザイナーの視点から問題提起</p> <p>・ルイジ・コラーニの世界展(東京、大阪高島屋)</p> <p>6月・剣持勇の世界展(東京池袋西武)</p> <p>・藤本倫夫没(東京アートディレクターズクラブ創設に参加)</p> <p>・「柳宗理デザイン展ー1950~1983」(イタリア文化会館ホール)</p> <p>・日本人間工学会工業デザイン部会発足。インダストリアル・デザインにおけるHuman Factorsに関する問題、特に工業製品の使いやすさの体系化を目的。部会長 知久 篤(日本大学)</p> <p>8月・国立劇場能楽堂落成(大江宏設計)</p> <p>9月・第4回デザインフォーラム公募展'83(東京銀座松屋)日本デザインコミッティ主催</p> <p>・岡田桑三没(日本における本格的グラフ誌の嚆矢「FRONT」(東方社)原弘、木村伊兵衛等が参画の対外宣伝紙創刊に貢献)</p> <p>10月・第27回日本グッドデザイン展(東京 大丸)</p> <p>・セルジオ・アスティの世界展(京都国際工芸センター)京都国際工芸センター主催。伊のプロダクトデザイナー、セルジオ・アスティの作品</p> <p>・モダニズムの工芸家たち展(国立近代美術館工芸館)</p> <p>・曲線と直線の宇宙ー亀倉雄策デザイン展(東京銀座松屋)</p> <p>・JAGDAシンポジウム'83「コンピューターグラフィックスによる表現と世界」(東京 ABC会館ホール)講師 出原栄一、トマス・ドゥファンティ、アーロン・マークス等</p> <p>・20世紀アメリカのポスター展(京都国立近代美術館)</p> <p>・「第1回国際デザイン・フェスティバル・国際デザイン展」(大阪国際スポーツセンター)(財)国際デザイン交流協会主催。テーマ「集」大賞(賞金1000万円)、米国のイリノイ工科大学プロダクト・デザイン科Charles L. Owen教授グループの作品「未来の家」。第1回国際デザイン・アワード受賞者Chermdyeff &amp; Geismdr Associtdes(米)Marid Benktzon &amp; Sven-Eric Juhlin(スウェーデン)Pdold Navone(伊)Pentagram(英)名誉賞 マーガレット・サッチャー英国首相。第1回国際デザインフェスティバルのイベントとして、「国際デザインシンポジウム'83」(赤坂ドイツ文化会館OAGホール)JIDPOと国際デザイン交流協会主催 講師、国際デザインアワードの受賞者テーマ「21世紀に向けてのデザイナーの役割」</p> <p>・東京都庭園美術館開館(東京白金)</p> <p>・「'83平和ポスター展ヒロシマ・アッピールズ」日本グラフィックデザイナー協会主催。広島国際文化財団により広島で開催後、全国を巡回</p> <p>・山形県酒田市写真展示館(通称「土門拳記念館」)開館(山形県酒田市)谷口吉生設計、日本最初の写真専門館</p> <p>11月・伊藤憲治、紫綬褒章受章</p> <p>・下関市立美術館開館</p> <p>・勝見 勝没(グラフィックデザイナー)</p> <p>・「第4回日本文化デザイン会議」(神戸)テーマ「海は広いか、大きいかー神話の海から海洋開発まで」国際文化デザイン大賞 川喜多かしこ、日本文化デザイン賞今日のロボットの概念に多大の影響を与えた、「鉄腕アトム」の手塚治虫、建築家安藤忠雄</p> <p>・渡辺洋治 没60才(建築家)</p> <p>・白井晟一 没78才(建築家芸術院賞受賞者)</p> <p>この年・Gマーク選定商品グッドデザイン大賞「キャノンT50」キャノン株式会社。審査部門を7部門から8部門に再編成</p> <p>・武藤清 文化勲章受章(柔軟構造で日本に超高層ビル時代をひらく)</p> <p>・清家清 紫綬褒章受章(建築家)</p> <p>・'83毎日デザイン大賞 毎日新聞社選定の 葉祥栄「ガラスを用いた一連のデザイン」</p> <p>・東京アートディレクターズ・クラブ(略称ADC)創立30周年記念「アート・ディレクション・ツデー」(講談社)刊行</p> <p>・「日本のインダストリアルデザイン・精緻の構造」日本インダストリアルデザイン協会(JIDA)発売</p> <p>・毎日芸術賞 建築部門磯崎新(つくばセンタービルの設計 茨城県新治郡桜村)</p> <p>・ル・コルビュジェ建築展(東京AXISギャラリー)グリーンコレクション主催</p> <p>・美術館建築ラッシュ、1県1美術館から1市1美術館時代に入る</p> <p>・新しい自動露出方式によるオリンパスOM-4とニコンFA発売</p> <p>・古い建築を手直し、新しい用途に使う建築再生盛ん。新旧継ぎ足しによる神戸市博物館、外観そのままに内部を改装した群馬会館、慶応義塾図書館旧館(東京)倉庫を店舗に改造した六甲パインモール(神戸市)、古い建物を取りこんで改修した賀川豊彦記念松沢資料館(東京)等</p>	<p>洋バレンシア陶磁器ガラス国際見本市と同時開催</p> <p>・「Innovation」誌(米、IDSA)発刊</p> <p>・スリランカデザインセンター設立</p> <p>・日本画家「山口華陽展」(パリ)</p> <p>・東山魁夷展(西独巡回)</p> <p>・Museum of Contemporary Art(通称MOCA)美術館(米 ロサンゼルス)巨大な倉庫を借り切ってオープニング展開催。美術館の中心はその活動にあり、建築物にあるのではないという理念を打ち出したもの(美術館の建物は磯崎新設計)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
<b>1984</b> 昭和59	<p>3月・中華人民共和国特許法成立(昭60.4.1施行)</p> <p>4月・ペーパレス計画開始</p> <p>5月・実用新案法中改正(5.1法律第23号8.1施行)</p> <p>●実用新案法中改正(5.1法律第24号附則7.1施行)</p> <p>●特許特別会計(5.1法律第24号)(特許特別会計法附則5条による改定7.1施行)</p> <p>●特許法中改正(5.1法律第23号8.1施行)</p> <p>●特許法中改正(5.1法律第24号附則7.1.1施行)</p> <p>●商標法中改正(5.1法律第23号8.1施行)</p> <p>●商標法中改正(5.1法律第24号附則7.1.1施行)(各種手数料等の額の改定及び規定の合理化に関する法律26条による)</p> <p>6月・特許印紙告示(6.1 適用7.1)</p> <p>●特許庁長官(58代)志賀学(6.19)</p> <p>7月・特許特別会計スタート(7.1)</p>	<p>4月・審査長 関口一雄(4.1)</p> <p>●日本書籍出版協会は、ただどりコピーを防ぐため「集中的権利処理機構実行委員会」(委員長、服部敏幸講談社会長)を発足。文化庁長官の私的諮問機関「著作権の集中的処理に関する調査協力会議」が、昭和59年4月「集中的権利処理機構」の設立を提言したのをうけたもの</p> <p>●著作権法の一部を改正する法律(昭59法律第46号 昭60.1.1施行)著作物の複製物の公衆への貸与に関し、著作物の貸与権を創設するとともに、商業用レコードの公衆への貸与について実演家、レコード製作者に一定期間商業用レコードの貸用権および報酬請求権を創設する。また私的使用のため複製について、公衆使用目的で設置されている自動複製機器の使用の制限、当該機器を使用させた者の責任を定める</p> <p>5月・意匠法中改正(5.1法律第23号8.1施行)</p> <p>●意匠法中改正(5.1法律第24号附則8.1施行)</p> <p>6月・意匠法施行規則中改正(6.29通商産業省令第44号7.1施行)</p> <p>7月・福岡高裁が音楽著作権をめぐる全国初の「カラオケ訴訟」で、営利目的の演奏にあたるとしてスナック経営者に著作権使用料の支払いを命じる判決</p> <p>10月・文化庁の著作権審議会第7小委員会データベース分科会が、コンピューター利用の情報検索システム「データベース」の著作権保護を法改正により明示すべきと中間報告</p> <p>11月・日本ビデオ協会は海賊版販売や無断レンタルに対する自衛のため、監視、摘発機構を設立</p>	<p>1月・国連食糧農業機関アフリカの飢餓状況発表</p> <p>2月・米、スペースシャトル飛行士命綱なしの宇宙遊泳に成功</p> <p>●大沢商会倒産</p> <p>3月・マミヤ工機倒産</p> <p>●グリコ森永事件</p> <p>4月・米国連邦取引委員会、トヨタ自動車とGMの合弁事業を正式認可</p> <p>●雑誌「カメラ毎日」休刊</p> <p>5月・第二電電設立</p> <p>7月・ソ連の宇宙飛行士スベトラーナ・ナビツカヤ女性として初の宇宙遊泳に成功</p> <p>●リッカーマシン倒産</p> <p>●第23回ロスアンゼルスオリンピック開催</p> <p>●ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例(滋賀県)制定(全国で最初の風景条例)</p> <p>●航海中の船に陸上から新聞をファクシミリ電送する日本初の試みが成功</p> <p>9月・名古屋城博(愛知県)</p> <p>●長野県西部地震、死者29人</p> <p>●シラクバリ市長来日、東京都バリ週間を開催、各種催物を行う</p> <p>10月・日本広告審査機構(JARO)創設10周年記念大会開催(東京)広告の自主規制センターとして昭和49年発足</p> <p>●芸能山城組の創立10周年記念公演</p> <p>11月・1万円、五千円、千円の新札登場</p> <p>●電々社のキャプテンサービス開始</p> <p>●利根川進(マサチューセッツ工科大学教授)文化勲章受章</p> <p>12月・英国と中国、1997年に香港返還に調印</p> <p>この年</p> <p>●岡村昭彦没(報道写真家)</p> <p>●昭和59年の創刊誌数は238誌、休廃刊誌が142誌</p> <p>●「オレンジページ」(スーパー・ダイエー</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>●第10回国井喜太郎産業工芸賞(財)工芸財団、高木晃、永原淳、森島紘、中村次雄、特別賞勝見勝</p> <p>●倉庫を、ショールーム、スタジオ、画廊に利用活用流行</p> <p>1月・JAGDA平和ポスター展(東京ストライプハウス美術館)</p> <p>●'83毎日デザイン賞、葉祥栄(建築家)「コーヒーショップ」を中心とする活動に与えられる。ガラスを用いたハイテクなファンタジーが評価されたもの</p> <p>3月・インテリア・コーディネーター資格試験開始</p> <p>●JIDAデザイン会議'84(神奈川大磯プリンスホテル)テーマ「いま、自動車を考える」「日本の自動車はなぜ似ているか」「自動車の理念は今後どうなるか、またどうなるべきか」「これからのデザイナーに求められる役割は何か」講師 中村雄二郎(哲学者明治大学教授)石原俊(日本自動車工業会会長)</p> <p>●「Design scene」発刊(財)国際デザイン交流協会機関誌</p> <p>4月・日本グラフィックデザイナー協会法人化</p> <p>●玄海彫刻の岬恋の浦野美術館開館</p> <p>5月・韓国KSVD交歓展(東京デザイナーズ・スペース 東京六本木)</p> <p>●シンポジウム「グラフィックデザインの国際交流」(赤坂草月ホール)JAGDA主催。講師カート・ヴォネカリット(作家)、筑紫哲也(朝日ジャーナル編集長)、テーマ「なぜ日本の形に興味を持つか?」「日本人文化のインプット・アウトプット」</p> <p>6月・石川県デザインセンター開館。地場産業の活性化を目的「デザイン石川ニュース」発行</p> <p>7月・伊豆の長八美術館開館(静岡県松崎)石山修設計</p> <p>●追悼 勝見勝展(東京六本木アクシス)</p> <p>8月・「20世紀彫刻の展望ーロダンからクリストまで」滋賀県立近代美術館開館第1回展</p> <p>●建築家ブルーノ・タウトのすべて展(大阪国立近代美術館)</p> <p>●国際デザイン・キャンプ'84ー松本(長野県松本勤労者福祉センター)国際デザイン交流協会主催(第1回デザインイベント)講師、ドナルド・キーン(コロンビア大学教授)、ルイジ・コラーニ等</p> <p>9月・再体験60年代(東京六本木アクシス)1960年代をグラフィック・SD・パフォーマンス等8つの展示会を通して追体験する企画</p> <p>●国際ガラス工芸展(金沢産業展示館)</p> <p>10月・フランクロイド・ライト展(千駄ヶ谷GAギャラリー)ドローイング約50点</p> <p>●日米ジョイント・シンポジウム「インフォメーション・コンピュータ&amp;デザイン」(大阪万国博ホール)大阪芸術大学主催 イリノイ大学協力。テーマ「高度情報社会におけるデザイン」「インターアクティブ・コミュニケーション」「問題解決におけるコンピュータ利用」講師 出原栄一、栄久庵憲司、向井周太郎、吉岡道隆、ジョン・シャーリー・ブラウン等</p> <p>●デザイン30年の歩みと小杉二郎の軌跡展(東京芸大芸術資料館)</p> <p>●パリの眼ーブラッサイ写真展(有楽町朝日ギャラリー)</p> <p>11月・MADE IN JAPAN展(Axisギャラリー)日本の各メーカーの主に海外向け仕様や世界共通仕様の製品約100点を展示</p> <p>●日本建築家協会70周年記念大会(全国都市会館)</p> <p>●現代日本美術の展望シリーズ「グラフィックアートとデザイン展」(富山県立近代美術館)</p> <p>●村野藤吾 没93才(建築家)</p>	<p>4月・丹下健三、フランス芸術アカデミーの外国人終身会員に日本人で初めて選ばれる。</p> <p>5月・仏、文化省、フランス・デザイン振興機関設立(Agerce pour la promotio de la creation industrielle)仏産業界およびデザイナーのための情報提供、コンペの実施などを行なう</p> <p>7月・米、総合デザイン誌「Industrial Design」誌は1984年718号で、第30回IDデザイン・レビューを特集。ファーニッシング部門最優秀賞、喜多俊之kickテーブル受賞、他に石岡瑛子、Nobt Non Utsumiを選定</p> <p>8月・日本のデザイナー伝統と現代(モスクワ・ソ連美術家同盟中央作家会館の特別ホール約2500㎡)西武流通グループ企画。田中一光、吉田光邦、栄久庵憲司、小池一子などの選定で衣食住遊、工業デザインの各部門から2,000点の作品を集め、デザインからみた日本の文化を紹介</p> <p>10月・APAパリ展ー日本の広告写真1922ー83(パリ国立広告美術館)日本広告写真家協会(会長 中村正也)主催</p> <p>●日本のグラフィックデザイナー12人展(パリ)テーマ 伝統と技術 凸版印刷会社の自主企画。日本のデザインと印刷技術を示す文化事業として開催。浅葉克己、粟津潔、福田繁雄、早川良雄、石岡瑛子、亀倉雄策、勝井三雄、永井一正、中村誠、杉浦康平、田中一光、横尾忠則、12人のデザイナーによる</p> <p>11月・第1回エルゴデザインシンポジウム(スイス・モントル市)。テーマ デザインとエルゴノミクスの統合、展示会と国際シンポジウム、Ergodesign'84賞 Rourd Office社のオフィス・システム、Nixdort コンピュータ社のディスプレイ・ユニットとキーボード等8社8点が受賞</p> <p>12月・コシノヒロコ(服飾デザイナー)中国でファッションショー</p> <p>この年</p> <p>●1984年デンマークID賞、デンマーククラシック・デザイン賞(デンマーク・デザイン協議会主催)、第1回目のデンマーク・クラシックデザイン賞 The ANTチェアー(D.Arne Jacobsen)</p> <p>●「Desigr Issue」発刊、イリノイ大学</p> <p>●ハイテクノロジー応用の日本製変身ロボット「トランスフォーマー」米国でヒット</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			系)「こっこんぼけっと」(三菱商事系、ヤクルト販売員が配布)等非出版社による雑誌創刊 <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオテクノロジー第3のブーム</li> </ul>
<b>1985</b> 昭和60	<p>4月・特許技監 梅田勝(4.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業所有権制度100周年記念式典(国立劇場)(4.18)</li> </ul> <p>5月・「半導体集積回路の回路配置に関する法律」(半導体集積回路配置法)成立  特許法中改正(5.28法律第41号11.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(5.28法律第41号11.1施行)</li> <li>商標法中改正(5.28法律第41号11.1施行)</li> </ul> <p>7月・特許庁長官(59代)宇賀道郎(7.1)</p> <p>12月・(財)工業所有権協力センター(IPCC)設立。半導体チップの登録業務等を行う</p>	<p>4月・審査長 伊藤隆夫(4.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠ペーパレス計画開始。意匠機械検索システム開発開始</li> </ul> <p>5月・意匠法中改正(5.28法律第41号11.1施行)補正後の意匠についての新出願の規定</p> <p>10月・意匠法施行規則中改正(10.30通商産業省令第45号11.1施行)  意匠登録令中改正(10.29政令第287号附則11.1施行)</p> <p>11月・ヨーロッパの意匠保護制度視察(特許庁意匠課長池田和美)</p> <p>12月・意匠法施行規則中改正(12.11通商産業省令第74号)</p> <p>この年・特許庁審査第一部に意匠審査事務機械化プロジェクトチーム設置  意匠機械検索システムの開発スタート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本レコード協会と日本レコードレンタル商業組合の間で協定締結。レンタル業者はレコードを貸し出す毎に製作会社に使用料を支払、5年ぶりに決着</li> </ul>	<p>1月・両国国技館完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本初の人工惑星「さきがけ」打上げ</li> </ul> <p>旭硝子「調光ガラス」開発。通電により光の透過率が85%から10%迄変化</p> <p>2月・文化庁長官三浦朱門(作家)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電電公社、日立製作所、日本電気が各々に開発した1メガビットの超LSI(高密度集積回路)を米サンフランシスコの国際固体回路会議(ISSCC)で発表。</li> <li>小西六写真工業、百年間色と画像の変化しないカラー印画紙を発売</li> </ul> <p>3月・ワールドインポート・フェア・ナゴヤ(愛知県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京上野新幹線駅開業</li> <li>日本世界一の工業製品輸出国に(ガット'84年次報告)</li> </ul> <p>4月・世界初の放送大学第1期受入れ(電波時代の新しい生涯高等教育機関)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本電信電話株式会社(NTT)、日本たばこ産業株式会社発足</li> <li>青葉祭(仙台市)伊達政宗没350年祭</li> <li>「ファインボーイズ」創刊 男性ファッション誌</li> </ul> <p>5月・日本貨物航空、日本初の国際貨物専門定期航空会社第1便を就航</p> <p>6月・米、半導体業界、日本メーカーを通商代表部に提訴。設備投資、販売価格面で不公平をもたらした米国メーカーに損害を与えたとの理由  ヨーロッパ共同体(EC)首脳会議。日本の貿易黒字と市場閉鎖性を非難。いっそうの対応策を求める共同コミュニケを採択して閉幕</p> <p>8月・三光汽船倒産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日航ジャンボ機墜落</li> <li>日本人宇宙飛行士決定(内藤千秋(女性)含む3名)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>この年・Gマーク、選定商品・対象商品部門を13部門へと拡大、外国商品の申請手続を簡素化、グッドデザイン外国商品賞、グッドデザイン中小企業商品賞創設調査勧誘制度を拡充。グッドデザイン大賞(ホンダシビツク3ドアハッチバック251) 本田技研工業株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県産業デザイン振興会発足</li> <li>第一回カメラグランプリ ニコンFAが受賞</li> <li>84朝日賞 グラフィックデザイナーの亀倉雄策(現代日本のデザインを世界的水準に高めた功績による)</li> <li>ポストモダニズムの公共建築ブーム</li> <li>藤沢市秋葉台文化体育館(神奈川県)植文彦設計</li> <li>彫刻のある街づくり運動各地で推進</li> <li>東京都第1回文化賞 前川国男(都文化会館、美術館の設計による)</li> <li>「現代日本美術の展望グラフィックアートとデザイン」(富山県立近代美術館)</li> <li>ヨゼフ・ボイス、西武美術館の個展を機に来日し、ビデオ作家、ナム・ジュン・パイク(東京都美術館個展)との討論会を行う</li> <li>デジタルテレビ、高品位テレビ、ポケット型カラー液晶テレビ、壁掛けタイプのテレビ、超小型CDプレイヤー、カメラ一体型VTR、音声付き時計等新製品でまわる</li> <li>どんびえ(日軽金)アイスクリーム製造器ヒット</li> </ul>	<p>3月・「夢と現実-ウィーン 1870-1930」展(ウィーン、キュンストラーハウス)芸術家と学者を多数輩出した時代のウィーンの総合展</p> <p>4月・中村乃武夫(服飾デザイナー)きものショー開催(米 ポストン美術館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>君島一郎(服飾デザイナー)ファッションショー開催(中国)</li> </ul> <p>6月・コシノジュンコ(服飾デザイナー)ファッションショー開催(中国 北京)</p> <p>8月・ICSID(国際インダストリアルデザイン団体協議会)、第14回総会および世界デザイン会議Worldesign'85(米 ワシントンDC)、1989年のICSID総会会議を名古屋で開催と決定</p> <p>10月・ベルギーデザインセンターのJosine de Cressonnières女史没。1963-1977、理事としてICSID(国際インダストリアルデザイン団体協議会)の組織づくりに貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本インダストリアルデザイン展(東独、ベルリン)東ドイツデザイン庁主催。日本産業デザイン振興会、日本インダストリアルデザイナー協会が協定し、7点のGマーク商品の展示と日本のデザイン活動をパネルで紹介</li> </ul> <p>11月・日中デザイン交流「ふだん着のファッションショー」(中国 上海)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴールデンアイ展(米 ニューヨーク、クーハーウィットミュージアム)。デザインを通してインドを知る展覧会</li> </ul> <p>12月・パブリックデザイン'85(西独フランクフルト市)</p>
<p>1月・建築家ブルーノ・タウトのすべて(朝日生命ギャラリー)武蔵野美術大学主催</p> <p>2月・第25回世界のグッド・デザイン展-ゆたかな生活用具(大阪府神百貨店8Fホール)大阪府立貿易館、日本貿易振興会大阪本部主催、大阪府海外デザイン調査団が昭和59年秋シカゴ、ニューヨーク、ロンドン等で収集のビジネス用品マタニティ用品等展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回国際ファッション博(池袋サンシャインシティ)インターフェックス実行委員会主催</li> <li>ハイテクノロジーアート国際展'85(渋谷西武百貨店)フジテレビジョン主催</li> <li>ミノルタ世界初の本格自動焦点1眼レフカメラ「α-7000」発売</li> </ul> <p>3月・日韓建築士交流促進覚書調印(日本建築士連合会と韓国建築士協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌「PORTFOLIO」(誠文堂新光社)創刊</li> <li>科学万博一つくば'85(茨城県筑波)開催</li> <li>つくば写真美術館'85(茨城県筑波)開催。「パリ・ニューヨーク・東京展」(茨城県つくば写真美術館'85)開催。ギャラリー・ツァイト・フォト・サロン(東京)収集による写真史初期からの内外作品450点展示。三都市の歴史と写真の歴史を併せた企画</li> <li>国際デザインシンポジウム(神戸国際会議場)(財)国際デザイン交流協会主催</li> </ul> <p>4月・「'85鳴門ピアワールドフェスティバル」テーマ 共に躍動の未来へ(大鳴門橋の完成を記念して開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日米デザインマネージメント会議(東京プレスセンターホール)JIIDPO+DMI主催</li> <li>「地場産業デザイン高度化特定事業」、はじまる。通産省による中小企業のデザインマネージメント導入促進事業(初年度大内塗漆器振興協同組合)</li> <li>大阪デザインオフィスユニオン(わが国唯一のデザイン事務所の協同組合)創立10周年記念式典。記念誌発刊</li> <li>東京ファッション協会設立(会長 五島昇)ファッション関連企業119社結集「東京をファッションの中心に」を課題</li> <li>ルイジコラーニ講演会「デザインビジネスの未来」開催(新宿紀伊国屋ホール)</li> <li>国際標準化機構(ISO)技術委員会シンボル分科会。非常ロサインの世界共通化として、日本で使用の非常ロサイン(正規名称非難口誘導灯、同標識)を採用することを内定</li> </ul> <p>6月・昭和60年度第6回日本デザイン学会春季大会 テーマ「木」と人間のかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口7千人の北海道上川郡東川町が「写真の町」宣言。8月に第1回東川町国際写真フェスティバル(略称フォト・フェスタ'85)開催(以後毎年開催)。テーマ「人間讃歌・自然讃歌」記念講演、シンポジウム等を行う。海外作家賞 ジョール・スタンプエルド(米)、国内作家賞 須田一政、田原桂一、特別賞 志賀芳彦</li> </ul>	<p>この年・オリンパス光学工業、バラグアイで偽ブランドカメラの販売会社数十社に対し、販売停止の訴訟をおこす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近代日本洋画展(伊ベネチア ケルン)国際交流基金が国公立美術館の協力を得て高橋由一から香月泰男まで90点を展示</li> <li>日本前衛美術の展開1945-65展(英 オックスフォード)</li> <li>「具体-行為と絵画」展(ユーゴスラビア、スペイン)</li> <li>CONTINUUM'85-日本現代美術展(オーストラリア)銀座の12の画廊が共同主催</li> <li>現代日本画展(仏 パリ)ワコール、京セラ主催</li> <li>「WORLDDESIGN'85」開催(ボイラープロジェクト)。NATIONAL Characteristics in Design展(英 ロンドン)</li> <li>米、カリフォルニア州のアートセンターカレッジ・オブ・デザインにトヨタ自動車㈱が100万USドル寄贈</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<p>9月・メキシコ大地震死者8000人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜そごう開店(神奈川)世界最大級の百貨店</li> <li>生活遊園地「つかしん」開園(兵庫県尼崎市)</li> </ul> <p>10月・基盤技術研究促進センター発足</p> <p>11月・家電メーカー各社 全製品に統一品番を付けることで合意し、昭和61年4月から製品包装箱に品番を印刷(家電製品協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロンビア、ネバドデルルイス火山爆発(泥流で死者2万4千人余)</li> </ul> <p>この年・ニューメディア・ファミコンブーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンス</li> <li>貿易摩擦</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「おもちゃ美術館」開館(東京中野)世界の玩具15万点を収蔵</li> <li>黒沢明、映画界で初めて文化勲章授賞</li> <li>レトロブーム</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京重機工業、マイコンで糸調子を管理するコンピュータミン「ザミンSHZ-7000」発表</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>著作権法の一部を改正する法律(昭61.1.1施行)。コンピュータプログラムの保護を盛り込む</li> <li>7月・東京ファッション・デザイナー協議会設立。デザイナー32人が結集。秋冬と春夏の年二回のコレクションを共同で開催(代表幹事三宅一生、幹事川久保玲、松田光弘、山本耀司、やまと寛斎、森英恵)</li> <li>「第1回世界ポスタートリエンナーレトヤマ1985」(富山県立近代美術館)。国際的なポスターの公募展。37カ国から1567点応募。A部門金賞 宇野泰行(平和ポスター)B部門金賞 サイトウ・マコト(商業ポスター)</li> <li>8月・「HIROSHIMA APPEALS」日米平和ポスター展「生存のためのイメージ、アジアエキジビション」(広島美術館)日本グラフィックデザイナー協会主催。広島、ワシントン、ニューヨークなど4カ所で開催</li> <li>9月・信田富夫没(デザイナー)</li> </ul> <p>「イタリア・デザインシンポジウムーポストモダンの行方」(経団連会館)JIDPO, JIDA, JID, 榊高島屋主催。「現代イタリア16人、女性デザイナー展」榊高島屋主催、イタリーインダストリアルデザイン協会(ADI)企画に際し来日した3人のデザイナーが講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「CIフォーラムTOKYO'85」東京都墨田区主催。中小企業の時代に新しい視点から経営問題を考えるシンポジウム</li> <li>「現代デザインの展望ーポストモダンの地平から」(京都国立近代美術館)</li> <li>10月・「第2回国際デザインフェスティバル・国際デザイン展」テーマ「交」(財)国際デザイン交流協会主催。国際デザインコンペティション受賞者 大賞西独のArqeld Knoopのデザイン「メモリー付婦人体温計」国際デザインアワード受賞者Philip Johnson(米の建築家)、Bruno Munari(伊のデザイナー)、Douglas Scott(英のIDデザイナー)、Bang&amp;Oufsen(デンマークの団体)名誉賞司忠(日本産業デザイン振興会長)。第2回国際デザインフェスティバルのイベントとして、「デザインサーカス'85」(EXIBITION)(インターナショナルエキジビションセンターオオサカ)、「デザインフォーラム'85」「デザイナーレ'85」開催</li> <li>ワコールのファッション文化ビル「スパイラル」竣工(渋谷青山)横 文彦設計</li> <li>東京地裁、書体に著作権を認める初判断</li> <li>11月・「東京国際コレクション'86」(有楽町マリオン)朝日新聞社主催。高田賢三、コシノヒロコ、アンジェロ・タルラッチ、フランコ・モスキーノが参加</li> <li>東京ファッション・デザイナー協議会主催の第1回コレクションウィーク(東京代々木特設テント)、デザイナー31人参加</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブルーノ・ムナリー展(東京渋谷こどもの城)1979年の国際児童年の記念事業として計画建築された「こどもの城」のオープニング展として開催</li> <li>第1回「国際デザインフェア'85金沢いしかわ」(石川県産業展示館)。中小企業のデザイン開発力の強化とデザイン高度化を目的に、今年度より通産省、中小企業庁、中小企業事業団により実施。内閣総理大臣賞 大分県山下文明の「敷盆」</li> <li>12月・世界のトップ・アーティスト20人展(赤坂ラフォーレミュージアム)</li> <li>第1回デザイン&amp;コンピューターシンポジウム(大阪朝日生命ホール)</li> <li>この年・地場産業デザイン集会'85(静岡商工会議所)テーマ「地場産業の市場競争力のカギを握るデザインについてどう取り組むべきか」</li> <li>第1回「高知都市美デザイン賞」高知文化振興事業団(昭59.5設立)主催。高知住宅生協「針木東グリーンハイツ」(小谷設計)、高知市寺田寅彦記念館(監修 上田虎介)、五山台モノレール跡地建物およびランドスケープ(GM造園設計事務所)が受賞</li> <li>「毎日ID賞」30回記念、毎日国際IDコンペ発表(毎日新聞社主催)。特選1席 菅原大輔「電子音楽器への提案(課題 日本ビクター)」</li> <li>昭和60年度Gマーク選定商品グッドデザイン大賞 カラーモニター「α-TUBU」TH28-DM03松下電器株。グッドデザイン福祉商品賞創設。身障者用自動洗浄便器シャワートイレDIF(株)INAX、アイシン精機株。Gマーク使用方法改善。グッドデザイン選定商品特別展開始(東京六本木AXIS)</li> <li>国際的デザイナー 里見宗次の在仏65年記念展(東京銀座)</li> <li>一果に一館の博物館美術館時代到来、過去数年間に新しく開館した博物館、美術館は、昭和55年72、昭和56年60、昭和57年89、昭和58年68、昭和60年68館</li> <li>第15回機械工業デザイン賞発表、日刊工業新聞社主催。通産大臣賞「OES 上部消化管汎用ファイバースコープGIF TYPEQ10」オリンパス光学工業株、「富士モノクロスキャナSCANART30」富士写真フィルム株</li> <li>高輪消防署(1934年竣工、越智操 設計)。修繕および復元工事により、高輪消防署二本榎出張所として再生。大阪市の大谷仏教会館(1933年竣工、竹内緑 設計)ファサードの壁面が自立する形で保存</li> <li>「現代デザインの展望」展(京都国立近代美術館)</li> <li>公募展JPC(全日本パロディー大賞展)第9回展を最後に廃止(大賞「無我」)</li> <li>日本デザイン学会が日本学術会議に選挙議席を得る</li> <li>CIブーム、NTT、伊勢丹、三井銀行、森永製菓、キッコーマンなど多くの企業が新しいシンボルマークやロゴタイプを作成し、時代のニーズに見合った企業イメージの確立をめざす</li> <li>インテリジェントアワード設立、インテリジェントアワード推進協議会主催。建設省、NTT後援</li> <li>雑誌「FP」(学習研究社)創刊 デザインビジネスをスローガン</li> <li>黒沢明監督の日仏合作映画「乱」1986年米国アカデミー賞で、衣裳デザイン賞受賞</li> </ul>	

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
<b>1986</b> 昭和61	<p>2月・「実施関連出願の早期審査及び早期審理」制度実施(特実)(2.1)</p> <p>5月・外国弁護士特別措置法成立</p> <p>●弁理士法(5.23号 第66号)外国弁護士による法律事務の取扱に関する特別措置法附則4項による改正</p> <p>7月・特許庁長官(60代)黒田明雄(7.11)</p> <p>●特許庁に国際課を設置</p> <p>10月・AIPPI日本部会創立30周年</p> <p>11月・知的所有権研究会(座長 中山信弘)発足。(通産省政策局長, 特許庁長官の諮問機関)。知的所有権の国際的保護ルールのあり方を検討</p>	<p>2月・Gマーク制度を豪州に紹介するため, 通産省が「グッドデザインミッション」を派遣</p> <p>3月・出版界「集中的権利処理機構」(仮称)を設立。出版社や著作権者の著作権保護のための著作権を一手に保有する</p> <p>●警察庁に「不正商品取締官」設置</p> <p>4月・意匠課長 野口勇(4.1)</p> <p>●審査長 関口一雄(4.1)</p> <p>●審査長 南部さと子(4.1)</p> <p>5月・最高裁でマッド・アマノと, 白川義員の写真著作権裁判パロディ写真訴訟再び差し戻し</p> <p>●コカ・コーラの瓶 英国で商標登録認められず</p> <p>7月・「生活文化フォーラム」通産省生活産業局長の諮問機関である「生活文化と産業を考える懇談会」のメンバーを中心に結成</p> <p>8月・「不正商品対策協議会」東京都内で結成。偽ブランドの監視のための8団体(日本繊維協会, 日本音楽著作権協会, 日本ビデオ協会等)</p> <p>9月・通産大臣が昭和64年度をデザインイヤーとして位置づけたい旨表明</p> <p>●韓国, 知的所有権法を改正, 米国に対し, 特別優遇措置</p> <p>●キン肉マン人形は著作権侵害との判決(東京地裁, テレビ漫画「キン肉マン」に登場するキャラクターを人形にした日商貿易に)</p> <p>●通産省に「ニューオフィス研究会」, 「ニューオフィス推進協議会」設立</p> <p>●米国マテル社と提携のタカラの「バービー人形」契約解消後「ジュニー人形」と改称して販売。新たに, マテル社と提携のバンダイの「バービー人形」が, 「ジュニー人形」と類似するとして提訴, 「バービー人形」の顔をかえることで決着</p> <p>●イサム・ノグチ, 照明器具(ちょうちん型)用の傘の意匠権侵害訴訟に勝訴。岐阜地裁判決</p> <p>この年・特許庁新総合庁舎建設のため, 本庁舎7月から解体。意匠課はアーク森ビルに移転</p>	<p>1月・米, スペースシャトル爆発事故(乗員全員死亡)</p> <p>2月・次世代の大容量記憶素子4メガビットメモリー日本電気と東芝が開発</p> <p>●放送衛星「ゆり2号B」打上げ</p> <p>●長寿世界一泉重千代没120才</p> <p>3月・ハレー金星接近</p> <p>4月・天皇在位60年記念式典。11月に10万円金貨と1万円銀貨発行</p> <p>●ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故</p> <p>●男女雇用機会均等法施行</p> <p>5月・東京サミット開催</p> <p>●英, チャールズ皇太子・ダイアナ妃来日</p> <p>6月・横浜人形の家開館(横浜)。92カ国3,149体の人形を収蔵, 展示</p> <p>7月・光通信で300キロの超遠距離 無中継送信に日本電気が成功</p> <p>8月・わが国初の水素液体燃料ロケット「H-1」打上げ成功</p> <p>●「人間路上会議」(安田生命ホール)人間道路会議, NHK文化センター共催テーマ「道が運ぶもの・創るもの」講師 栄久庵憲司, 大川悠, 藤森照信他</p> <p>9月・社会党新委員長に土井たか子選出</p> <p>●IAEA総会で原発事故に関する国際条約採択</p> <p>10月・NTT株人気沸とう</p> <p>11月・三原山(三宅島)噴火, 全島民避難</p> <p>●三菱高島鉱山閉山</p> <p>●巨大加速器「トリスタン」電子と陽電子の衝突実験に成功</p> <p>この年・地下鉄博物館(東京), ガスの科学館(東京, 大阪)等の企業運営の博物館が開館</p> <p>●路上観察学会誕生</p> <p>●レトロブーム続く</p> <p>●男性ファッション誌あい次ぎ創刊(「JJボーイズ」「メンズノンノ」等)</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>1月・日本での海外ブランドの商標登録防止のための出願速報を欧米の商工団体に公表することを特許庁が決定</p> <p>2月・JIDAデザイン会議'86-高度情報社会とデザイン(横浜 ザ・ホテルヨコハマ)JIDA主催</p> <p>●カナダの試験データをもとにカナダ製湯沸かし器, 通産省から型式承認を獲得(貿易不均衡是正のひとつとして, 政府は許認可の簡素化を推進)</p> <p>●「高齢者, 身障者のための配慮住宅」展示場オープン(長野県松本市)。通産省が新住宅開発プロジェクトの一つとして, 昭和57年から研究してきたもの実用化第1号</p> <p>3月・世田谷美術館開館(東京)</p> <p>●季刊誌「グラフィックデザイン」第100号の発刊をもって休刊</p> <p>●神戸芸術工科大学(63年春開校予定)10%の留学生受け入れを発表</p> <p>●原 弘没 82才(日本におけるエディトリアルデザインの先駆者, 日本デザインセンターの設立者の1人)</p> <p>●ツイン21(大阪市)竣工。この頃インテリジェントビル。大阪海上火災保険本社ビル(東京神田昭59.3), 三井二号館(東京日本橋昭60.2), アーク森ビル(東京赤坂昭61.3)等あい次竣工</p> <p>4月・新都庁舎(シティホール)設計。丹下健三都市建築設計研究所に決定</p> <p>●エルゴデザイン研究開発機構設立(1984年スイスで生まれた「Ergo-design」の協力と名称の使用許可を得発足)。7月に機関研究誌「ERGO-DESIGN」創刊, 第1回エルゴデザインシンポジウム(東京プレスセンターホール)開催</p> <p>5月・「地方デザイン交流会議'86福山」(広島県福山市福山グランドホテル)。テーマ「地方デザインの自立 そしてネットワークへ」。通産省, 産業デザイン振興会の後援(昭和50年始動)の「地方産業デザイン推進事業」今年度終了するのを機に企画(地方における総合的なデザイン振興のあり方を追求し, 作り手と売り手の新しい関係づくりをねらう)</p> <p>●国立劇場設計競技審査会 最優秀 竹中工務店榎柳沢孝彦(国立施設の設計では初めて外国人建築家の参加を認めた)</p> <p>●JAGDAシンポジウム「グラフィズム・日本再発見」(東京赤坂草月ホール)</p> <p>6月・日本自転車工業会デザイン保全登録制度スタート</p> <p>●黒川紀章フランス建築アカデミーから'86年度建築大賞(ゴールドメダル)受賞</p> <p>●'86ディスプレイ年賞日本ディスプレイデザイン協会主催, 朝日新聞社後援。最優秀賞, 朝日新聞社賞 東京六本木アーク森ビル側面巨大時計のデザイン「ジャイアントウォッチプロジェクト」(ビデオプロモーション国際ナショナル)</p> <p>●前川国男没(建築家)</p> <p>7月・隔月誌「インテリアスペース」創刊</p> <p>●「ハイテクノロジーアート国際展'86」(東京, 池袋サンシャイン)</p> <p>●大手繊維関連企業で構成する繊維意匠共助会が創立50周年記念事業として今秋, 東南アジア地域のデザイナーを対象に, テキスタイルデザインコンクールの開催を決定</p> <p>9月・デザイン誌「ICON」創刊</p> <p>●「近代の見なおし-ポストモダンの建築1960-1968展」(東京国立近代美術館)</p> <p>●平和ポスター日本とアメリカ展(東京銀座松屋)</p> <p>●「デザインニューウェーブ'86-都市・住居・椅子」(東京銀座松屋)</p> <p>10月・埼玉デザイン協議会(SADECO)設立</p> <p>●JAGDAコンピュータシンポジウム(東京ABC会館ホール)。テーマ「感性の手となるコンピュータグラフィックス」</p> <p>11月・アルヴァ・アアルト-家具とガラス展(東京六本木, アクシスギャラリー)</p>	<p>1月・日本光学の35ミリ眼レフカメラ「ニコンF-301」英の有カカメラ雑誌「カメラウィークリー」のカメラ・オブ・ザ・イヤー1986賞 及び1眼レフカメラ部門賞を受賞</p> <p>●米の代表的自動車専門誌「モータートレンド」の1986年度インポート・カー・オブ・ザ・イヤーに, マツダの新型サバンナRX-7が選定</p> <p>2月・ミス・ファン・デル・ローエ生誕100年記念展開催(米ニューヨーク近代美術館)</p> <p>4月・コーク展(英ロンドン)ボイラーハウプロジェクト</p> <p>6月・桂由美(服飾デザイナー)プライダグショー 開催(中国北京, 新中国成立後初めての婚礼ショー)</p> <p>●米, フォード社「スコルピオ」カー・オブ・ザ・イヤーヨーロッパントロフィー</p> <p>7月・ウィーン1900-美術・建築・デザイン展(ニューヨーク近代美術館)</p> <p>●カナダ交通博覧会EXPO'86</p> <p>●レイモンド・ローウィ没(たばこ「ピース」をデザイン)</p> <p>8月・米国工業デザイナー協会による86年度工業デザイン優秀賞日産自動車(米国で販売のニッサントラック(国内呼称ダットサントラック)受賞)</p> <p>9月・エレクトロ・ガリバーの冒険-電力館」電気事業連合会が参加主体の科学万博一つくば'85の照明プロデュース石井幹子, 北米照明学会「最優秀賞」受賞</p> <p>●富士重工はデザイン開発を目的にカリフォルニア州, スバル・テクニカルセンター内に「スバル・リサーチ・アンドデザイン会社」を設立</p> <p>●日産自動車, 今秋発売新型乗用車「バルサー・エクサ」「フェアレディ」のデザインを米国のニッサンデザイン・インターナショナル(NDI)で行う</p> <p>10月・東芝, スウェーデンストックホルム市に本社初のLSIデザインセンター開設。順次現地技術者を増す方針</p> <p>11月・GKインダストリアルデザイン研究所, オランダのアムステルダムに現地資本と合弁で産業デザインの新会社「グローバル・デザイン」を設立</p> <p>12月・「前衛芸術の日本1910-1970」展(仏ジョルジュポンピドーセンター)。国際交流基金が現代日本を伝えるためにヨーロッパで開催の「JAPANSTYLE展」「江戸展」「日本近代洋画展」等と一連のもの。(日本文化がたどった道を, 造形芸術中心に総合的に展覧)。「スバル360」「キャンホンL-1」「ニコンF」「松下電器のステレオ飛鳥」「東芝電気釜ER-4」等)</p> <p>●現代美術館(MOCA)開館(米 ロサンゼルス)磯崎新設計</p> <p>この年・東大寺展(米, シカゴ)</p> <p>●鉄斎展(中国, 北京)</p> <p>●伊, デザイン誌「Design Review」創刊</p> <p>●南米でニコン, オリンパス偽ブランド製品出まわる</p> <p>●ユーゴスラヴィア, イスクラ社の電話機, 米国等で模倣品出まわる</p> <p>●伊, アルテミデ社と日本, ヤマギワ, 西武百貨店の二社は, 合弁会社「髯アルテミデ」創立。アルテミデ社とヤマギワの協力によりデザイン開発を行なう</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
<b>1987</b> 昭和62	<p>1月・特許技監小花弘路(1. 1)</p> <p>5月・実用新案法中改正(5. 25法律第27号優先権証明書の提出期限、無効審判の除斥期間の廃止、手数料等の改定及び審判請求の取下時期に関係した改正規定は昭62. 6. 1施行、国際出願の翻訳文の提出期限の延長に関係した改正規定は昭62. 12. 8施行、その他は昭63. 1. 1施行)</p> <p>●商標法中改正(5. 25法律第27号6. 1施行)</p> <p>●特許法中改正(5. 25法律第27号優先権証明書の提出期限、無効審判の除斥期間の廃止、手数料等の改定及び審判請求の取下時期に関係した改正規定は昭62. 6. 1施行、国際出願の翻訳文の提出期限の延長に関係した改正規定は昭62. 12. 8施行、その他は昭63. 1. 1施行)</p> <p>6月・特許庁長官(61代)小川邦夫(6. 23)</p> <p>10月・欧州・特許条約機構発足10周年</p> <p>11月・商標登録累積200万件突破。明治17年に商標登録制度がはじまってから、11月20日迄に商標登録が累積200万件に達した</p>	<p>5月・意匠法中改正(5. 25法律第27号6. 1施行)優先権証明書の提出期限、無効審判の除斥期間の廃止、手数料等の改定及び審判請求の取下時期に関係した改正規定は昭62. 6. 1施行、国際出願の翻訳文の提出期限の延長に関係した改正規定は昭62. 12. 8施行、その他は昭63. 1. 1施行)</p> <p>●意匠法施行規則中改正(5. 29通商産業省令第37号6. 1施行)</p> <p>6月・写真著作権裁判。「パロディー訴訟」は、2度目の差し戻し控訴審の東京高裁民事6部で、昭62. 6. 16アmano氏側が著作権の侵害を認め、慰謝料40万円を払うことで和解が成立</p> <p>7月・通商産業省「検査デザイン課」を、「検査デザイン行政室」と変更</p> <p>●韓国著作権法改正。特別法としてコンピュータプログラム保護法制定(7. 1施行)</p> <p>9月・輸出検査及びデザイン奨励審議会に対し「1990年代のデザイン政策のあり方」を諮問</p> <p>10月・韓国万国著作権条約に加入(10. 1発効)</p> <p>12月・東京地裁は、著作権侵害を理由に、故藤田画伯夫人から出された、美術史家シルジー・ビュイッソン夫妻著「レオナルド・ツグハル・フジタの生涯と作品」(東京六本木日本美術出版)に対する、輸入販売の差し止めの仮処分申請を、全面的に認める</p> <p>●意匠登録令中改正(12. 4政令第391号63. 1. 1施行)</p>	<p>1月・米・マサチューセッツ工科大グループ設計のペダル式人力飛行機、59. 5kmを2時間13分で飛び、世界記録更新</p> <p>2月・国鉄のリニアモーターカー、宮崎の実験センターで、有人走行では世界最高の時速400. 8kmを記録</p> <p>7月・NHKの24時間衛星テレビ放送開始、受信世帯14万</p> <p>10月・国土庁「東京臨海部開発の基本方針」まとめる</p> <p>●竹下内閣成立</p> <p>●'87年ノーベル物理学賞、セラミックス高温超伝導体発見のペドノルツ、ミュラー両博士、化学賞、米カリフォルニア大のクラム教授ら3人に</p> <p>11月・利根川進博士、ノーベル医学生理学賞受賞</p> <p>●大韓航空機、乗客乗員115人を乗せペルマ沖で消息を断つ</p> <p>この年・超電導物質開発競争さかん。1月 日本の電子技術総合研究所で、絶対温度54°(マイナス219℃)で超電導となるセラミックスを開発。つづいて絶対温度46°(マイナス227℃)で超電導となる新セラミックスを開発。2月 米国アラバマ大の研究者が絶対温度98°(マイナス175℃)で超電導となる酸化物を発見。4月 東芝は絶対温度87°(マイナス186℃)で超電導となるセラミックスと線材を加工することに成功</p> <p>●NIES(NICS)の模倣製品の流入問題深刻化。東南アジア中心に、テレビ用卓上アンテナの模倣品(台湾製品)出まわる。時計の模倣品(台湾製品)や、チームデミ(プラス社の文具)の模倣品500万個が、米国で出まわる</p> <p>●首都圏で地価高騰</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>●「21世紀意匠フォーラム」代表清家清 東工大名誉教授 初会合。21世紀に向けてのデザイン保護のあり方について提言し、意匠保護制度の見直しなどを求める</p> <p>●「チームデミ」台湾製模倣品出まわる</p> <p>12月・名古屋で財団法人世界デザイン博覧会協会発足。会期 平成元年7月～11月 会場名古屋市内白鳥、名古屋城、名古屋港の三会場。テーマ「ひと・夢・デザインー都市が奏でるシンフォニー」</p> <p>●Gマーク30年記念展・シンポジウム(東京ラフォーレミュージアム飯倉)開催。Gマークバイヤーズカタログ発刊 昭和61年度Gマーク選定商品グッドデザイン大賞オフィスシステム「Trygonシリーズ」(鶴稲葉製作所)</p> <p>●「チームデミ」発売元のプラス社、セット物文具を矢継早に発売</p> <p>この年・昭和61年度日本機械学会賞技術賞 トヨタ自動車の「スタイリングCADシステムの開発」</p> <p>●世界最大の43型ブラウン管(松下電器)、40型ガス放電超薄型カラースクリーン(日立)開発</p> <p>●オリンパスカメラの模倣品、ブランド時計の模倣品出まわる</p> <p>●CD普及</p> <p>●この年より「現代デザイン事典」平凡社刊行(監修 勝井三雄、田中一光、向井周太郎)</p>	<p>2月・日本広告写真展'86展(米、カリフォルニア・アートセンターカレッジオブデザイン)開催</p> <p>●ソニー、デザインセンターを西独シュトゥットガルトに設置</p> <p>●英国に「The society of designers」設立(インダストリアルデザイナー協会(SIAD)の名称変更)</p> <p>●アンディ・ウォーホール(米)没58才(ポップアートの旗手、画家、映画製作者)</p> <p>4月・生活消費資財見本市「第78回フランクフルターメッセ」(西独)で、日本の文具メーカー、プラスの「ハーフタイムクラブ」(食器セット)と「ファクトリー」(文具セット)、「デザイン・プラス賞」受賞</p> <p>●ニューヨークのメトロポリタン美術館に、1000平方メートルの日本美術ギャラリー開館、1万5000点の日本の美術品を所蔵</p> <p>5月・仏で美術史家シルジー・ビュイッソン夫妻著「レオナルド・ツグハル・フジタの生涯と作品」の出版権をめぐる(故藤田画伯夫人提訴の出版差し止め事件、ベルサイユ裁判所、芸術作品に対する一般国民の共有権を認定、著作権の侵害に当たらないと出版を認める判決)</p> <p>11月・ゴッホ「アイリス」ニューヨークのサザビーで競売。72億円の市場最高値で落札</p> <p>この年・我が国の偽ブランドカメラ中南米で出まわる</p>
<p>1月・田中一光展ーデザインのクロスロード(東京 西武美術館)</p> <p>●第30回陶磁器デザインコンペティション発表展(滋賀県信楽伝統産業会館)(財)日本陶磁器意匠センター、(財)日本産業デザイン振興協会、テーマ「陶磁+異素材」。デザイン大賞 CUP KIT 小松誠、小松順子</p> <p>2月・British Design展(六本木AXISギャラリー)(財)日本産業デザイン振興会、英国デザイン協議会(The Design Council)の協力によるデザイン商品の紹介</p> <p>3月・東京芸術大学の奏楽堂、移築落成(東京 上野)</p> <p>●ゴッホの代表作「ひまわり」ロンドンで競売。安田火災、約53億円で落札</p> <p>4月・ミース・ファン・デル・ローエ生誕100年展(日本建築学会建築会館ホール)日本建築学会、東京ドイツ文化センター等主催</p> <p>●日本陶磁器意匠センター、台湾区裝飾陶磁輸出業同業公会(台湾の陶磁器業界団体)との間で、陶磁器意匠(デザイン)保護模倣防止の取り決めに基本的合意</p> <p>●拓大工学部工業デザイン学科開設</p> <p>●宝塚造形芸術大学開設</p> <p>7月・雑誌「日経デザイン」日経マグローヒル社創刊</p>	<p>●英国に「The society of designers」設立(インダストリアルデザイナー協会(SIAD)の名称変更)</p> <p>●アンディ・ウォーホール(米)没58才(ポップアートの旗手、画家、映画製作者)</p> <p>4月・生活消費資財見本市「第78回フランクフルターメッセ」(西独)で、日本の文具メーカー、プラスの「ハーフタイムクラブ」(食器セット)と「ファクトリー」(文具セット)、「デザイン・プラス賞」受賞</p> <p>●ニューヨークのメトロポリタン美術館に、1000平方メートルの日本美術ギャラリー開館、1万5000点の日本の美術品を所蔵</p> <p>5月・仏で美術史家シルジー・ビュイッソン夫妻著「レオナルド・ツグハル・フジタの生涯と作品」の出版権をめぐる(故藤田画伯夫人提訴の出版差し止め事件、ベルサイユ裁判所、芸術作品に対する一般国民の共有権を認定、著作権の侵害に当たらないと出版を認める判決)</p> <p>11月・ゴッホ「アイリス」ニューヨークのサザビーで競売。72億円の市場最高値で落札</p> <p>この年・我が国の偽ブランドカメラ中南米で出まわる</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●円の最高値更新続く</li> <li>●ニューヨーク株式市場で508ドル安の史上最大の暴落</li> <li>●東芝ココム違反事件</li> <li>●日本の総人口約1億2千140万</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化功労者岩崎俊一東北大学教授、磁気テープやディスクの磁気記録方式の高密度化で業績。とくにメタルテープの発明、垂直磁気記録方式の開発</li> </ul>
1988 昭和63	6月・特許庁長官(62代)吉田文毅(6.14) 110月・発送事務機械化(V2)のために起案用紙OCR化	3月・意匠登録出願の早期審査及び早期審理の制度を試行的に実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>●「輸出検査及びデザイン奨励審議会」が「1990年代のデザイン政策」を答申。通商産業省として、昭和64年度を「デザインイヤー」と位置づけ、運動を強力に支援していく旨決定</li> </ul> 4月・意匠課長 伊藤隆夫(4.1) <ul style="list-style-type: none"> <li>●審査長 青木良雄(4.1)</li> </ul> 10月・発送事務機械化(V2)のために起案用紙OCR化	
1989 昭和64 平成元年	この年・特許庁 新庁舎完成	3月・意匠審査基準「法第15条・パリ条約による優先権主張の手続」を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>●意匠分類一部改正、改正「意匠分類一覧表」発行</li> </ul> 4月・日本特許協会意匠委員会「海外主要国意匠出願マニュアル」 <ul style="list-style-type: none"> <li>●東京高判平成 1. 4. 27昭和63(行カ)250「額縁用枠材」分割</li> </ul> 6月・大阪地判平成 1. 6. 19昭和62(ワ)8143「弁当箱」  11月・意匠制度委員会「意匠制度検討委員会中間報告書」発表、「意匠登録1年化計画(略称「DR1計画」)」の策定・実行 <ul style="list-style-type: none"> <li>●(総理府)内閣総理大臣官房広報室「デザインに関する世論調査」(世論調査報告書平成元年11月調査)</li> </ul> この年・意匠制度100周年、「意匠制度100年の歩み」編纂 <ul style="list-style-type: none"> <li>●意匠総合DBサービス開始、全意匠公報の照会サービス開始</li> </ul>	1月・昭和天皇崩御、年号を平成と改元  <ul style="list-style-type: none"> <li>●ブッシュ政権発足</li> </ul> 2月・竹下登首相がリクルート問題で辞任、海部俊樹内閣誕生 4月・消費税3%の徴収が始まる  5月・アメリカ政府、包括通商法のスーパー301条を適用し日本など3国を不正貿易国に指定。9月に日米構造協議始まる <ul style="list-style-type: none"> <li>●ソ連ゴルバチョフ書記長、訪中。関係正常化へ</li> </ul> 6月・中国で天安門事件、民主化運動弾圧  <ul style="list-style-type: none"> <li>●イランの最高指導者ホメイニ師死去</li> </ul> 7月・参議院選挙で与野党逆転  9月・天皇家次男の礼宮文仁親王が川嶋紀子さんと婚約 10月・サンフランシスコでマグニチュード 7.1の大地震 11月・日本初、生体肝移植が島根医科大学で行われる 12月・米ソ首脳、マルタで会談。冷戦終結宣言 この年・東欧、激動の民主化。「ベルリンの壁」崩壊 <ul style="list-style-type: none"> <li>●地球環境問題が国際課題となる</li> <li>●岩戸景気に迫る好景気</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●(財)日本産業デザイン振興会に、デザイナーイヤー企画準備委員会発足</li> <li>●原 弘の「グラフィックデザイン展」(東京銀座松屋)</li> </ul> 8月・平和ポスター展(広島) 10月・「第3回国際デザインフェスティバル 国際デザイン展'87」テーマ「水」(インテックス大阪南港)(財)国際デザイン交流協会主催、第3回国際デザインコンペティション受賞者、内閣総理大臣賞 イリノイ工科大学学生チームの作品 アクアテックチェア 通商産業大臣賞 村中稔の作品 防水3Dビデオカメラ 第3回国際デザインアワード受賞者 栄久庵憲司(工業デザイナー)ノーマン・フォスター(英 建築家)オランダPTT(蘭 政府機関) <ul style="list-style-type: none"> <li>●東京芸大創立100年展(日本橋三越、松屋他)</li> </ul> 11月・第1回国際展(愛知県デザインセンター)ニューヨーク・アートディレクターズ・クラブ主催。大阪、中国(北京)で開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>●京セラ、カメラ「SAMURAI」発売。1眼レフカメラとコンパクトカメラとの橋わたし的なカメラの第1号</li> </ul> 12月・お茶の水スクエア開館(磯崎新設計)。1924年W.M.ヴォーリス設計の「主婦の友ビル」の外壁を復元し、低層部分に組み込む この年・昭和62年度Gマーク選定商品グッドデザイン大賞 オーバーヘッドプロジェクター「0HP313R」(㈱リコー) <ul style="list-style-type: none"> <li>●1900年のバリ万国博以降、行方不明の黒田清輝「木かげ」大阪のコレクター、買い戻す</li> <li>●絵画、彫刻等の美術品の輸入額8月までに千億円台の台に乗る</li> <li>●田河水泡の漫画「のらくろ」ブーム</li> <li>●都市の建築にポスト・モダンの影響で歴史様式の付加が流行</li> <li>●丹下健三、ブリッカー賞受賞</li> <li>●建築学会作品賞 田崎美術館(原広司 設計)、目神山の一連の住宅(石井修 設計)</li> <li>●日本芸術院賞 土門拳記念館(谷口吉生設計)</li> <li>●横浜市立美術館(横浜市)開館。写真部設置</li> <li>●芝浦埠頭に放棄の廃倉庫群、ギャラリー、催物会場などに「活用」盛ん。プレーとファッション志向の若者集める</li> </ul>	
4月・(財)日本産業デザイン振興会に、'89デザイナーイヤー準備事務局を設置 6月・「デザインフォーラム」(会長 石川六郎、日本商工会議所会頭)発足	12月・イサム・ノグチ没(彫刻家、デザイナー)
2月・マツダ「MX-5(ユーノスロードスター)」発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>●手塚治虫没(60歳、漫画家)</li> </ul> 3月・横浜みなとみらい21地区に横浜美術館(丹下健三設計)開館 4月・「89デザイナーイヤー」のスタート 6月・ソニー、パスポートサイズのカメラ一体型8ミリビデオ「TR55」発表  <ul style="list-style-type: none"> <li>●東芝、A4ファイルサイズの小型パソコン「ダイナブック」発表</li> </ul> 7月・「世界デザイン博覧会」が名古屋で開催  <ul style="list-style-type: none"> <li>●任天堂が家庭用ゲーム機「スーパーファミコン」発表</li> </ul> 10月・第16回「世界デザイン会議」が名古屋で開催  <ul style="list-style-type: none"> <li>●通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞はソニーのビデオ付テレビカメラ「CCD-TR55」が受賞</li> <li>●第28回東京モーターショー開催</li> </ul> この年・幕張メッセ 日本コンベンションセンター完成(横文彦設計) <ul style="list-style-type: none"> <li>●東京都葛西臨海水族園開園(谷口吉生設計)</li> <li>●ホテル・イル・バラツォ(アルド・ロッシ、内田繁設計)完成</li> </ul>	この年・ジャスパー・モリソン「plychair」(ヴィトラ社)発売 <ul style="list-style-type: none"> <li>●フィリップ・スタルク「Fluocaril歯ブラシ」,「レモン絞り器」(伊)</li> <li>●ミッテランのバリ大改造計画。新オペラ座、新凱旋門完成(仏)</li> <li>●マルタン・マルジェラ、初コレクション 90年代初めのグランジ・ルックを牽引(仏)</li> <li>●ヴィトラ・デザイン・ミュージアム開館(独)</li> <li>●デザインミュージアム開館(英)</li> </ul> カイ・フランク没(プロダクト・デザイナー)

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1990 平成2	<p>2月・国際分類(ニース協定)導入</p> <p>6月・特許法中改正(6.13法律第30号附則工業所有権に関する手続等の特例に関する法律附則4条による改正12.1施行)、要約書制度採用</p> <p>●実用新案法中改正(6.13法律第30号附則工業所有権に関する手続等の特例に関する法律附則5条による改正12.1施行)</p> <p>●商標法中改正(6.13法律第30号附則工業所有権に関する手続等の特例に関する法律附則7条による改正12.1施行)</p> <p>●特許庁長官 植松敏(6.29)</p> <p>7月・東京地判平成 2.7.20昭和60(ワ)1527「木目化粧紙」著作権</p>	<p>3月・(財)知的財産研究所報告書「短ライフサイクル意匠の保護に関する基礎調査」</p> <p>●(財)知的財産研究所報告書「タイプフェイスの保護のあり方に関する調査・研究について」</p> <p>●東京高判平成 2.3.7平成元(行カ)129「包装用かん」</p> <p>6月・意匠法中改正(6.13法律第30号附則工業所有権に関する手続等の特例に関する法律附則6条による改正12.1施行)</p> <p>8月・日本特許協会意匠委員会「企業から見た意匠の早期保護実現への期待―意匠の早期保護の必要性に関するアンケート集計結果報告」</p> <p>9月・意匠法施行規則中改正(9.12通商産業省令第41号附則12.1施行)</p>	<p>2月・南ア黑人指導者マンデラ氏が27年ぶりに解放される</p> <p>●総選挙で自民党が安定多数獲得</p> <p>3月・ソ連、一党独裁放棄、大統領制へ移行、ゴルバチョフ氏大統領に、食糧難、民族対立などで国内危機は深まる</p> <p>4月・大阪で「花と緑の博覧会」開催。入場者総数2300万人を突破</p> <p>8月・イラクがクウェートに侵攻。中東沿岸危機勃発。国連安保理、武力行使容認</p> <p>9月・日朝3党、「謝罪と償い」盛った共同宣言調印。日朝国交交渉開始へ</p> <p>10月・東西ドイツ、45年ぶりに統一</p> <p>11月・湾岸危機への貢献策・国連平和協力法案廃案に</p> <p>12月・TBS記者の秋山豊寛、日本人初の宇宙旅行</p> <p>この年・株価急落でバブル経済にかけり、財テクに警鐘</p> <p>●イラクのクウェート侵攻で、日本人を含む外国人が人質に</p> <p>●生体肝移植相次ぎ、脳死論議も高まる</p> <p>●東欧諸国で自由選挙。ブルガリアを除き、民主・改革勢力が勝利</p>
1991 平成3	<p>5月・商標法中改正(5.2法律第65号H4.4.1施行、第9条の改正規定、第9条の2、第37条及び第67条の改正規定並びに第68条第1項の改正規定中「第6条第1項」の下に「、第9条の2」を加える部分並びに附則第14条第2項の規定は10.1施行)、サービスマーク登録制度の導入</p> <p>6月・特許庁長官 深澤亘(6.14)</p> <p>12月・東京高判平成 3.12.17 平成2(ワ)2733「木目化粧紙」著作権、民法709条不法行為</p>	<p>1月・日本特許協会意匠委員会「アジア近隣諸国における意匠模倣対策マニュアル」</p> <p>●「意匠登録出願の願書及び図面の記載に関するガイドライン―基本編―」作成・公表</p> <p>3月・(財)知的財産研究所報告書「短ライフサイクル意匠の保護制度に関する調査研究―意匠の早期保護に向けての研究―」</p> <p>●(財)知的財産研究所報告書「タイプフェイスの保護制度に関する調査研究」</p> <p>●東京高判平成 3.3.28平成2(行カ)131,136,142「天井埋込み灯」類似意匠</p> <p>4月・意匠課長 山本哲也</p> <p>●ヘーグ協定 専門家委員会第1会期(ジュネーブ)</p> <p>6月・東京高判平成 3.6.3平成2(行カ)148「ストープ兼用こんろ」創作非容易性</p> <p>9月・最判平成 3.9.26平成元(行カ)82「額縁用枠材」分割</p> <p>10月・(社)日本デザイン保護協会「早期保護すべき意匠及び保護のあり方に関する調査報告書」</p> <p>12月・最判平成 3.12.20平成3(行カ)198「ストープ兼用こんろ」創作非容易性</p> <p>この年・総合意匠システムの実用化、6分野で機械化サーチ開始</p>	<p>1月・湾岸戦争勃発</p> <p>●日本・北朝鮮の国交正常化への政府間交渉開催</p> <p>2月・美浜原発で一次冷却水が漏れ、原子炉が自動停止</p> <p>4月・ゴルバチョフ・ソ連大統領来日</p> <p>5月・信楽高原鉄道で列車正面衝突、42人が死亡</p> <p>●横綱千代の富士引退、前人未到通算1045勝。若貴ブーム到来</p> <p>●ガンジー・インド元首相、爆弾テロで死亡。選挙延期</p> <p>6月・雲仙・普賢岳噴火、大規模火砕流発生、死者行方不明43人</p> <p>8月・バルト3国が独立</p> <p>9月・国連総会に北朝鮮・韓国が同時加盟</p> <p>12月・ソビエト連邦解体</p> <p>この年・バブル崩壊と証券・金融不祥事続出</p> <p>●米ソが相次いで核軍縮発表</p> <p>●南アフリカがアパルトヘイト撤廃</p>
1992 平成4	<p>6月・特許庁長官 麻生渡(6.23)</p>	<p>3月・「意匠登録出願の願書及び図面の記載に関するガイドライン―基本編―(改訂版)」作成・公表</p> <p>●(財)知的財産研究所報告書「意匠の国際的保護のあり方についての基礎的研究」</p> <p>4月・ヘーグ協定 専門家委員会第2会期(ジュネーブ)</p> <p>10月・(社)日本デザイン保護協会「デザイン保護委員会中間報告書」</p>	<p>4月・ロサンゼルスで米国史上最悪の人種暴動が発生</p> <p>6月・国連平和維持活動(PKO)法案成立</p> <p>●地球サミット、ブラジルで開催</p> <p>7月・山形新幹線開通</p> <p>8月・韓国と中国が国交樹立</p> <p>9月・日本人初宇宙飛行士・毛利さん、宇宙へ</p> <p>●国公立小中高校、週休二日制スタート</p> <p>10月・天皇・皇后両陛下、中国初訪問</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>1月・10月1日を「デザインの日」に制定(通産省)</p> <p>2月・「189デザインイヤー」のシンボル、日本デザイン賞大賞は「ファクシミリ」が受賞</p> <p>●日産自動車の小型スポーツカー「300ZXターボ」が米国インポート・カー・オブ・ザ・イヤーを受賞</p> <p>3月・松下電器のハイファイスピーカーシステム「SST-1」がNY近代美術館に永久展示</p> <p>4月・キングジムが携帯型デジタルコピーマシン「ダ・ビンチ」発表</p> <p>6月・キャノンが円筒形フォルムの一眼レフカメラ「オートボーイJET」発表</p> <p>8月・日産デザインインターナショナルがデザインした小型トラック「ゴビ」が米国工業デザイン自動車部門で最優秀賞を受賞</p> <p>9月・キャノン、ソニー、日産自動車、NEC、日立製作所が「東京デザインネットワーク」を設立</p> <p>10月・通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞はNeXTのパーソナルコンピュータシステム「N9001-08+N2000」が受賞</p> <p>●松下電器産業が平面ブラウン管テレビ「画王」を発売</p>	<p>この年・コロニー「ブリーフ・ケース」(米)</p> <p>●ユニバーサル・デザインの提唱者ロン・メイス教授がノースカロライナ州立大学にユニバーサル・デザイン・センター設立(米)</p> <p>●「ハイ&amp;ロー近代美術と大衆文化」展(米)</p> <p>●ロッシ「パリジ・アームチェア」(伊)</p>
<p>4月・シップ・オブ・ザ・イヤー賞に日本郵船の「クリスタル・ハーモニー」が受賞</p> <p>●シャープが世界初の液晶壁掛けカラーテレビ「9E-Hシリーズ」を発表</p> <p>5月・岡村製作所が日本初のオフィス・システム家具「Fシリーズ」を発表</p> <p>●富弘美術館(ヨコモジマコト設計)開館</p> <p>7月・第29回東京モーターショー開催</p> <p>10月・通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞はBang&amp;Olufsenのモジュラー型ステレオ/リモートコントローラー「Beosystem2500/Beolink5000」が受賞</p> <p>●通商産業省選定グッドデザイン商品に「地球にやさしいデザイン」をテーマとする「日本産業デザイン振興会会長賞」を創設</p> <p>●日本ビクター、三菱電機、東芝が相次いで縦横比16対9のワイド画面のテレビを発売</p> <p>この年・倉俣史朗没(インテリア・デザイナー)</p> <p>●「WATARIIUM」完成(マリオ・ボッタ設計)</p> <p>●東京都新庁舎完成(丹下健三設計)</p>	<p>この年・アップル社、「クイック・タイム1.0」(米)</p> <p>●エリクソン社、デジタル携帯電話開発</p> <p>●ネオ・バンク復活 シャネル、ゴルチエらボンデージ・ルック発表(仏)</p> <p>●8人の科学者が人工生態系「バイオスフィアII」で実験生活開始(米)</p> <p>●レム・コールハース「ユーラリール計画」(仏)</p>
<p>3月・東海道新幹線の新型車両300系「のぞみ」が運転開始</p> <p>●直島コンテンポラリーアートミュージアム(安藤忠雄設計)竣工</p> <p>5月・本田技研がだ円型ピストン・エンジン搭載の二輪車「ホンダNR」を発売</p> <p>●第17回世界デザイン会議がスロベニア共和国の首都リュブリャナで開催</p> <p>10月・通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞はLINDBERG OPTIC DESIGNの眼鏡「エア・チタニウム」が受賞</p> <p>●カシオ計算機がデジタルウォッチ「Gショック DW5900C」を発売</p> <p>11月・日産の小型乗用車「マーチ」が欧州カー・オブ・ザ・イヤーを受賞</p> <p>この年・名古屋国際デザインセンター設立</p>	<p>この年・アップル社、携帯型情報端末PDA「Newton」発表(米)</p> <p>●CERN(ヨーロッパ素粒子物理学研究所)が、World Wide Webを正式に認可</p> <p>●ハーマンミラー社、「アーロンチェア」発売(米)</p> <p>●アルバールビル冬季オリンピック開催 30代の若手演出家、フィリップ・ドックフレが開会式を演出</p> <p>●フィリップ・スタルク「ストリート・ランプ」(Decaux社)(伊)</p> <p>●トム・ディクソン「パイロン・ファニチュア・コレクション」(英)</p> <p>●ロン・アラッド「ソフト・ビッグ・イージー・アームチェア」(英)</p> <p>●フランク・ゲイリー「クノール社のための家具」(米)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化		
			<p>11月・米大統領選挙でクリントン候補が現職に大差で当選</p> <p>この年・冬夏五輪で日本勢活躍。女子200m平泳ぎで史上最少の金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧ユーゴスラビアの分離・解体</li> <li>旧ソ連共和国の難航する独立移行と続く民族紛争</li> <li>南アフリカ、アパルトヘイト撤廃の動き加速化</li> <li>地域経済ブロック化の動きー欧州経済領域条約調印、北米自由貿易協定調印、ASEAN自由貿易圏関係評議会設立</li> </ul>		
1993 平成5	<p>1月・CD-ROM公開公報発行開始(特許・実用新案)</p> <p>4月・特許法中改正(4.23法律第26号特許法等の一部を改正する法律1・7条・附則7・9条による改正,手数料等の改正規定は7.1施行,その他はH6.1.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(4.23法律第26号特許法等の一部を改正する法律2・3条・附則9条による改正,手数料等の改正規定は7.1施行,その他はH6.1.1施行),早期登録制度,実用新案技術評価書制度の導入</li> <li>商標法中改正(4.23法律第26号特許法等の一部を改正する法律5条による改正,手数料等の改正規定は7.1施行,その他はH6.1.1施行)</li> </ul> <p>5月・商標法中改正(5.19法律第47号不正競争防止法附則12条による改正H6.5.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不正競争防止法(5.19法律第47号H6.5.1施行),「他人の商品の形態の模倣」の追加</li> </ul> <p>7月・特許庁長官 高島章(7.1)</p> <p>11月・特許法中改正(11.12法律第89号行政手続法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律219条による改正H6.10.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(11.12法律第89号行政手続法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律220条による改正H6.10.1施行)</li> <li>商標法中改正(11.12法律第89号行政手続法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律222条による改正H6.10.1施行)</li> <li>特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律中改正(11.12法律第89号H6.10.1施行)</li> </ul>	<p>1月・日本特許協会意匠委員会「新しい意匠保護制度の提案ー早期保護と権利範囲の明確化を目指してー」</p> <p>2月・最判平成 5. 2.16.平成3(ワ)1007「自転車用荷台」</p> <p>3月・「基本編追加版1,液晶表示等に関するガイドライン」公表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「意匠分類検索表(物品の名称から意匠分類)」公示</li> </ul> <p>4月・意匠法中改正(4.23法律第26号特許法等の一部を改正する法律4条による改正,手数料等の改正規定は7.1施行,その他はH6.1.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘーグ協定 専門家委員会第3会期(ジュネーブ)</li> <li>早期審査・早期審査制度改正,選定対象範囲の拡大及び案件着手の迅速化</li> <li>意匠審査基準修正(H6.1.1施行)</li> </ul> <p>7月・東京高判平成 5. 7.15平成4(行カ)227「回転警告灯」要旨変更</p> <p>8月・大阪地判平成 5. 8.24平成2(ワ)9831「クランプ」</p> <p>11月・意匠法中改正(11.12法律第89号行政手続法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律221条による改正,手数料等の改正規定は7.1施行,その他はH6.10.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠法施行規則中改正(11.8通商産業省令第75号H6.1.1施行)</li> <li>意匠審査基準修正(H6.1.1施行)</li> </ul> <p>この年・デザイン奨励審議会中間答申「時代の変化に対応した新しいデザイン制作のあり方」</p>	<p>1月・クリントン米大統領就任</p> <p>3月・金丸前自民党副総裁の逮捕,ゼネコン汚職事件が地方に拡大</p> <p>5月・Jリーグ開幕, W杯敗退</p> <p>6月・皇太子・雅子さま御結婚</p> <p>7月・北海道南西沖地震(M7.8)</p> <p>8月・自民党政権崩壊,細川連立内閣発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>円高が進み戦後最高値 100円40銭</li> </ul> <p>9月・イスラエルとパレスチナ解放機構(PLO)が暫定自治宣言に調印</p> <p>11月・小選挙区制導入を柱とする政治改革法案が衆院を通過</p> <p>12月・細川内閣がコメ市場の部分開放受け入れを決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関税貿易一般協定(GATT)の新多角的貿易交渉(ウルグアイ・ラウンド)が妥結</li> </ul> <p>この年・屋久島,白神山地が日本初の世界遺産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧ユーゴスラビア,旧ソ連などで民族紛争続く</li> <li>戦後最大ともいわれる不況深刻化,リストラと雇用不安が強まる</li> <li>冷夏,豪雨など列島に異常気象,コメは大凶作となり緊急輸入</li> <li>北朝鮮の核疑惑で緊張高まる</li> </ul>		
1994 平成6	<p>3月・(社)発明協会「我が国における工業所有権関係の判例分析調査研究報告書」</p> <p>10月・日本知的財産協会不正競争委員会「改正不正競争防止法実務マニュアル」</p> <p>12月・特許法中改正(12.14法律第116号特許法等の一部を改正する法律1・2条・附則15・16条による改正H7.7.1施行,特許異議の申立てに関係した改正規定はH8.1.1施行).英語出願制度,付与後異議申立制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(12.14法律第116号特許法等の一部を改正する法律3条による改正H7.7.1施行,特許異議の申立てに関係した改正規定はH8.1.1施行)</li> <li>商標法中改正(12.14法律第116号特許法等の一部を改正する法律5・6条による改正H7.7.1施行,登録異議の申立てに関係した改正規定はH8.1.1施行)</li> <li>特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律中改正(12.14法律第116号H7.7.1)</li> </ul>	<p>1月・CD-ROM公告公報発行開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘーグ協定 専門家委員会第4会期(ジュネーブ)</li> </ul> <p>3月・(財)知的財産研究所報告書「意匠権の保護範囲の明確化に関する調査研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京高判平成 6. 3. 9平成5(行カ)19「研磨布紙ホイール」類似意匠</li> </ul> <p>5月・日本特許協会意匠委員会「関連法の改正と意匠管理ー意匠管理上の各ステップにおけるチェック項目と留意点ー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪高判平成 6. 5.27.平成5(ワ)2339「クランプ」</li> </ul>	<p>4月・南アフリカで全人種参加の初の制憲議会選挙実施,ネルソン・マンデラ大統領が誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋空港に中華航空機が墜落,死者264人</li> </ul> <p>5月・英仏海峡の「ユーロトンネル」が開通</p> <p>6月・長野県松本市で「松本サリン事件」発生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政権交代が相次ぎ首相が3人,自民・社会・さきがけ連立の村山政権誕生</li> </ul> <p>7月・製造物責任法(PL法)公布.翌年施行</p>	<p>4月・ヤマハ発動機が電動自転車「パス」を発売</p> <p>5月・トヨタが低価格RV「RAV4」を発売</p> <p>9月・京セラが高級レンジファインダーカメラ「CONTAX G1」を発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関西国際空港開港(レンゾ・ピアノ設計)</li> </ul> <p>10月・通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞はボルボの普通乗用車「Volvo850 Estate」が受賞</p> <p>12月・ソニーが32ビット家庭用ゲーム機「プレイステーション」を発売</p>	<p>この年・ロータス「オリンピックのためのレース用自転車」(英)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セヴィリア万博,ニコラス・グリムショウが英国館を,サンティアゴ・カラトラヴァがクウェート館,日本館を安藤忠雄が手がける(西)</li> <li>ボイジャー社,EE(エキスパンドブック)フォーマット開発(米)</li> </ul> <p>この年・ジェームス・ダイソン,掃除機「Dual Cyclone 02」発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイクロソフト社,「ウィンドウズ3.1」発売(米)</li> <li>パタゴニア社,世界初PETボトルをリサイクルしたRCRシンチラを開発,商品化</li> <li>ナイキがNew form trainersを発表</li> <li>グラン・パレで「デザイン,世紀の鏡」展(仏・パリ)</li> <li>アラン・チャン「ミスター・チャン・ティー・ルーム」オープン(香港)</li> <li>ドローク・デザイン設立(蘭)</li> <li>情報スーパーハイウェイ構想スタート(米)</li> </ul> <p>この年・ネットスケープ・ブラウザ発表(伊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベネトン社,コミュニケーション・リサーチ・センター「FABRICA」設立(伊)</li> <li>フィラデルフィア美術館で「日本のデザイナー-1950年代以降の概観」展(米)</li> <li>リヨンTGV駅(サンティアゴ・カラトラヴァ設計)(仏)</li> <li>世界初マルチメディアソフト見本市「MILIA」開催(仏・カンヌ)</li> <li>ジョン・ガリアーノ,50年代オートクチュールをパロディ化(英)</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)発足40周年</li> </ul>	<p>この年・ジェームス・ダイソン,掃除機「Dual Cyclone 02」発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイクロソフト社,「ウィンドウズ3.1」発売(米)</li> <li>パタゴニア社,世界初PETボトルをリサイクルしたRCRシンチラを開発,商品化</li> <li>ナイキがNew form trainersを発表</li> <li>グラン・パレで「デザイン,世紀の鏡」展(仏・パリ)</li> <li>アラン・チャン「ミスター・チャン・ティー・ルーム」オープン(香港)</li> <li>ドローク・デザイン設立(蘭)</li> <li>情報スーパーハイウェイ構想スタート(米)</li> </ul>
<p>9月・スズキが居住性重視の軽自動車「ワゴンR」を発売</p> <p>10月・通商産業省選定グッドデザイン商品大賞は日本アイ・ビー・エムのパーソナルコンピューター「ThinkPad」が受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第30回東京モーターショー開催</li> </ul> <p>この年・横浜ランドマークタワー完成</p>	<p>この年・ネットスケープ・ブラウザ発表(伊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベネトン社,コミュニケーション・リサーチ・センター「FABRICA」設立(伊)</li> <li>フィラデルフィア美術館で「日本のデザイナー-1950年代以降の概観」展(米)</li> <li>リヨンTGV駅(サンティアゴ・カラトラヴァ設計)(仏)</li> <li>世界初マルチメディアソフト見本市「MILIA」開催(仏・カンヌ)</li> <li>ジョン・ガリアーノ,50年代オートクチュールをパロディ化(英)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	施行)	<p>6月・意匠審査基準修正, 物品に表された文字等の扱いに関する改正(6.16施行),</p> <p>7月・意匠課長 前川幸彦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京高判平成 6. 7. 19. 平成4(ホ)3991「ヘアカーラー用クリップ」</li> <li>大阪地判平成 6. 7. 19. 平成5(ワ)8250「脱臭剤容器」</li> </ul> <p>9月・意匠制度ラウンドテーブル設置, 第1回委員会</p> <p>11月・第2回意匠制度ラウンドテーブル委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本知的財産協会意匠委員会「ヘーグ協定とその改正案について－意匠の国際的保護制度の拡大に向けて－」</li> </ul> <p>12月・意匠法中改正(12.14法律第116号特許法等の一部を改正する法律4条による改正H7.7.1施行, 特許異議の申立てに関係した改正規定はH8.1.1施行)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人初の女性宇宙飛行士・向井千秋さん, 宇宙へ</li> <li>北朝鮮の核問題と金日成首席の急死</li> </ul> <p>9月・バルト海でフェリー「エストニア号」沈没, 死者・不明者 900人超</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北アイルランド紛争に和平の兆し, アイルランド共和軍が停戦</li> </ul> <p>10月・大江健三郎氏にノーベル文学賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中東和平の前進, イスラエル・ヨルダン平和条約調印</li> </ul> <p>11月・アメリカの中間選挙で野党・共和党が大勝</p> <p>この年・全国各地で記録的な猛暑, 水不足が深刻化</p>
1995 平成7	<p>1月・WTO・TPIPS協定発効</p> <p>2月・東京地判平成 7. 2.27平成3(ワ)8991「ローズ形のチョコレート菓子」不競法2条1項1号(周知商品表示)</p> <p>5月・特許法中改正(5.12法律第91号附則刑法の一部を改正する法律附則8条による改正6.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(5.12法律第91号附則刑法の一部を改正する法律附則9条による改正6.1施行)</li> <li>大阪地判平成 7. 5.30平成6(ワ)2859「家電製品「its」シリーズ」不競法2条1項1号(周知商品表示)</li> </ul> <p>6月・特許庁長官 清川佑二(6.21)</p> <p>7月・製造物責任法(PL法)(7.1施行)</p> <p>10月・京都地判平成 7. 10.19平成6(ワ)2364「行灯(あんどん)・あんこう」著作権</p> <p>この年・産業財産権制度創設110周年 「パテ丸くん」制定</p>	<p>1月・第3回意匠制度ラウンドテーブル委員会</p> <p>2月・(財)日本産業デザイン振興会「平成6年度デザイン・商標・技術的創作又は著作物に関する模倣実態調査結果報告書」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最判平成 7. 2.24. 平成3(行)139「天井用埋込み灯」類似意匠(原判決破棄)</li> </ul> <p>3月・第4回意匠制度ラウンドテーブル委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(財)知的財産研究所「意匠に係る物品と意匠保護のあり方に関する調査研究報告書」</li> </ul> <p>4月・東京高判平成 7. 4.13. 平成6(ホ)3464「衣装ケース」</p> <p>5月・第5回意匠制度ラウンドテーブル委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠法中改正(5.12法律第91号附則刑法の一部を改正する法律附則8条による改正6.1施行)</li> </ul> <p>6月・意匠法施行規則中改正(6.27通商産業省令第57号7.1施行, 特許異議の申立てに関係した改正規定はH8.1.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘーグ協定 専門家委員会第5会期(ジュネーブ)</li> </ul> <p>8月・意匠制度ラウンドテーブル報告書「魅力ある意匠制度の確立に向けて」発表</p> <p>9月・東京高判平成 7. 9.26平成7(行)33「タイムカード」</p> <p>10月・意匠課内に意匠制度企画室設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪地判平成 7. 10.31平成6(ワ)60「金属板」権利濫用</li> </ul>	<p>1月・M7.2の直下型地震による「阪神大震災」発生. 死者6000人を越す.</p> <p>3月・東京の営団地下鉄に毒ガスのサリンがまかれ, 11人死亡, 約 5,000人重症</p> <p>4月・都知事に青島幸男氏, 大阪府知事に横山ノック氏が当選</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ連邦政府ビルで史上最悪の爆弾テロ事件</li> </ul> <p>5月・ロシアのサハリンで直下型大地震発生. 2,000人以上が死亡</p> <p>6月・韓国ソウル市で営業中の百貨店が突然崩壊. 500人以上が死亡</p> <p>7月・ミャンマーのアウン・サン・スー・チーさん, 6年ぶりに解放</p> <p>9月・フランスがムルロフ環礁で核実験を強行. 国際的非難が高まる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公定歩合が史上最低の 0.5%に</li> </ul> <p>11月・ラビン・イスラエル大統領が, イスラエル人により暗殺される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国の盧前大統領逮捕</li> </ul> <p>12月・ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争終結の平和協定が結ばれる</p> <p>この年・相次ぐ金融機関の経営破たんと不良債権問題で金融不安が拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>拉致事件を契機に, オウム真理教の関係とされる一連の事件が明かされる</li> <li>野茂が米大リーグで活躍, 新人王も獲得</li> </ul>
1996 平成8	<p>4月・インターネット上に特許庁ホームページ開設</p> <p>6月・特許法中改正(6.12法律第68号商標法等の一部を改正する法律2条による改正H9.4.1施行, 現金納付制度導入に関係した改正規定は10.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(6.12法律第68号商標法等の一部を改正する法律3条による改正H9.4.1施行, 現金納付制度導入に関係した改正規定は10.1施行)</li> <li>商標法中改正(6.12法律第68号商標法等の一部を改正する法律1条・附則22条による改正H9.4.1施行, 現金納付制度導入に関係した改正規定は10.1施行, 書換の改正規定はH10.4.1施行). 付与後異議申立制度, 立体商標制度の導入</li> <li>特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律中改正(6.12法律第68号H9.4.1施行)</li> <li>特許法中改正(6.26法律第110号民事訴訟法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律30条による改正H10.1.1施行)</li> <li>実用新案法中改正(6.26法律第110号民事訴訟法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律32条による改正H10.1.1施行)</li> </ul>	<p>1月・意匠課に意匠途上国研修委員会設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(財)日本産業デザイン振興会「平成7年度デザイン・商標・技術的創作又は著作物に関する模倣実態調査結果報告書」</li> </ul> <p>3月・日本知的財産協会, 意匠委員会「判例に基づく類似意匠制度の実務研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(財)知的財産研究所「デザイン活動の実態に合致した意匠保護のあり方に関する調査研究報告書」</li> </ul> <p>4月・審判FA12月の5年計画開始</p> <p>6月・意匠法中改正(6.12法律第68号商標法等の一部を改正する法律4条による改正H9.4.1施行, 現金納付制度導入に関係した改正規定は10.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠法中改正(6.26法律第110号民事訴訟法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律33条による改正H10.1.1施行)</li> </ul>	<p>1月・フランスが核実験終結を宣言</p> <p>2月・北海道の豊浜トンネルで落盤事故発生, 20人が死亡</p> <p>3月・ヨーロッパで狂牛病パニック. 欧州委員会は英国産牛肉の輸出禁止を決定</p> <p>4月・オウム真理教元代表の松本被告の裁判がスタート</p> <p>5月・住専処理に 6,850億円の財政資金を投入</p> <p>7月・アトランタ五輪開催, 日本勢の獲得メダルは14個</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア大統領選挙の決選投票の結果, エリツィン大統領が再選</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱自動車が軽自動車RV「パジェロミニ」を発売</li> </ul> <p>この年・サントリーミュージアム天保山開館(安藤忠雄設計)</p>	
<p>2月・セガ・エンタープライゼスがドライブシミュレーションゲーム「SEGA RALLY」を発売</p> <p>6月・マツダがオートフリートップを搭載したミニバン「ボンゴフレンドィ」を発売</p> <p>7月・1日, 製造物責任法(PL法)が施行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマハが中型スクーター「マジスティ250」を発売</li> </ul> <p>9月・ナイキがスポーツシューズ「エアマックス95」を発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソニーと松下電器産業が家庭用デジタルビデオカメラ「デジタルハンディカム DCR-VX」と「デジカム NV-DJ1」を発売</li> </ul> <p>10月・1日, 通産省でデザイン行政の所轄が貿易局検査デザイン行政室から産業政策局サービス産業課へ移管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞はNECのスーパーコンピュータ「SX-4」が受賞</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋で「IFI(国際インテリアデザイナー団体連合)95名古屋」開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>第31回東京モーターショー開催</li> </ul> <p>11月・セイコーが腕時計「アルバ・スプーン」を発売</p>	<p>この年・マイクロソフト社, 「ウィンドウズ95」発売(米)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IKEA, 英国の家具インテリアチェーンのハピタを買収</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャノン, イーストマンコダック, デジタル・スティル・カメラ開発(米)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>若手デザイナーグループ「INFRATE」設立(英・ロンドン)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>バーゼル駅信号所(ヘルツォーク・アンド・ド・ムーロン設計)(スイス)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一回光州ビエンナーレ(韓)</li> <li>MoMAで「ミュータント・マテリアルズ」展(米)</li> </ul>
<p>5月・キャノンがAPS対応コンパクトカメラ「IXY(イクシ)」を発売</p> <p>10月・通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞はミサワホームの工業化住宅「GENIUS 蔵のある家」が受賞</p> <p>11月・バンダイが携帯型ゲーム機「たまごっち」を発売</p> <p>12月・デザインフォーラム「デザインの耳」開催(12.2名古屋, 12.9大阪, 12.10福岡)</p> <p>この年・岡本太郎没(洋画家)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソニー「サイバショットDSC-F1」発売</li> </ul>	<p>この年・ノキア「Communicater」発売開始(フィンランド)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トム・ディクソン「ジャック・ライト」発売(英)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「移動する都市(Cities on the Move)」展</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン見本市「100%デザイン」始まる(英・ロンドン)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>グッゲンハイム美術館ビルバオ(フランス・ゲイリー設計)(スペイン)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポール・ランド没(グラフィック・デザイナー)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>商標法中改正(6.26法律第110号民事訴訟法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律34条による改正H10.1.1施行)</li> <li>7月・特許庁長官 荒井寿光(7.2)</li> <li>12月・東京地判平成 8.12.25平成7(ワ)11102「キーホルダー(ドラゴン・ソード)」不競法2条1項3号(商品形態模倣)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月・「先期待ち・審判待ち通知」の実施</li> <li>9月・「意匠審査基準・意匠審査便覧」発行</li> <li>10月・社団法人日本デザイン保護協会(JDP)に「意匠制度検討特別委員会」設置(全9回の委員会) <ul style="list-style-type: none"> <li>途上国協力関連研修「1000人研修」開始</li> </ul> </li> <li>11月・ヘーグ協定 専門家委員会第6会期(ジュネーブ)</li> <li>12月・意匠法施行規則中改正(12.25通商産業省令第79号H9.4.1施行, 図面の代用に関係した改正規定はH9.1.1施行), 意匠法施行規則第3条及び様式第6(図面代用写真)の改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月・薬害エイズ事件で安部前帝京大副学長逮捕</li> <li>チャールズ英皇太子とダイアナ妃の離婚が正式に決定</li> <li>韓国の全元大統領に死刑判決</li> <li>9月・北朝鮮潜水艦が韓国に侵入</li> <li>10月・小選挙区比例代表並立制による初の総選挙実施, 自民党が復調</li> <li>11月・米大統領選挙でクリントン大統領が再選</li> <li>インド上空で航空機が空中衝突し 349人が死亡</li> <li>12月・厚生省前事務次官が特別養護老人ホーム建設をめぐる汚職事件で逮捕</li> <li>この年・瀧美清死去, 「寅さん」に国民栄誉賞</li> <li>病原性大腸菌「O157」による食中毒が堺市をはじめ全国各地で発生</li> </ul>
1997 平成9	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月・東京地判平成 9.3.7平成6(ワ)22885「ピラス」不競法2条1項3号(商品形態模倣)</li> <li>大阪高判平成 9.3.27平成7(ワ)1518「家電製品「its」シリーズ」不競法2条1項1号(周知商品表示)</li> <li>4月・商標法条約加入</li> <li>東京地判平成 9.4.25平成5(ワ)22205「スモッキングスタンド等(什器)」著作権</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・(財)知的財産研究所「『意匠の創作評価のあり方』に関する実態調査結果」</li> <li>東京地判平成 9.1.24平成5(ワ)3966「自走式クレーン」高額賠償</li> <li>2月・(社)日本デザイン保護協会「平成8年度デザイン・商標・技術的創作又は著作物に関する模倣実態調査結果報告書」</li> <li>3月・JDP報告書「国際化時代に対応した創造的デザインの保護強化」発表</li> <li>タイ王国工業所有権情報センター協力事業短期専門家派遣</li> <li>(財)知的財産研究所「意匠の創作評価のあり方に関する調査研究報告書」</li> <li>(社)日本デザイン保護協会「国際化時代に対応した創造的デザインの保護強化」</li> <li>4月・意匠課長 山田啓治</li> <li>第33回工業所有権審議会総会において, 法制部会の下に意匠小委員会設置</li> <li>意匠審査基準修正(4.1施行)</li> <li>審判合議体を6に増設</li> <li>審査・審判連携プログラム(WY事件のフィードバック等)開始</li> <li>審判調査員制度開始</li> <li>東京地判平成 9.4.25平成5(ワ)17437「ゴム紐」公知意匠の抗弁</li> <li>「経済構造の変革と創造のための行動計画」閣議決定</li> <li>6月・第1回工業所有権審議会意匠小委員会会合</li> <li>7月・第2回工業所有権審議会意匠小委員会会合</li> <li>9月・第3回, 4回工業所有権審議会意匠小委員会会合</li> <li>早期審査・早期審理制度改正, 選定対象範囲を権利化について緊急性を要する実態関連出願及び外国関連出願に拡大</li> <li>「意匠登録出願の早期審査及び早期審理のためのガイドライン」公表</li> <li>意匠登録100万件達成</li> <li>10月・第5回, 6回工業所有権審議会意匠小委員会会合</li> <li>11月・工業所有権審議会意匠小委員会「デザイン創造時代へ向けて」発表</li> <li>ヘーグ協定 専門家委員会第7会期(ジュネーブ)</li> <li>12月・工業所有権審議会意匠小委員会「特許法等の改正に関する答申[意匠制度の見直しについて]」</li> <li>この年・総合意匠システムの分散処理移行開始</li> <li>輸出検査法及び輸出品デザイン法の廃止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・日本海でロシアのタンカーが沈没, 重油流失事故発生</li> <li>2月・中国の最高実力者, 鄧小平氏が92歳で死去</li> <li>英国のウィルムット博士らがクローン羊を作り出すことに成功</li> <li>4月・ペルー・リマの日本大使公邸人質事件が武力解決</li> <li>消費税率を3%から5%に引き上げ</li> <li>5月・総会屋に対する利益供与で金融機関・大手企業の幹部が逮捕</li> <li>6月・「脳死を死と認める」臓器移植法案が成立</li> <li>神戸市須磨区の児童殺傷事件で14歳の少年逮捕</li> <li>7月・もののけ姫(宮崎駿監督)公開. 配給収入, 100億円突破.</li> <li>82年に起きた松山ホステス殺人事件の容疑者が, 時効目前に逮捕</li> <li>156年にわたる英国の香港統治が幕を閉じ中国へ返還される</li> <li>8月・英国のダイアナ元皇太子妃がパリで交通事故死</li> <li>9月・ノーベル平和賞受賞者のカトリック修道女, マザー・テレサが死去</li> <li>インドネシアで発生した煙害が9月中旬から東南アジアのほぼ全域を覆う</li> <li>11月・日本サッカー, 悲願のワールドカップへの出場決める</li> <li>北海道拓殖銀行, 山一証券など金融機関の破綻が相次ぐ</li> <li>エジプトの銃撃テロで日本人10人が巻き添えに</li> <li>12月・宇宙飛行士・土井隆男さんが日本初の船外活動を行い帰還</li> <li>温暖化防止京都会議を開催</li> <li>対人地雷全面禁止条約署名式がカナダで行われ 121カ国地域が署名</li> <li>この年・動燃で再処理施設爆発, 廃棄物のドラム缶腐食と不祥事続く</li> <li>北朝鮮が干ばつにより3年連続で食糧危機に</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>10月・トヨタがハイブリッドシステム搭載の乗用車「プリウス」を発表</li> <li>通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞は水野一郎+金沢計画研究所の「金沢市民芸術村」が受賞</li> <li>第32回東京モーターショー開催</li> <li>11月・ソニーがB5サイズのノート型パソコン「バイオノート505」を発売</li> <li>この年・亀倉雄策没(グラフィック・デザイナー)</li> <li>「Tokyo Designers Week」開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この年・スウォッチ社とメルセデス・ベンツ社がスマート(ハイブリッドカー)を共同開発</li> <li>アップル社, Next社買収(米)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
1998 平成10	<p>1月・改正民事訴訟法施行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無効請求事件の審決をインターネット上で公表開始</li> </ul> <p>2月・第142回通常国会に「特許法等の一部を改正する法律案」上程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京高判平成10.2.26平成8(㊦)6162「キーホルダー(ドラゴン・ソード)」不競法2条1項3号(商品形態模倣)</li> </ul> <p>3月・特許庁調査報告書「企業における国際特許戦略実態調査」</p> <p>4月・特許、実用新案オンライン出願受付開始</p> <p>5月・特許法中改正(5.6法律第51号特許法等の一部を改正する法律1条・附則11条による改正、平成11年1月1日及び同年4月1日から施行される条文は、現行条文と並列して登載。特許料の引き下げ、国と国以外の民間等の者との共有に係る特許料等の取り扱いに関する改正H11.4.1施行、その他はH11.1.1施行)、賠償額の算定方式の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(5.6法律第51号特許法の一部を改正する法律2・附則13条による改正、平成11年1月1日及び同年4月1日から施行される条文は、現行条文と並列して登載。H11.1.1施行)</li> <li>商標法中改正(5.6法律第51号特許法等の一部を改正する法律5・附則14条による改正、平成11年1月1日及び同年4月1日から施行される条文は、現行条文と並列して登載、H11.1.1施行)</li> <li>商標法中改正(5.29法律第83号種苗法附則14条による改正、植物の新品種の保護に関する国際条約が日本国について効力を生ずる日から施行される条文は、現行条文と並列して登載)</li> <li>新口頭審理(巡回審判廷等)開始</li> </ul> <p>6月・特許庁長官 伊佐山健志(6.19)</p> <p>10月・JICA・APEC工業所有権研修</p> <p>11月・国際審判官会議開催</p> <p>この年・大学等技術移転促進法(TLO法)</p>	<p>1月・「意匠ペーパーレスシステム基本計画書」の策定(商標、審判も同時に決定)</p> <p>3月・『「意匠の国際分類を制定するロカルノ協定」及び日本意匠分類とロカルノ分類との対照表』発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「模倣品110番」開設</li> <li>1000人研修事業「500人達成記念意見交換会」</li> <li>(社)発明協会「平成9年度デザイン、商標、技術的創作又は著作物に関する模倣実態調査結果報告書」</li> <li>意匠公報へのロカルノ国際分類併記開始</li> <li>意匠法中改正(5.6法律第51号特許法等の一部を改正する法律3・4条による改正、手続のパソコンオンライン化に関する改正H12.1.1施行、その他はH11.1.1施行)</li> <li>英語版意匠分類表「JAPANESE CLASSIFICATION FOR INDUSTRIAL DESIGNS」公示</li> <li>東京高判平成10.6.18平成9(㊦)404「自走式クレーン」高額賠償</li> <li>日本知的財産協会意匠委員会「ヘーグ協定改正案と規則案-意匠の国際的保護制度の拡大に向けて-」</li> <li>ヘーグ協定外交会議準備会合(ジュネーブ)</li> </ul> <p>この年・意匠法等改正(関連意匠制度・部分意匠制度導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「意匠ペーパーレスシステム基本設計書」「詳細設計書」作成</li> <li>全審査室が機械化</li> <li>デザイン奨励審議会の廃止 Gマーク事業を(財)日本産業デザイン振興会に移管</li> </ul>	<p>2月・第18回冬季オリンピック長野大会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金大中氏が第15代韓国大統領に就任</li> </ul> <p>4月・金融ビッグバン始動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明石海峡大橋が開通</li> <li>北アイルランド和平合意</li> </ul> <p>5月・インド、パキスタンが核実験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーロ参加11国が決定</li> <li>インドネシアでスハルト体制崩壊</li> <li>若乃花連覇、史上初の兄弟横綱誕生</li> </ul> <p>6月・第16回サッカーW杯仏大会に日本が初出場、予選リーグで敗退</p> <p>7月・第18回参議院選挙で自民党大敗、小淵内閣が誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界初の体細胞クローン牛が誕生</li> </ul> <p>8月・北朝鮮のミサイル「テポドン」、三陸沖に落下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国揚子江流域の洪水で死者 3,000人を超す災害発生</li> </ul> <p>9月・映画監督黒澤明死去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米大リーグでカージナルスのマグワイア選手が37年ぶりに本塁打記録を更新、70本の新記録達成</li> </ul> <p>10月・プロ野球、横浜ベイスターズが38年ぶり日本一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初の生体肺移植が岡山大学付属病院施設で行われる</li> </ul> <p>11月・24兆円の過去最大の緊急経済対策が決定される</p>
1999 平成11	<p>1月・2審決等公報不掲載</p> <p>5月・特許法中改正(5.14法律第41号特許法等の一部を改正する法律附則1・2条による改正H12.1.1施行、出願審査の請求期間の短縮規定はH13.10.1施行)、特許出願人の請求による早期出願公開の導入、特許料等の引下げ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(5.14法律第41号特許法等の一部を改正する法律附則1・3条による改正H12.1.1施行)</li> <li>商標法中改正(5.14法律第41号特許法等の一部を改正する法律附則4・5条による改正H12.1.1施行)商標登録出願の出願公開の導入、商標登録出願の区分の数を減らす補正の時期の拡大</li> </ul> <p>6月・東京地判平成11.6.29平成7(㊦)13557「ブリーツ・ブリーズ婦人服」不競法2条1項1号(周知商品表示)</p> <p>7月・弁理士制度100周年記念式典開催</p> <p>9月・特許庁長官 近藤隆彦(9.6)</p>	<p>1月・平成10年改正意匠法施行</p> <p>5月・意匠法中改正(5.14法律第41号特許法等の一部を改正する法律附則1・4条による改正H12.1.1施行)</p> <p>6月・ヘーグ協定新アクトの採択のための外交会議(ジュネーブ)</p> <p>7月・工業デザイン国際的保護 加盟促進へ協定改正合意</p> <p>11月・通産省「ユニバーサルデザイン」懇親会を設置</p> <p>12月・意匠法施行規則中改正(12.28通産省令第132号H12.1.1施行)意匠登録出願の手続、拒絶査定不服審判等について電子化を行うことに伴い、様式の改正</p> <p>この年・意匠制度110周年、「意匠制度この10年の</p>	<p>2月・臓器移植法に基づく初めての脳死移植の実施</p> <p>3月・日本海の不審船に対し政府は初の海上警備行動を発令</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NATO軍によるユーゴスラビア空爆</li> </ul> <p>8月・国旗・国歌法が成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トルコでM7.4の大地震が発生、死者1万7,000人を超える</li> <li>東ティモールで住民投票が行われ独立が選択される</li> </ul> <p>9月・東海村で国内初の臨界事故発生</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>2月・松下電器産業がワイド液晶モニター付携帯型DVDプレーヤー「DVD-L10」を発表</p> <p>8月・アップルがモニター一体型デスクトップパソコン「iMac」を発売</p> <p>10月・通商産業省選定グッドデザイン商品・大賞はブリジストンサイクルの自転車「トランジットT20SCX」が受賞</p> <p>11月・セイコーが自動巻腕時計「グランドセイコー・メカニカルモデル」を発売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セガ・エンタープライゼズが128ビット家庭用ゲーム機「ドリームキャスト」を発売</li> </ul> <p>この年・富士写真フイルム「Fine Pix 700」発売</p>	<p>この年・フォルクスワーゲン社、「VWニュービートル」(J・メイス設計)をデトロイトショーで発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タイガー・エレクトロニクス社、「ファービー」発売</li> <li>コム デ ギャルソン、「ボディ・ミーツ・ドレス」シリーズをコストームに使用したマース・カニングハムの作品「シナリオ」発表(米)</li> <li>アレッシ・デザイン・ミュージアム開館(伊)</li> <li>ヘルシンキ現代美術館 キアズマ 開館(スティーブン・ホール設計)(フィンランド)</li> <li>ゲティ・センター(リチャード・マイヤー設計)(米)</li> <li>ブルーノ・ムナリー没(芸術家)</li> </ul>
<p>5月・イサム・ノグチ庭園美術館開館</p> <p>この年・グッドデザイン大賞はソニーの「エンタテインメントロボットAIBO ERS-110」が受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河野鷹思没(グラフィック・デザイナー)</li> <li>フリースキャンペーンでユニクロが大流行</li> <li>トヨタ自動車「ヴィッツ」発売</li> <li>東京国立博物館法隆寺宝物館(谷口吉生設計)開館</li> </ul>	<p>この年・アップル社、「iMac」発売(米)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シャルロット・ペリアン没(建築家、家具デザイナー)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京地決定平成11.9.20平成11(㊄)22125「パーソナルコンピュータ(iMac)」不競法2条1項1号(周知商品表示)</li> <li>11月・NHKキャラクタービジネス本格展開 番組外使用権も一括管理</li> <li>この年・特許電子図書館の開始</li> <li>産業活力再生特別措置法(日本版パイドール法)</li> </ul>	歩み」編集	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾でM7.6の地震が発生、死者2000人を超える</li> <li>北朝鮮がテポドン発射実験凍結で米国と合意</li> <li>10月・プロ野球でダイエーホークスが球団創設初の日本一</li> <li>12月・ロシアのエリツィン大統領が辞任</li> <li>この年・介護保険制度導入が決定される</li> <li>世界人口60億を突破</li> <li>欧州単一通貨「ユーロ」の誕生</li> </ul>
2000 平成12	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・意匠、商標、国際出願(国内段階のみ)の電子出願受付、オンライン発送開始</li> <li>4月・改正弁理士法公布(4.26法律第49号H13.1.6施行)</li> <li>6月・特許庁長官 及川耕造(6.30)</li> <li>9月・日亜化学LED特許権訴訟 豊田合成に製造禁止など命ずる東京地裁</li> <li>最1小判平成12.9.7平成10(受)332「印刷用書体」著作権</li> <li>10月・ITビジネスモデル特許基準を明確化 特許庁が改正案</li> <li>東京地判平成12.10.31平成09(ワ)12191「ルービック・キューブ」不競法2条1項1号(周知商品表示)及び商標権</li> <li>この年・マドリッド議定書加入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月・意匠法施行規則中改正(3.31経済産業省令第92号4.1施行)登録証について規定されている意匠法施行規則様式26を削除</li> <li>10月・意匠課長 森則雄</li> <li>11月・東京高判平成12.11.28平成12(行カ)331「おろし器」意匠公報掲載の意4条2項該当性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月・北海道の有珠山が噴火</li> <li>ロシア大統領選挙でプーチン氏が当選</li> <li>4月・小淵首相が病に倒れ森連立内閣発足</li> <li>6月・三宅島噴火、全島民避難</li> <li>分断後初の南北朝鮮首脳会談実現</li> <li>7月・沖縄サミット開催</li> <li>9月・シドニー五輪で女性選手大活躍</li> <li>10月・ON対決となった日本シリーズで長嶋巨人日本一</li> <li>白川英樹博士にノーベル化学賞</li> <li>12月・日本滞在中のペルー・フジモリ大統領が辞意表明</li> <li>アメリカ大統領選挙が大接戦で混乱の末、ブッシュ氏が当選</li> </ul>
2001 平成13	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・大阪高判平成13.1.23平成12(ホ)2393「街路灯デザイン図」著作権</li> <li>4月・第一回世界的所有権の日(4.26)</li> <li>5月・東京高判平成13.5.30平成11(ホ)6345「キュービー人形とイラスト」著作権</li> <li>東京高判平成13.5.30平成12(ホ)7「キュービー人形とイラスト」著作権</li> <li>京都地判平成13.5.31平成10(ワ)3435「ホームページの画像」著作権</li> <li>6月・東京地決定平成13.6.13平成13(ホ)22014「電子計算機の画像」著作権</li> <li>この年・工業所有権総合情報館の独立行政法人化</li> </ul>	この年・審査基準と運用基準を一本化	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月・オアフ島沖で愛媛県立水産高校のえひめ丸が米原潜と衝突し沈没</li> <li>3月・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンがオープン</li> <li>アフガニスタンのタリバンがバーミヤン石仏を爆破</li> <li>4月・小泉内閣発足</li> <li>5月・小泉内閣がハンセン病控訴断念</li> <li>7月・千と千尋の神隠し(宮崎駿監督)が公開</li> <li>9月・国内で初の狂牛病確認</li> <li>女子マラソンで高橋尚子選手が世界最高記録樹立</li> <li>歌舞伎町ビル火災で44人死亡の大惨事</li> <li>東京ディズニーシーがオープン</li> <li>アメリカで同時多発テロ発生</li> <li>10月・野依名古屋大教授らにノーベル化学賞</li> <li>12月・皇太子妃雅子様、女児出産</li> <li>中国がWTOに正式加盟</li> <li>この年・大リーグでイチロー大活躍</li> <li>フィリピン、インドネシアで女性大統領誕生</li> </ul>
2002 平成14	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・東京高判平成14.1.31平成11(ホ)1759「エアソフトガン」不競法2条1項3号(商品形態模倣)</li> <li>4月・特許法中改正(4.17法律第24号特許法等の一部を改正する法律1・2条による改正)ソフトウェア等情報財の特許保護強化とネットワーク取引の促進、特許法の間接侵害規定の拡充、先行技術文献開示制度導入等</li> <li>実用新案法中改正(4.17法律第24号特許法等の一部を改正する法律3・4条による改正)ソフトウェア等情報財の特許保護強化とネットワーク取引の促進、特許法の間接侵害規定の拡充等</li> <li>商標法中改正(4.17法律第24号特許法等の一部を改正する法律6条による改正)ネットビジネスで使用される商標の信用保護強化等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月・経済産業省、アジアの模倣品対策でフォーラム設置、模倣品急増に対処</li> <li>意匠法中改正(4.17法律第24号特許法等の一部を改正する法律5条による改正)</li> <li>8月・東京地判平成14.8.22平成13(ワ)27317「せいろう用中敷き」</li> <li>12月・東京高判平成14.12.12平成14(ホ)4764「せいろう用中敷き」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・欧州単一通貨ユーロの現金流通始まる</li> <li>3月・イスラエル軍、パレスチナ自治政府議長府を制圧</li> <li>5月・サッカーW杯日韓共同開催、日本は決勝トーナメント進出</li> <li>中国、瀋陽の日本総領事館に北朝鮮一家が駆け込み亡命</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>この年・「D&amp;DEPARTMENT PROJECT」開始</li> <li>グッドデザイン大賞は三宅デザイン事務所の「A-POC」が受賞</li> <li>本田技研工業「二足歩行ロボットASIMO」を発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この年・マイクロソフト社、「X-BOX」の投入によるゲーム機市場参入を発表(米)</li> <li>マイクロソフト社、「ウィンドウズ2000」発売(米)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・せんだいメディアテーク(伊東豊雄設計)完成。この年、グッドデザイン大賞受賞</li> <li>1月・経済産業省 点字表示わかりやすくサイズJIS化へ JR東日本 掲示を統一</li> <li>この年・メゾン・エルメス(レンゾ・ピアノ設計)完成</li> <li>ドラム式洗濯乾燥機 NA-V80ななめドラム(松下電器産業)発売</li> <li>KDDI「auデザインプロジェクト」始動</li> <li>伊藤憲治没(グラフィック・デザイナー)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>6月・森正洋「陶磁器デザインの革新」展 東京国立近代美術館</li> <li>横浜港大さん橋国際客船ターミナル(foa設計)完成</li> <li>9月・ポーラ美術館(安田幸一設計)開館</li> <li>この年・静岡 静岡文化芸術大学ギャラリー 「柳宗理デザイン展」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この年・「Perfect Act of Architecture展」開催(米)</li> <li>デザインミュージアム「ジオ・ポンティ展」開催(英)</li> <li>カタルーニャ文化センター 「ガウディ:アートとデザイン展」(スペイン・バルセロナ)</li> <li>アキッレ・カスティリオーニ没(インダストリアル・デザイナー)(伊)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>弁理士法中改正(4.17法律第25号弁理士法の一部を改正する法律による改正)弁理士への侵害訴訟代理権の付与</li> <li>7月・特許庁長官 太田信一郎(7.30)</li> <li>仙台高判平成14.7.9平成13(う)177(原審 山形地方裁判所 平成11年(わ)第184号 平成13年9月26日判決宣告)&gt;平成12(う)63(原審 山形地方裁判所 平成11年(わ)第167号 平成12年3月31日判決宣告)&gt;「ファービー人形」著作権法違反被告事件(刑事事件)</li> <li>9月・東京地判平成14.9.5平成13(9)16440「電子計算機の画像」著作権</li> <li>12月・大阪地判平成14.12.19平成13(ワ)10905「マグライト」不競法2条1項1号(周知商品表示)</li> <li>この年・知的財産戦略大綱策定</li> <li>知的財産基本法成立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京高判平成14.12.12平成14(行ケ)359「せいろう用中敷き」</li> <li>この年・特許庁工業所有権制度問題調査研究「表示画面上に表示された画像デザインに関する保護についての調査研究」報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月・アフガニスタンでカイザル大統領新政権発足</li> <li>8月・住民基本台帳ネットワーク稼動</li> <li>9月・長野県知事選で前知事の田中康夫氏が圧勝</li> <li>初の日朝首脳会談、その後拉致被害者が24年ぶりに帰国</li> <li>10月・小柴昌俊、田中耕一両氏にノーベル賞</li> <li>インドネシア、バリ島で爆弾テロ</li> <li>12月・韓国大統領選で与党民主党のノ・ムヒョン氏当選</li> <li>牛肉偽装事件や食品不正表示相次ぐ</li> </ul>
2003 平成15	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月・東京地平成15.2.26平成13(ワ)20223「事務所設計図」著作権</li> <li>5月・特許法中改正(5.23法律第47号特許法等の一部を改正する法律1条による改正)特許関連料金制度の改正、異議申立て制度廃止等</li> <li>実用新案法中改正(5.23法律第47号特許法等の一部を改正する法律2条による改正)</li> <li>商標法中改正(5.23法律第47号特許法等の一部を改正する法律4条による改正)</li> <li>特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律中改正(5.23法律第47号特許法等の一部を改正する法律5条による改正)</li> <li>6月・著作権の賠償請求容易に政府・自民党改正案立証負担を軽く、映像保護70年に延長</li> <li>特許庁、大学の知財保護支援マニュアルなど作成</li> <li>東京地決定平成15.6.11平成15(ヨ)22031「建築・庭園」著作権</li> <li>7月・特許庁長官 今井康夫(7.11)</li> <li>8月・東京高判平成15.8.29平成14(行ケ)581「フィスキー角瓶」立体商標</li> <li>10月・大阪地判平成15.10.30平成14(ワ)1989「プレハブ建築」著作権及び不競法2条1項3号(形態模倣)</li> <li>この年・知的財産戦略本部発足</li> <li>知的財産推進計画策定</li> <li>事前調査を民間開放、任期付特許審査官の採用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月・意匠法中改正(5.23法律第47号特許法等の一部を改正する法律3条による改正)</li> <li>6月・意匠法施行規則中改正(6.6経済産業省令第72号7.1施行)他の事件に添付した書面等を援用し、提出の省略を行うことができる旨の規定の整備</li> <li>経済産業省 戦略的デザイン活用研究会「競争力強化に向けた40の提言」報告書</li> <li>東京高判平成15.6.30平成15(ホ)1119「減速機」利用関係</li> <li>9月・意匠法施行規則中改正(9.10経済産業省令第101号10.1施行)意匠法施行規則様式第14の改正</li> <li>10月・意匠法施行規則中改正(10.27経済産業省令第141号H16.1.1施行)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月・米スペースシャトル「コロロンビア」空中分解で墜落</li> <li>韓国で放火による地下鉄火災</li> <li>5月・個人情報関連法が成立</li> <li>6月・有事関連法が成立</li> <li>9月・阪神タイガーズ18年ぶりのリーグ優勝</li> <li>10月・中国が世界で3カ国目となる有人宇宙飛行に成功</li> <li>米カリフォルニアで大規模な山火事発生</li> <li>11月・イラク日本人外交官2名が銃撃で死亡</li> <li>12月・政府はイラクへ自衛隊派遣を決定</li> <li>この年・りそなグループ、足利銀行に公的資金投入決定</li> <li>米英軍とイラクが開戦、米軍がフセイン元大統領拘束</li> <li>新型肺炎(SARS)が世界中で猛威</li> <li>北朝鮮核拡散防止条約脱退を受け北京で6カ国協議開催</li> </ul>
2004 平成16	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月・社団法人発明協会、100周年記念式典挙行</li> <li>6月・特許法中改正(6.4法律第79号特許審査の迅速化等のための特許法等の一部を改正する法律、予納制度を利用した特許料等の返還規定はH16.6.4施行、指定調査機関制度等の見直し、独立行政法人工業所有権総合情報館の業務拡大規定はH16.10.1施行、職務発明制度の見直し及びその他の規定はH17.4.1施行)</li> <li>実用新案法中改正(6.4法律第79号特許審査の迅速化等のための特許法等の一部を改正する法律)</li> <li>特許庁長官 小川洋(6.22)</li> <li>7月・東京地判平成16.7.28平成15(ワ)29376「カルティエ時計」不競法2条1項1号、2号(周知、著名商品表示)</li> <li>9月・大阪地判平成16.9.13平成15(ワ)8501「ヌーブラ(NuBra)」不競法2条1項1号、2号、又は3号(周知、著名商品表示又は商品形態模倣)</li> <li>大阪高判平成16.9.29平成15(ホ)3575「プレハブ建築」著作権</li> <li>11月・大阪地判平成16.11.25平成15(ワ)10346、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月・特許庁産業財産権制度問題調査研究「デザインの戦略的活用に関する意匠制度の在り方に関する調査研究」報告書</li> <li>意匠法施行規則中改正(3.2経済産業省令第28号4.1施行)減免措置の見直しに伴う改正等</li> <li>意匠法中改正(6.4法律第79号特許審査の迅速化等のための特許法等の一部を改正する法律)</li> <li>意匠法中改正(6.18法律第120号裁判所法等の一部を改正する法律による改正)</li> <li>意匠法施行規則中改正(6.4経済産業省令第69号H16.6.4施行)登録料等の返還の申出方法に関する規定の整備</li> <li>7月・産業構造審議会知的財産制作部会の下に、意匠制度小委員会が設置</li> <li>8月・政府模倣品・海賊版対策総合窓口開設企業等からの模倣品・海賊版による被害の総合受付窓口</li> <li>10月・意匠課長 瓜本忠夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月・アジアで鳥インフルエンザの猛威が広がる</li> <li>3月・スペインで列車や駅への同時爆破テロ</li> <li>8月・アテネ五輪で日本選手活躍、史上最多のメダル獲得</li> <li>9月・プロ野球史上初のスト決行</li> <li>ロシアで学校占拠テロ</li> <li>原油価格急騰、史上初の「1バレル50ドル」突破</li> <li>江沢民辞任により胡錦濤が中国最高指導者に</li> <li>10月・米調査団がイラクの「大量破壊兵器」の</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ルイ・ヴィトン表参道ビル(青木淳設計)完成</li> <li>グッドデザイン大賞は札幌市「モエレ沼公園」が受賞</li> <li>田中一光没(グラフィック・デザイナー)</li> <li>国際子ども図書館(安藤忠雄設計)改修完成</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月・品川ランドコモンズ完成</li> <li>4月・六本木ヒルズ完成</li> <li>東京デザインセンター「イサム・ノグチデザイン展」</li> <li>「THE ドラえもん展」横浜展 横浜・そごう美術館</li> <li>建築家・伊東忠太の世界展 ワタリウム美術館</li> <li>6月・ブラダプティック青山店(ヘルツォーク&amp;ド・ムーロン設計)完成</li> <li>松下電器産業「ドラム式洗濯乾燥機」発売</li> <li>グッドデザイン大賞はトヨタの「プリウス」が受賞</li> <li>ディオール表参道(妹島和世・西沢立衛設計)完成</li> <li>10月・au design project第1弾「INFOBAR」(デザイン:深澤直人)発表・発売.</li> <li>この年・芦原義信没(建築家)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月・ボンビドゥーセンター「フィリップ・スタルク展」(仏・パリ)</li> <li>「オスカーニューマイヤー:モダンの伝説展」(独・フランクフルト)</li> <li>「エトトレ・ソットサス&amp;アソシエイツ展」(独・ケルン)</li> <li>デザインミュージアム「スーパースタジオ展」(英)</li> <li>5月・ドイツ歴史博物館「イオ・ミン・ペー博物館の建築展」(独・ベルリン)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>4月・東京 たばこ塩の博物館「20世紀デザインの旗手 レイモンド・ローウィー展」</li> <li>東京 LVホール「ルイ・ヴィトンと万国博覧会1867-1931展」</li> <li>10月・金沢21世紀美術館(妹島和世・西沢立衛設計)開館</li> <li>11月・国立国際美術館(シーザーベリ設計)大阪中之島へ移転</li> <li>この年・東京国立近代美術館工芸館「アール・デコの精華展」</li> <li>トッズ表参道プティック(伊東豊雄設計)完成</li> <li>加湿器±0(プラマイゼロ株式会社)発売</li> <li>グッドデザイン大賞はNHK教育テレビ「にほんごであそぼ」が受賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月・モード&amp;テキスタイル美術館「エルザ・スキヤパレリ展」(仏・パリ)</li> <li>ヴィクトリア&amp;アルバート博物館「ヴィヴィアン・ウエストウッド展」(英・ロンドン)</li> <li>5月・ヴィトラ・デザイン・ミュージアム「空の旅のための建築とデザイン展」</li> <li>ニューヨーク近代美術館クイーンズ「懐かしやかな傑作展」(米)</li> <li>この年・ルイ・ヴィトンニューヨーク店(青木淳設計)完成(米)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	16年(ワ)第5016号「フィギュアの模型原型(チョコエッグ)」著作権	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京地判平成16.10.29平成16(ワ)17501「ラップフィルム摘み具」</li> </ul>	<p>存在・計画なしと最終報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イチロー大リーグの最多安打記録を84年ぶりに更新</li> <li>新潟県中越地方でM6.8の地震発生、新幹線が脱線</li> <li>11月・PLOアラファト議長死去</li> <li>12月・スマトラ沖でM9.0の大規模地震・津波発生、過去最悪の犠牲者</li> </ul> <p>この年・北朝鮮の拉致被害者家族が帰国</p>
2005 平成17	<p>6月・商標法中改正(6.15法律第56号商標法の一部を改正する法律H18.4.1施行)地域団体商標制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許法中改正(6.15法律第56号商標法の一部を改正する法律H18.4.1施行)</li> </ul> <p>7月・東京地判平成17.7.20平成17(ワ)313「マトリョーシカ人形のデザイン」著作権</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪高判平成17.7.28平成16(ホ)3893「フィギュアの原型模型(チョコエッグ)」著作権</li> </ul> <p>9月・特許庁長官 中嶋誠(9.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京地判平成17.9.9平成17(ワ)7875「キュービーのイラスト」著作権</li> <li>大阪地判平成17.9.8平成16(ワ)10351「ブラジャー-NuBra」不競法2条1項1号,2号,3号(周知,著名商品表示,商品形態模倣)</li> </ul> <p>12月・大阪地判平成17.12.8平成15(ワ)10873「NOVAうさぎ」著作権</p> <p>この年・知的財産高等裁判所の設立</p>	<p>3月・特許庁産業財産権制度問題調査研究「諸外国におけるデザイン保護の実態に関する調査研究」報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠法施行規則中改正(3.29経済産業省令第30号H17.4.1施行)特許法施行規則等の準用に伴う改正</li> </ul> <p>4月・知財高判平成17.4.13平成17(行カ)10227「コンパクト」部分意匠</p> <p>10月・意匠法施行規則中改正(10.3経済産業省令第96号H17.10.3施行)登録料等の電子納付が可能になった規定に伴う意匠法施行規則様式備考の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知財高判平成17.10.31平成17(ホ)10079「カラビナ」物品の類否</li> </ul> <p>12月・大阪地判平成17.12.15平成16(ワ)6262「化粧用パフ」部分意匠</p>	<p>1月・米ブッシュ大統領,2期目就任</p> <p>2月・北朝鮮,核保有認める</p> <p>4月・JR福知山線脱線事故</p> <p>6月・アスベスト(石綿)関連死問題広がる</p> <p>7月・野口聡一さん宇宙へ,スペースシャトル「ディスカバリー」打ち上げ成功</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロンドン同時爆破テロ</li> </ul> <p>9月・第44回衆院選,自民党圧勝</p> <p>10月・郵政民営化関連法が成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロ野球・千葉ロッテマリーンズが31年ぶりの日本一</li> <li>パキスタン大地震,約7万3千人が死亡</li> <li>11月・マンションやホテルの耐震強度偽装事件発覚</li> <li>中国政府,鳥インフルエンザによる死者発表</li> </ul> <p>この年・愛・地球博(愛知万博)開催,累計来場者数2,205万人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニューヨーク原油の先物価格が高騰</li> </ul>
2006 平成18	<p>1月・東京地判平成18.1.13平成17(ワ)5657「薬品包装容器」不競法2条1項1号(周知商品表示)(同趣旨判決他9件あり)</p> <p>3月・独立行政法人工業所有権工業所有権情報・研修館法中改正(3.1法律第27号独立行政法人工業所有権工業所有権情報・研修館法の一部を改正する法律H18.4.1施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪地判平成18.3.30平成16年(ワ)第1671号「ヌーブラ(NuBra)」不競法2条1項1号,2号,又は3号(周知,著名商品表示,商品形態模倣)</li> </ul> <p>6月・特許法中改正(6.7法律第55号意匠法等の一部を改正する法律附則3条による改正H19.4.1施行)分割出願の時期的制限の緩和,外国語書面出願の翻訳文提出期間の延長等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(6.7法律第55号意匠法等の一部を改正する法律による改正)</li> <li>商標法中改正(6.7法律第55号意匠法等の一部を改正する法律附則5条による改正H19.4.1施行,団体商標の主体の見直しに係る改正はH18.9.1施行)小売業等の役務商標としての保護規定等</li> <li>不正競争防止法中改正(6.7法律第55号意匠法等の一部を改正する法律による改正)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>弁理士法中改正(6.7法律第55号意匠法等の一部を改正する法律による改正)</li> </ul> <p>7月・東京地判平成18.7.26平成16(ワ)18090「ロレックス腕時計」不競法2条1項1号,又は2号(周知,著名商品表示)</p> <p>9月・知財高判平成18.9.27平成18(ホ)10011(原</p>	<p>2月・産業構造審議会第7回知的財産制作部会・意匠制度小委員会報告書「意匠制度の在り方について」取りまとめ</p> <p>3月・特許庁産業財産権制度問題調査研究「独創的デザインの保護に即した意匠制度のあり方に関する調査研究」報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許庁産業財産権制度問題調査研究「模倣品・海賊版の個人輸入・所持・販売等に関する調査研究」報告書</li> <li>特許庁委託 産業財産権研究推進事業報告書「意匠権と著作権の境界について」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>知財高判平成18.3.31平成17(行カ)10679「コネクター-接続端子」微小物品</li> </ul> <p>5月・大阪高判平成18.5.31平成18(ホ)184「化粧用パフ」部分意匠</p> <p>6月・改正意匠法公布(6.7法律第55号意匠法等の一部を改正する法律附則2条による改正,意匠の新規性喪失の例外の適用の手続見直しH18.9.1施行,輸出の定義規定への追加,譲渡等目的所持のみなし侵害規定への追加,罰則の見直しH19.1.1施行,その他はH19.4.1施行)意匠権の存続期間の延長,操作画面デザインの保護対象の拡大,関連意匠の出願期限の延長等</p> <p>8月・知財高判平成18.8.24平成18(行カ)10136「ピアノ補助ペダル」分割</p>	<p>2月・トリノ冬季五輪開催,フィギュアスケート荒川静香選手が金メダル</p> <p>3月・ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で王ジャパン優勝</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥インフルエンザによる死者が世界で100人を超える</li> </ul> <p>5月・インドネシアのジャワ島で地震,死者5,700人以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イラクで正式政権発足</li> </ul> <p>8月・福岡の飲酒運転事故で3児死亡,飲酒運転の厳罰化が進む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熱闘夏の甲子園,早稲田実業初優勝</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>冥王星が惑星から降格,太陽系の惑星は8個に</li> </ul> <p>9月・安倍内閣発足.初の戦後生まれの首相誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋篠宮妃紀子さま男子ご出産</li> </ul>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>3月・松下電工汐留ミュージアム 「DOCOMOMO100選展」</p> <p>11月・茅野市民館(古谷誠章設計)完成</p> <p>この年・INAXギャラリー大阪 「ハンガリーの建築タイル紀行展」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪サントリーミュージアム 「パリの空のポスター描き-レイモン・サビニャック展」</li> <li>グッドデザイン大賞はテルモのインスリン用注射針「ナノパス33」が受賞</li> <li>清家清没(建築家)</li> <li>丹下健三没(建築家)</li> <li>森正洋没(陶磁器デザイナー)</li> </ul>	<p>3月・ヴィクトリア&amp;アルバート博物館 「国際アーツ&amp;クラフツ運動展」(英・ロンドン)</p> <p>この年・上海ドーラン美術館 日中台韓共同企画展「上海COOL」(中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボンビドゥーセンターギャラリー 「ロベール・マレ=ステヴァン展」(仏・パリ)</li> <li>シカゴ美術研究所 「1945:創造と分岐点展」(米)</li> <li>エストリック・コレクション 「アバンギャルド・グラフィック展」(英・ロンドン)</li> <li>フィリップ・ジョンソン没(建築家)</li> </ul>
<p>2月・表参道ヒルズ(安藤忠雄設計)完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京 松下電工汐留ミュージアム 「建築家グンナール・アスプルンド-戀しのランドスケープ-」</li> </ul> <p>3月・兵庫陶芸美術館 「バーナード・リーチ展」</p> <p>4月・東京 六本木 「国際文化会館」本館の再生保存工事が終了</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スウェーデン発の大手家具販売会社IKEAの日本店舗IKEA船橋店オープン</li> <li>東京都現代美術館 「カルティエ現代美術財団コレクション展」</li> <li>東京都庭園美術館 「北欧のスタイリッシュ・デザイン-フィンランドのアラビア窯」展</li> <li>東京都港区六本木に国立新美術館が完成(黒川紀章設計)</li> <li>7月・青森県立美術館がオープン</li> <li>11月・京都国際マンガミュージアム開館(京都市中京区)が開館</li> </ul>	<p>3月・ウェールズ議事堂(リチャード・ロジャース設計)正式オープン(英)</p> <p>5月・ニューヨーク ノグチミュージアム 「バックミンスター・フラーとイサム・ノグチ展」(米)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラフツ・カウンシル 「エコ・スタイル展」(英・ロンドン)</li> </ul> <p>この年・ロサンジェルス郡立美術館 「エトトレ・ソットサス展」(米)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カルティエ財団 「横尾忠則展」(仏・パリ)</li> <li>ボンビドゥーセンター 「モルフォシス展」(仏・パリ)</li> <li>ガナーアートセンター「内田繁展 フリーフォームチェア1968からムー-2005まで」(韓・ソウル)</li> <li>テートモダン 「アルバース&amp;モホリ=ナジ~パウハウスから新世界へ」(英・ロンドン)</li> </ul>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
	<p>審・東京地方裁判所平成17年(ワ)第5651号)「薬品包装容器」不競法2条1項1号(周知商品表示)(同趣旨判決他9件あり)</p> <p><b>この年</b>・知的財産人材育成総合戦略/日米審査ハイウェイ(施行プログラム)開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小泉首相による特許庁視察</li> </ul>		<p><b>10月</b>・プロ野球・日本ハムファイターズが44年ぶりの日本一</p> <p><b>11月</b>・ロシア連邦保安局元中佐がイギリスで殺害される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ中間選挙で民主党勝利</li> </ul> <p><b>12月</b>・北朝鮮がミサイル発射, 核実験</p>
<b>2007</b> 平成19	<p><b>6月</b>・弁理士法中改正(6.20法律第91号弁理士法の一部を改正する法律附則2条による改正H20.4.1施行, 弁理士試験の免除の拡大規定はH20.1.1施行, 実務修習制度の導入規定はH20.10.1施行)非弁理士に対する名義貸しの禁止, 定期的研修受講の義務化等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許法中改正(6.20法律第91号弁理士法の一部を改正する法律による改正)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(6.20法律第91号弁理士法の一部を改正する法律による改正)</li> <li>商標法中改正(6.20法律第91号弁理士法の一部を改正する法律による改正)</li> </ul> <p>・特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律中改正(6.20法律第91号弁理士法の一部を改正する法律による改正)</p> <p>・不正競争防止法中改正(6.20法律第91号弁理士法の一部を改正する法律による改正)</p> <p>・知財高判平成19.6.27平成18(行カ)10555「マグライト」立体商標</p> <p><b>7月</b>・特許庁長官 肥塚雅博(7.10)</p> <p><b>この年</b>・イノベーション促進のための特許審査改革加速プラン2007</p>	<p><b>1月</b>・知財高判平成19.1.31平成18(行カ)10317, 10318「ブーリー」部分意匠</p> <p><b>3月</b>・意匠法施行規則中改正(3.26経済産業省令第14号H19.4.1施行, パリ条約による優先権証明書についての改正規定はH19.7.1から施行)意匠法施行規則様式備考の改正等</p> <p><b>4月</b>・平成18年改正意匠法施行(4.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京地判平成19.4.18平成18(ワ)19650「増幅器付スピーカー」意匠権侵害差止請求権不存在確認請求事件</li> </ul> <p><b>6月</b>・意匠法中改正(6.20法律第91号弁理士法の一部を改正する法律による改正)</p> <p><b>12月</b>・知財高判平成19.12.26平成19(行カ)10209, 10210「包装用容器」部分意匠創作非容易性</p> <p><b>この年</b>・感性価値創造イニシアティブ策定「『感性☆21』報告書」</p>	<p><b>1月</b>・宮崎県知事に東国原英夫(そのまんま東)氏が当選</p> <p><b>2月</b>・北朝鮮の核の無能力化で6ヵ国協議が共同文書を採択</p> <p><b>3月</b>・首都圏の公共交通乗車券PASMOが使用開始</p> <p><b>4月</b>・約5,000万件におよぶ年金記録漏れが判明</p> <p><b>5月</b>・フランス大統領にニコラ・サルコジ氏が当選</p> <p><b>6月</b>・イギリス首相にゴードン・ブラウン氏が就任</p> <p><b>7月</b>・第21回参議院議員選挙で自民党が歴史的な大敗。民主党が第1党に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県中越沖地震</li> </ul> <p><b>8月</b>・アメリカで中国産品から有毒物質が相次ぎ検出される</p> <p><b>9月</b>・安倍晋三首相が突然の辞意表明, 福田康夫新内閣発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミャンマーで反政府デモ, 日本人ジャーナリスト死亡</li> </ul> <p><b>10月</b>・郵政民営化スタート, 日本郵政グループ発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴア前アメリカ副大統領にノーベル平和賞</li> </ul> <p><b>11月</b>・ニューヨーク原油, 99ドル台の史上最高値を記録</p> <p><b>この年</b>・食品偽装が相次ぎ社会問題となる</p>
<b>2008</b> 平成20	<p><b>1月</b>・大阪地判平成20.1.24平成18(ワ)11437「ヒュンメル社スポーツシューズ」不競法2条1項1号(周知商品表示)</p> <p><b>4月</b>・特許法中改正(4.18法律第16号特許法等の一部を改正する法律1条による改正)通常実施権等登録制度の見直し, 不服審判請求期間の見直し, 優先権書類の電子的交換の対象国の拡大, 特許関係料金の引き下げ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用新案法中改正(4.18法律第16号特許法等の一部を改正する法律2条による改正)通常実施権等登録制度の見直し, 優先権書類の電子的交換の対象国の拡大等</li> <li>商標法中改正(4.18法律第16号特許法等の一部を改正する法律4条による改正)不服審判請求期間の見直し, 商標関係料金の引き下げ等</li> </ul> <p><b>5月</b>・知財高判平成20.5.29平成19(行カ)10215「Coca-Cola」立体商標</p> <p><b>6月</b>・知財高判平成20.6.30平成19(行カ)10293「チョコレート」立体商標</p> <p><b>7月</b>・特許庁長官 鈴木隆史(7.11)</p> <p><b>10月</b>・スーパー早期審査制度の施行開始</p>	<p><b>3月</b>・特許庁産業財産権制度問題調査研究「意匠登録出願における特徴記載書に関する調査研究」報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特許庁委託 産業財産権研究推進事業報告書「画面上の画像デザインの保護—中国法と日本法の比較研究—」</li> </ul> <p><b>4月</b>・意匠法中改正(4.18法律第16号特許法等の一部を改正する法律3条による改正)不服審判請求期間の見直し等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠課長 川崎芳孝</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>意匠制度120周年, 「意匠をめぐる120話」発行</li> <li>知財高判平成20.4.14平成19(行カ)10321「包装用袋」分割</li> </ul> <p><b>9月</b>・意匠法施行規則中改正(9.30経済産業省令第69号H21.1.1施行, 口座振替納付制度及び特許料及び登録料の自動納付制度に係る事前手続等に関する規定についてはH20.10.1施行)意匠法施行規則様式備考の改正</p> <p><b>11月</b>・東京地判平成20.11.13平成18(ワ)22106「顕微鏡」部品</p>	<p><b>3月</b>・東京湾岸署が臨海副都心に誕生</p> <p><b>4月</b>・75歳以上の約1,300万人が加入する後期高齢者医療制度がスタート</p> <p><b>5月</b>・自販機でのタバコ購入にICカードtaspoが必要に</p> <p><b>6月</b>・岩手県内陸南部を震源地とする岩手・宮城内陸地震が発生。宮城県栗原市と岩手県奥州市で震度6強を観測した(6.14)</p> <p><b>7月</b>・北海道洞爺湖サミット開催</p> <p><b>8月</b>・北京オリンピック開催。競泳男子北島康介選手が平泳ぎ100m, 200mで金, 女子ソフトボールで金など, 日本勢は9個の金メダルを獲得</p> <p><b>9月</b>・福田康夫首相が突然の辞意表明, 麻生太郎新内閣発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ証券会社大手リーマンブラザーズが経営破綻</li> </ul> <p><b>10月</b>・益川敏英氏, 小林誠氏, 南部陽一郎氏が</p>

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p><b>12月</b>・ゲーム・ホームエンタテインメントマシンWii(任天堂)発売</p> <p><b>この年</b>・「グッドデザイン賞」創設50周年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グッドデザイン大賞は三菱自動車の軽自動車「i(アイ)」が受賞</li> </ul>	
<p><b>1月</b>・au「INFOBAR」, 「talby」, 「neon」, 「MEDIA SKIN」の4モデルがニューヨーク近代美術館(MoMA)の永久収蔵品に選定されたことを発表</p> <p><b>2月</b>・東京 ワタリウム美術館 「ブルーノ・タウト展 アルプス建築から桂離宮へ」</p> <p><b>3月</b>・「東京ミッドタウン」(港区赤坂)がグランドオープン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京ミッドタウン内 「21_21 DESIGN SIGHT」がオープン</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京お台場 ノマディック美術館 「グレゴリー・コルベール ashes and snow」展</li> <li>東京国立博物館「レオナルド・ダ・ヴィンチー天才の実像」展</li> </ul> <p><b>4月</b>・メタボリズムの代表作「中銀カプセルタワー」(黒川紀章設計)の取り壊し決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横須賀市美術館(山本理顕設計)完成</li> </ul> <p><b>10月</b>・黒川紀章没(建築家)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新居猛没(デザイナー)</li> </ul> <p><b>11月</b>・表参道にMoMAミュージアムショップが開店</p> <p><b>12月</b>・sony 最薄部約3mmの有機ELテレビ「XEL-1」を発売</p> <p><b>この年</b>・グッドデザイン大賞は三洋電機の充電器や充電式カイロ等の「eneloop universe products」が受賞</p>	<p><b>1月</b>・ハンス・ウェグナー没</p> <p><b>8月</b>・Nokiaがインドにデザインスタジオを開設(印)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヴィクトリア&amp;アルバート博物館 「シュールレアリスムとデザイン展」(英・ロンドン)</li> </ul> <p><b>12月</b>・エッソーレ・ソットサス没(プロダクトデザイナー)(澳)</p> <p><b>この年</b>・デザインミュージアム 「ルイジ・コラーニ展」(英・ロンドン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェンブリースタジアム(ノーマン・フォスター設計)完成(英・ロンドン)</li> </ul>
<p><b>3月</b>・第21回村野藤吾賞が北川原温氏の「中村キース・ヘリング美術館」に決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京銀座, クリエイションギャラリーG8で, 「第10回亀倉雄策賞受賞記念 佐藤卓」展が開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界最大の芸術・デザイン大学の連合組織Cumulus(Cumulus)主催による, アジアで初めての国際デザイン会議「京都国際デザイン会議Cumulus2008」が京都で開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>スワロフスキー, 世界初最大規模の旗艦店を銀座にオープン(吉岡徳仁店舗デザイン)</li> </ul> <p><b>4月</b>・青森県十和田市 十和田市現代美術館(西沢立衛設計)開館</p> <p><b>6月</b>・東京メトロ副都心線の開業とともに, 安藤忠雄デザインの渋谷駅がオープン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プラダとLG電子が共同開発した「PRADA Phone by LG(L852i)」が6月上旬, 世界初の完全タッチスクリーン携帯となってドコモから発売開始</li> </ul> <p><b>7月</b>・ソフトバンクモバイルが米アップル製の「iPhone 3G」を発売</p> <p><b>8月</b>・アジアデジタルアート大賞 東京展(東京ミッドタウン) アジアデジタ</p>	<p><b>1月</b>・アップル社, 世界最薄のノート型パソコン「MacBook Air」発表(米)</p> <p><b>2月</b>・ブロード現代美術館 (BCAM)(レンゾ・ピアノ設計)完成(米・ロサンゼルス)</p> <p><b>3月</b>・北京オリンピックのメインスタジアム「鳥の巣」(ヘルツォーク&amp;ド・ムロン設計)が, 英ロンドン デザイン・ミュージアムの「建築デザイン大賞」を受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築界のノーベル賞といわれる2008年度の「プリツカー賞(Pritzker Prize)」をジャン・ヌーベル氏(仏)が受賞</li> </ul> <p><b>4月</b>・ミラノで「JAPAN DESIGN 2008 -INNOVATION-」を開催(主催:財団法人日本産業デザイン振興会 総合ディレクター:喜多俊之)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フィリップ・スタルク, EU議長国仏のアーティスティック・ディレクターに就任</li> </ul> <p><b>5月</b>・パーソンズ・スクール・オブ・デザイン(Parsons The New School of Design)のファッション学部長にサイモン・コリンズ(Simon Collins)が就任</p> <p><b>6月</b>・アップル社, 携帯電話端末高速通信網対応の「iPhone 3G」を発表(米)</p>

年代	工業所有権制度	意匠制度	社会・文化
			ノーベル物理学賞を、下村脩氏がノーベル化学賞を受賞

デザインの変遷(国内)	デザインの変遷(国外)
<p>ルアート大賞展実行委員会事務局主催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン物産展ニッポン(松屋) 日本デザインコミッティー主催 (コミッショナー:ナガオカケンメイ 会場構成:隈研吾)</li> </ul> <p>9月・東京・銀座にスウェーデン発のアパレルブランド「H&amp;M銀座店」がオープン</p>	

< 参考文献 >

書 名

商工政策史  
 通商産業省 20 年史  
 特許局五十年史  
 特許制度 70 年史  
 進展する工業所有権制度  
 意匠制度 100 年の歩み  
 意匠制度この 10 年の歩み  
 意匠制度 90 年の歩み  
 工業所有権制度百年史  
 商業工芸試験所 30 年史  
 高橋是清自伝  
 高橋是清氏特許制度ニ関スル遺稿  
 広告五十年史  
 多摩美術大学 50 年史  
 世界発明年表  
 世界史地図・年表  
 地図・図録・年表日本史  
 日本史小年表  
 標準日本史年表  
 発明総覧  
 万国博覧会  
 日本広告発達史  
 日本博覧会史  
 日本近代美術史  
 明治文化史  
 日本の広告美術—明治・大正・昭和—1.2.3  
 納富介次郎略伝  
 逸話で綴る科学技術者物語  
 近代デザインとは何か  
 製品開発とデザイン  
 近代日本の産業デザイン思想  
 工業デザイン全集  
 日本の工業デザイン史  
 日本デザイン小史  
 体験的デザイン史  
 デザインの歴史と用語  
 デザイン小辞典  
 デザインの先覚者国井喜太郎  
 デザインの哲学  
 大日本百科事典  
 デザイン盗用  
 新工業所有権講座  
 空間・時間・建築 1、2  
 近代日本総年表第 2 版  
 原色明治百年美術館  
 現代美術事典  
 現代デザイン理論のエッセンス  
 世界美術全集  
 平凡社百科年鑑  
 現代デザイン事典  
 デザイン史を学ぶクリティカル・ワーク  
 ニッポン・プロダクト  
 G マーク大全 グッドデザイン賞の 50 年  
 1946—1999 売れたものアルバム  
 20—21 世紀 DESIGN INDEX  
 GOOD DESIGN STORY プレーン 4 月号別冊  
 毎日々鑑  
 読売年鑑  
 時事年鑑  
 朝日年鑑

著 名 (編集・編者)

通産省編  
 通商産業省編  
 特許局編  
 特許庁編  
 特許庁編  
 特許庁意匠課  
 特許庁意匠課  
 特許庁意匠課  
 特許庁編  
 産業工芸試験所編  
 高橋是清  
 坂本英男編  
 江夏 弘  
 村川堅太郎他 3 名  
 笠原一男編  
 笠原一男・安田元久  
 児玉幸多  
 特許庁監修  
 吉田光邦  
 内川芳美  
 山本光雄  
 竹田道太郎  
 開国百年記念文化事業会編  
 アートテアレクターズクラブ編  
 井手誠二郎編

E・カウフマン・生田 勉訳  
 J・ダブリン・金子 至他訳  
 柏木 博  
 工業デザイン全集編集委員会  
 豊口克平  
 日本デザイン小史編集同人  
 山名文夫  
 大下 敦  
 山口正城他編  
 国井喜太郎先生記念出版編集委員会  
 嶋田 厚  
 相賀徹夫編  
 高田 忠  
 杉林義信  
 ギーデイオン・太田 実訳

浅野長武・小林行雄・細川譲立監修  
 滝口修造外編  
 勝見 勝監修  
 下中弥三郎編

田中一光他監修  
 橋本 優子 他 2 名  
 田中 為芳, 伊部 幸一  
 (財)日本産業デザイン振興会  
 Media View  
 柏木 博 他 4 名

発行所

商工政策史刊行会  
 通商産業調査会  
 特許法五十年記念会  
 社団法人発明協会  
 実業之日本社  
 特許庁  
 特許庁  
 特許庁  
 社団法人発明協会  
 産業工芸試験所  
 千倉書房  
 特許局陳列館  
 日本電話電報通信社  
 多摩美術大学  
 通産資料調査会  
 山川出版  
 山川出版  
 山川出版  
 吉川弘文館  
 通産資料調査会  
 日本放送出版協会  
 電通  
 理想社  
 近藤出版  
 洋々社  
 美術出版社  
 西日本新聞社  
 玉川大学出版部  
 美術出版社  
 丸善  
 憐晶文社  
 (株)日本出版サービス  
 武蔵野美術大学  
 ダヴィット社  
 ダヴィット社  
 美術出版社  
 ダヴィット社  
 国井喜太郎先生顕彰会  
 講談社  
 小学館  
 日本発明新聞社  
 丸善  
 岩波書店  
 朝日新聞社  
 白揚社  
 ベリかん社  
 平凡社  
 平凡社  
 平凡社  
 フィルムアート社  
 美術出版社  
 (財)日本産業デザイン振興会  
 東京書籍(株)  
 INAX 出版  
 (株)宣伝会議  
 朝日新聞社

参考定期刊行物/発行所

●AIPPI/AIPPI 日本支部 ●建築雑誌/日本建築学会 ●工芸ニュース/丸善 ●帝国工芸/帝国工芸 ●DESIGN NEWS/日本産業デザイン振興会 ●パテント/弁理士会 ●発明/社団法人発明協会 ●特許ニュース/通商産業調査会 ●特許庁技術懇話会 ●コピライト/社団法人著作権情報センター ●とつきよ/社団法人発明協会 ●デザイン/美術出版社 ●美術手帖/美術出版社 ●AXIS/憐アクシス ●スタジオ・ボイス/憐INFAS パブリケーションズ ●Casa Brutus/マガジンハウス

< 参考 Web サイト >

特許庁「特許関連年表」 <http://www.jpo.go.jp/seido/rekishi/nenpyo.htm>  
 電通「広告景気年表」 <http://www.dentsu.co.jp/trendbox/adnenpyo/index5.html>  
 グッドデザインアワード「ライブラリ」 <http://www.g-mark.org/library/index.html>  
 AFP BBnews <http://www.afpbb.com/>  
 時事通信社 <http://www.jiji.com/>  
 Nikkei net <http://www.nikkei.co.jp/>